

ウェルビーイング県民意識調査
(生活の実感に関する調査)
結果報告書

令和5年1月

富 山 県

< 目 次 >

I. 調査概要.....	1
II. 回答者の属性	3
III. 調査結果.....	15
1. 生活での実感について	16
問 6. 普段のあなた自身の実感について.....	16
問 7. 家族との関係について	150
問 8. 友人との関係について	167
問 9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について.....	173
問 10. お住まいの場所の近所や町内について	190
問 11. 富山県で暮らしているのあなたの実感について	205
問 12. 富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じること	226
問 13. あなたにとって、最も理想的な生活	232
問 14. 最も理想的な生活に対する評価	242
問 15. 最も理想的な生活を実現するために、特に必要なこと	288
2. 生活習慣等について（※最近 1 週間の状況）	294
問 16. あなたの睡眠時間は平均で何時間程度でしたか	294
問 17. あなたは、運動を何回行いましたか	298
問 18. 食事について.....	301
IV. 調査票（設問部分）	315

■調査報告書の見方

- (1) 結果は百分比で表示し、百分比は少数点第2位を四捨五入している。
したがって、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 図表・数表中の「N」は、回答者数を示しており、百分比の基数である。
- (3) 複数回答の百分比の合計は100%を超える。
- (4) 本文中において、各選択肢を加算して割合（百分率）を表している場合、集計数を基に改めて計算を行っていることから、小数点以下第2位を四捨五入している図表や個々の選択肢の割合の合計とは必ずしも一致しない。
- (5) 本文中の選択肢表記、図表等は、見やすさに配慮するために、語句を簡略化している場合がある。
- (6) クロス分析において回答者数が30以下の場合は、サンプル数が少ないため分析には使用せず参考値としている。

I . 調查概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

県民のウェルビーイング実感に関する意識調査を実施し、ウェルビーイングに関する現状を把握するとともに、調査結果をウェルビーイングの指標策定に活用するもの。

2. 調査項目

(1) 生活での実感について

- ・ 普段の回答者自身の実感について
- ・ 家族との関係について
- ・ 友人との関係について
- ・ 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について
- ・ 住まいの場所の近所や町内について
- ・ 富山県で暮らしているの実感、「幸せ」を感じることにについて
- ・ 最も理想的な生活について

(2) 生活習慣等について

- ・ 睡眠時間、運動、食事について

3. 調査の方法

(1) 調査地域 富山県全域

(2) 調査対象 満 18 歳以上の男女

(3) 標 本 数 5,000 人

(4) 抽出方法 以下に示す各年齢層別の標本数を、県内 15 市町村の人口に応じて比例配分し、各市町村から無作為に抽出

(各年齢層別の標本数)

18～19 歳：300、20～29 歳：900、30～39 歳：900、40～49 歳：900、
50～59 歳：700、60～69 歳：650、70 歳以上：650 (計：5,000)

(5) 抽出台帳 住民基本台帳

(6) 調査方法 郵送法（回収は、郵便返送及び WEB での回答を併用）

4. 調査時期

令和 4 年 9 月上旬～9 月 30 日

5. 有効回答数

2,754 (有効回答率 55.1%)

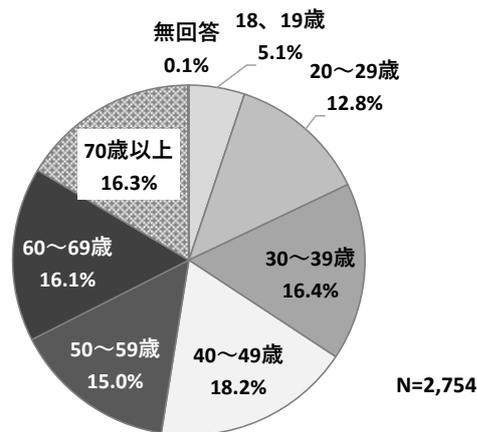
Ⅱ. 回答者の属性

Ⅱ. 回答者の属性

問1. あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（※記入日現在）

「40～49歳」が18.2%と最も高く、次いで「30～39歳」（16.4%）、「70歳以上」（16.3%）、「60～69歳」（16.1%）となっている。

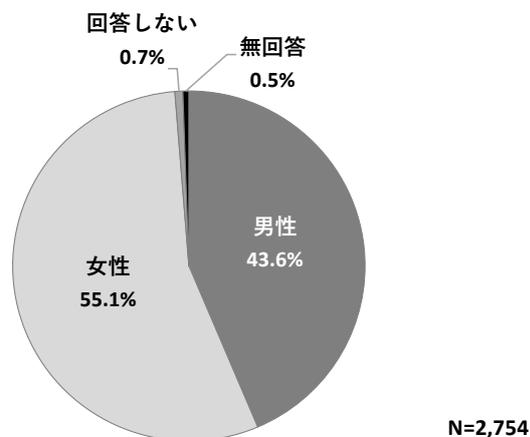
図表1 年齢



問2. あなたの性別をお答えください（※記入は任意です）。

「男性」が43.6%、「女性」が55.1%となっている。

図表2 性別



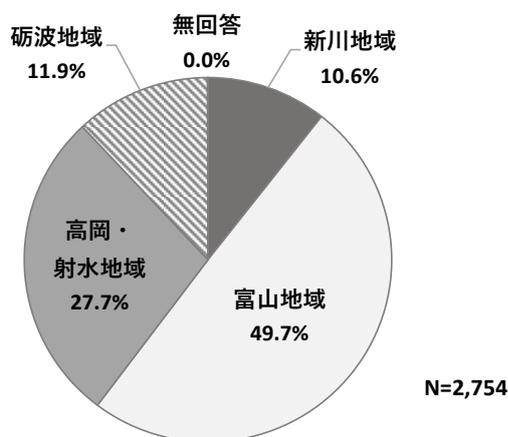
問3. お住まい等について

(1) 現在お住まいの市町村は、どちらですか。

「新川地域」が10.6%、「富山地域」が49.7%、「高岡・射水地域」が27.7%、「砺波地域」が11.9%となっている。「富山地域」と「高岡・射水地域」を合わせて77.4%を占めている。

内訳を見ると、「富山市」が41.5%と最も高く、次いで「高岡市」が15.0%、「射水市」が8.8%となり、上位3市で65.3%となっている。

図表 3-1-1 居住地



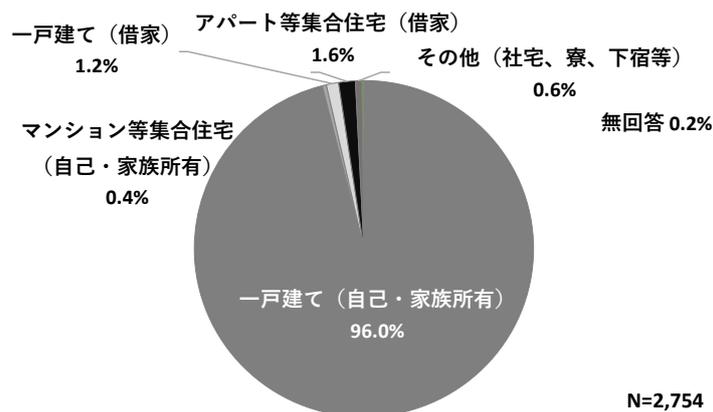
図表 3-1-2 居住地内訳

地域	市町村	人	%
新川地域	魚津市	93	3.4
	黒部市	103	3.7
	入善町	66	2.4
	朝日町	30	1.1
富山地域	富山市	1,142	41.5
	滑川市	91	3.3
	舟橋村	10	0.4
	上市町	55	2.0
	立山町	70	2.5
高岡・射水地域	高岡市	414	15.0
	氷見市	109	4.0
	射水市	241	8.8
砺波地域	砺波市	127	4.6
	小矢部市	78	2.8
	南砺市	124	4.5
	無回答	1	0.0
	合計	2,754	100.0

(2) 現在の住居の状況は、次のどれにあたりますか。

「一戸建て（自己・家族所有）」が 96.0%と最も高く、次いで「アパート等集合住宅（借家）」が 1.6%、「一戸建て（借家）」が 1.2%となっている。

図表 3-2 現在の住居の状況

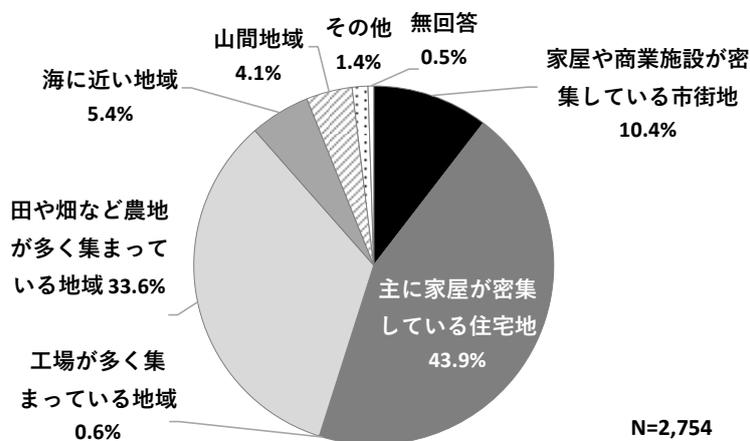


(3) 現在お住まいの地域の環境は、次のどれにあたりますか。

(ご自身の判断で、最もあてはまると思うものを1つ選択してください。)

「主に家屋が密集している住宅地」が 43.9%と最も高く、次いで「田や畑など農地が多く集まっている地域」が 33.6%、「家屋や商業施設が密集している市街地」が 10.4%となっている。

図表 3-3 現在の居住地域の環境

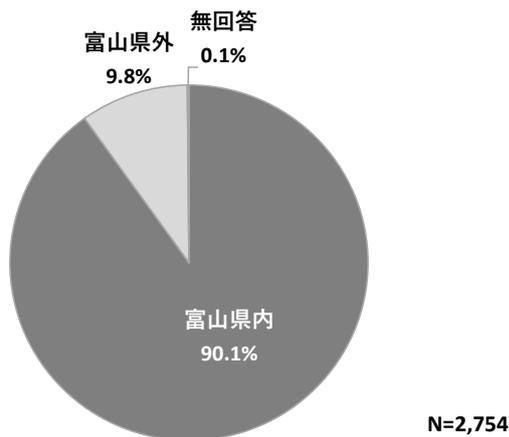


(4) あなたの出身地をお答えください。

※この設問では、出身地は「生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域」を目安としますが、ご自身の判断で構いません。あてはまると思うものをお選びください。

「富山県内」が90.1%、「富山県外」が9.8%となっている。

図表 3-4 出身地

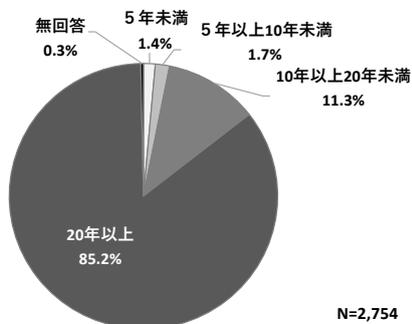


(5) 県内・県外でのあなたの居住年数（通算）について、それぞれ1つずつ選んでください。

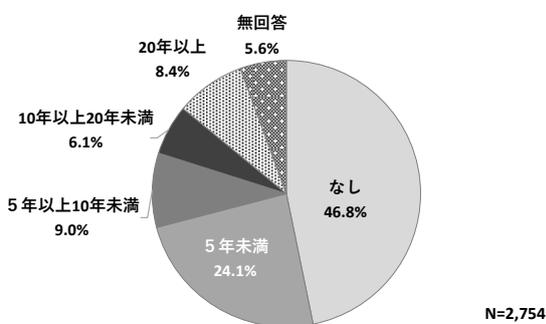
富山県内での居住年数は、「20年以上」が85.2%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が11.3%となっている。

富山県外での居住年数は、「なし」が46.8%と最も高く、次いで「5年未満」が24.1%、「5年以上10年未満」が9.0%となっている。

図表 3-5-1 富山県内での居住年数

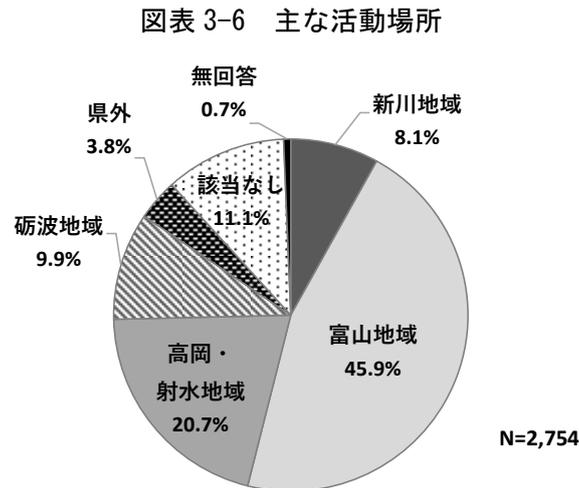


図表 3-5-2 富山県外での居住年数



(6) 仕事や学校など、普段、主に活動している場所がある市町村等を、次の中から1つ選んでください。(※普段、特定の活動を行っていない場合は、「17. 該当なし」を選んでください。)

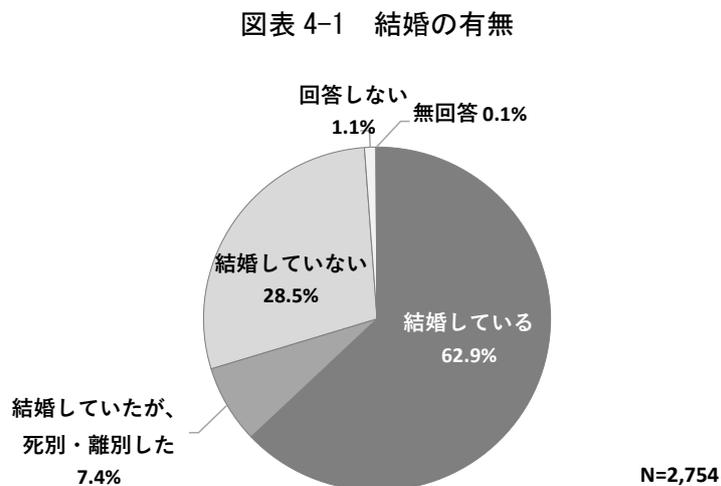
「富山地域」が45.9%と最も高く、次いで「高岡・射水地域」が20.7%、「砺波地域」が9.9%、「新川地域」が8.1%、「県外」が3.8%となっている。また、「該当なし」は11.1%を占めている。



問4. ご家族等について

(1) あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(※事実婚を含みます。)

「結婚している」が62.9%、「結婚していたが、死別・離別した」が7.4%、「結婚していない」が28.5%となっている。



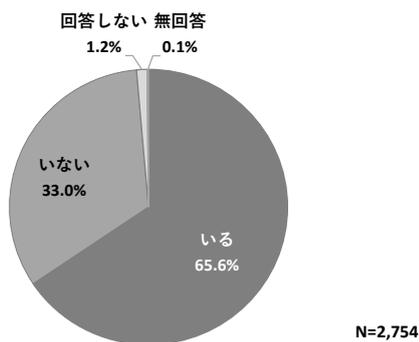
(2) あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。

(※成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。)

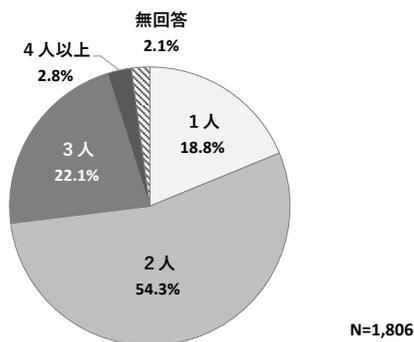
「いる」が65.6%、「いない」が33.0%となっている。

また、「いる」と回答した人の子どもの人数は、「1人」が18.8%、「2人」が54.3%、「3人」が22.1%「4人以上」が2.8%となっている。

図表 4-2-1 子どもの有無



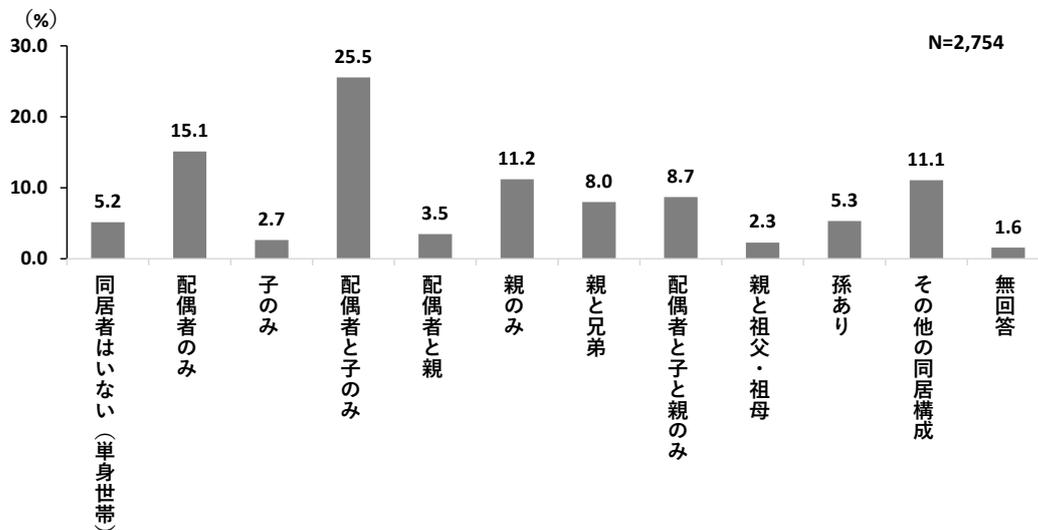
図表 4-2-2 子どもの人数



(3) 同居のご家族の構成について、次の中から同居されている方が含まれている項目をすべて選んでください。

「配偶者と子のみ」が25.5%と最も高く、次いで「配偶者のみ」が15.1%、「親のみ」が11.2%、「その他の同居構成」が11.1%となっている。

図表 4-3 同居の家族構成



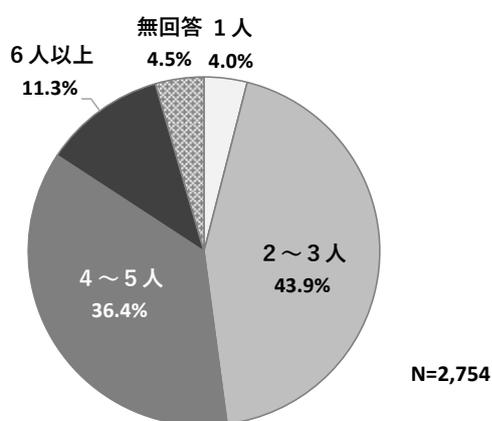
(4) 同居のご家族の人数についてお答えください。

同居家族の人数は、「2～3人」が43.9%と最も高く、次いで「4～5人」が36.4%となっている。

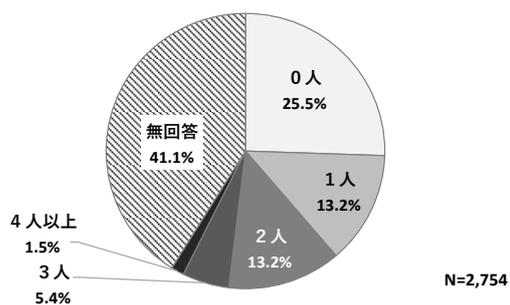
18歳未満の同居家族の人数は、「0人」が25.5%と最も高く、次いで「1人」と「2人」が13.2%となっている。

75歳以上の同居家族の人数は、「0人」が31.2%と最も高く、次いで「1人」が17.2%となっている。

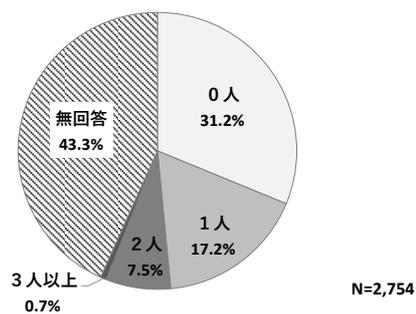
図表 4-4-1 同居家族の人数



図表 4-4-2 同居家族の人数（18歳未満）



図表 4-4-3 同居家族の人数（75歳以上）

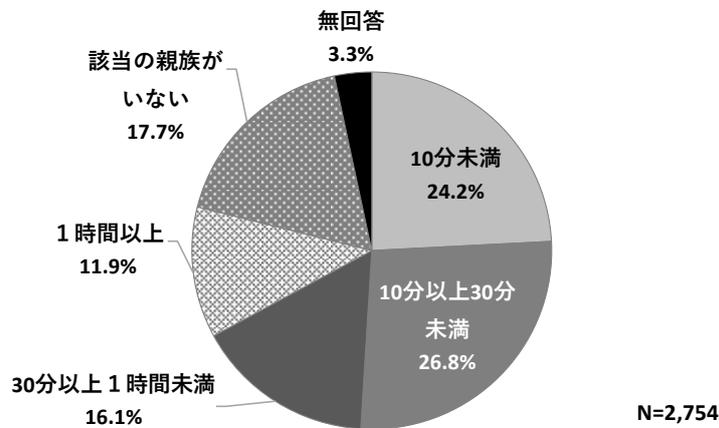


(5) あなたが普段行き来する、別居の親族(※)の住居への移動時間(移動手段は問いません。)について、次の中からあてはまるものを1つお答えください。

※祖父母(配偶者の祖父母含む)、父母(配偶者の父母含む)、子、孫のいずれかの住居のうち、最も行き来するところでお答えください。

「10分以上30分未満」が26.8%と最も高く、次いで「10分未満」が24.2%、「該当の親族がない」が17.7%、「30分以上1時間未満」が16.1%、「1時間以上」が11.9%となっている。

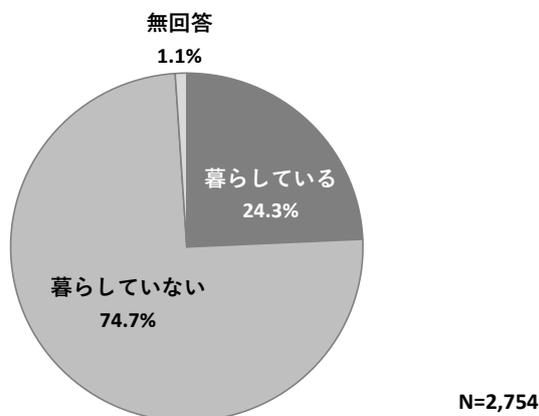
図表 4-5 別居親族の住居への移動時間



(6) あなたは、ペットと一緒に暮らしていますか。

「暮らしている」が24.3%、「暮らしていない」が74.7%となっている。

図表 4-6 ペットの有無

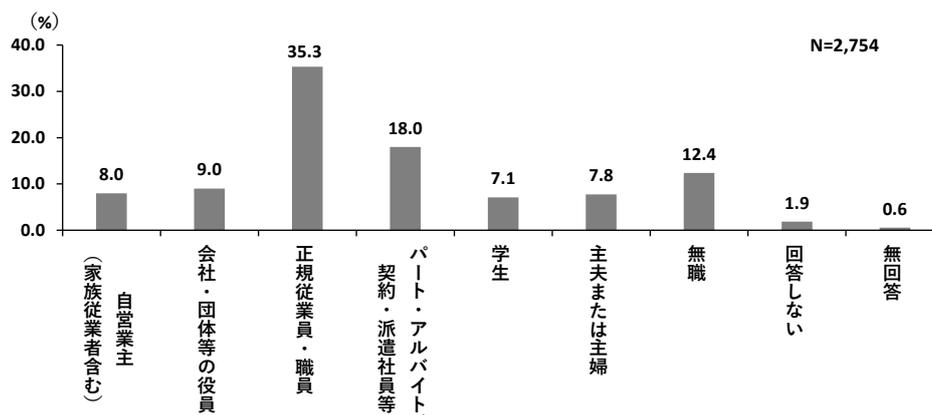


問5. ご職業・年収等について

(1) あなたの主なご職業等について、次の中から1つ選んでください。

「正規従業員・職員」が35.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」が18.0%、「無職」が12.4%となっている。なお、「学生」は7.1%である。

図表 5-1 職業

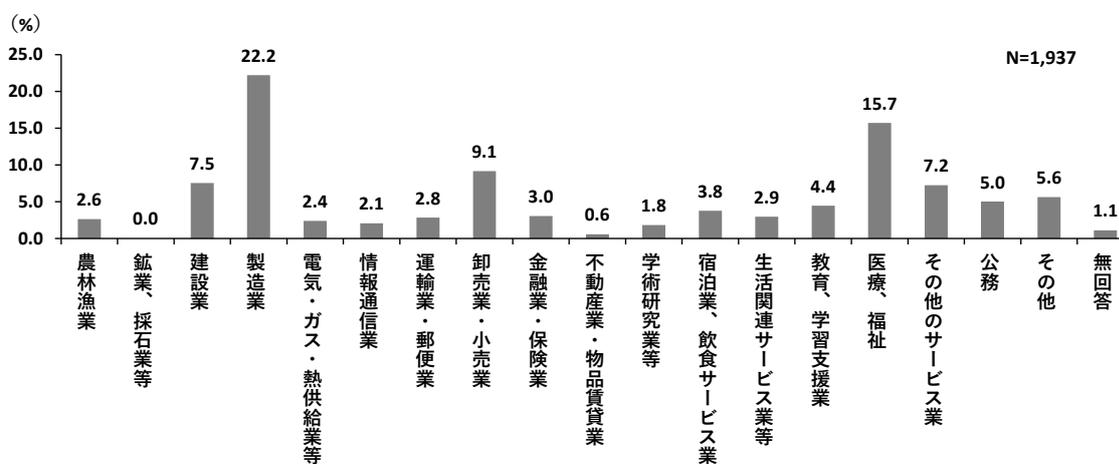


(2) (1) で1～4に○をつけられた方のみお答えください。

該当する職業分野について、あてはまる番号を1つ選んでください。

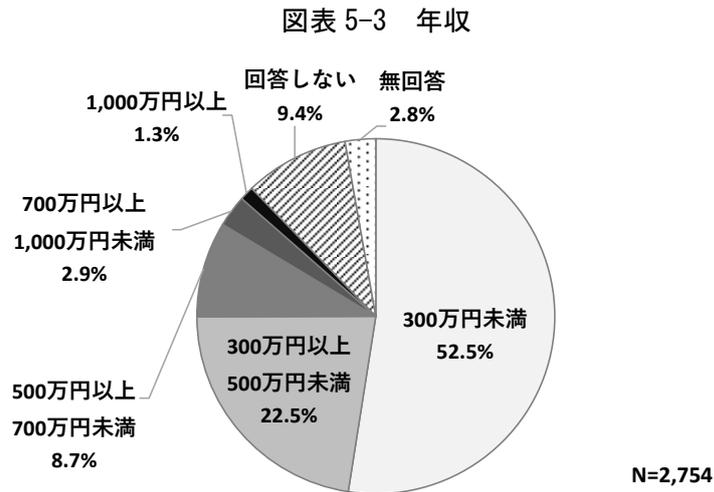
「製造業」が22.2%と最も高く、次いで「医療、福祉」が15.7%、「卸売業・小売業」が9.1%となっている。

図表 5-2 職業分野



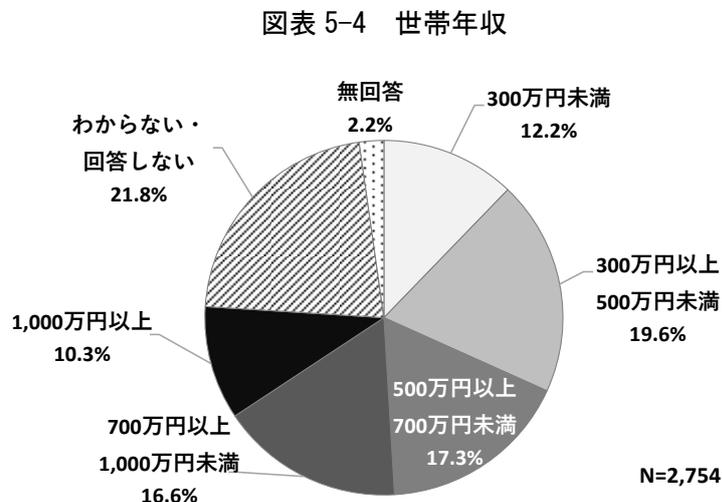
(3) あなた自身のおおよその年収（税・社会保険料込み）について、次の中から1つ選んでください。

「300万円未満」が52.5%と最も高く、次いで「300万円以上500万円未満」が22.5%、「500万円以上700万円未満」が8.7%となっている。



(4) あなたの世帯全体のおおよその年収（税・社会保険料込み）の合計額について、次の中から1つ選んでください。

「300万円以上500万円未満」が19.6%と最も高く、次いで「500万円以上700万円未満」が17.3%、「700万円以上1,000万円未満」が16.6%となっている。なお、「わからない・回答しない」は21.8%を占めている。



Ⅲ. 調查結果

Ⅲ. 調査結果

1. 生活での実感について

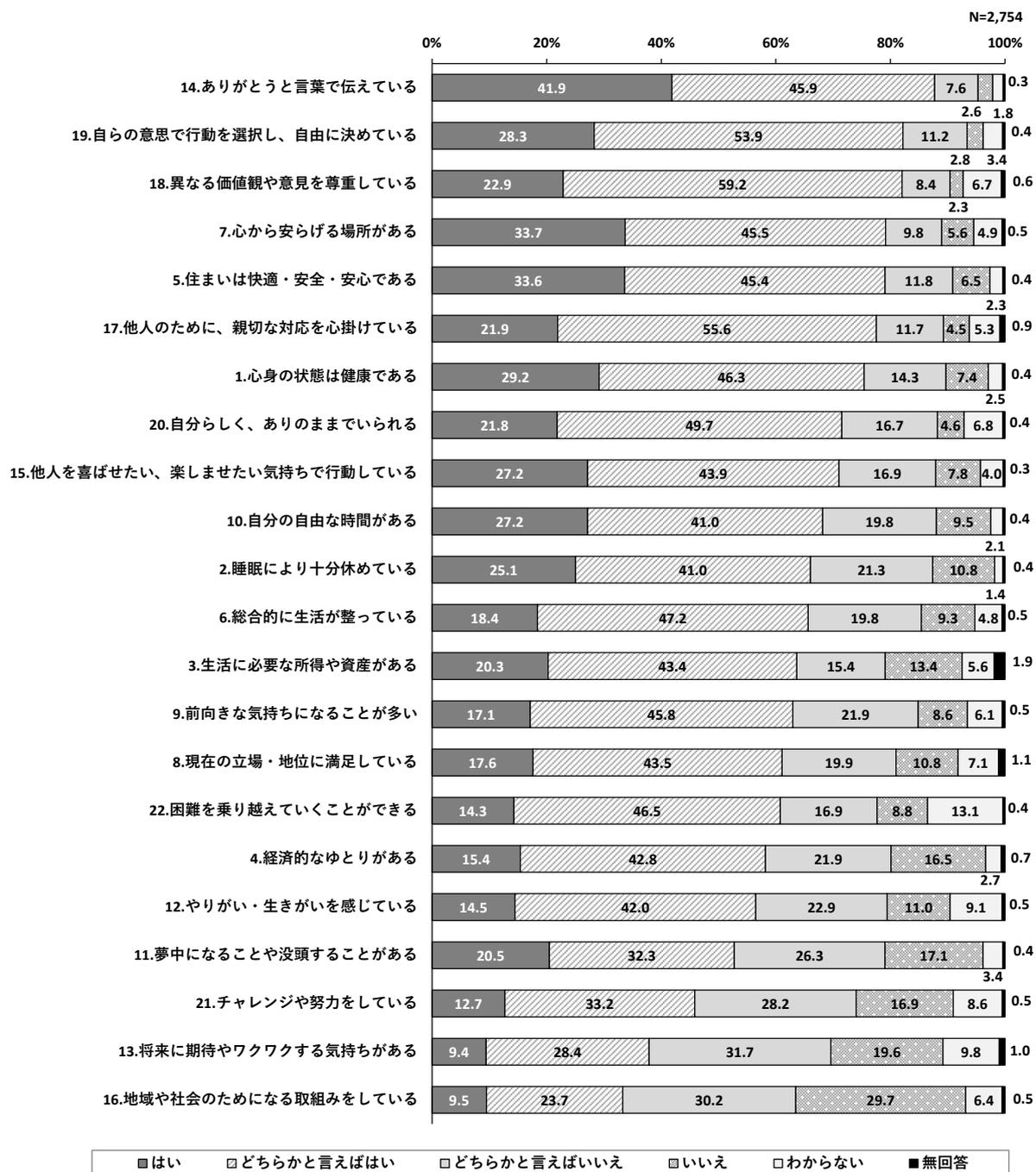
問6. 普段のあなた自身の実感について、以下の設問にお答えください。
それぞれの設問につき、1つ選んでください。

普段の回答者自身の実感として、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「14.ありがとうと言葉で伝えている」が87.7%と最も高く、次いで「19.自らの意思で行動を選択し、自由に決めている」が82.2%、「18.異なる価値観や意見を尊重している」が82.0%であった。「14.ありがとうと言葉で伝えている」では、「はい」と回答した人も41.9%と高い割合を占めている。

一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「16.地域や社会のためになる取り組みをしている」が59.9%と最も高く、次いで「13.将来に期待やワクワクする気持ちがある」が51.3%、「21.チャレンジや努力をしている」が45.1%であった。なかでも、「16.地域や社会のためになる取り組みをしている」では、「いいえ」が29.7%と高い割合を占めている。

全体的に見て、多くの設問で『はい』が5割以上を占めているが、地域や社会のこと、将来的なこと、チャレンジすることといった社会とのつながりや未来に対する夢・希望に関して比較的割合が低い。

図表6 普段のあなた自身の実感について



問6-1 心身の状態は健康であると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が75.4%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は21.7%であった。

(2) 年齢別

「70歳以上」を除くすべての年代で『はい』が7割を超えている。「18、19歳」では「はい」も53.2%を占めている。また、「70歳以上」でも69.7%が『はい』であった。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「男性」よりも「女性」の方が2.7ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えており、「高岡・射水地域」では78.0%と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が75.5%となっており、一方、「アパート等集合住宅（借家）」では65.9%であった。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「海に近い地域」では「はい」が38.3%と、他の居住地環境と比較して若干高い。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が75%程度である。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が84.0%であり、その内「はい」は43.6%を占めている。

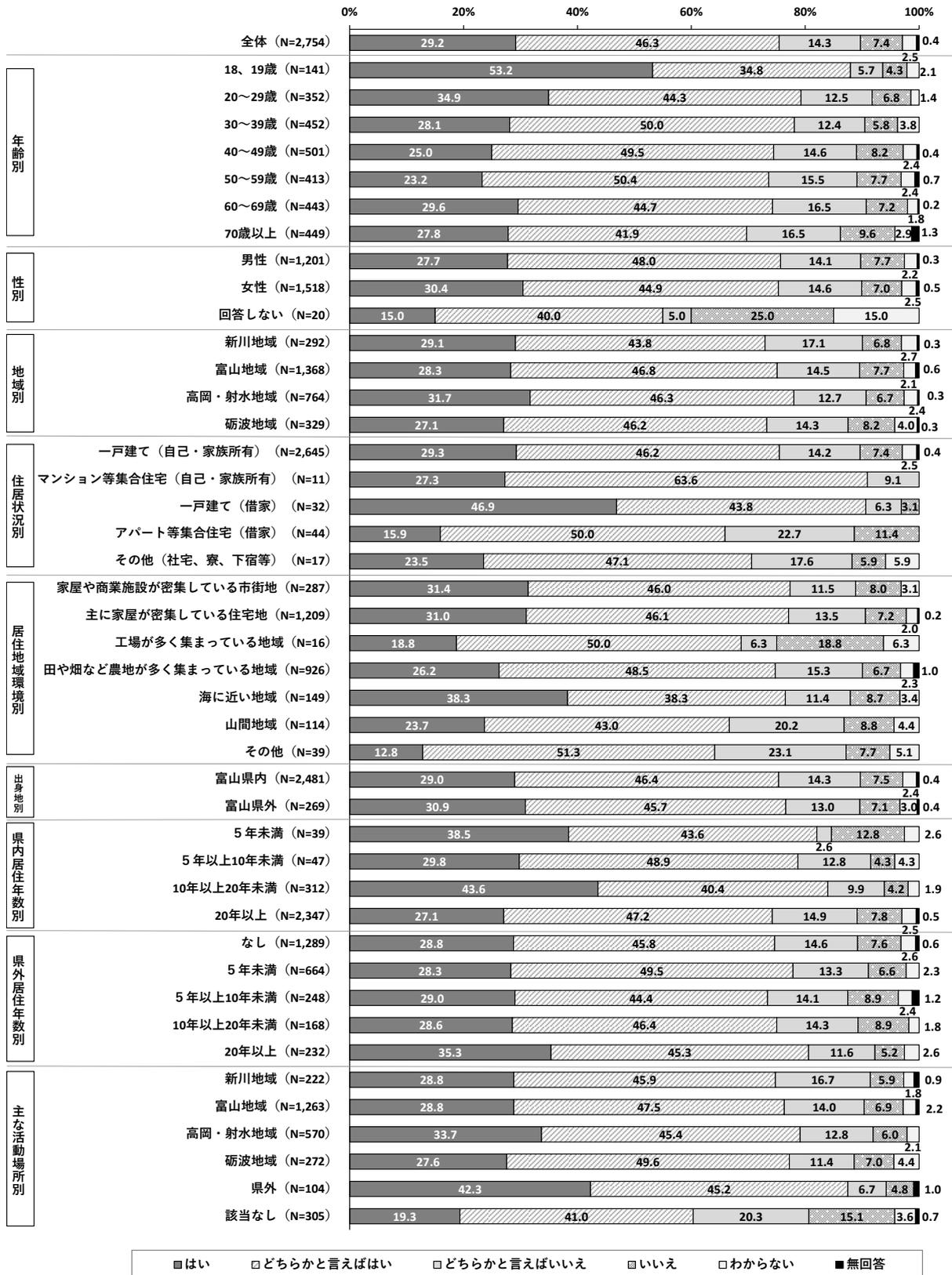
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超えており、「20年以上」では80.6%を占めている。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が87.5%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」では『はい』が60.3%、『いいえ』が35.4%となっている。

図表 6-1-1 心身の状態は健康であると感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が28.6%と他と比較して若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られず、『はい』が約75%となっている。

(5) - 3 同居家族の構成別

「子のみ」を除くすべてで『はい』が7割を超えている。一方、「子のみ」では『はい』が65.8%、『いいえ』が31.5%となっている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

同居家族の人数が多くなるほど、『はい』が高くなる傾向にあり、「6人以上」では78.1%を占めている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

どの人数でも『はい』が7割を超え、なかでも「3人以上」では85.3%を占めている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が7割を超えており、「0人」では79.8%を占めている。

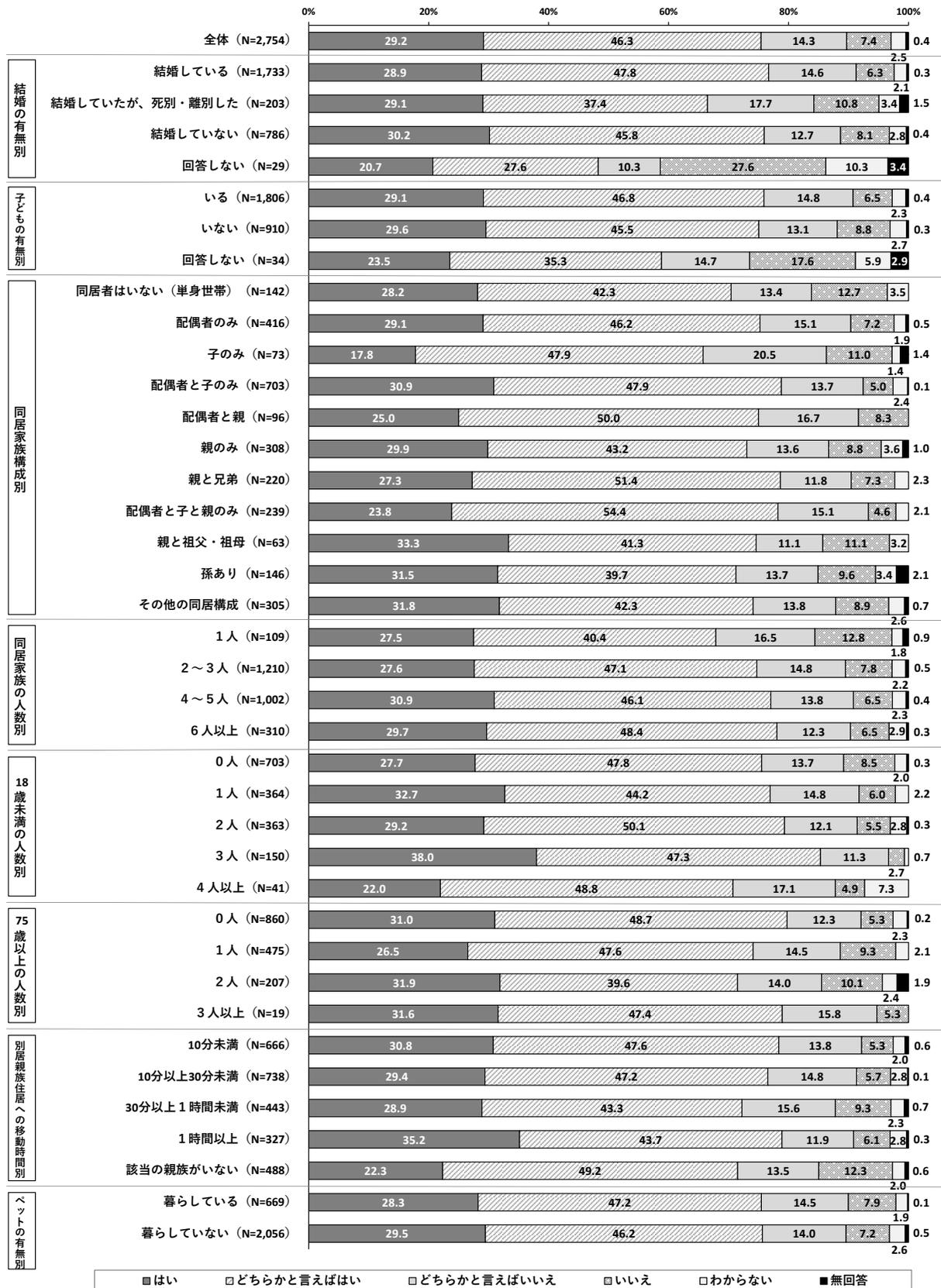
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

すべてで『はい』が7割を超えている。「1時間以上」では「はい」が35.2%と、他と比較して若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-1-2 心身の状態は健康であると感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が90.3%（うち「はい」が53.8%）と他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が57.8%、『いいえ』が37.2%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が69.9%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。その他の職業分野で『はい』が7割を超え、「農林漁業」「卸売業・小売業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「公務」「その他」では8割以上となっている。

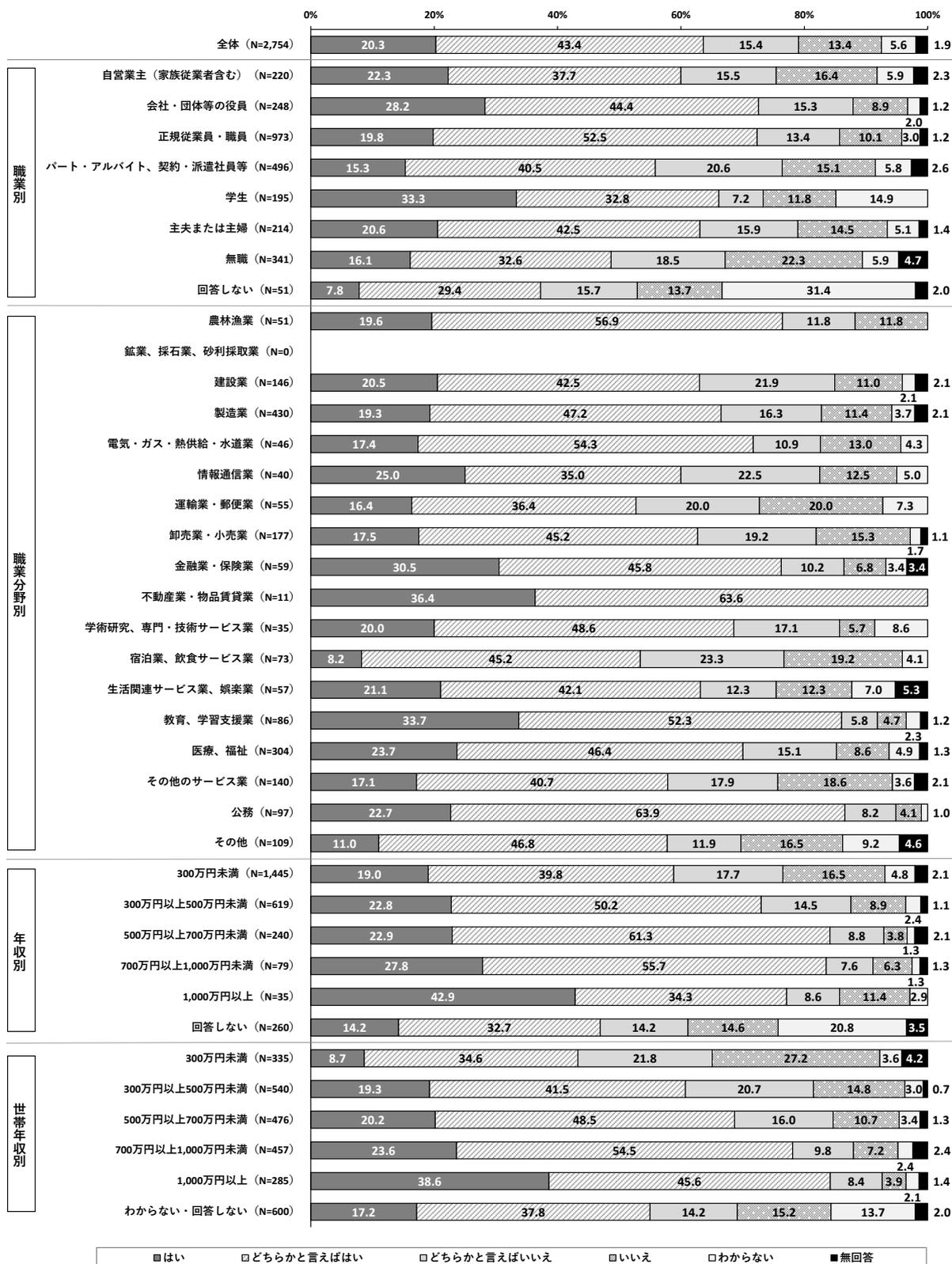
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が7割を超えている。「1,000万円以上」では「はい」が40.0%と、他と比較して高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

「300万円未満」では『はい』が65.1%と、他と比較して低い。

図表 6-1-3 心身の状態は健康であると感じている。(職業・年収別)



問6-2 睡眠により身体を十分休めることができていると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が66.0%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は32.1%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」と「70歳以上」で『はい』が7割を超えている。なかでも、「18、19歳」では「はい」が41.8%と、比較的高い割合を占めている。一方、「40～49歳」では『いいえ』が39.5%と、他の年代よりも比較的高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、『はい』は「男性」の方が2.8ポイント高い。

(4) - 1 地域別

地域間の差はあまり見られず、すべての地域で『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『いいえ』が47.7%と、比較的高い割合を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「海に近い地域」では「はい」が35.6%と、他の居住地環境よりも比較的高い。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が65%程度である。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が72.1%と、他の居住年数よりも高い割合を占めている。

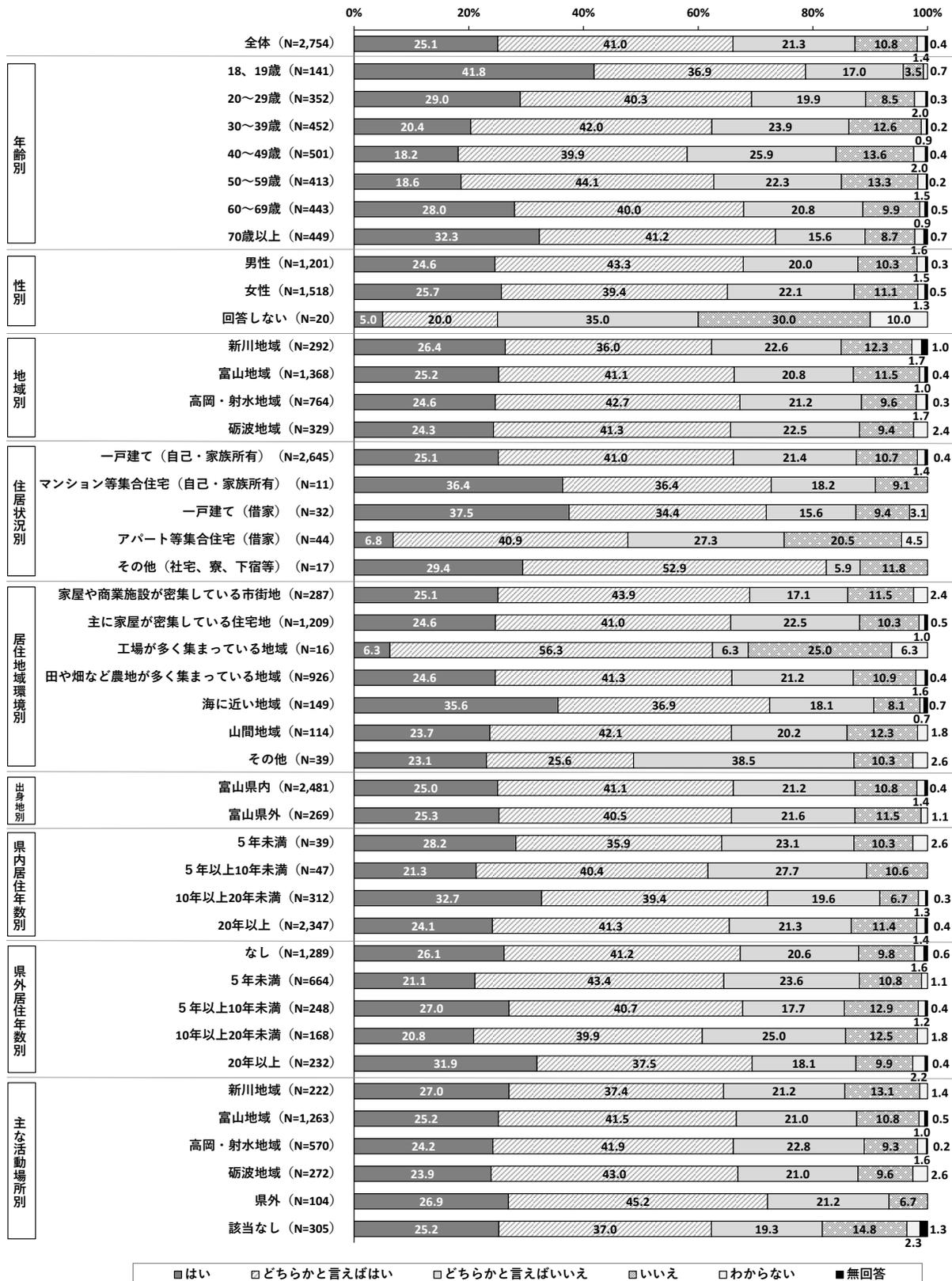
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が60.7%と、他の居住年数よりも若干低い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が72.1%と、他の地域よりも若干高い割合を占めている。

図表 6-2-1 睡眠により身体を十分休めることができていると感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無に関わらずすべてで『はい』が6割を超えている。「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が63.5%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「子のみ」「孫あり」では「はい」が3割以上を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

どの人数でも『はい』が6割を超えている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

どの人数でも『はい』が6割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が6割を超えている。

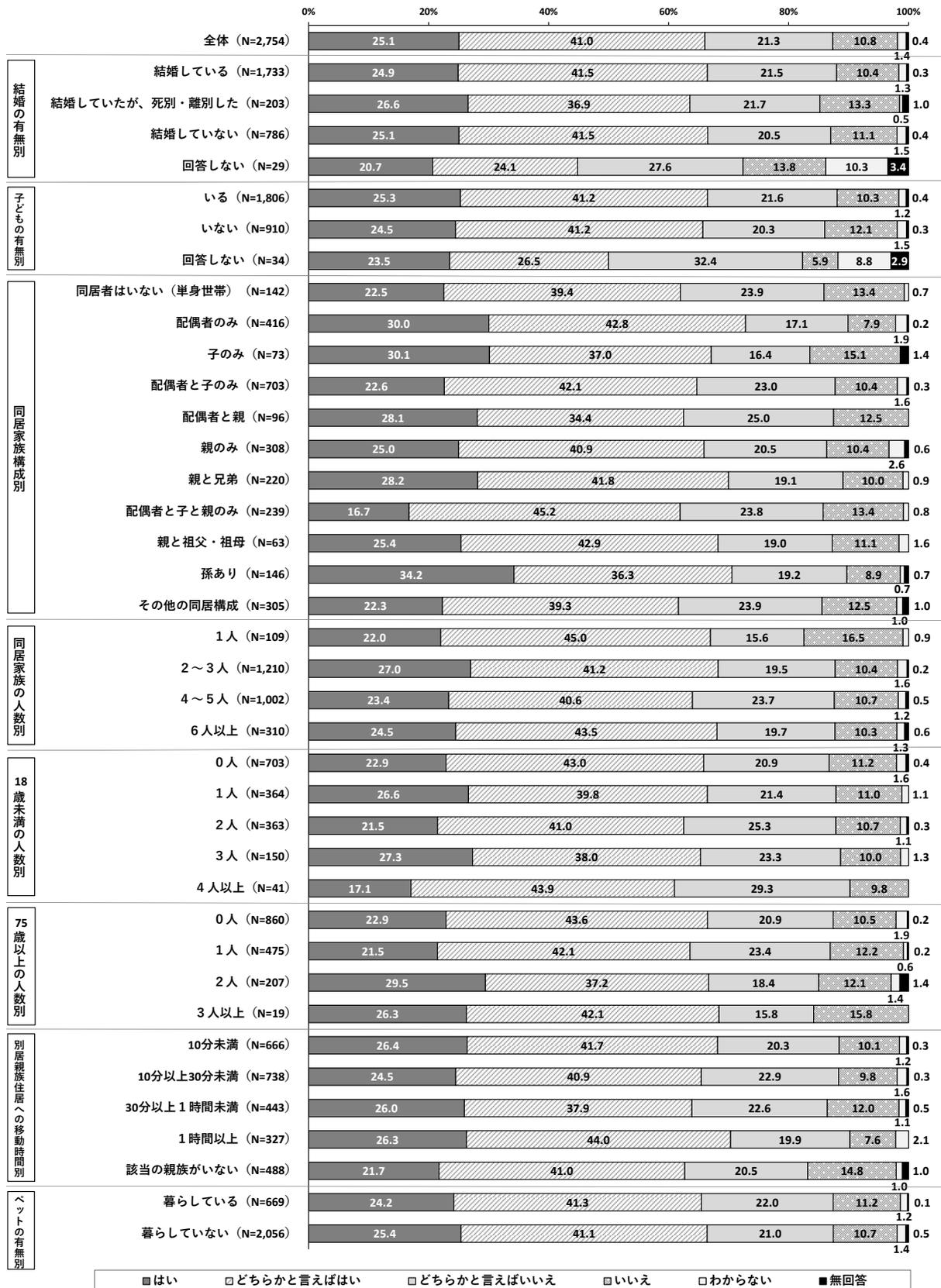
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

すべてで『はい』が6割を超えており、「1時間以上」では70.3%と、他よりも高い割合を占めている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-2-2 睡眠により身体を十分休めることができていると感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」「回答しない」を除くすべての職業で『はい』が60%台となっている。「学生」では『はい』が80.0%（うち「はい」が41.5%）と高い割合を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が50.7%、『いいえ』が46.6%と、他の職業分野と比較してあまり休めていない人が多いと推測される。

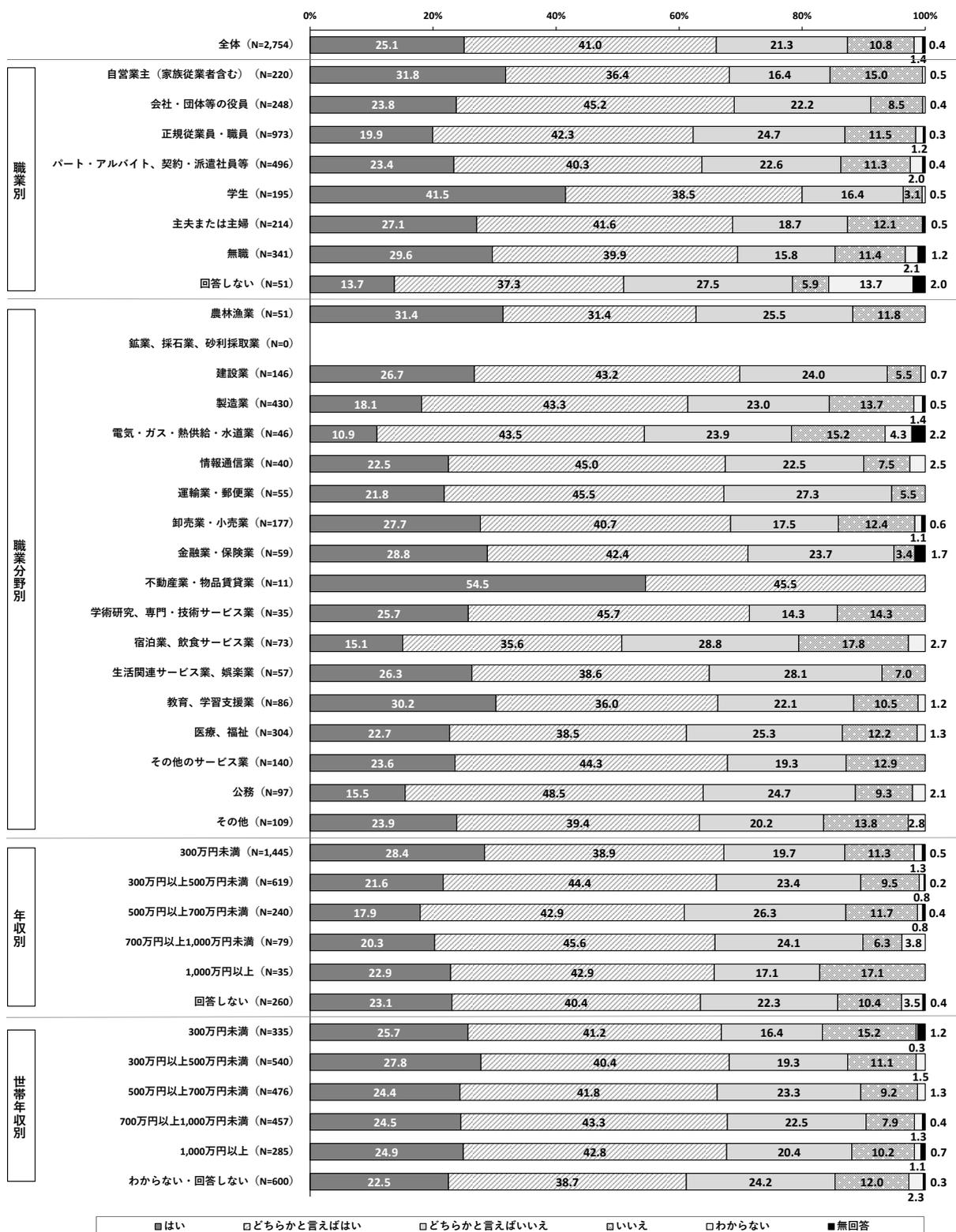
(6) - 3 年収別

「500万円以上700万円未満」で『はい』が60.8%と、他と比較して若干低い。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収で大きな差は見られない。

図表 6-2-3 睡眠により身体を十分休めることができていると感じている。(職業・年収別)



問6-3 日々の生活に必要な所得や資産がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が63.7%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は28.9%であった。

(2) 年齢別

「70歳以上」を除くすべての年代で『はい』が6割以上であった。「18、19歳」では「はい」が35.5%を占めている。一方、「70歳以上」では『いいえ』が35.4%と、他の年代よりも高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間での差はあまり見られない。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超え、「高岡・射水地域」と「砺波地域」では他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が63.9%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が68.6%と、他の地域環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」の方が『はい』が5.2ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が6割を超えている。

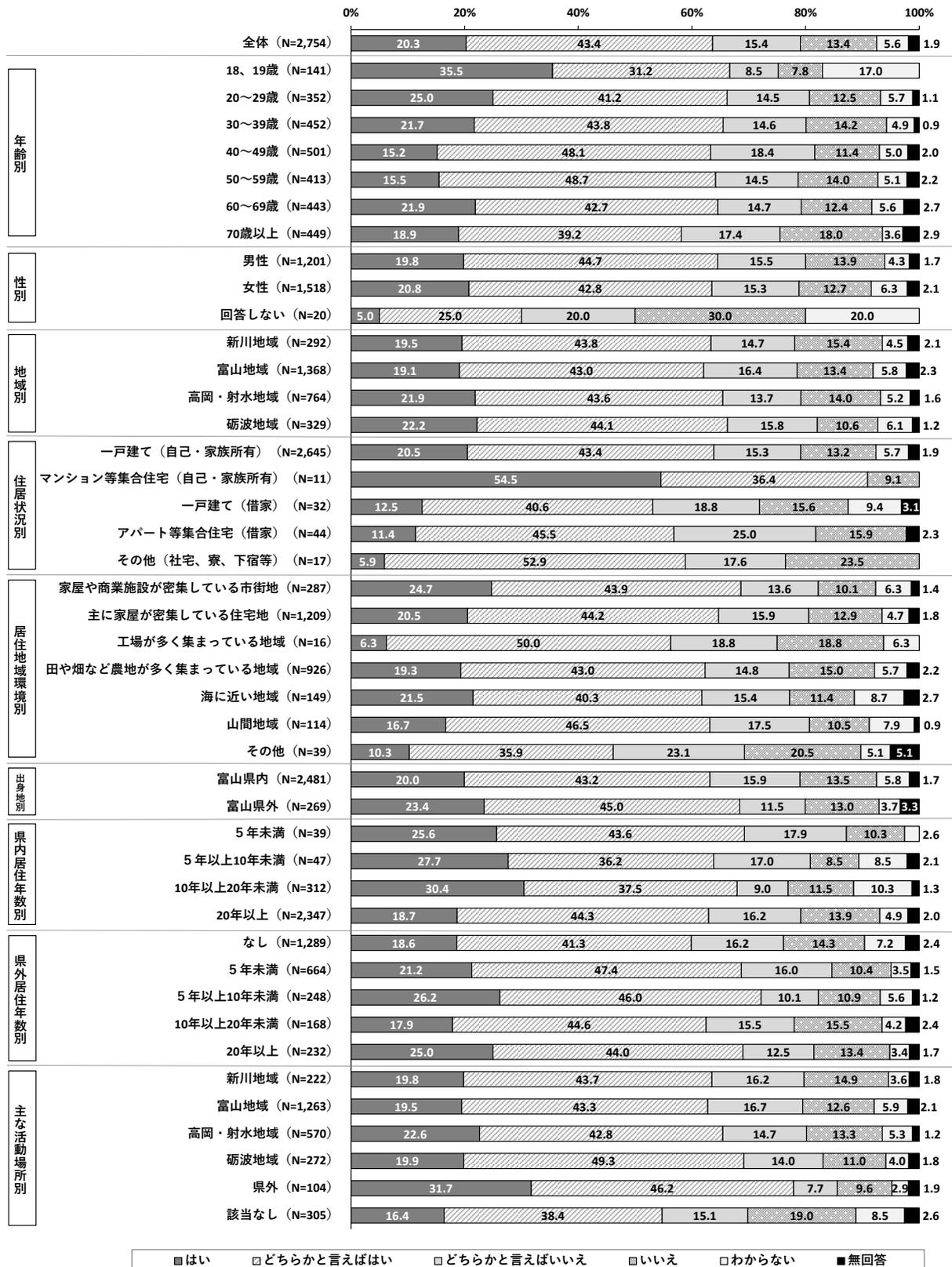
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」では『はい』が72.2%と、他の居住年数よりも高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が77.9%と高い割合を占めている。

図表 6-3-1 日々の生活に必要な所得や資産がある。



■ はい □ どちらかと言えばはい □ どちらかと言えばいいえ □ いいえ □ わからない ■ 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が54.7%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では、「いない」よりも『はい』が4.1ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない(単身世帯)」「子のみ」「親のみ」「その他の同居構成」では『はい』が50%台と他よりも若干低い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「1人」では『はい』が55.0%、『いいえ』が41.3%となっている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「4人以上」では『はい』が48.8%、『いいえ』が43.9%となっている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」では『はい』が70.8%を占めている。

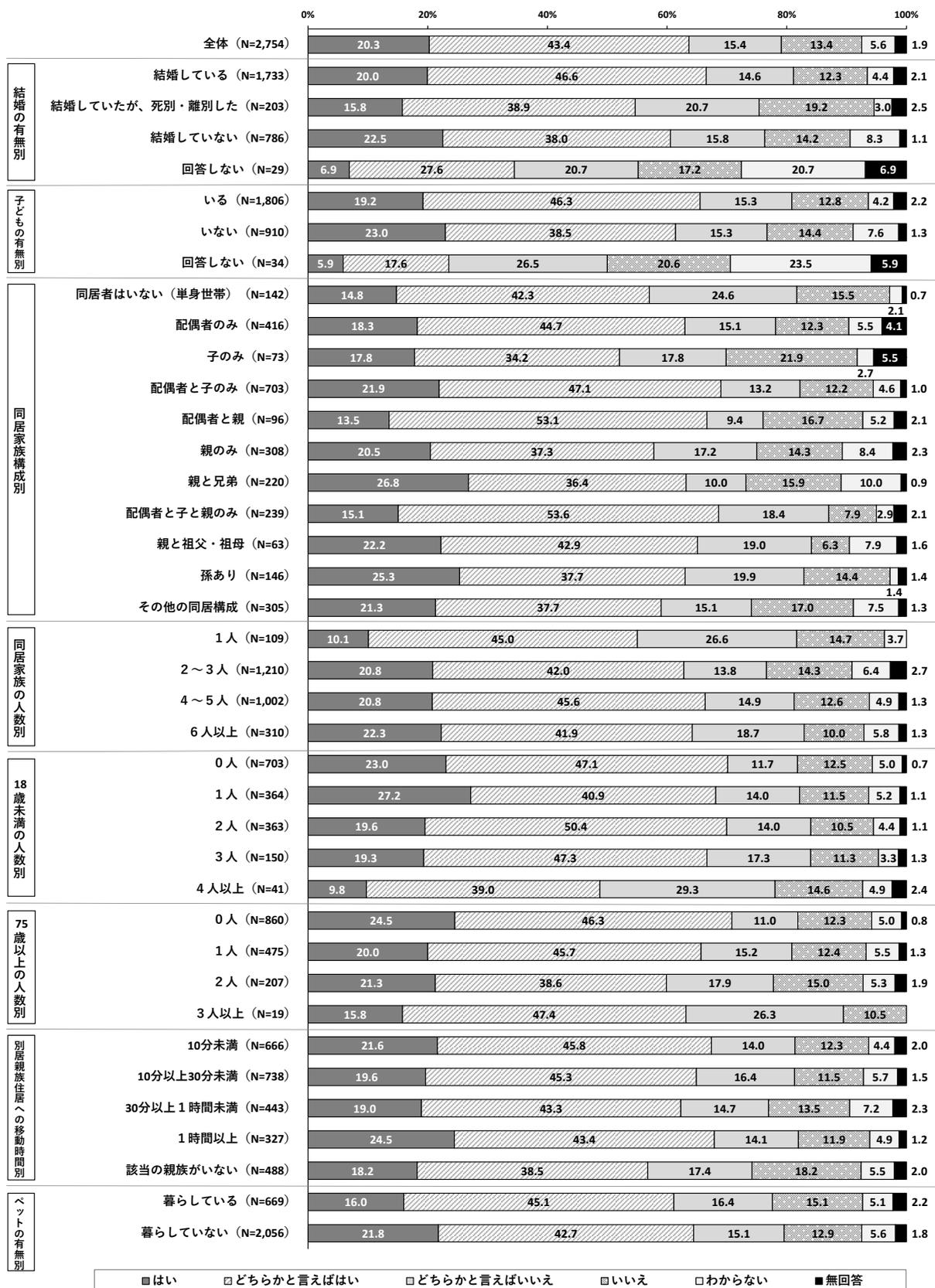
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

『はい』は、「該当の親族がいない」以外はすべてが6割を超えている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、『はい』は「暮らしていない」の方が3.3ポイント高い。

図表 6-3-2 日々の生活に必要な所得や資産がある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」と「正規従業員・職員」では『はい』が7割を超えている。一方、「無職」では『はい』が48.7%、『いいえ』が40.8%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」と「公務」では『はい』が8割を超えている。また、「農林漁業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が7割を超えている。

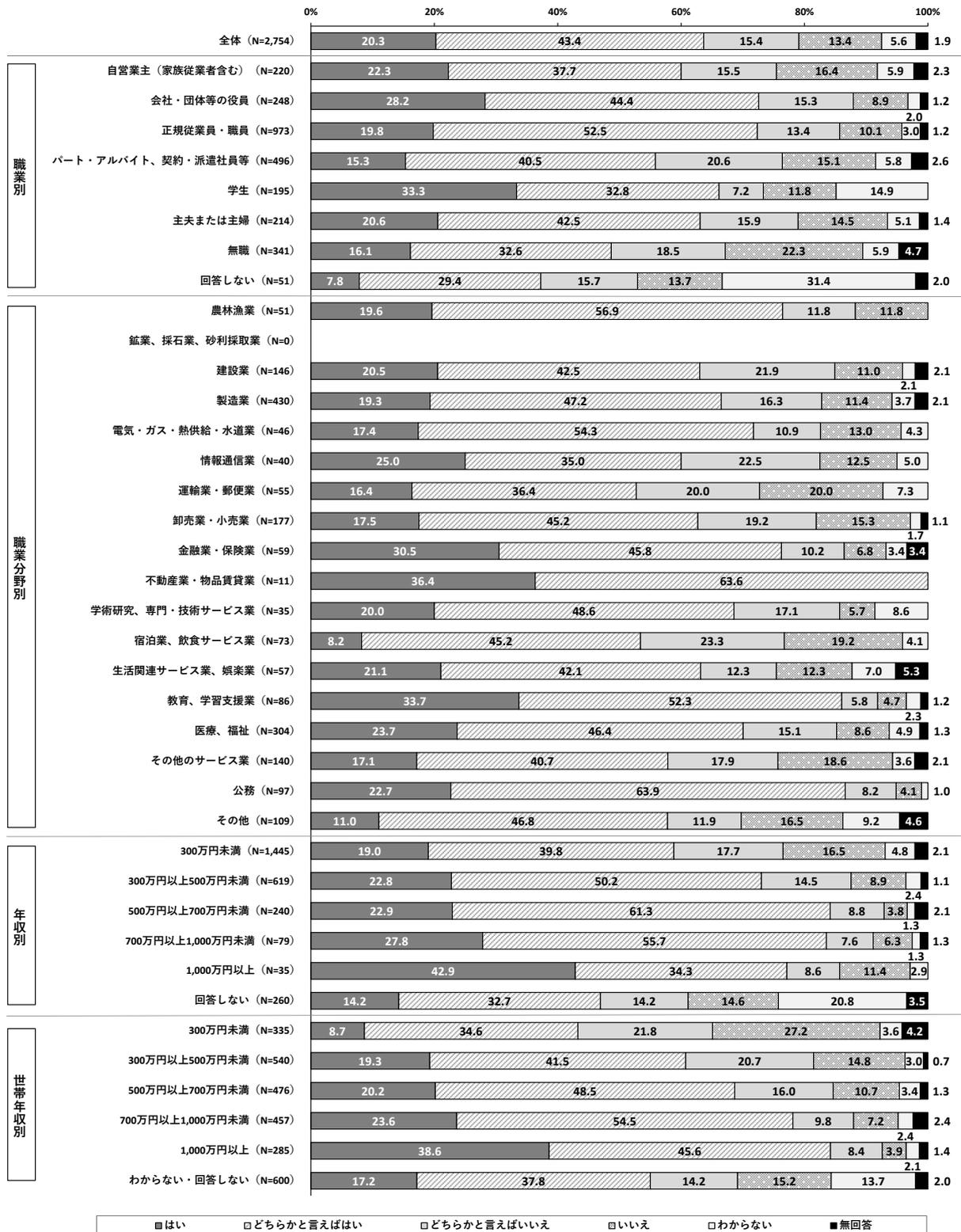
(6) - 3 年収別

「500万円以上700万円未満」と「700万円以上1,000万円未満」では『はい』が8割を超えている。一方、「300万円未満」では『はい』が58.8%と、他と比較して低い。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では84.2%を占めている。一方、「300万円未満」では『いいえ』が49.0%を占めている。

図表 6-3-3 日々の生活に必要な所得や資産がある。(職業・年収別)



問6-4 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が58.2%、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が38.4%であった。

(2) 年齢別

29歳以下では『はい』が6割を超えており、「18、19歳」では76.6%を占めている。一方、30歳以上では50%台となっている。「50～59歳」では、『いいえ』が41.2%を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差はないものの、『はい』は「男性」よりも「女性」の方が2.9ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「高岡・射水地域」と「砺波地域」では『はい』が6割を超えている。「新川地域」と「富山地域」では『いいえ』が40%前後と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が58.5%となっている。一方、「一戸建て（借家）」と「アパート等集合住宅（借家）」では『いいえ』が50%以上となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が64.8%と、他の居住地域環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られないが、『はい』は「富山県外」の方が2.6ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」と「10年以上20年未満」では『はい』が6割を超えている。

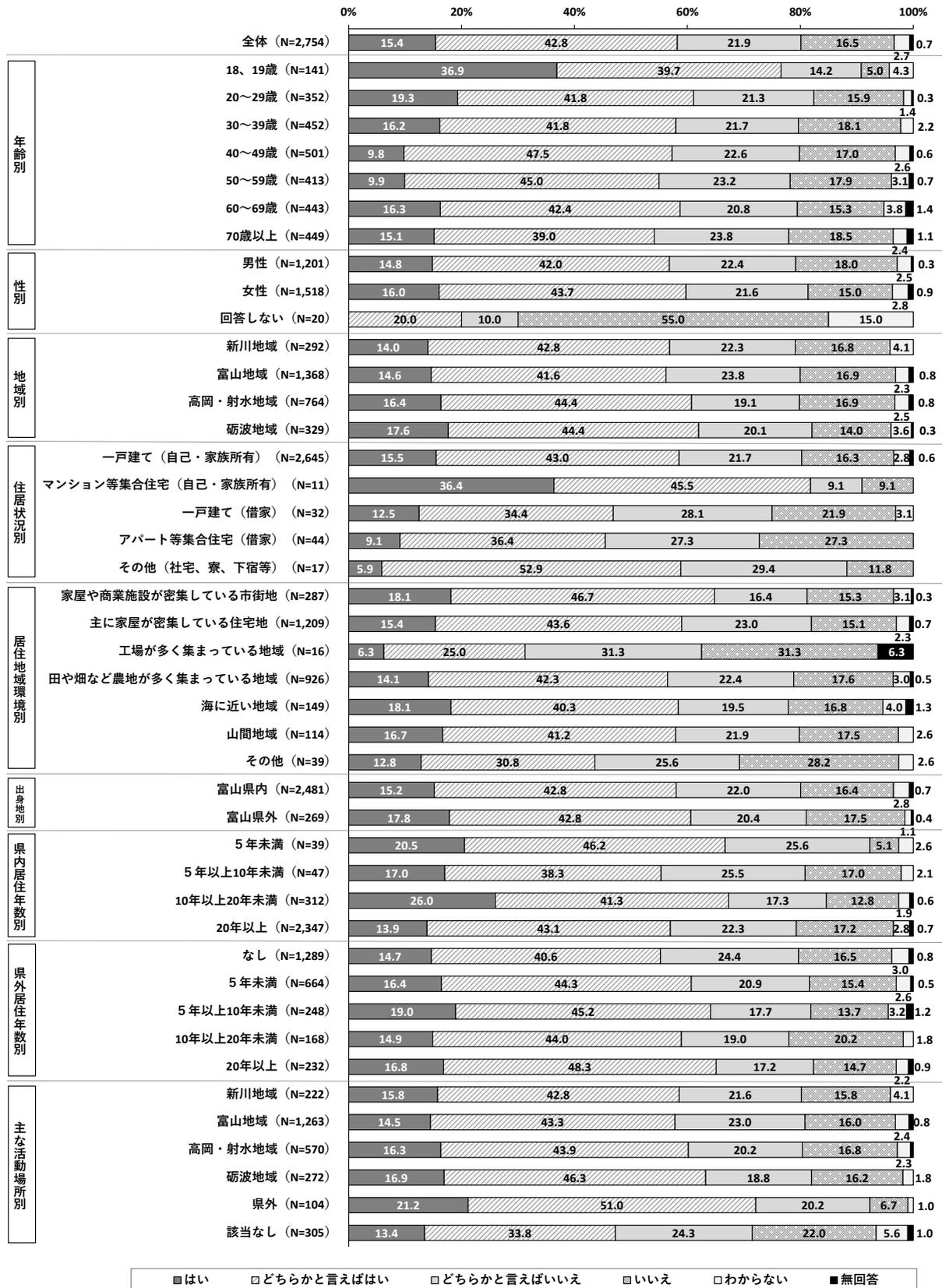
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「なし」では『はい』が55.2%と、他と比較して低い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が72.1%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が47.2%、『いいえ』が46.2%となっている。

図表 6-4-1 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。



■はい □どちらかと言えばいい □どちらかと言えばいい □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が46.8%と他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が60.5%と、「いる」よりも3.0ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と祖父・祖母」では『はい』が73.0%を占め、他と比較して高い。一方、「子のみ」では『いいえ』が50.7%を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

同居家族の人数が多いと、『はい』が高くなる傾向にある。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

3人以下では『はい』が6割を超えている。一方、「4人以上」では『いいえ』が53.7%を占めている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」では『はい』が62.8%と、他と比較して若干高い。

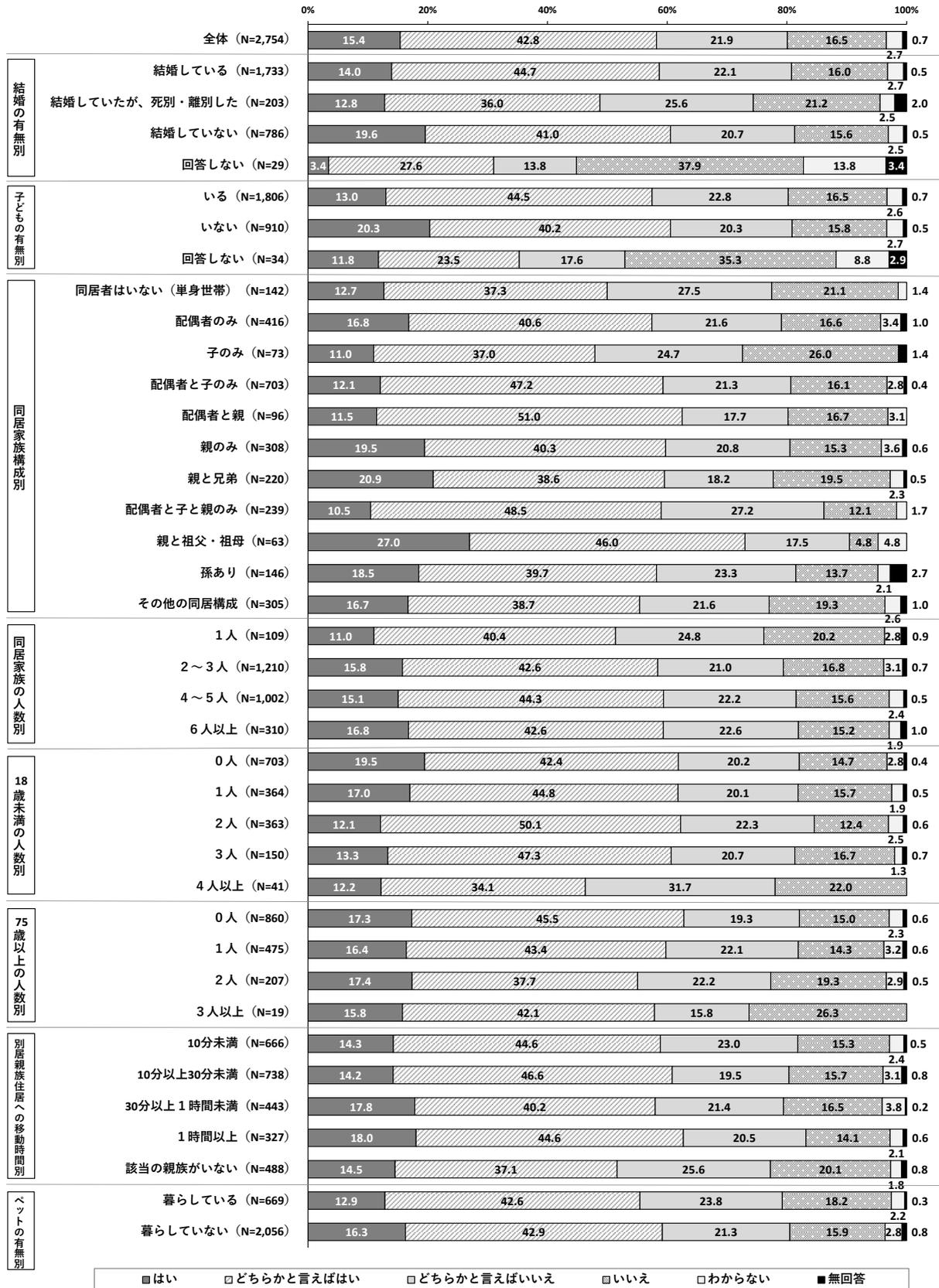
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「10分以上30分未満」と「1時間以上」では『はい』が6割を超えている。

(5) - 6 ペットの有無別

「暮らしていない」では『はい』が59.2%と、「暮らしている」よりも3.7ポイント高い。

図表 6-4-2 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。
(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が75.9%を占めている。一方、「無職」では『いいえ』が51.6%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が7割を超えている。一方、「情報通信業」「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が他の職業分野よりも低くなっている。

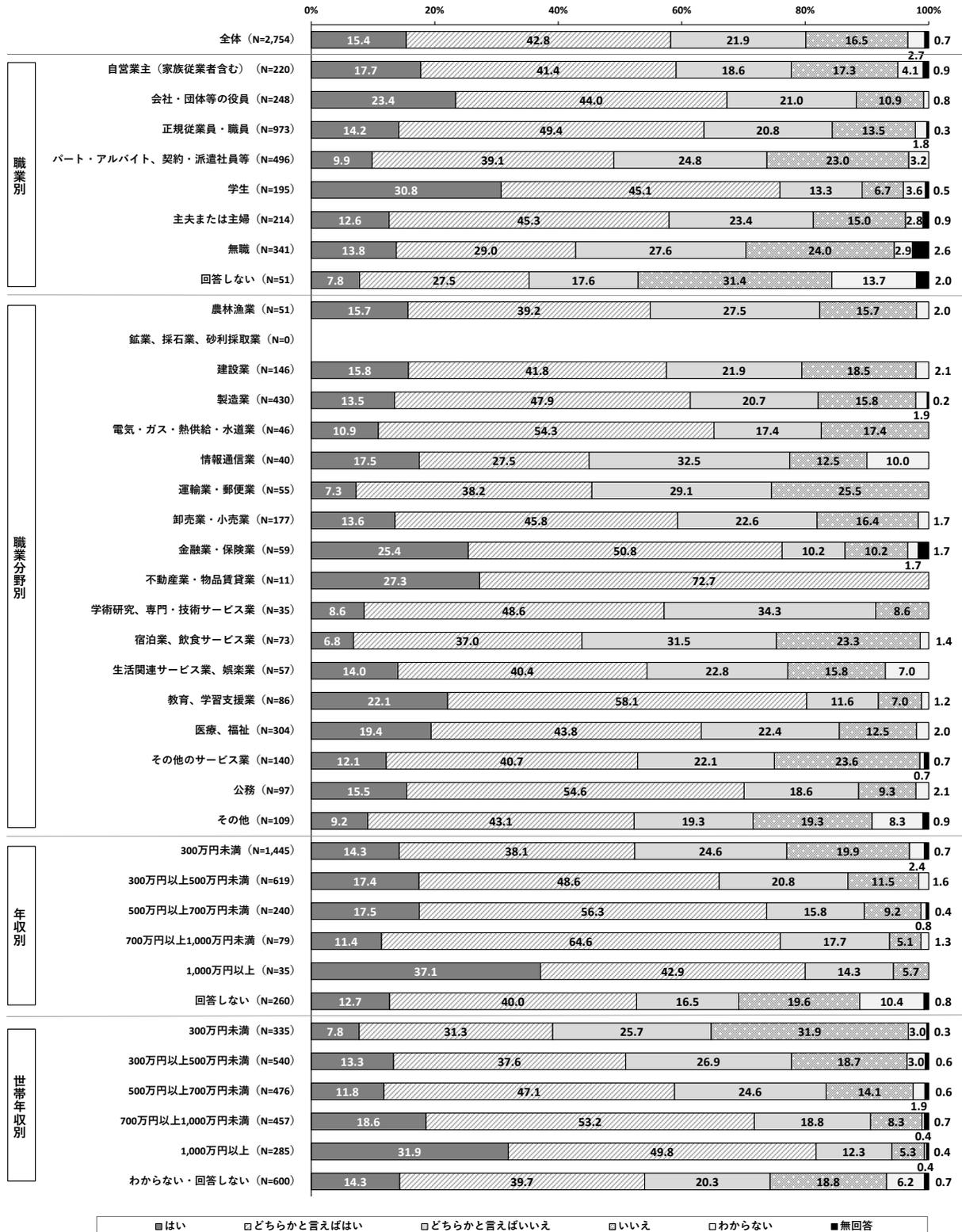
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、500万円以上では7割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、700万円以上では7割を超えている。一方、「300万円未満」では『いいえ』が57.6%を占めている。

図表 6-4-3 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。
(職業・年収別)



問6-5 住まいは快適で、安全・安心であると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が79.0%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は18.3%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超えている。また、「18、19歳」では「はい」が71.6%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えており、「高岡・射水地域」では81.0%を占めている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が79.5%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」と「主に家屋が密集している住宅地」では『はい』が8割を超えている。一方、「山間地域」では61.4%となっている。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」と「10年以上20年未満」では『はい』が8割を超えている。なかでも、「10年以上20年未満」では、「はい」が54.8%と高い割合を占めている。

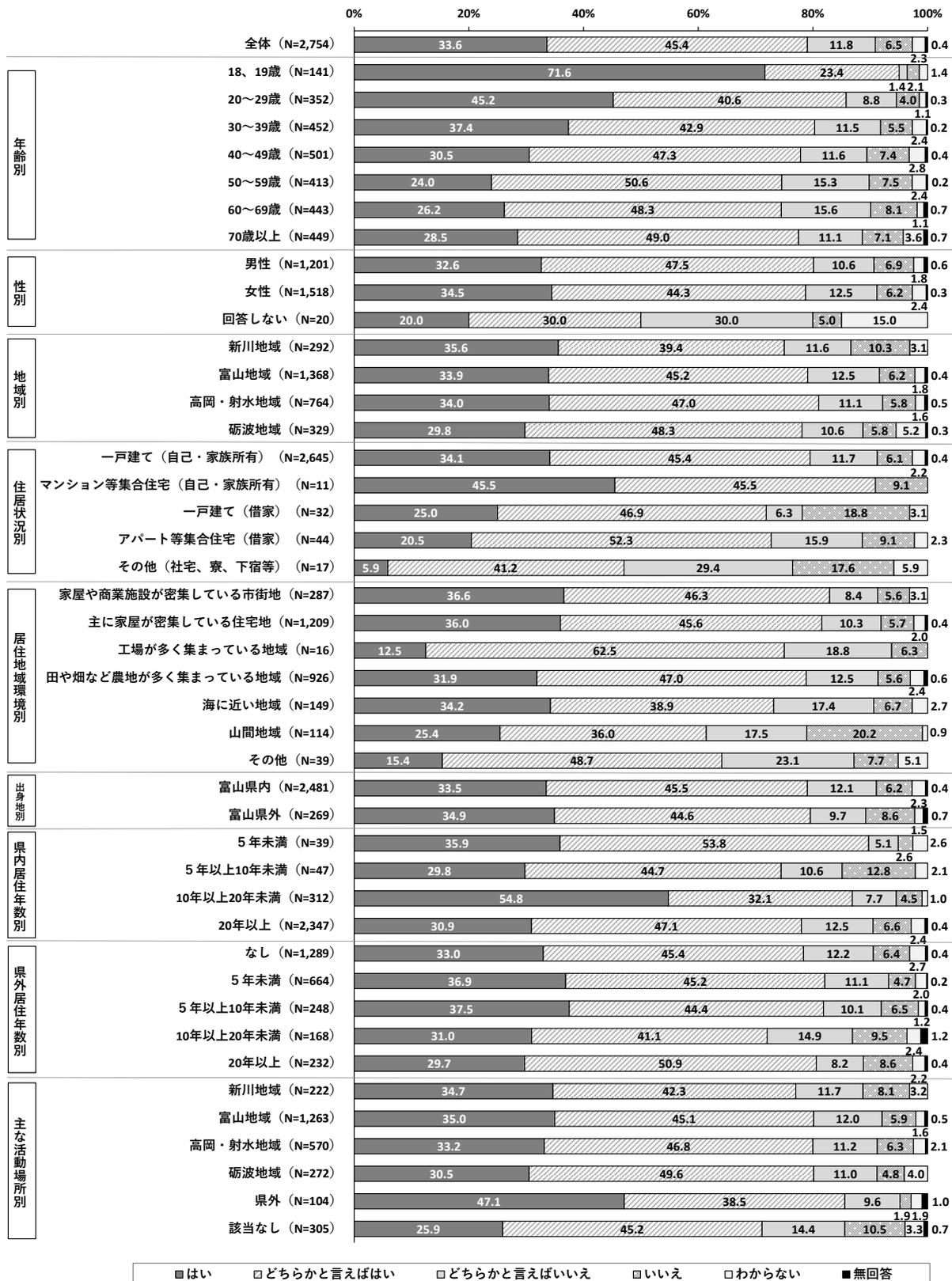
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「5年未満」「5年以上10年未満」「20年以上」では『はい』が8割を超えている。

(4) - 6 主な活動場所別

「新川地域」を除くすべての地域で『はい』が8割以上となっている。特に、「県外」では「はい」が47.1%と、他の地域と比較して高い割合を占めている。

図表 6-5-1 住まいは快適で、安全・安心であると感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が81.8%と、他よりも若干高い。また、「結婚していない」では「はい」が40.8%と高い割合を占めている。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が24.1%と、他と比較して若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないが、「はい」は子どもが「いる」よりも「いない」の方が9.3ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（単身世帯）」を除くすべてで『はい』が7割を超えている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では『いいえ』が31.0%と、他と比べて若干高くなっている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

同居家族の人数が多いと、『はい』が高くなる傾向にあり、4人以上では8割を超えている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

どの人数でも『はい』が7割を超えており、1人～3人では8割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

人数が少ないと『はい』が高くなる傾向にある。一方で、「はい」は「0人」が最も高いものの、1人以上は人数が多くなるほど高くなる傾向にある。

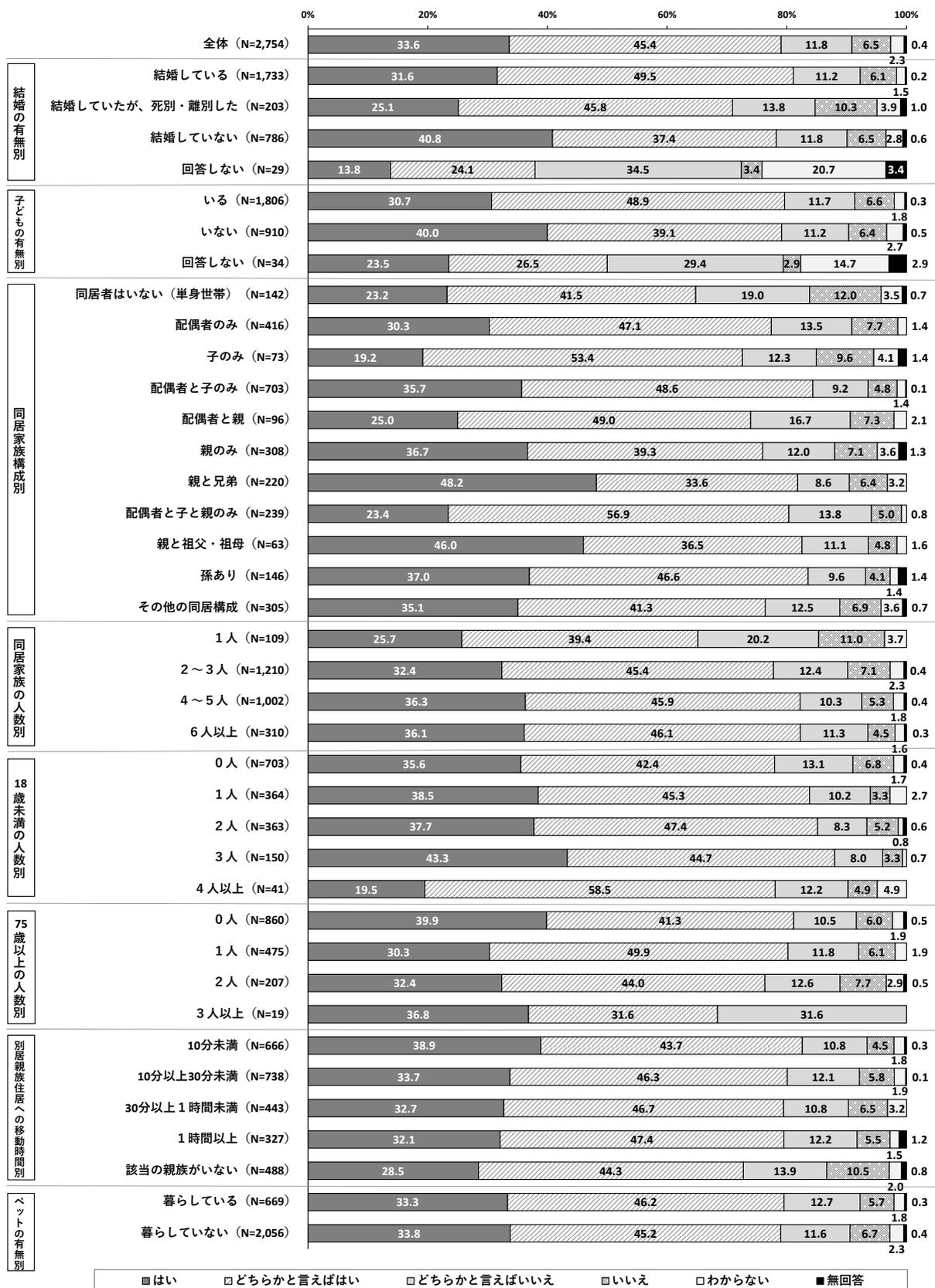
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「該当の親族がいらない」は、他と比べて『はい』が低い。移動時間では大きな差が見られない。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-5-2 住まいは快適で、安全・安心であると感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が92.8%（うち「はい」が66.7%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が70.1%、『いいえ』が24.9%となっている。

(6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が7割を超えている。「教育、学習支援業」では「はい」が53.5%と高い割合を占めている。

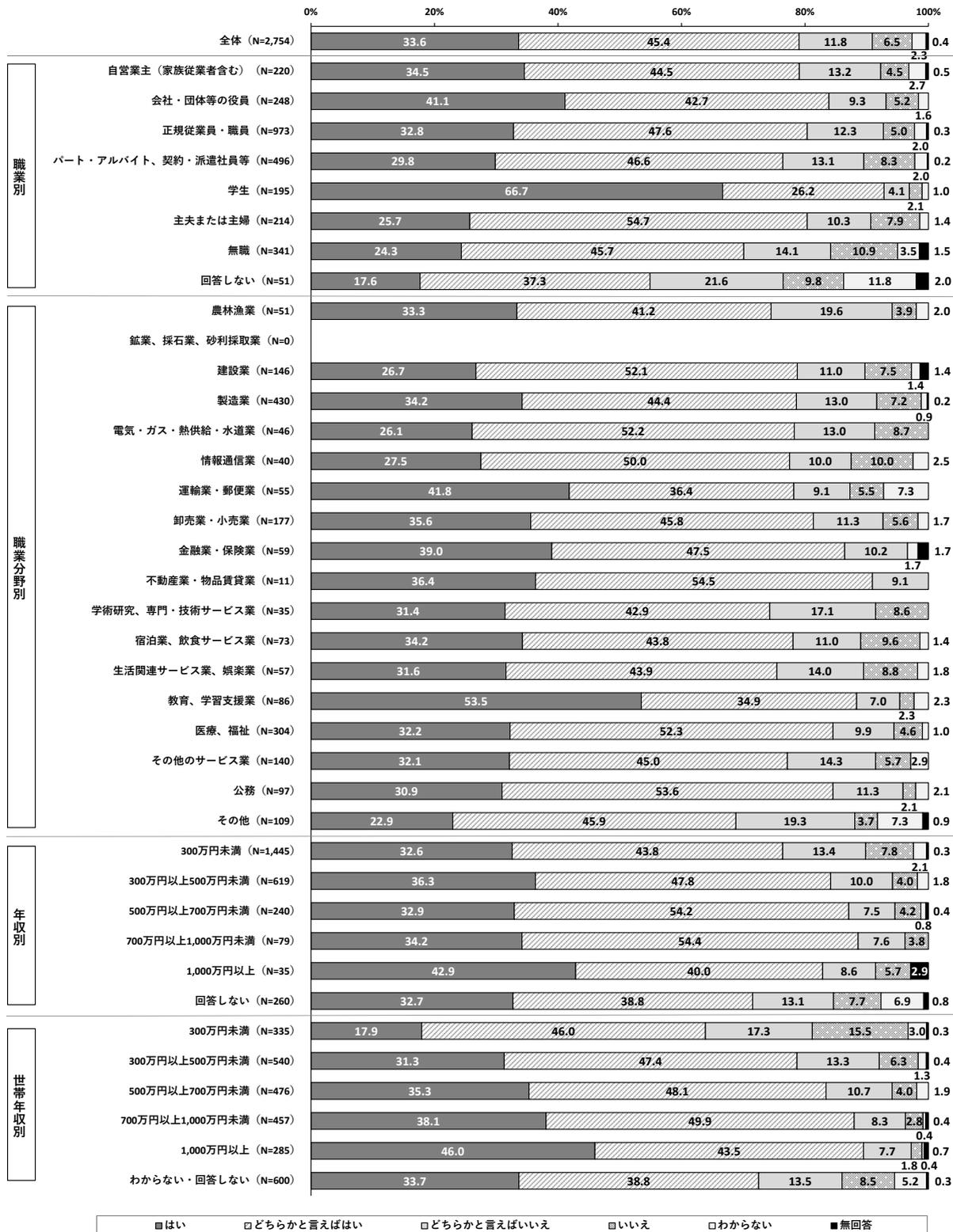
(6) - 3 年収別

「300万円未満」「回答しない」を除くすべての年収で『はい』が8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、500万円以上では『はい』が8割を超えている。

図表 6-5-3 住まいは快適で、安全・安心であると感じている。(職業・年収別)



問6-6 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が65.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が29.1%であった。

（2）年齢別

すべての年代で『はい』が6割を超えている。特に、「18、19歳」では『はい』が83.0%と、他の年代と比べ高い割合を占めている。

（3）性別

男女間での差はあまり見られない。

（4）-1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えている。「高岡・射水地域」では「はい」が21.1%と、他の地域よりも若干高くなっている。

（4）-2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が65.9%となっている。

（4）-3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が71.8%と、他の居住地域環境よりも若干高い。

（4）-4 出身地別

出身地による大きな差は見られないものの、『はい』は「富山県外」の方が3.0ポイント高い。

（4）-5-① 県内での居住年数別

「5年未満」では『はい』が82.1%であり、一方、「20年以上」では64.1%となっている。

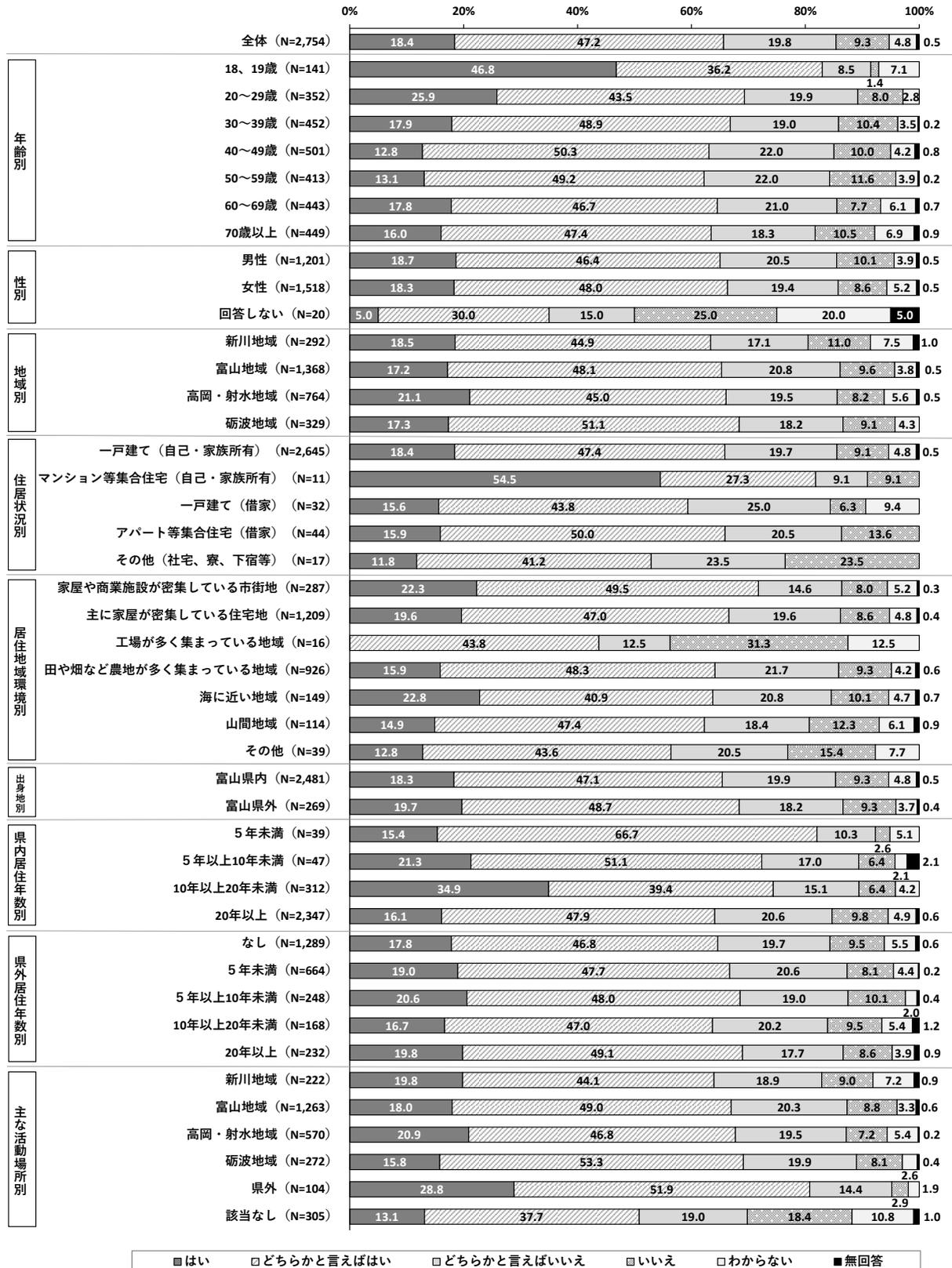
（4）-5-② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が6割を超えている。

（4）-6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が80.8%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が50.8%、『いいえ』が37.4%となっている。

図表 6-6-1 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。



■はい □どちらかと言えばいい □どちらかと言えばいい □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が56.2%で、他と比べ低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られず、『はい』が65%前後となっている。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子のみ」と「親と祖父・祖母」では『はい』が7割を超えている。一方、「子のみ」では『いいえ』が45.2%を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

2人以上では『はい』が6割を超えている。一方、「1人」では56.0%と、他と比較して若干低い。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「0人」では『はい』が66.6%と、他と比べて若干低い。人数の違いで大きな差は見られない。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

人数が多くなるほど『はい』が低くなる傾向にある。

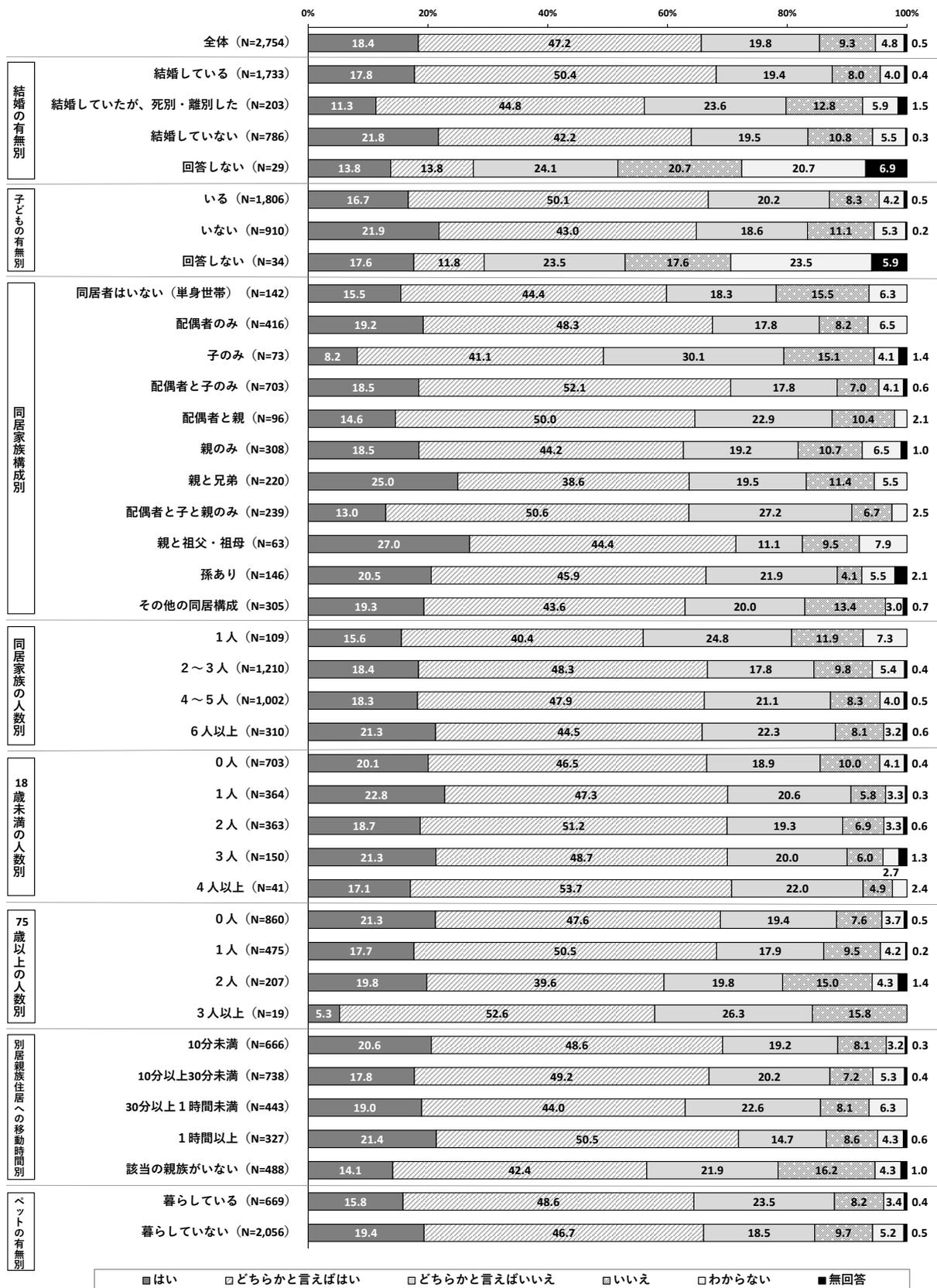
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「1時間以上」では『はい』が7割を超え、他と比較して若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-6-2 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（家族状況別）



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が85.6%（うち「はい」が44.1%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が52.2%、『いいえ』が37.5%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では『はい』が8割を超えており、他の職業分野と比較して高い。

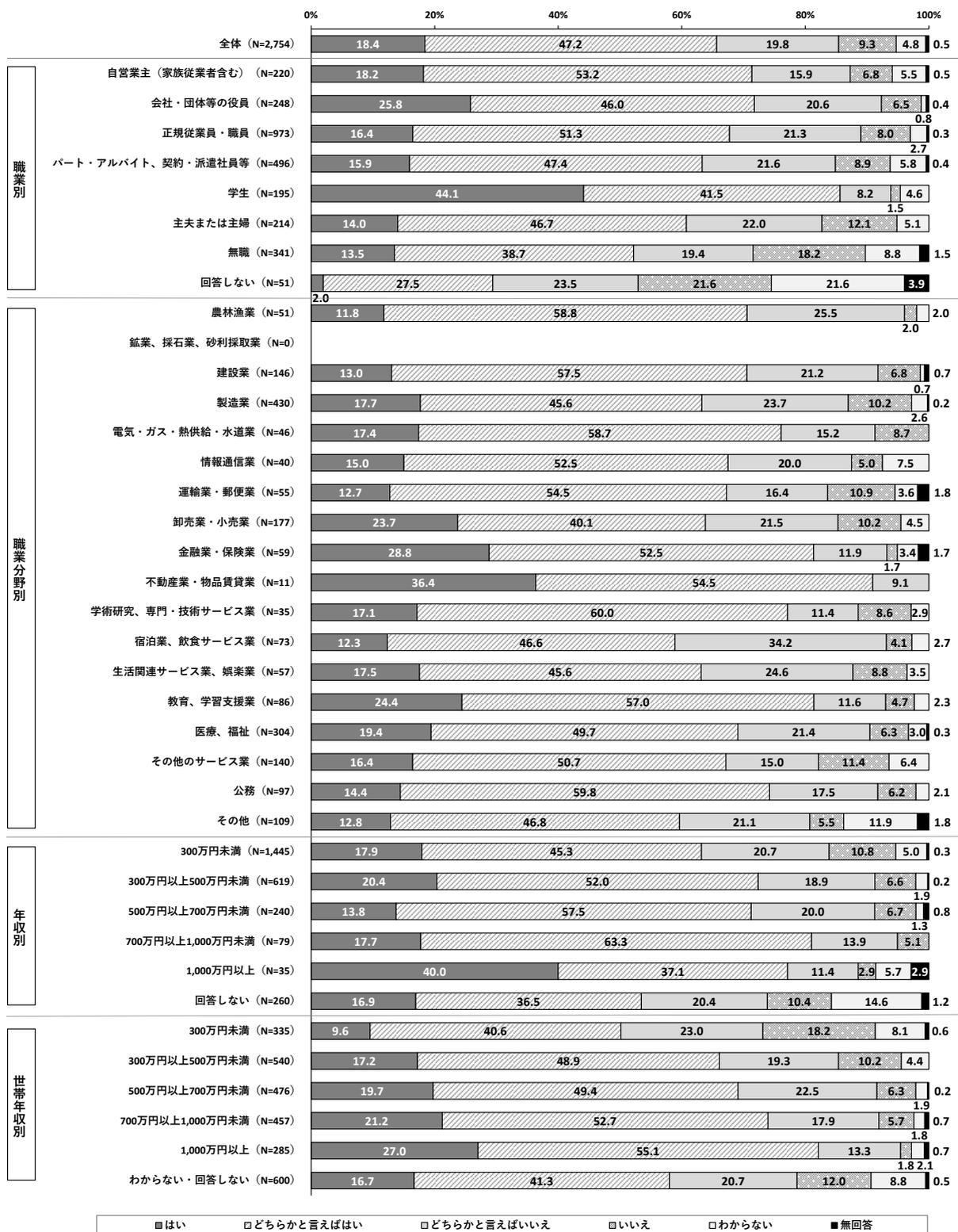
(6) - 3 年収別

年収300万円以上では『はい』が7割を超えている。「1,000万円以上」では「はい」が40.0%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では82.1%を占めている。

図表 6-6-3 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（職業・年収別）



問6-7 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が79.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は15.4%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超え、30歳代以下では8割を超えている。また、「18、19歳」では「はい」が59.6%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が4.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」では他の地域よりも若干高く80%前後となっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が79.3%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が84.0%と、他の居住地環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が80%程度であるが、「はい」は「富山県外」の方が3.9ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」と「10年以上20年未満」では『はい』が8割を超えている。

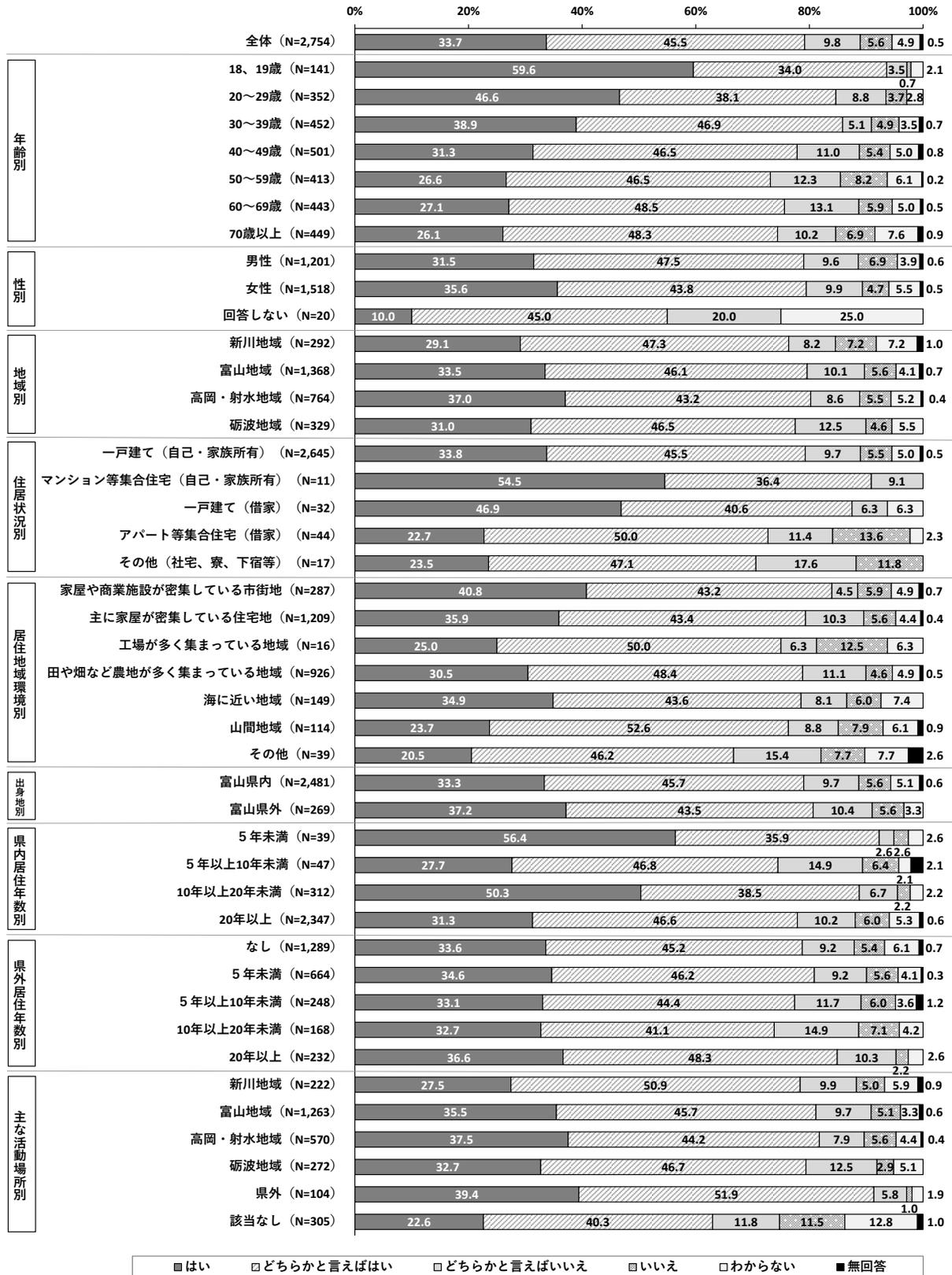
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超え、特に「5年未満」と「20年以上」では8割を超えている。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が91.3%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が63.0%となっている。

図表 6-7-1 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。



■ はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が81.7%となっている。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が26.1%と、他と比較して若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られず、『はい』が約80%となっている。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（単身世帯）」を除くすべてで『はい』が7割を超えている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では『いいえ』が37.3%を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

同居家族の人数が多くなるほど、『はい』が高くなる傾向にあり、「6人以上」では83.9%を占めている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「0人」を除くすべての人数で『はい』が8割を超えている。「3人」では「はい」が44.7%を占めている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が7割を超えており、「0人」では83.5%を占めている。

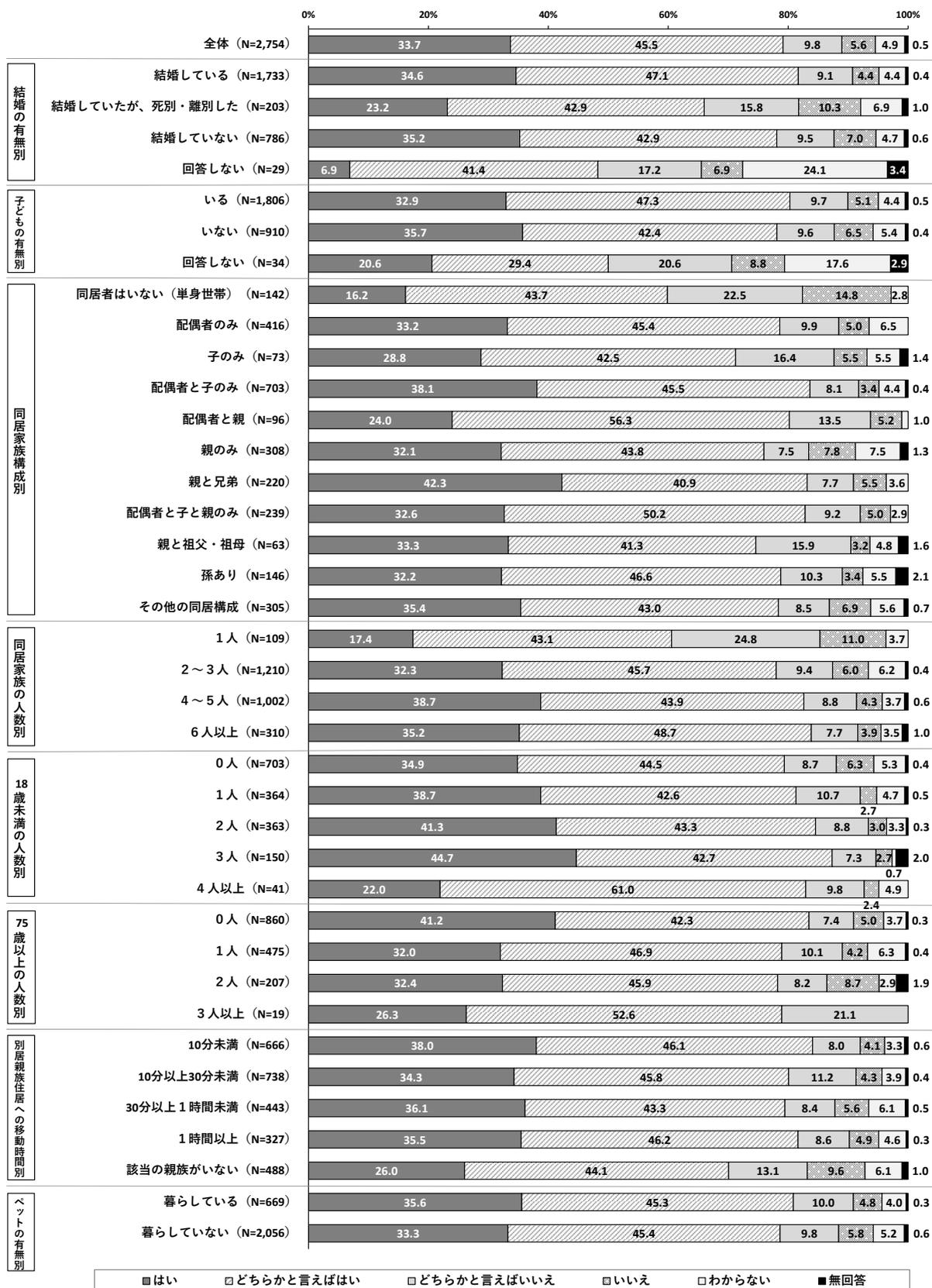
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

すべてで『はい』が7割を超えている。「10分未満」では84.1%を占め、他よりも若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られず、『はい』が80%前後となっている。

図表 6-7-2 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が93.8%（うち「はい」が60.0%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が65.4%、『いいえ』が24.9%となっている。

(6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が7割を超えている。「金融業・保険業」「教育、学習支援業」では「はい」が4割を超え、他の職業分野よりも高い。

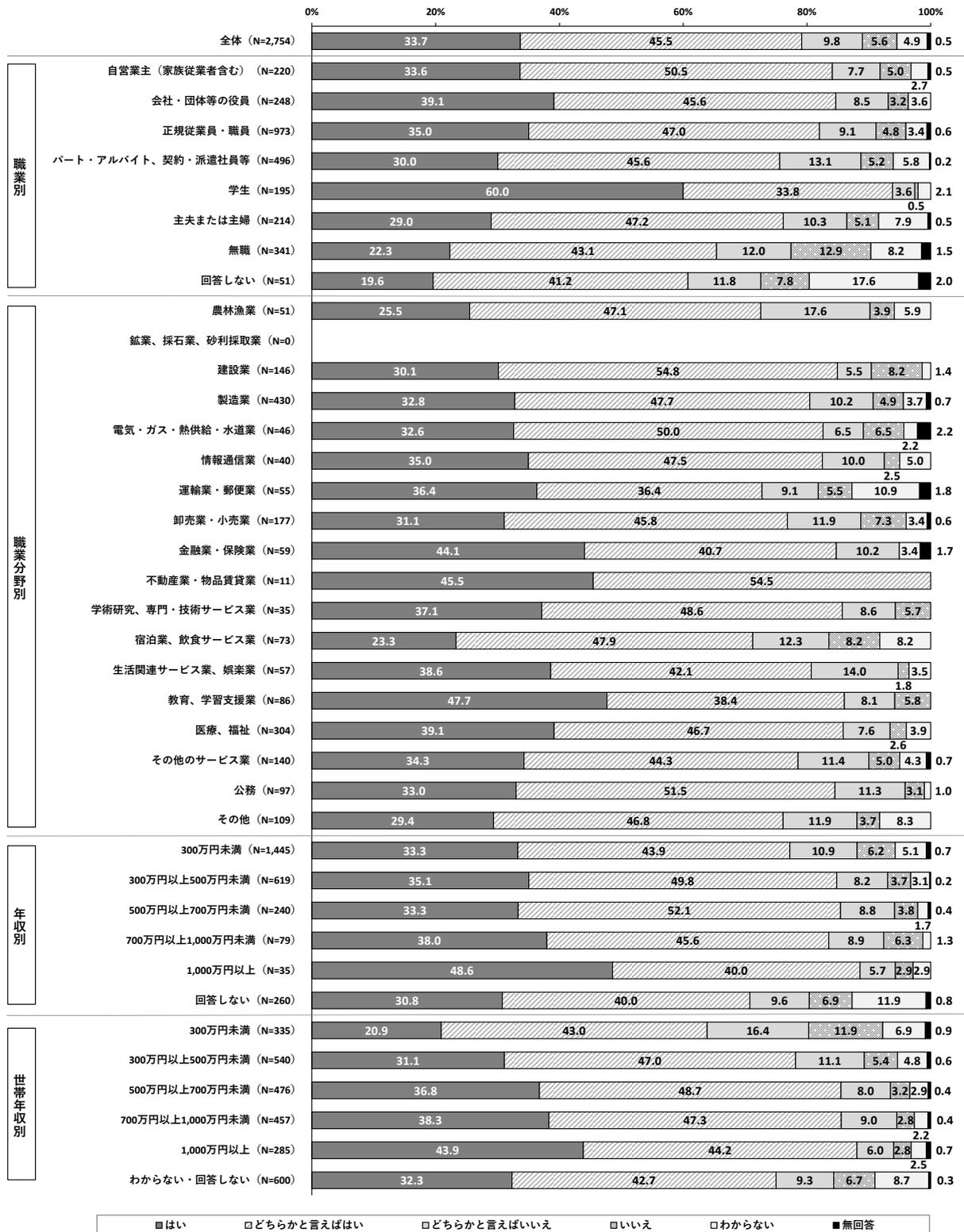
(6) - 3 年収別

年収300万円以上で『はい』が8割を超えている。「1,000万円以上」では「はい」が48.6%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では88.1%となっている。

図表 6-7-3 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。(職業・年収別)



問6-8 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が61.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が30.7%となっている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が80.9%を占めている。一方、30～59歳では50%台となっており、他の年代よりも『はい』が低い。

(3) 性別

男女間での差はあまりないものの、「はい」は「男性」より「女性」の方が4.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えており、地域間で大きな差は見られない。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が61.4%、「アパート等集合住宅（借家）」では50.0%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」「海に近い地域」「山間地域」では『はい』が約65%となっている。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が60%程度である。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」「10年以上20年未満」「20年以上」では『はい』が6割を超えている。

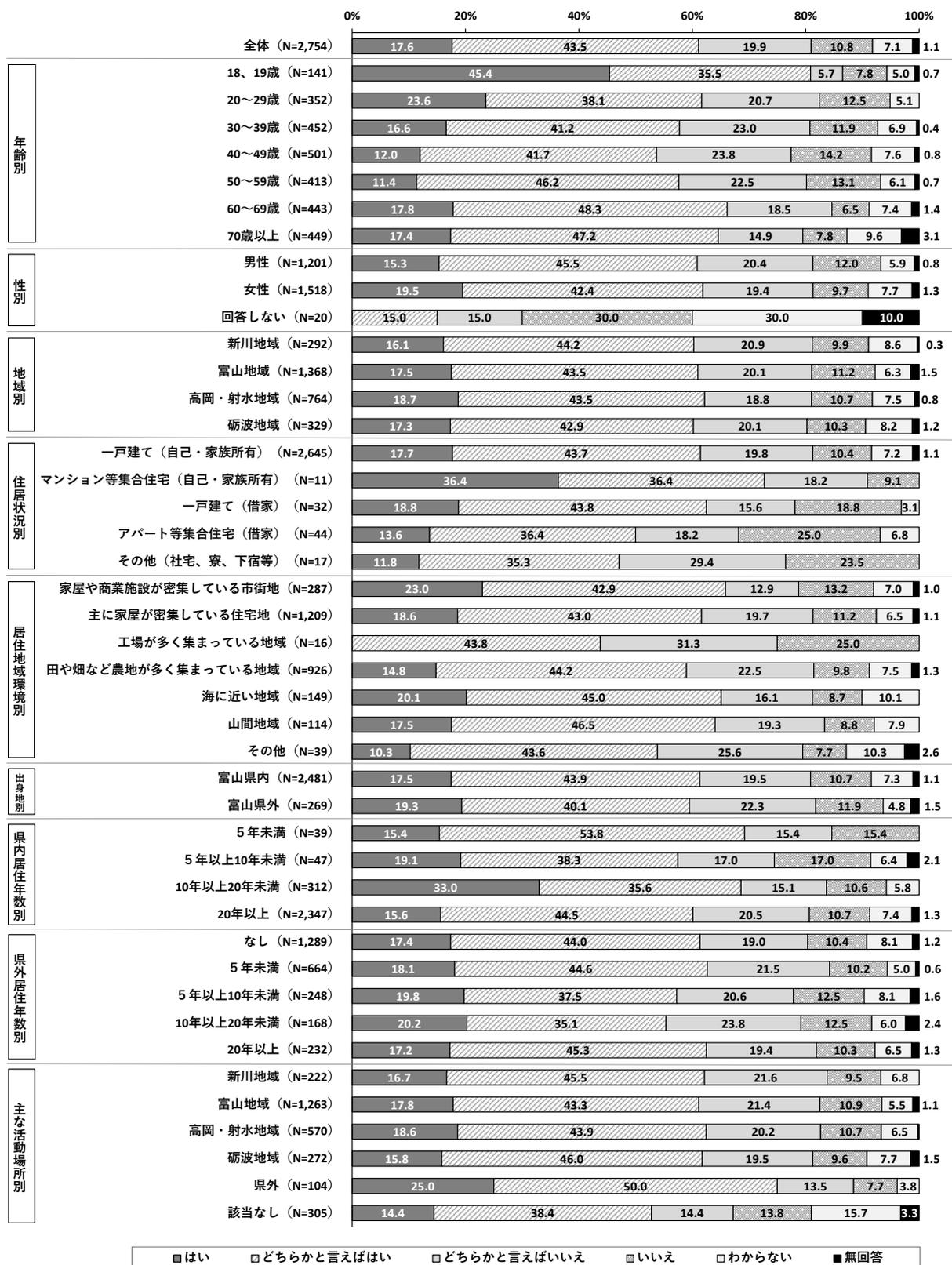
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「なし」「5年未満」「20年以上」では『はい』が6割を超えている。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が75.0%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が52.8%、『いいえ』が28.2%となっている。

図表 6-8-1 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が64.8%と、他よりも高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では「いない」よりも『はい』が7.2ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「孫あり」では『はい』が71.2%を占め、他よりも若干高い割合を占めている。一方、「同居者はいない(単身世帯)」「子のみ」「その他の同居構成」では55%以下と他よりも低くなっている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

2人以上では『はい』が6割を超えており、「6人以上」では65.2%を占めている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

0～3人では『はい』が6割を超えている。なかでも「3人」では68.7%と他よりも若干高い。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が6割を超えている。

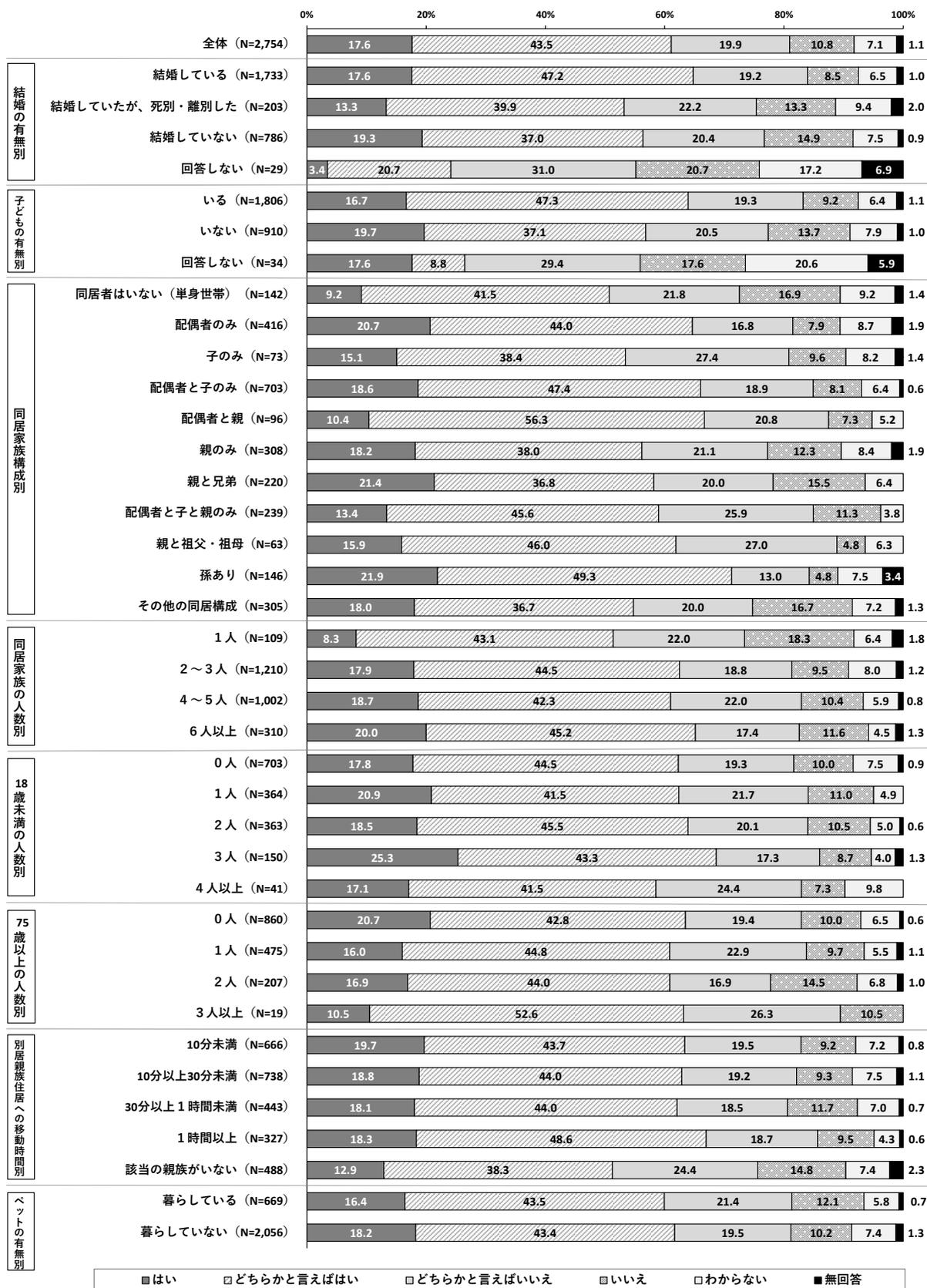
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「1時間以上」では『はい』が67.0%を占め、他よりも若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-8-2 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が82.1%（うち「はい」が43.1%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が50.1%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」で『はい』が7割を超え、他の職業分野よりも比較的高い。

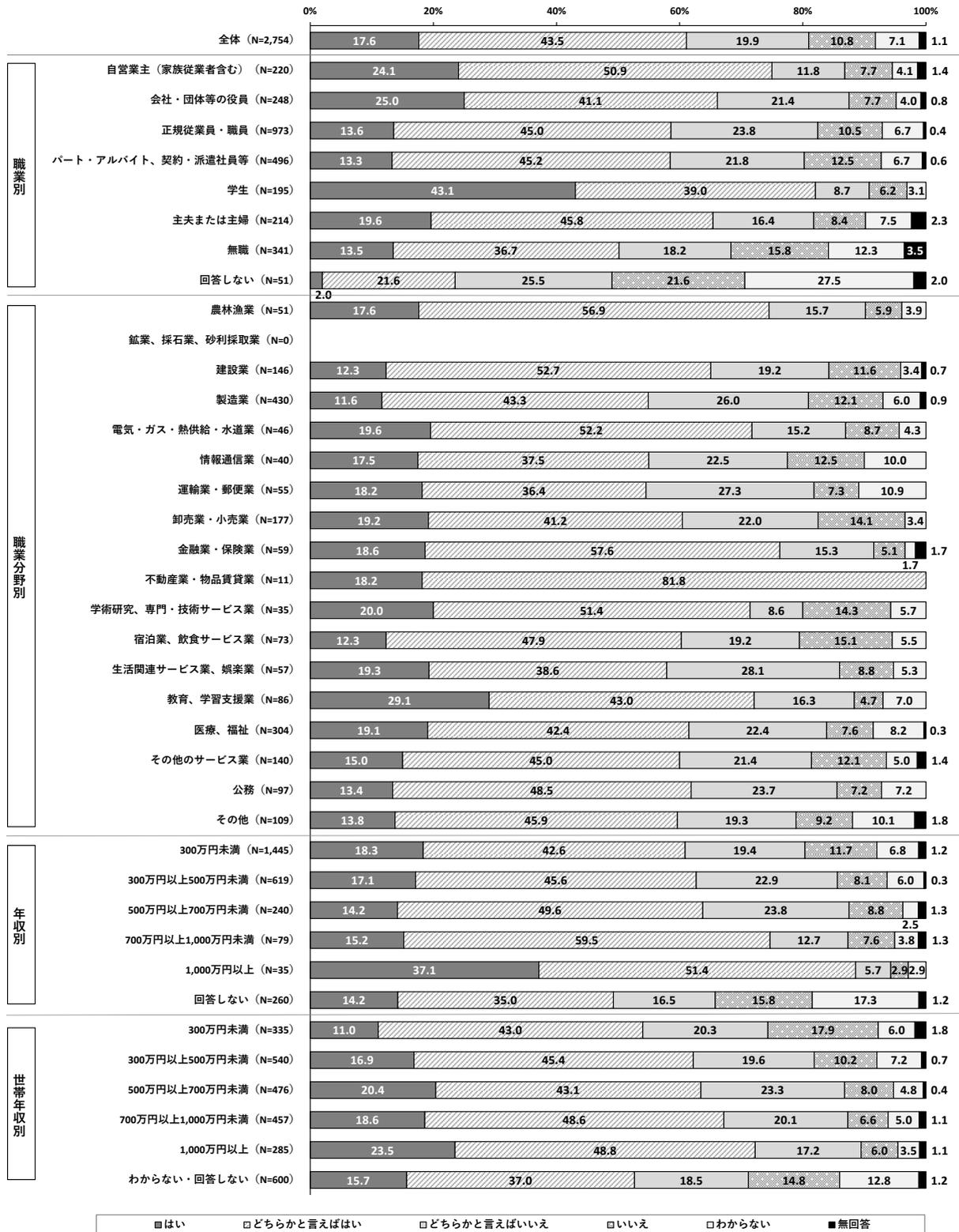
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、年収700万円以上では7割を超えている。「1,000万円以上」では「はい」が37.1%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では72.3%となっている。

図表 6-8-3 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。(職業・年収別)



問6-9 楽しい、嬉しい、面白いなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が63.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が30.5%となっている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が76.6%を占めている。一方、「50～59歳」と「70歳以上」では50%台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えており、地域間で大きな差は見られない。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（借家）」では『はい』が81.3%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」「主に家屋が密集している住宅地」「田や畑など農地が多く集まっている地域」「海に近い地域」では『はい』が6割を超えている。一方、「山間地域」では53.5%と、他の地域環境よりも若干低くなっている。

(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県外」の方が「富山県内」よりも4.3ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」では『はい』が71.8%と、他の居住年数よりも若干高い。

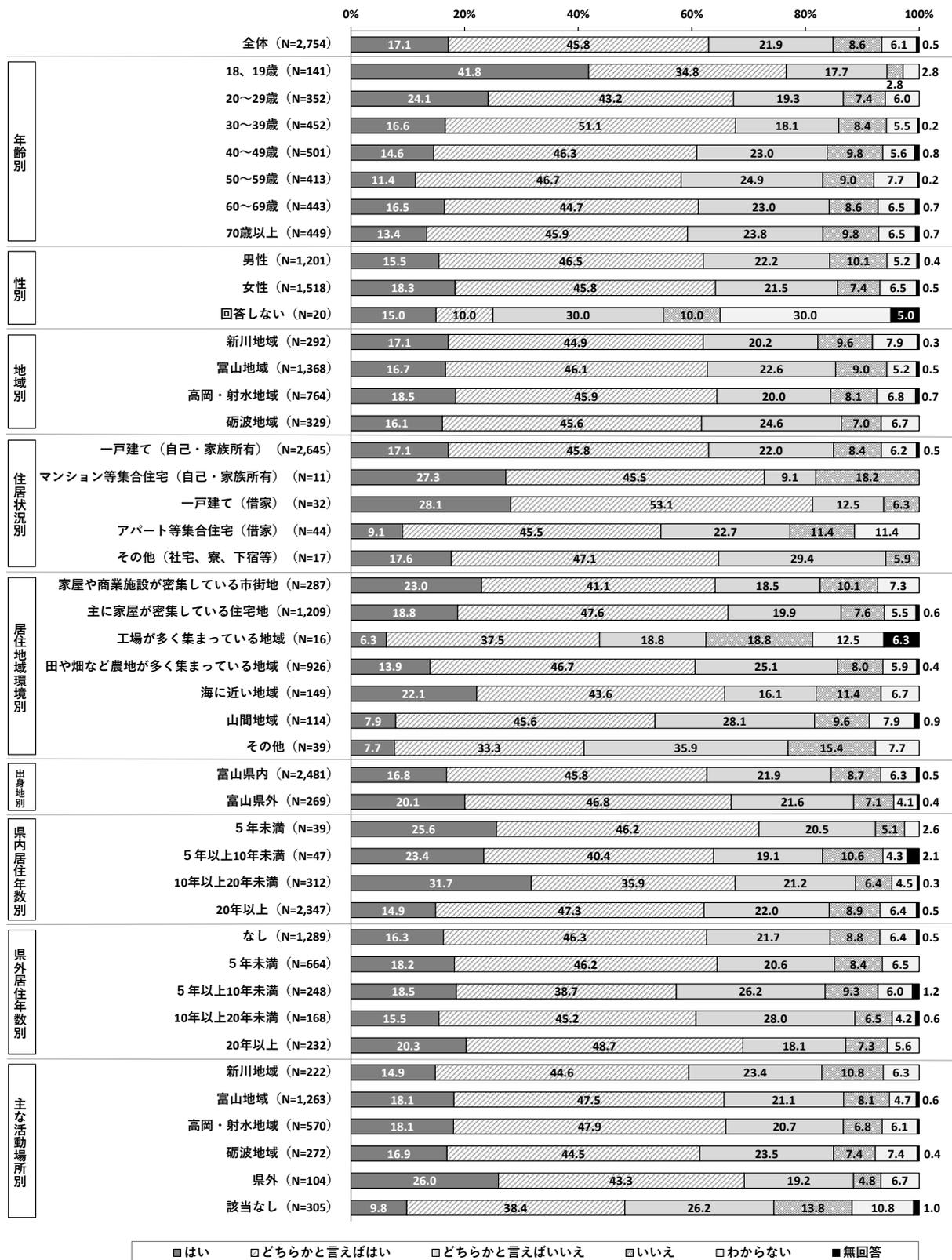
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が69.0%と、他の居住年数よりも若干高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が69.2%と、他の地域よりも若干高くなっている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が48.2%、『いいえ』が40.0%となっている。

図表 6-9-1 楽しい、嬉しい、面白いなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」と「結婚していない」では『はい』が6割を超えている。「結婚していたが、死別・離別した」では56.2%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

『はい』は、子どもが「いる」の方が「いない」よりも3.9ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と祖父・祖母」では、『はい』が71.4%を占めている。一方、「同居者はいない(単身世帯)」では『はい』が52.8%、『いいえ』が43.0%となっている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

人数が多くなるほど「はい」や『はい』の割合が高くなる傾向にある。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「3人」では『はい』が76.7%と、他よりも高い割合を占めている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」では『はい』が66.7%を占めており、他よりも若干高くなっている。

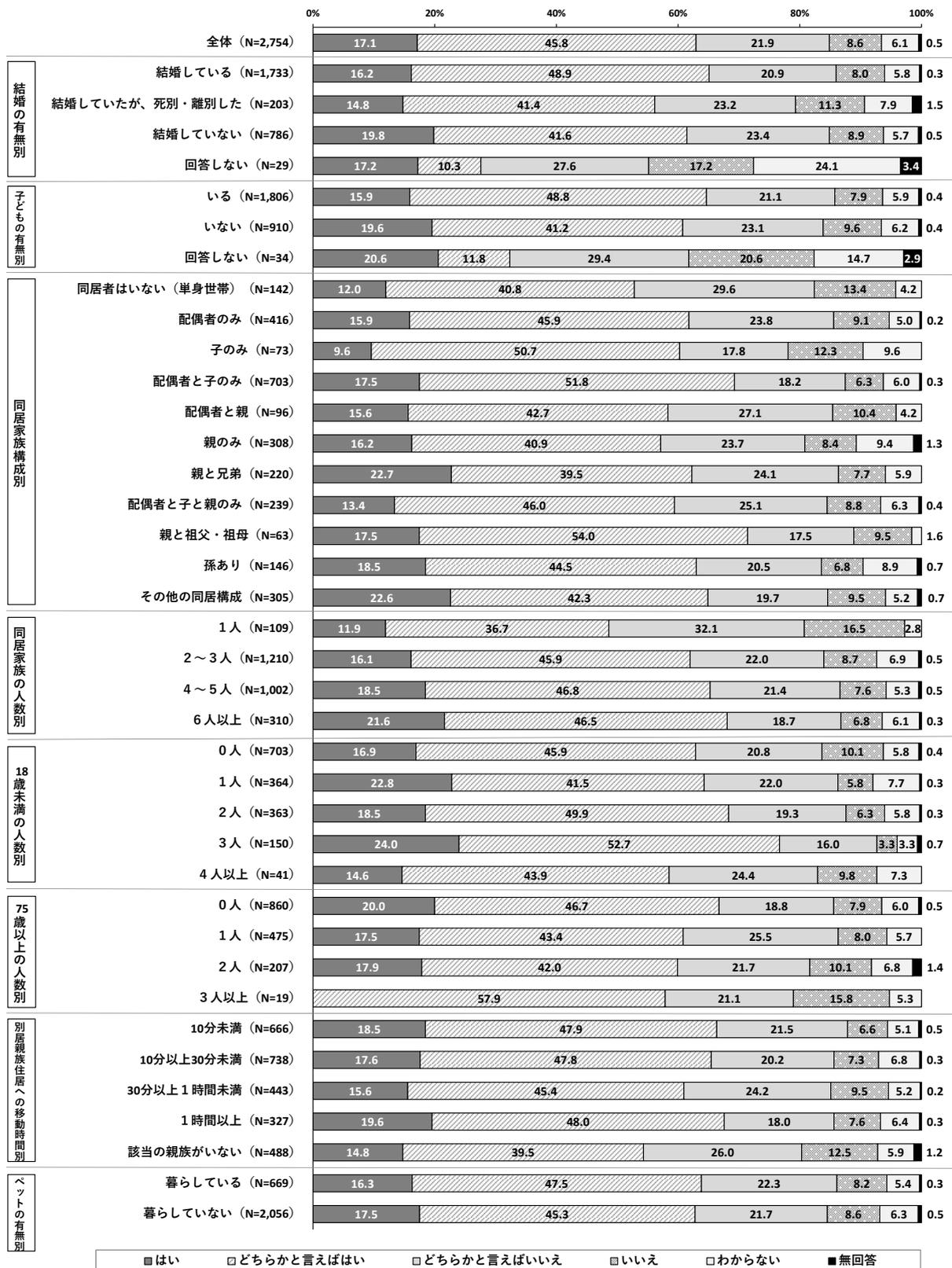
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「30分以上1時間未満」では『はい』が60.9%と、他（「該当の親族はいない」を除く）と比較して若干低い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-9-2 楽しい、嬉しい、面白いなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。
（家族状況別）



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が77.9%（うち「はい」が40.0%）と比較的高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が46.9%、『いいえ』が44.0%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が76.7%と、他の職業分野と比較して高い。

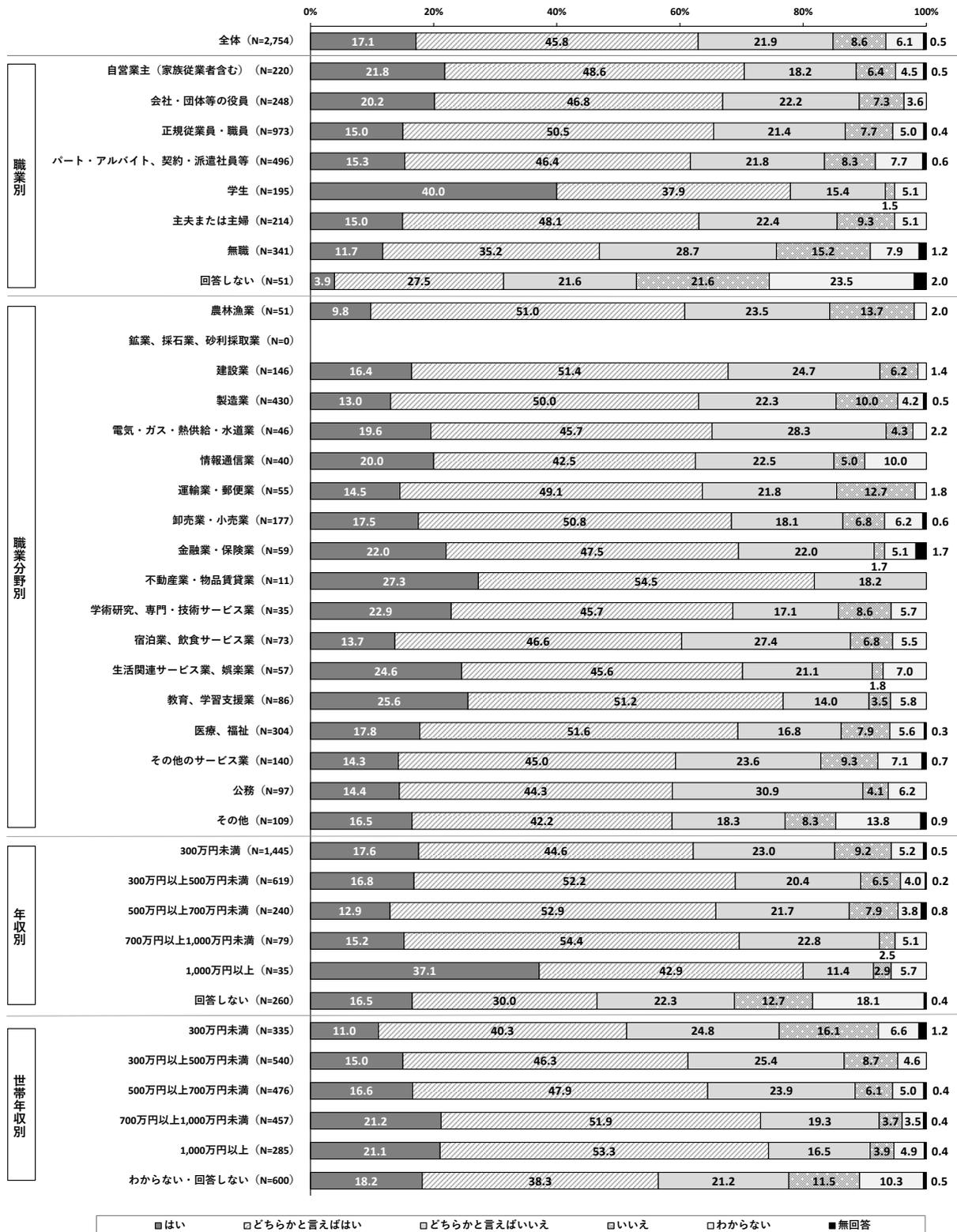
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が80.0%と比較的高く、そのうち「はい」が37.1%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、700万円以上では7割を超えている。

図表 6-9-3 楽しい、嬉しい、面白いなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。
（職業・年収別）



問6-10 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が68.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が29.3%となっている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が91.5%（うち「はい」が63.8%）と高い割合を占めている。30～49歳では『はい』が50%台となっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が7.6ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「高岡・射水地域」では『はい』が71.2%と、他の地域よりも高くなっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が68.4%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」と「海に近い地域」では『はい』が7割を超え、他の居住地域環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

『いいえ』は「富山県外」の方が3.0ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」と「10年以上20年未満」では『はい』が7割を超えている。

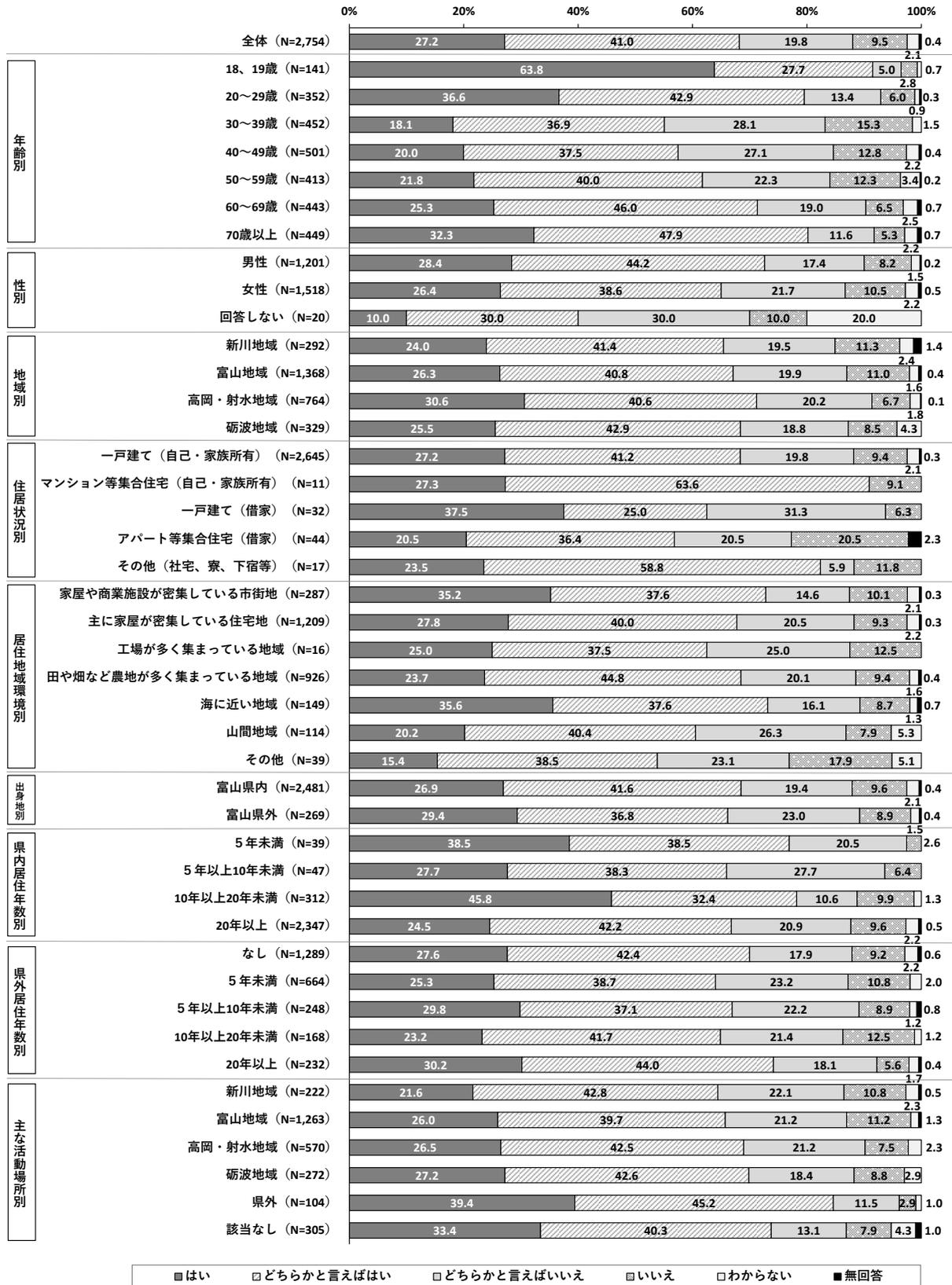
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「なし」と「20年以上」では『はい』が7割以上となっている。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が84.6%と高い割合を占めている。

図表 6-10-1 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が80.0%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」よりも「いない」の方が『はい』が15.5ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟」では『はい』が80.5%（うち「はい」が43.2%）と比較的高い割合を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「2～3人」では『はい』が72.8%と、他よりも若干高い。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「0人」では『はい』が78.9%を占めている。一方、2人以上では『いいえ』が4割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が6割を超えている。

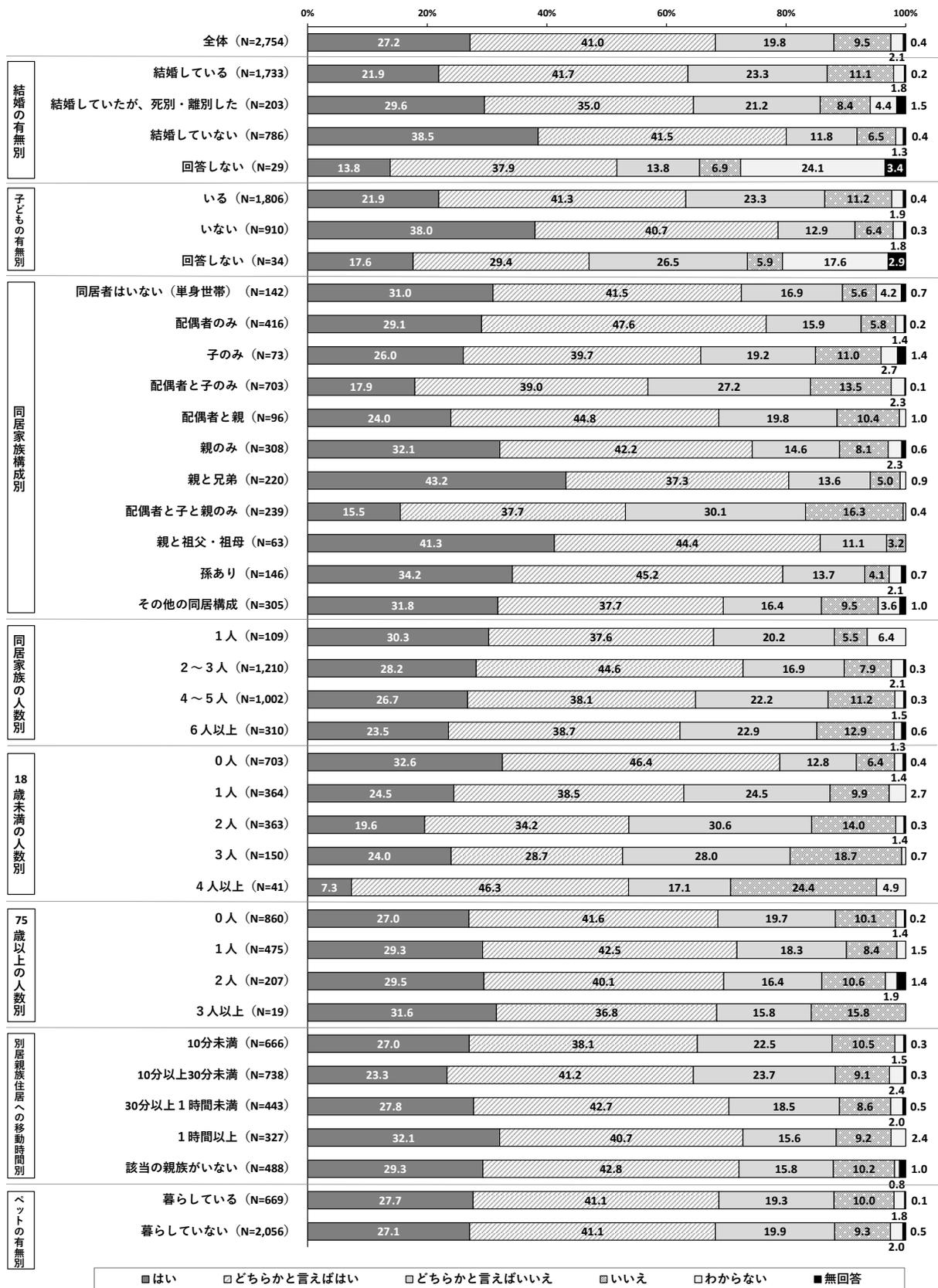
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

30分以上では『はい』が7割を超えている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-10-2 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が93.8%（うち「はい」が59.0%）と高い割合を占めている。一方、「正規従業員・職員」では『はい』が60.9%、『いいえ』が37.3%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「建設業」「運輸業・郵便業」「金融業・保険業」「生活関連サービス業、娯楽業」では、『はい』が7割を超え、他の職業分野よりも高い割合を占めている。一方、「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『いいえ』が4割を超えている。

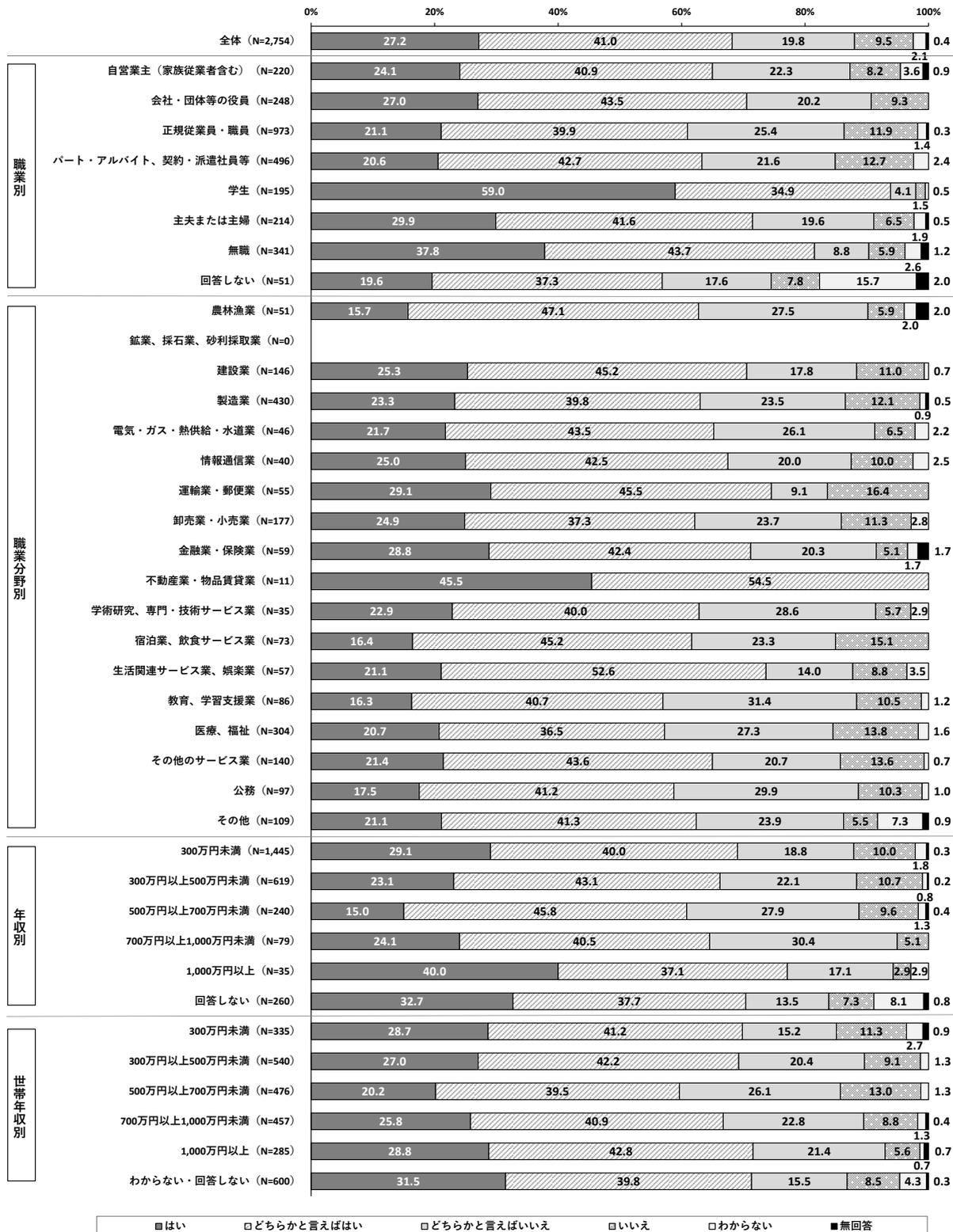
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が77.1%（うち「はい」が40.0%）と比較的高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」では『はい』が59.7%と、他と比べて低い。

図表 6-10-3 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。(職業・年収別)



問6-11 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が52.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が43.4%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が86.5%（うち「はい」が51.8%）を占め、他の年代と比べ高い割合を占めている。一方、30～59歳では『はい』が40%台であり、「40～49歳」では『いいえ』が52.3%を占めている。

(3) 性別

『はい』は「男性」が57.4%となっており、「女性」より8.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「砺波地域」では『はい』が47.7%、『いいえ』が46.2%となっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が52.7%となっている。一方、「アパート等集合住宅（借家）」では『いいえ』が50.0%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が61.3%と、他の居住地域環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が53%程度である。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「10年以上20年未満」では「はい」が38.5%と他の居住年数よりも高い。

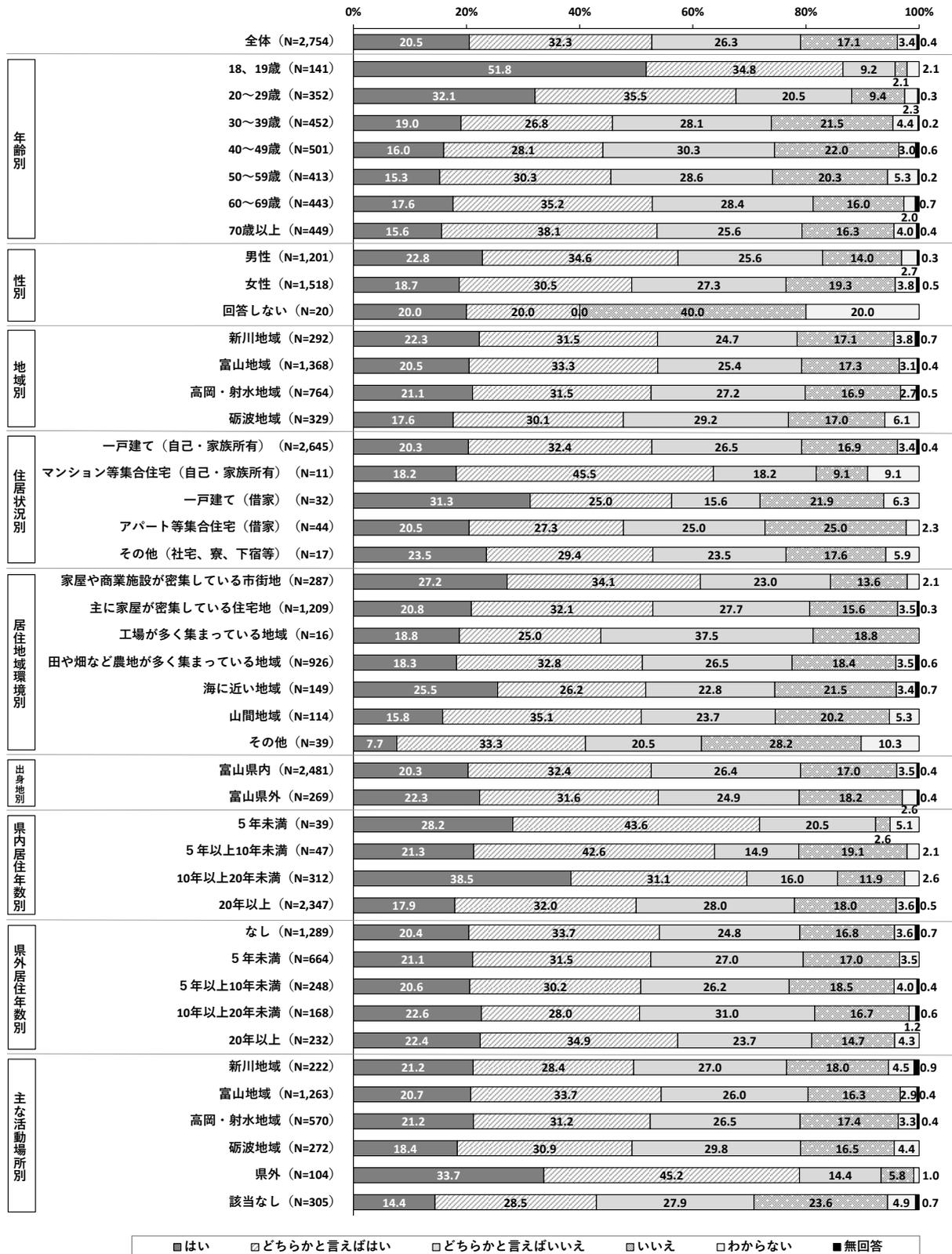
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が57.3%と他の居住年数よりも高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が78.8%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が43.0%、『いいえ』が51.5%となっている。

図表 6-11-1 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が66.9%と、他と比較して高い。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が52.2%を占めている。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が64.8%となっている。一方、子どもが「いる」では『いいえ』が49.7%となっている。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟」と「親と祖父・祖母」では『はい』が6割を超え、他よりも高い。一方、「配偶者と子と親のみ」では『いいえ』が64.4%を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

同居家族の人数が多くなるほど、『はい』が低くなり、『いいえ』が高くなる傾向にある。「6人以上」では『いいえ』が47.7%を占めている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「0人」では『はい』が61.0%となっている。18歳未満の人数が多くなるほど『いいえ』が高くなる傾向にある。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が50%台となっている。

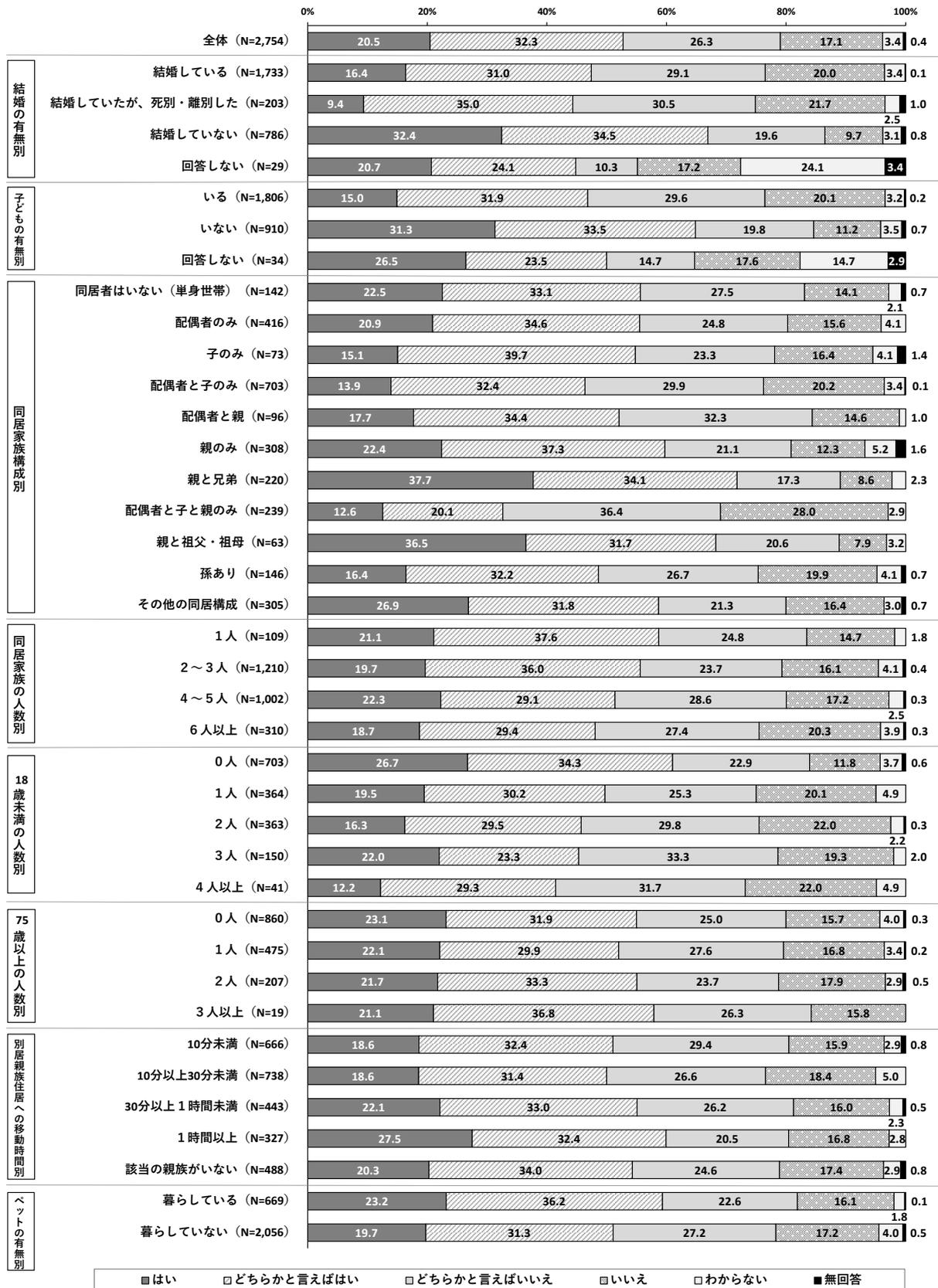
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「1時間以上」では『はい』が59.9%と、他と比較して若干高くなっている。

(5) - 6 ペットの有無別

『はい』は「暮らしている」の方が「暮らしていない」よりも8.2ポイント高い。

図表 6-11-2 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が85.6%（うち「はい」が50.8%）と高い割合を占めている。「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では、『いいえ』が50.4%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」「金融業・保険業」「公務」では『いいえ』が5割を超え、他の職業分野よりも若干高い。

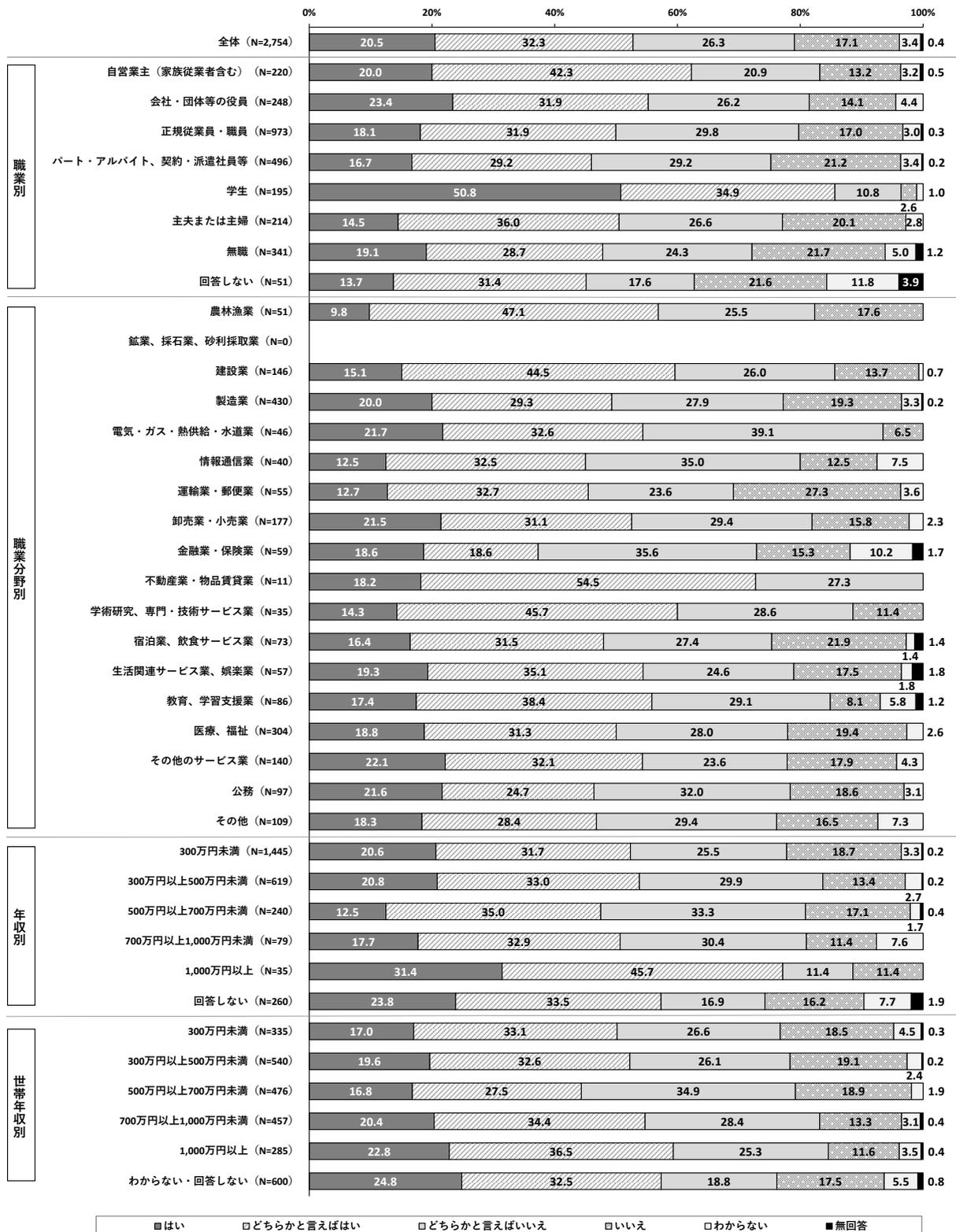
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が77.1%を占め、他と比較して高い。

(6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」では『いいえ』が53.8%を占めており、他よりも若干高くなっている。

図表 6-11-3 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。(職業・年収別)



問6-12 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が56.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が33.9%となっている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が76.6%を占めている一方で、30歳以上では50%台となっている。

(3) 性別

男女間での差はあまりないものの、『はい』は「女性」よりも「男性」の方が3.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が50%台となっているが、「砺波地域」が他の地域よりも若干低い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が56.4%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」と「海に近い地域」では『はい』が6割を超えており、他の居住地域環境よりも若干高い。

(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が5.8ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「20年以上」では『はい』が54.8%と、他の居住年数よりも若干低い。

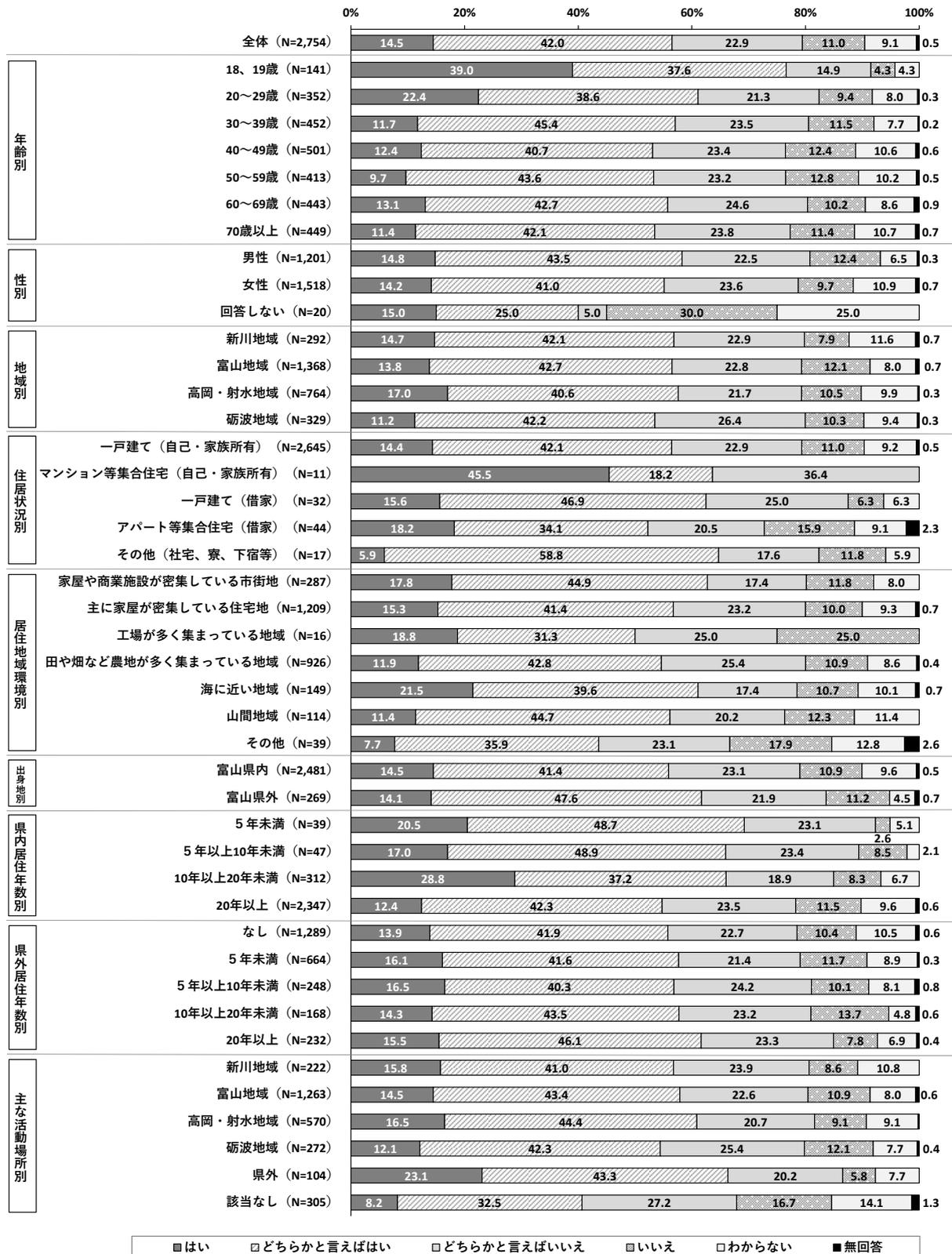
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が61.6%と、他の居住年数よりも若干高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が66.3%と、他の地域よりも若干高い。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『はい』が40.7%、『いいえ』が43.9%を占めている。

図表 6-12-1 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。



■はい □どちらかと言えばいいえ □どちらかと言えばいい □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が51.2%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないものの、「はい」は子どもが「いる」よりも「いない」方が6.1ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子のみ」と「親と祖父・祖母」では『はい』が6割を超えている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では47.2%と、他と比較して若干低い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「1人」では『はい』が52.3%と、他と比較して若干低い。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「1人」と「3人」では『はい』が6割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」では『はい』が60.9%を占め、他と比較して若干高い。

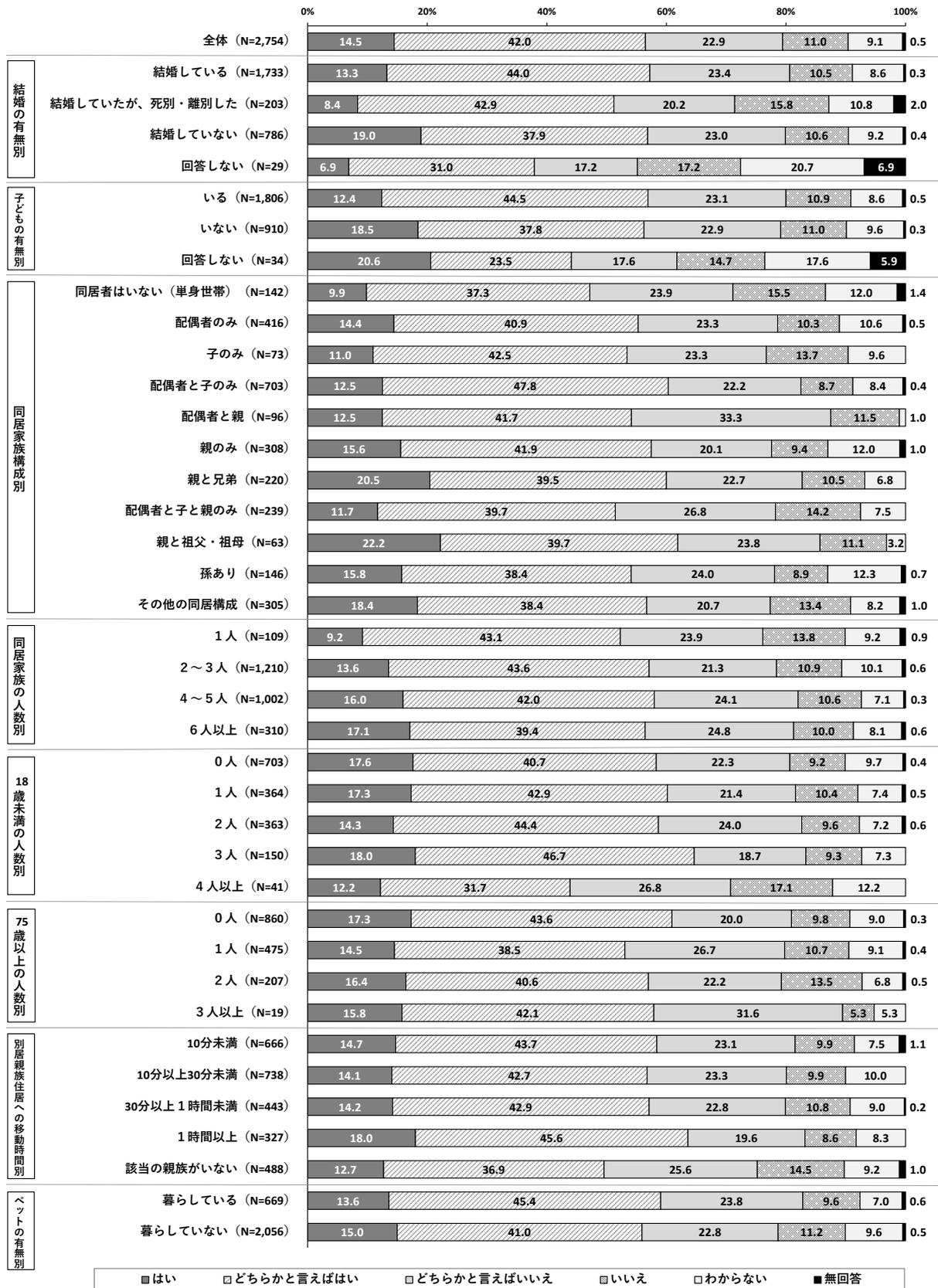
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「1時間以上」では『はい』が63.6%を占め、他と比較して若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

『はい』は「暮らしていない」よりも「暮らしている」の方が3.1ポイント高い。

図表 6-12-2 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」と「学生」では『はい』が7割を超え、他の職業と比較して高い。一方、「無職」では『はい』が43.7%、『いいえ』が45.2%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が77.9%と、他の職業分野よりも特に高くなっている。

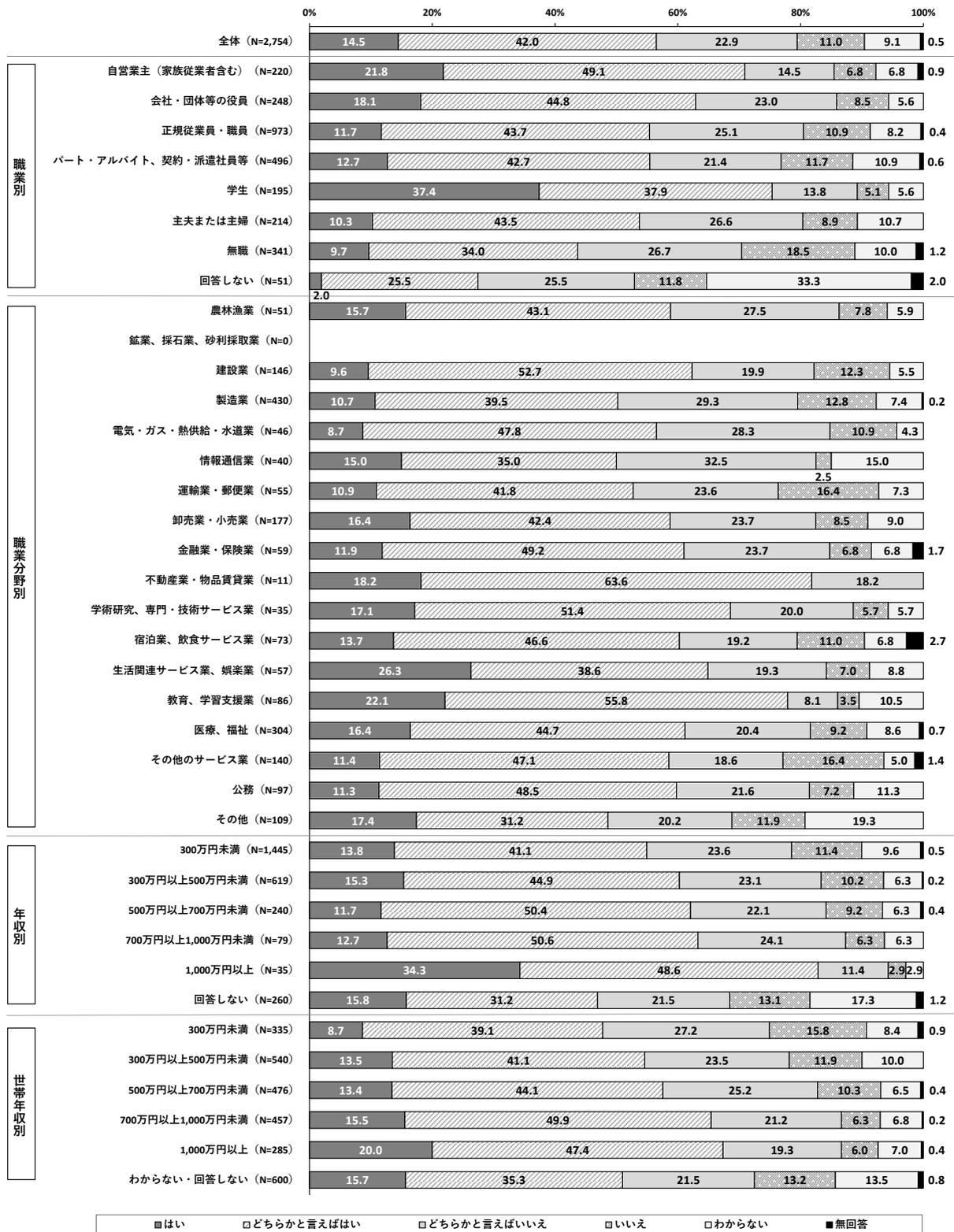
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では82.9%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では67.4%を占めている。

図表 6-12-3 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。(職業・年収別)



問6-13 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が37.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が51.3%と、『いいえ』の方が13.4ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が69.5%であるものの、20歳代以上では5割を下回り、年齢が高くなるほど低くなる傾向がある。「60～69歳」では『いいえ』が59.8%となっている。

(3) 性別

『いいえ』は「女性」よりも「男性」の方が4.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「高岡・射水地域」を除くすべての地域で『いいえ』が5割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『いいえ』が51.6%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『いいえ』が58.7%と、他の居住地環境よりも高くなっている。

(4) - 4 出身地別

「富山県内」では『いいえ』が51.5%と、「富山県外」よりも2.8ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」では『はい』が64.1%であるが、「20年以上」では『いいえ』が53.5%を占めている。

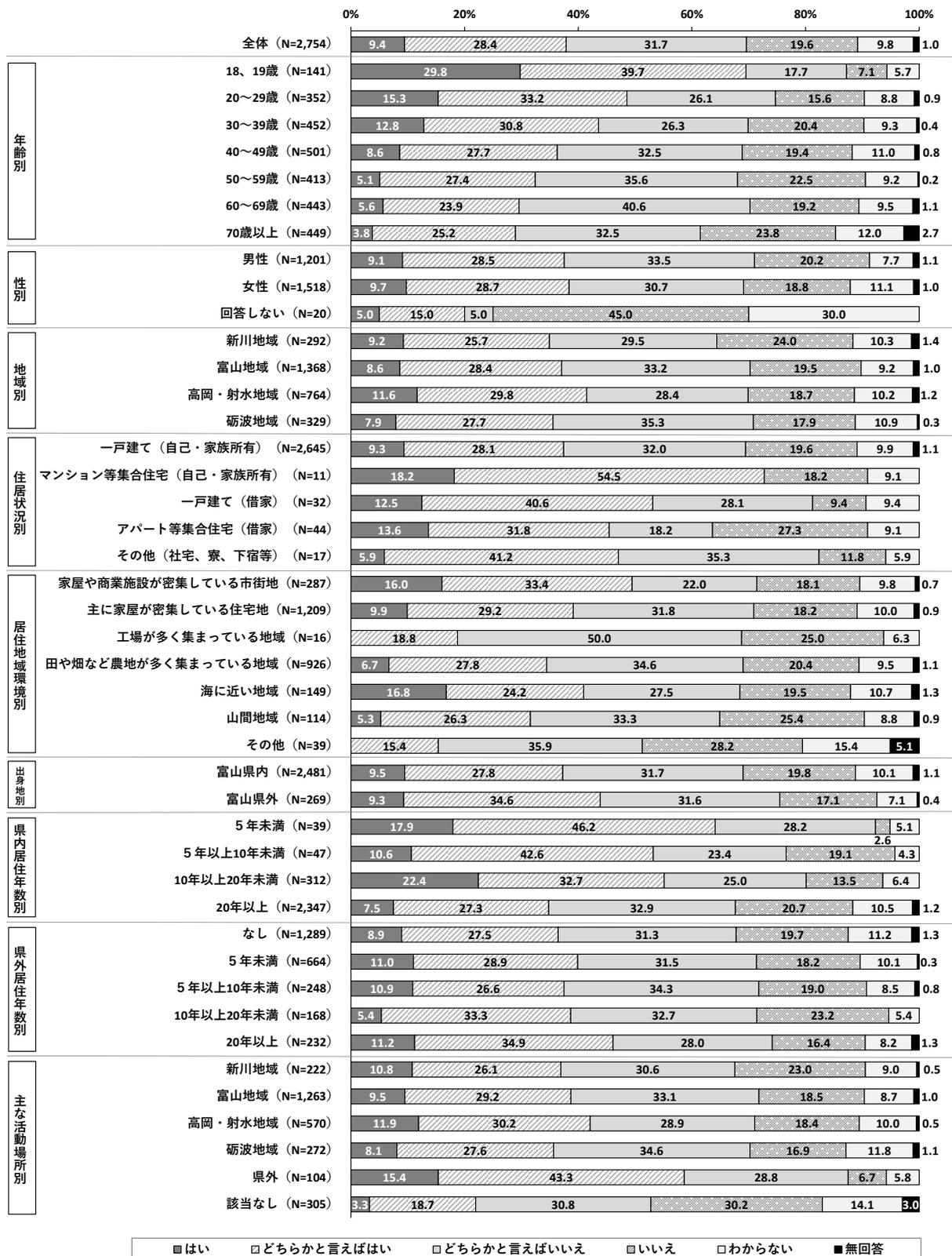
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が46.1%と、他の居住年数よりも高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が58.7%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『いいえ』が61.0%を占めている。

図表 6-13-1 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。



■はい □どちらかと言えば 〇どちらかと言えばいい □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が60.6%と、他と比較して若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないものの、「はい」は子どもが「いる」よりも「いない」方が4.1ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（単身世帯）」と「配偶者と親」では『いいえ』が6割を超えている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「1人」では『いいえ』が63.3%を占めている。人数が多くなるほど『いいえ』が低くなる傾向にある。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「3人」では『はい』が56.0%となっている。一方、「0人」では『いいえ』が53.1%となっている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

1人以上で『いいえ』が5割を超えている。

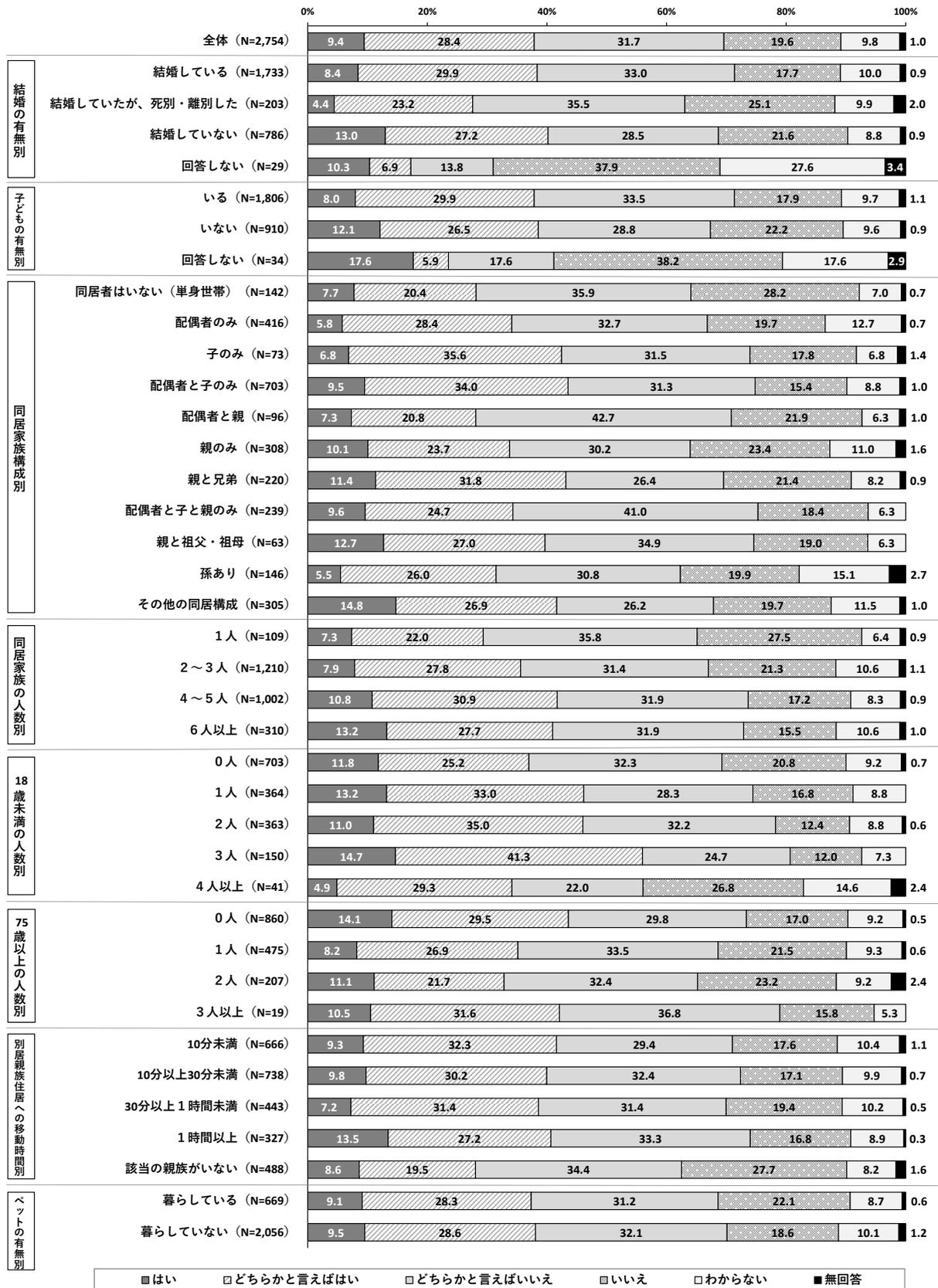
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「10分未満」では『はい』が41.6%と、他よりも若干高くなっている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないものの、『いいえ』は「暮らしている」方が「暮らしていない」よりも2.7ポイント高い。

図表 6-13-2 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が66.2%を占めている。一方、「無職」では『いいえ』が63.3%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では『はい』が5割を超えている。一方、「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「宿泊業、飲食サービス業」では『いいえ』が6割を超えている。

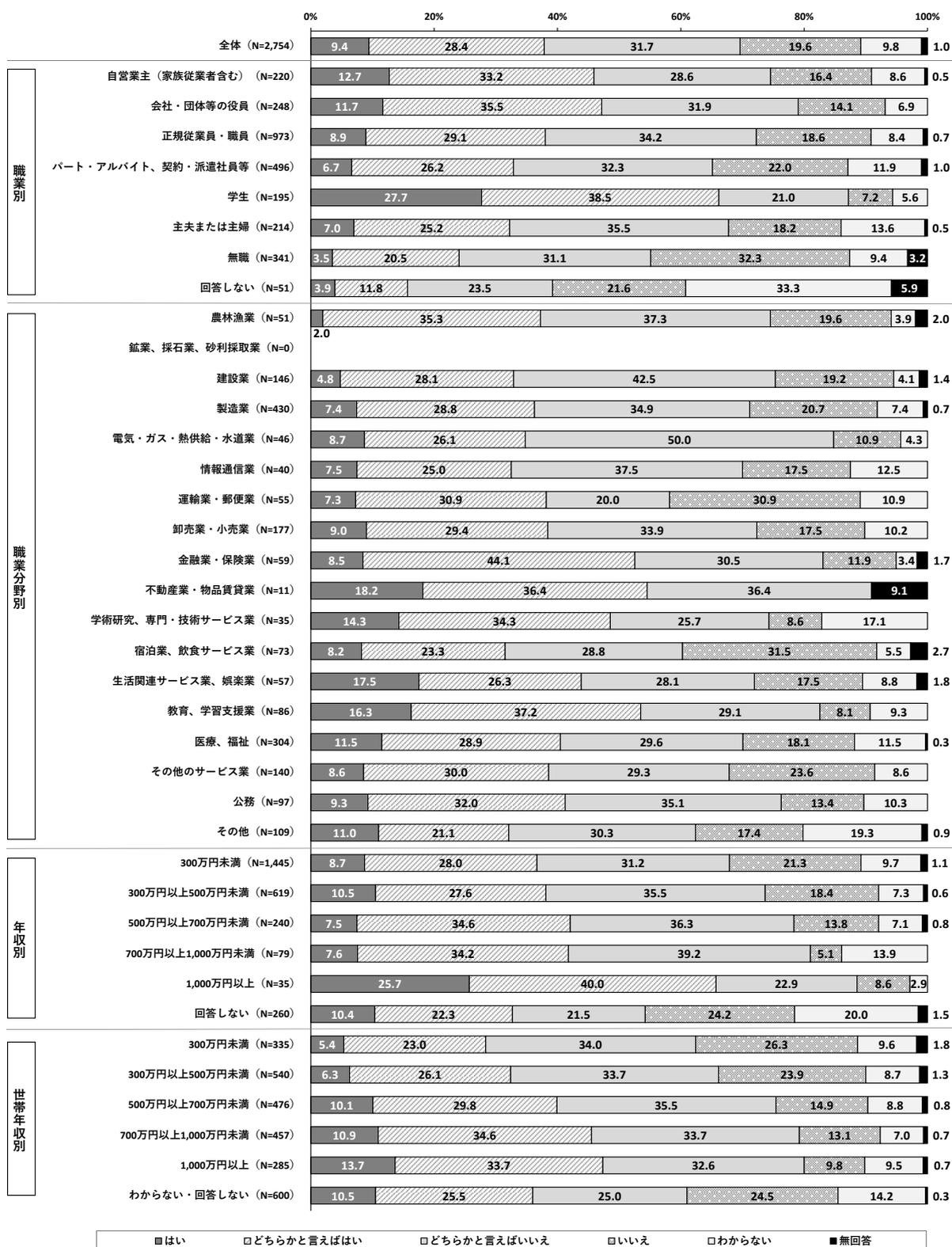
(6) - 3 年収別

年収700万円未満では『いいえ』が5割を超えている。一方、「1,000万円以上」では『はい』が65.7%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が低くなるほど『いいえ』が高くなる傾向にあり、「300万円未満」では60.3%となっている。

図表 6-13-3 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。(職業・年収別)



問6-14 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が87.7%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.1%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。特に、20歳代以下では9割を超えている。

(3) 性別

「女性」では「はい」が46.9%と高い割合を占めている。『はい』は「男性」よりも「女性」の方が9.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えており、地域間で大きな差は見られない。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が95.5%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

どの地域環境でも『はい』が8割を超えている。「海に近い地域」では「はい」が52.3%と、他の地域環境よりも高い割合を占めている。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が92.6%を占め、「富山県内」よりも5.4ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えている。20年未満では「はい」が4割を超えている。

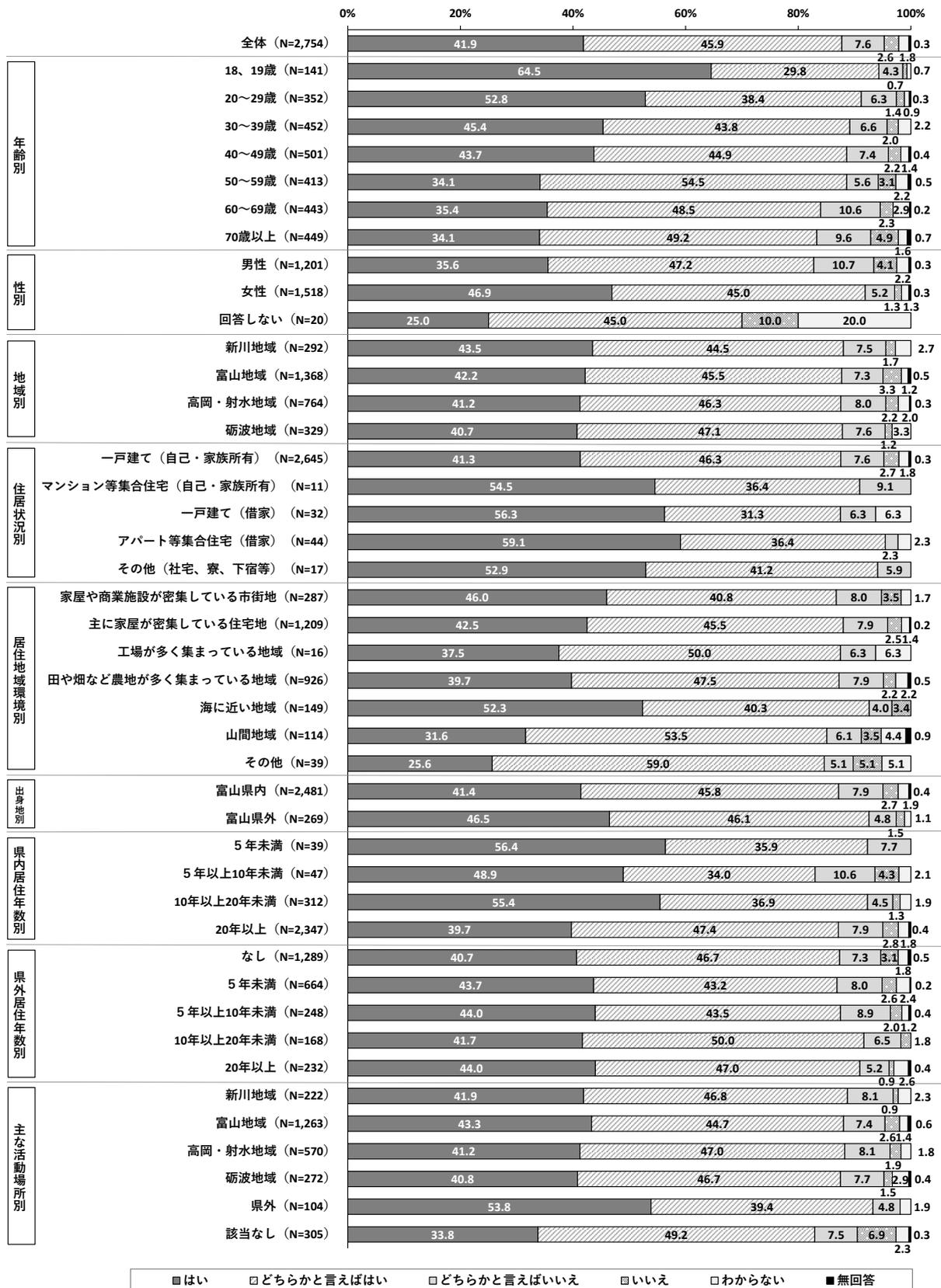
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、特に10年以上では9割を超えている。

(4) - 6 主な活動場所別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。なかでも「県外」では93.3%と、高い割合を占めている。

図表 6-14-1 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。



(5) - 1 結婚の有無別

すべてで『はい』が8割を超え、大きな差は見られない。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。子どもが「いない」では「はい」が46.2%と、子どもが「いる」よりも6.3ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

すべてで『はい』が8割を超えている。なかでも「子のみ」「配偶者と子と親のみ」「親と祖父・祖母」では9割を超えている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

どの人数でも『はい』が8割を超えており、「6人以上」では90.6%を占めている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

どの人数でも『はい』が8割を超えており、特に1～3人では9割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が8割を超えており、特に「1人」では90.3%を占めている。

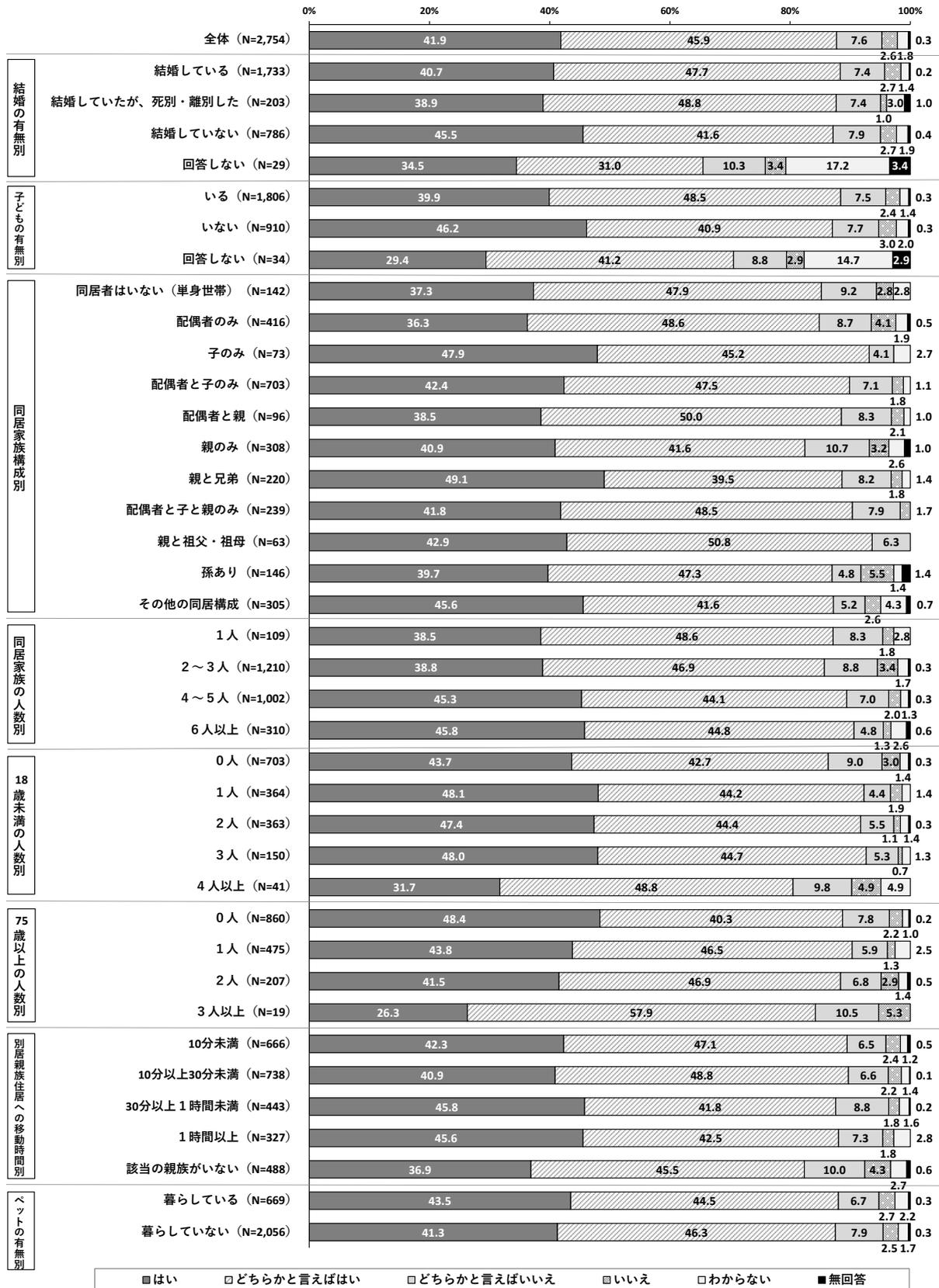
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

移動時間では大きな差は見られず、すべてで『はい』が8割を超えている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-14-2 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が95.4%（うち「はい」が63.6%）を占めている。一方、「無職」では『はい』が79.8%となっている。

(6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が8割を超えている。

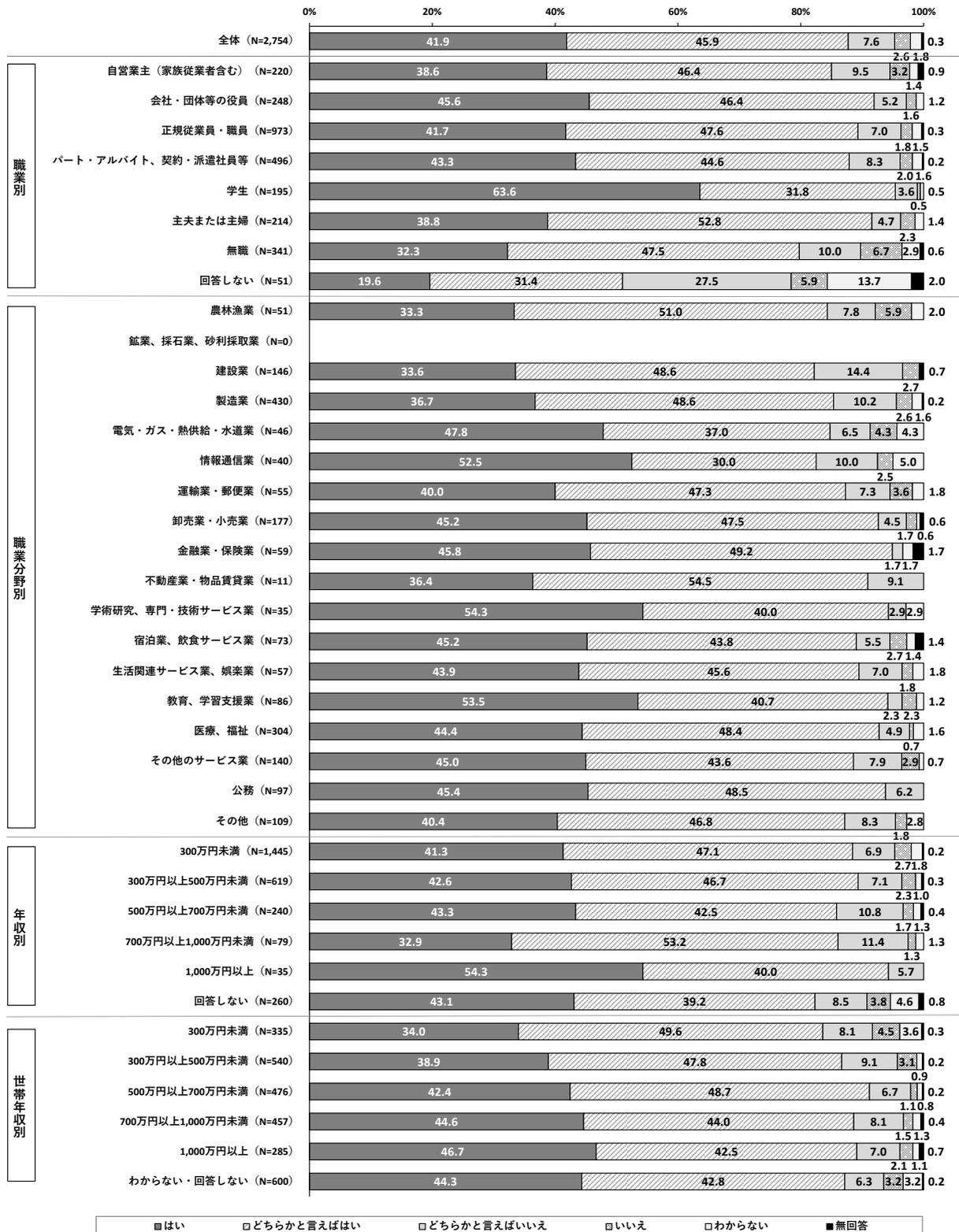
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、特に「1,000万円以上」では94.3%と高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

すべての世帯年収で『はい』が8割を超えており、特に「500万円以上700万円未満」では91.2%を占めている。

図表 6-14-3 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。
(職業・年収別)



問6-15 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。
(例：記念日など特別な日に催しを行う、花やプレゼントを贈る、など)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が71.0%を占め、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は24.7%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」と「30～39歳」では『はい』が8割を超えている。特に、「18、19歳」では「はい」が53.2%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が78.5%と、「男性」よりも16.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「新川地域」では『はい』が65.4%と、他の地域と比較して若干低い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅(借家)」では『はい』が84.1%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」「主に家屋が密集している住宅地」「海に近い地域」では『はい』が7割を超えている。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が79.9%と、「富山県内」よりも9.8ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

20年未満では『はい』が8割を超えているが、「20年以上」では69.3%となり、居住年数が長くなるほど低くなる傾向にある。

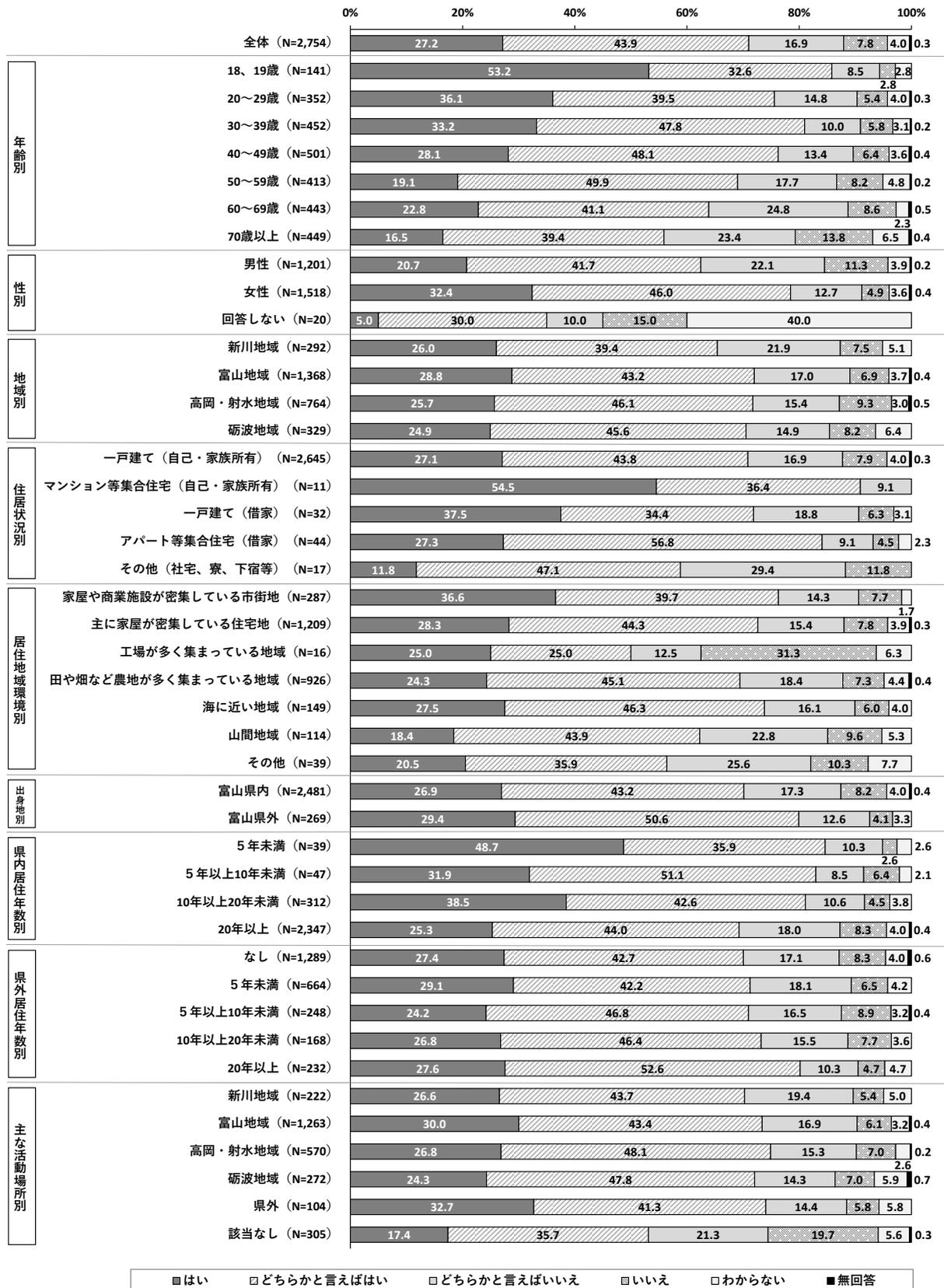
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

居住年数が長くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「20年以上」では80.2%を占めている。

(4) - 6 主な活動場所別

主な活動場所では大きな差は見られない。

図表 6-15-1 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。



■ はい □ どちらかと言えばはい □ どちらかと言えばいいえ □ いいえ □ わからない ■ 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が72.6%となっている。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が72.4%と、「いない」よりも3.2ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（単身世帯）」では『はい』が54.2%と、他と比べて低い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「1人」では『はい』が59.6%と、他と比べて低い。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

1～3人では『はい』が8割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「2人」では『はい』が64.7%と、他と比べて若干低い。

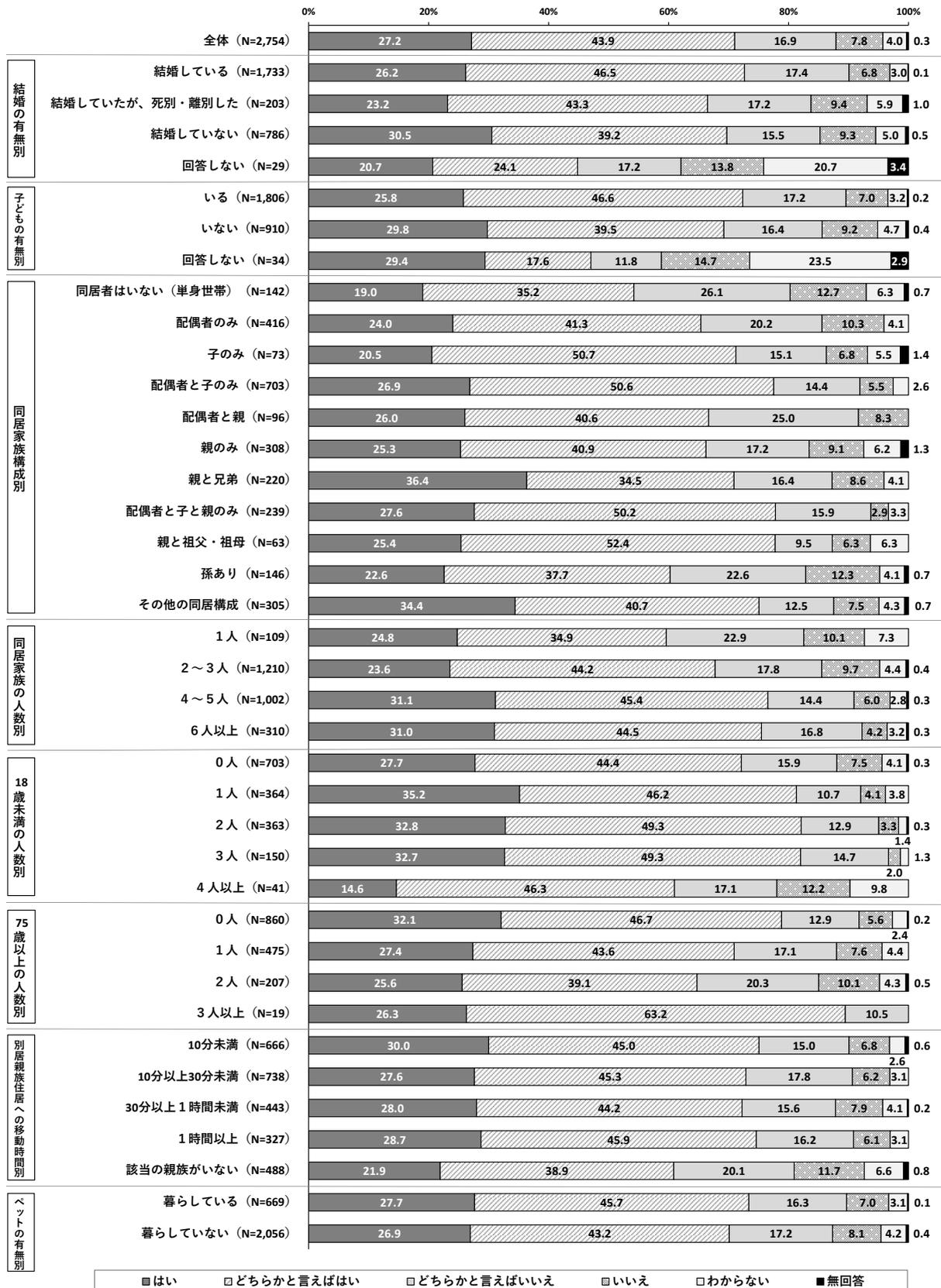
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

移動時間では大きな差は見られず、すべての移動時間で『はい』が7割を超えている。「該当の親族がいない」では60.9%となっている。

(5) - 6 ペットの有無別

「暮らしている」では『はい』が73.4%と、「暮らしていない」よりも3.3ポイント高い。

図表 6-15-2 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。
(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が83.6%（うち「はい」が47.7%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が50.1%、『いいえ』が43.7%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が91.4%と、他の職業分野よりも高い割合を占めている。

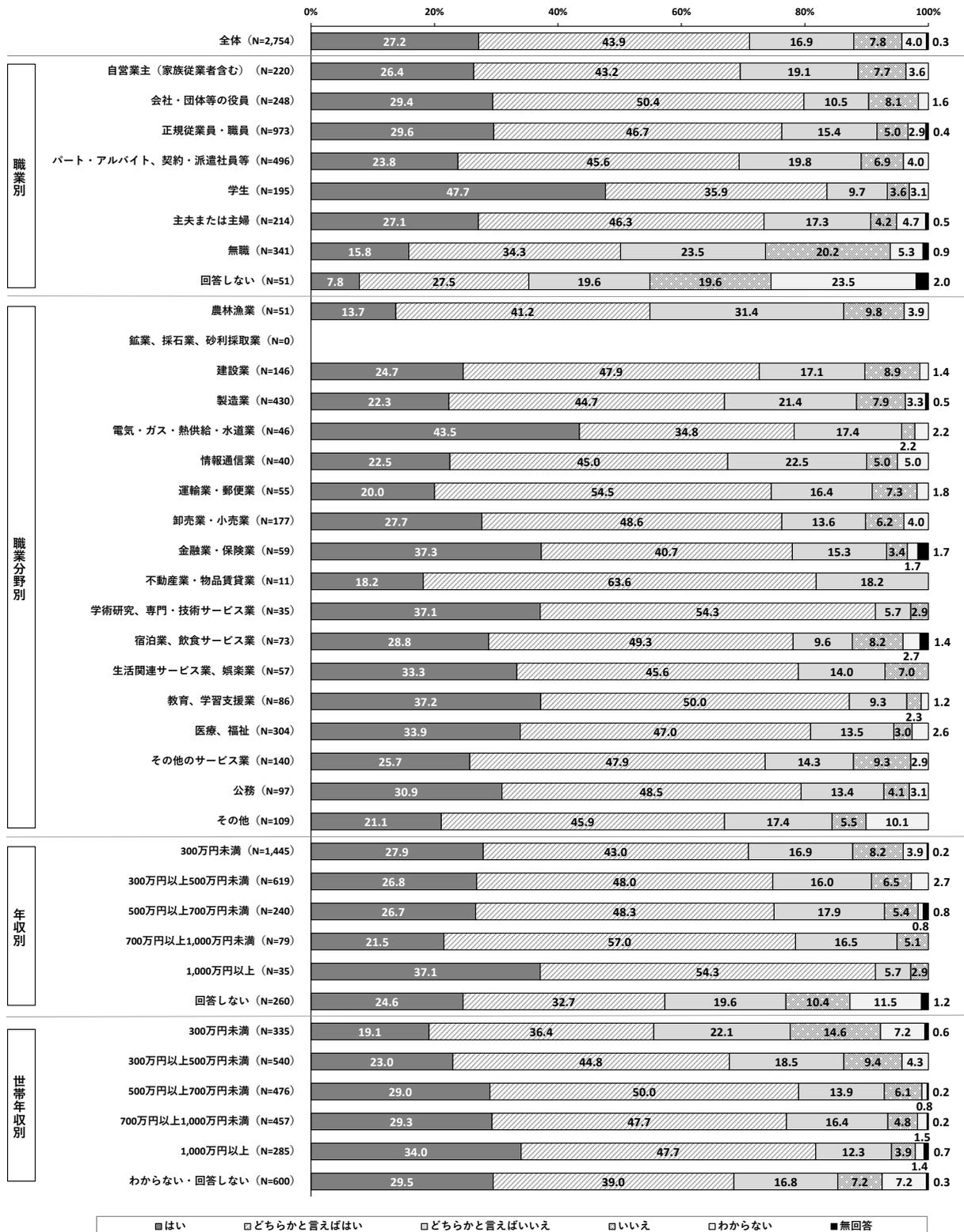
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では91.4%と高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では81.8%と高い割合を占めている。

図表 6-15-3 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。
(職業・年収別)



問6-16 地域や社会のためになる何らかの取組みを行っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が33.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が59.9%と、『いいえ』の方が大きく上回っている。

(2) 年齢別

20～49歳では『いいえ』が6割を超えている。

(3) 性別

「女性」では『いいえ』が64.2%と、「男性」よりも9.6ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「富山地域」では『いいえ』が63.0%と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『いいえ』が63.6%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「主に家屋が密集している住宅地」と「田や畑など農地が多く集まっている地域」では『いいえ』が6割を超えている。一方、「山間地域」では『はい』が43.9%と、他の居住地域環境と比較して若干高い。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

どの居住年数でも『いいえ』が5割を超え、「20年以上」では60.7%を占めている。

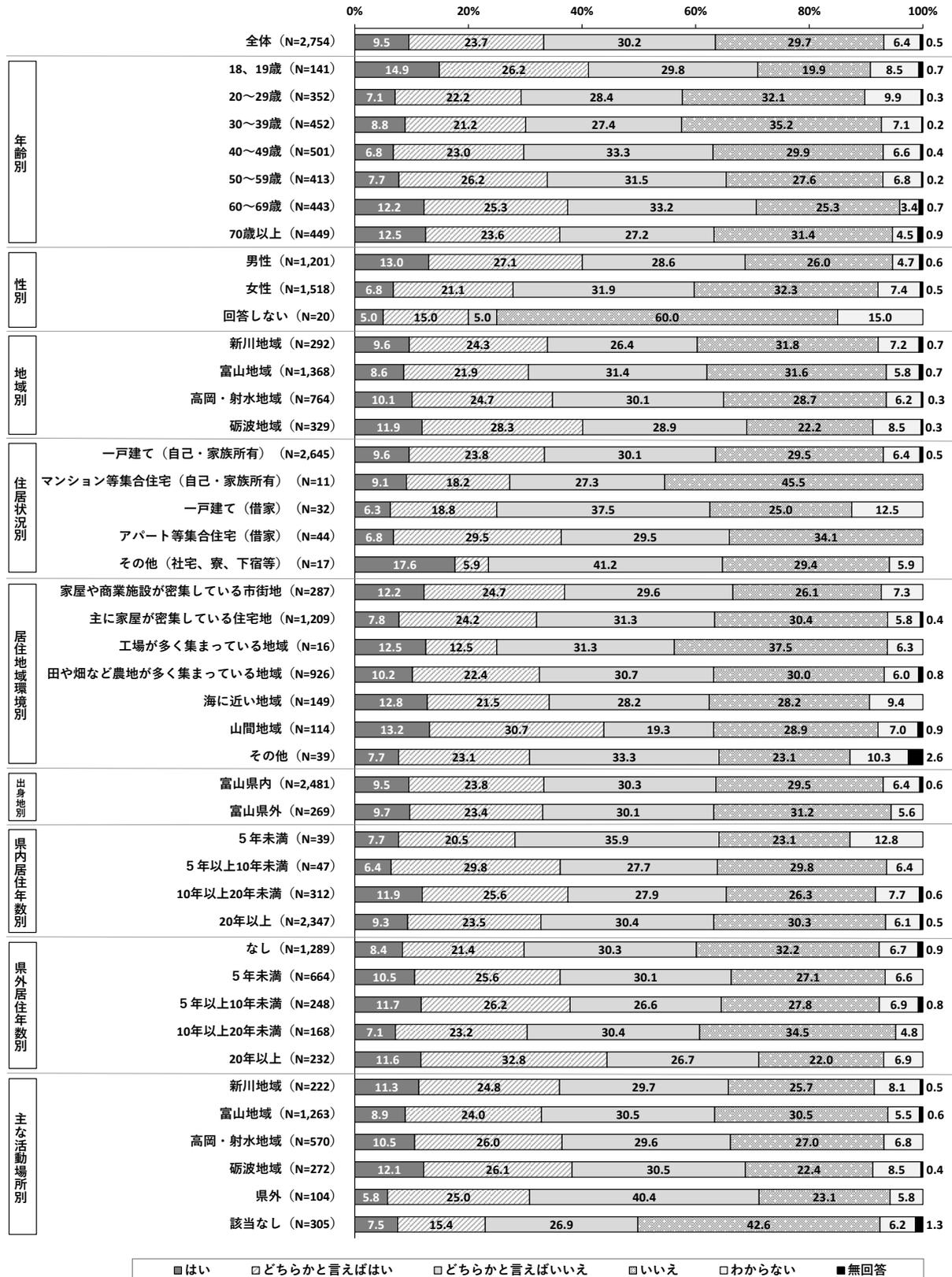
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『いいえ』が48.7%と、他と比べて低い。

(4) - 6 主な活動場所別

すべての地域で『いいえ』が5割を超え、「県外」では63.5%を占めている。また、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では69.5%となっている。

図表 6-16-1 地域や社会のためになる何らかの取組みを行っている。



はい
 どちらかと言えばはい
 どちらかと言えばいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『いいえ』が58.2%と、他と比べて若干低く、一方、「結婚していない」では63.6%と若干高くなっている。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『いいえ』が58.5%と、「いない」よりも4.7ポイント低い。

(5) - 3 同居家族の構成別

すべてで『いいえ』が5割を超えている。「親と祖父・祖母」では68.3%と、他と比較して若干高い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

どの人数でも『いいえ』が5割を超えており、大きな差は見られない。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

どの人数でも『いいえ』が5割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『いいえ』が5割を超えている。

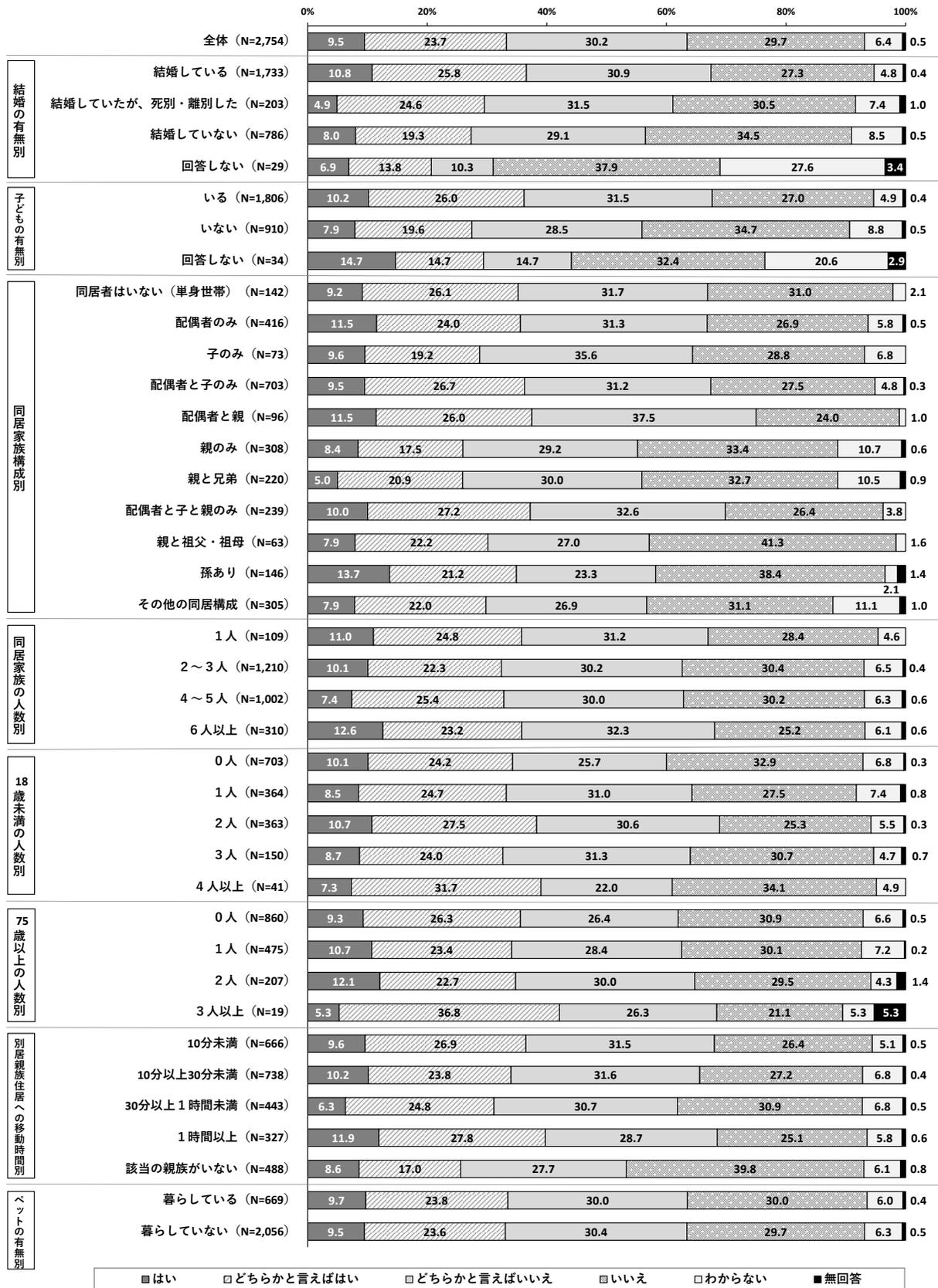
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

すべてで『いいえ』が5割を超えている。「30分以上1時間未満」では61.6%と、他と比べて若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-16-2 地域や社会のためになる何らかの取組みを行っている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が44.1%と、他と比べて若干高い。「自営業主（家族従業者含む）」を除くすべての職業で『いいえ』が5割を超えている。

(6) - 2 職業分野別

「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」で『いいえ』が60%以上となっている。

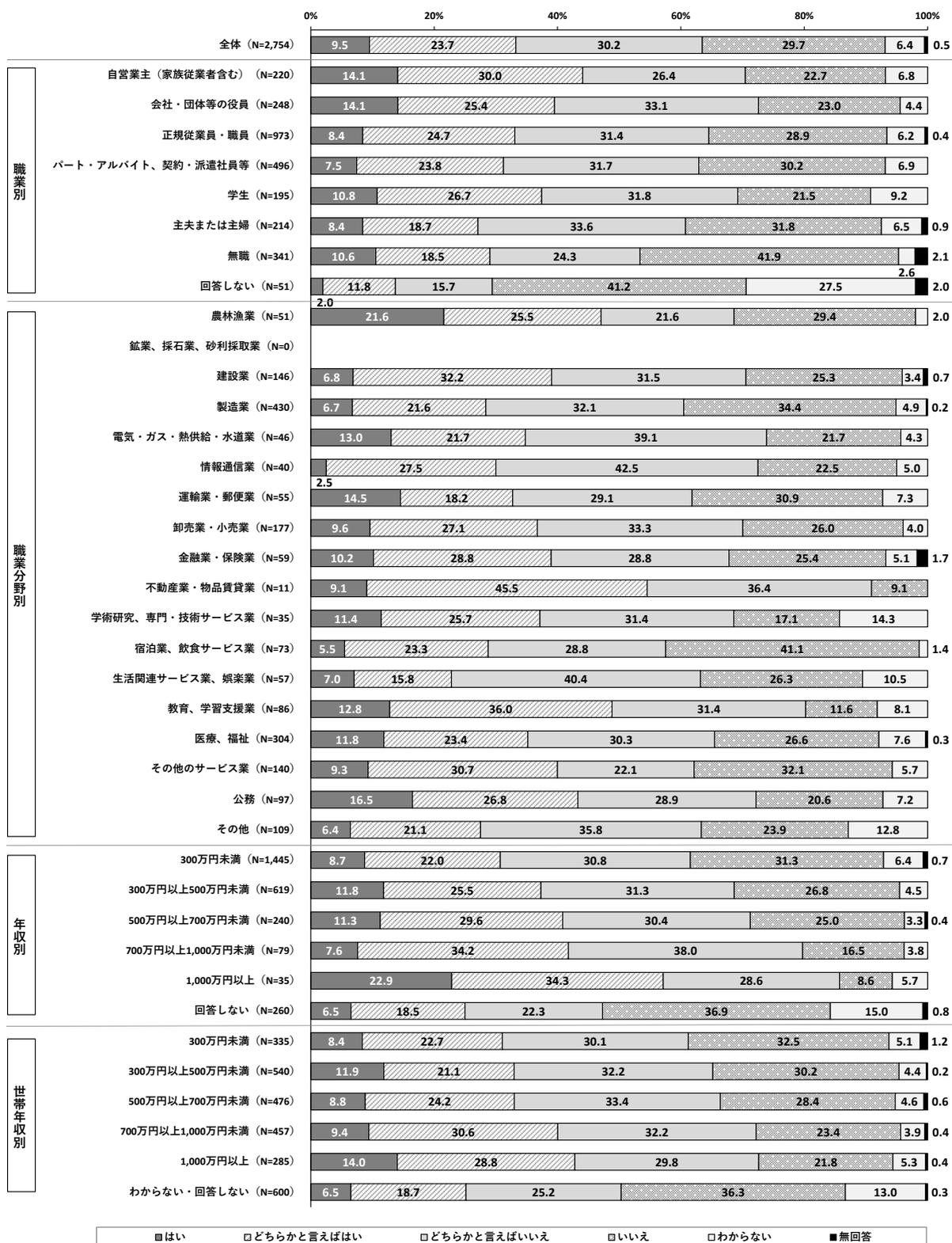
(6) - 3 年収別

年収が低くなるほど『いいえ』が高くなる傾向にあり、「300万円未満」では62.1%を占めている。一方、「1,000万円以上」では『はい』が57.1%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が低くなるほど『いいえ』が高くなる傾向にあり、「300万円未満」では62.7%を占めている。

図表 6-16-3 地域や社会のためになる何らかの取組みを行っている。(職業・年収別)



問6-17 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が77.6%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は16.2%であった。

(2) 年齢別

年齢が低くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、なかでも「18、19歳」では90.8%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が80.5%と、「男性」よりも6.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」では『はい』が79%前後と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が88.6%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

どの居住地域環境でも『はい』が7割を超えている。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が83.3%と、「富山県内」よりも6.4ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

20年未満では『はい』が8割を超えている。

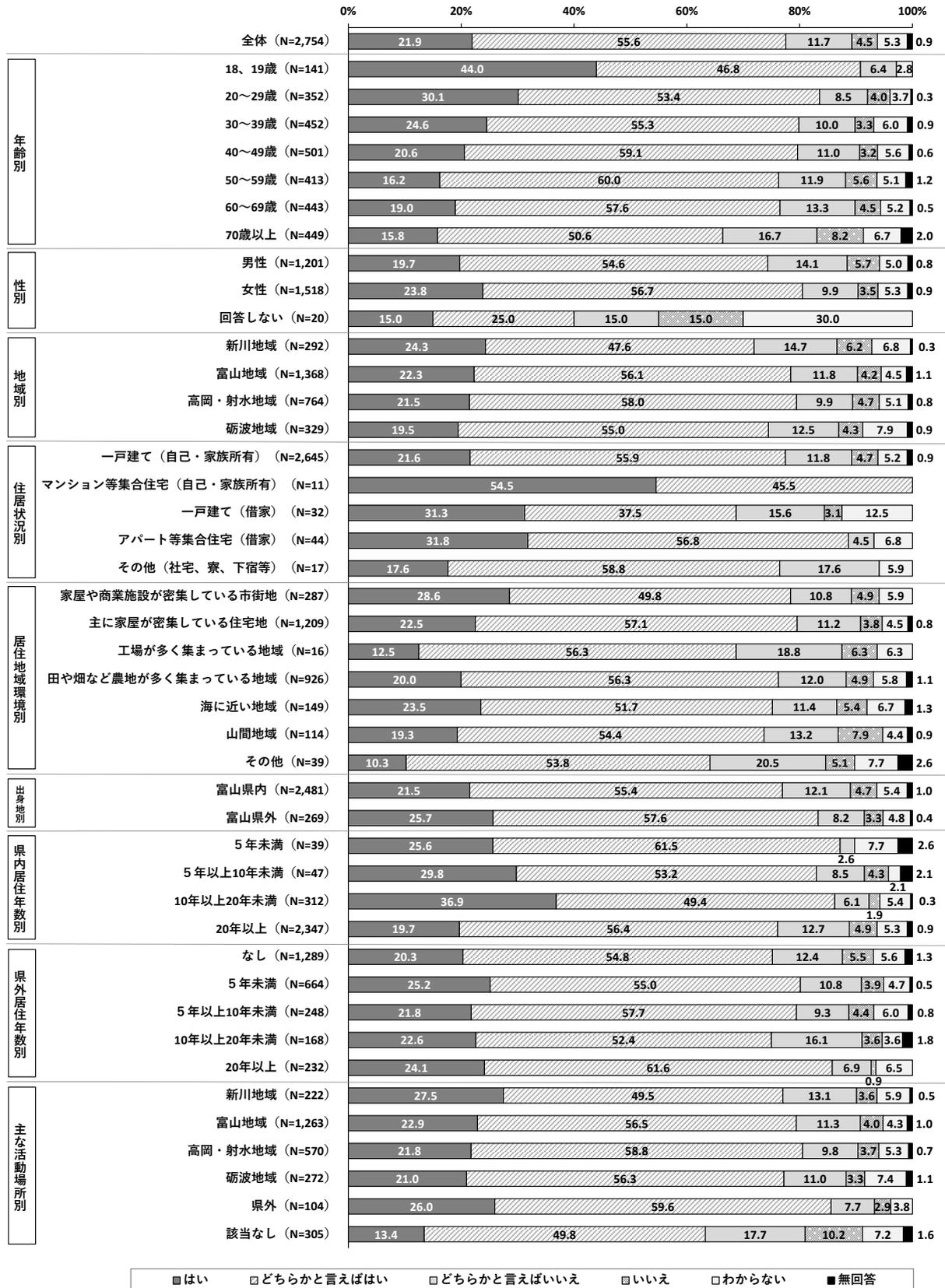
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超えており、「20年以上」では85.8%を占めている。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が85.6%と高い割合を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では63.3%と、他の地域と比べて低い。

図表 6-17-1 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。



(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無では大きな差は見られない。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。

(5) - 3 同居家族の構成別

「子のみ」「配偶者と子のみ」「配偶者と親」「親と兄弟」「親と祖父・祖母」で『はい』が8割を超えている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「1人」では『はい』が70.6%と、他と比較して若干低い。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

1～3人では『はい』が8割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」では『はい』が83.0%を占めている。

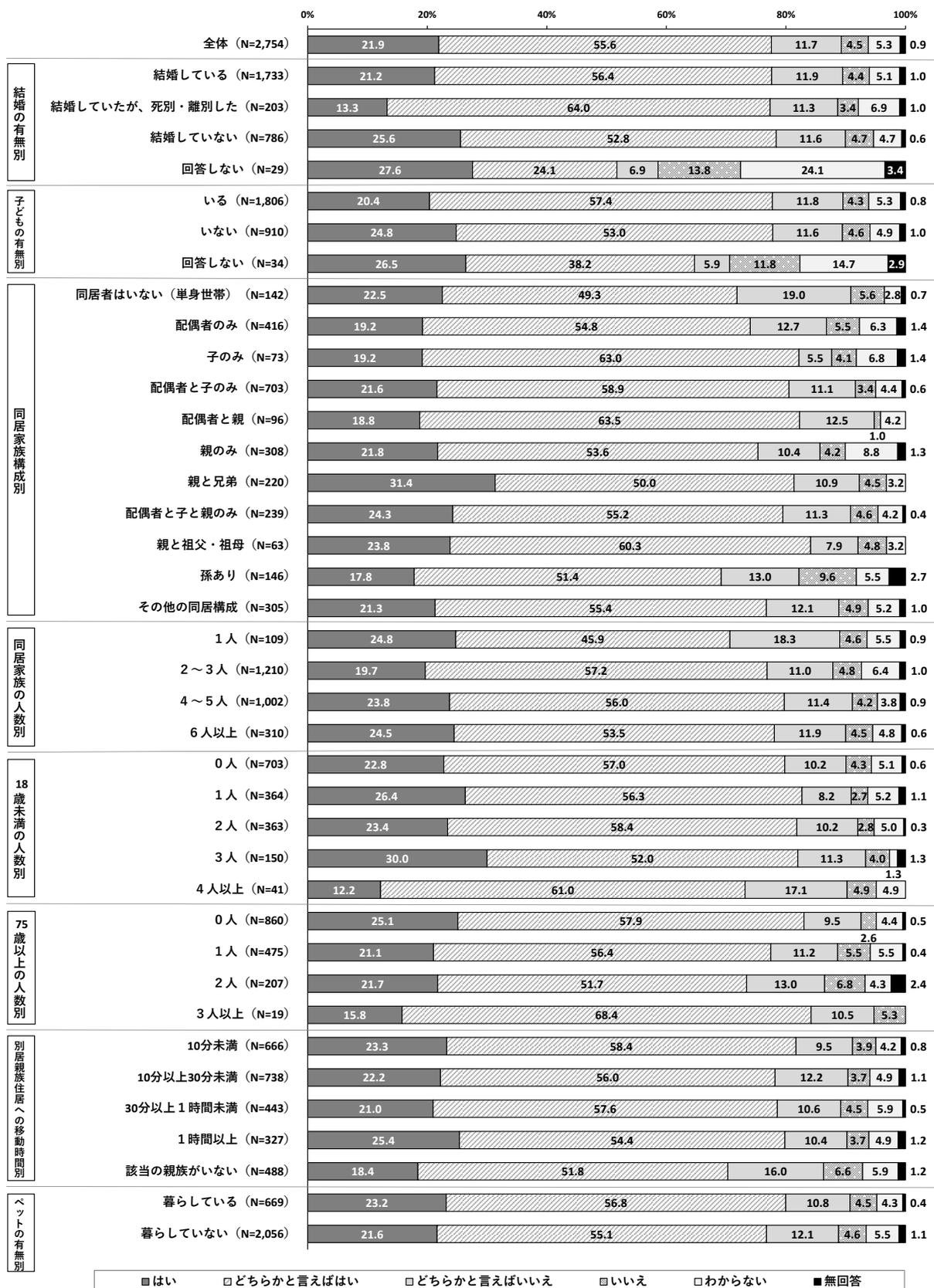
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「10分未満」では『はい』が81.7%と、他と比べて若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

「暮らしている」では『はい』が80.0%と、「暮らしていない」よりも3.2ポイント高い。

図表 6-17-2 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が90.8%（うち「はい」が41.0%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が62.2%と、他の職業と比べて低い。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」と「医療、福祉」では『はい』が88%程度と、他の職業分野と比べて若干高い。

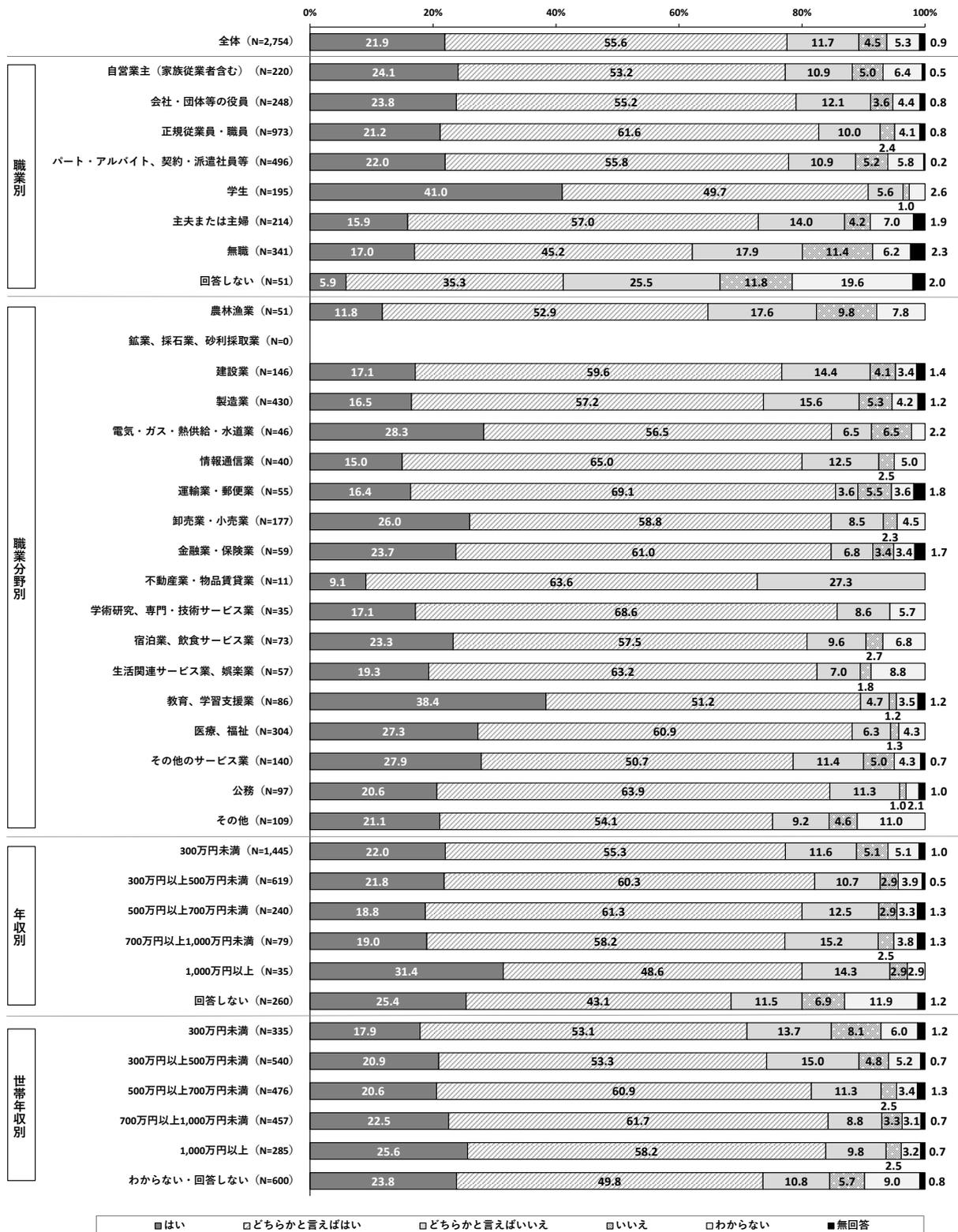
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では「はい」が31.4%と、他と比べて高い。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にある。

図表 6-17-3 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。(職業・年収別)



問6-18 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が82.0%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.7%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が90.8%（うち「はい」が46.8%）と高い割合を占めている。年齢が高くなるほど低くなる傾向にあり、「70歳以上」では『はい』が74.8%となっている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が83.9%となっており、「男性」よりも4.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えており、大きな差は見られない。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が97.7%と高い割合を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」「主に家屋が密集している住宅地」「田や畑など農地が多く集まっている地域」「海に近い地域」では『はい』が8割を超えている。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が85.9%を占め、「富山県内」よりも4.3ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」と「10年以上20年未満」では『はい』が9割を超えている。

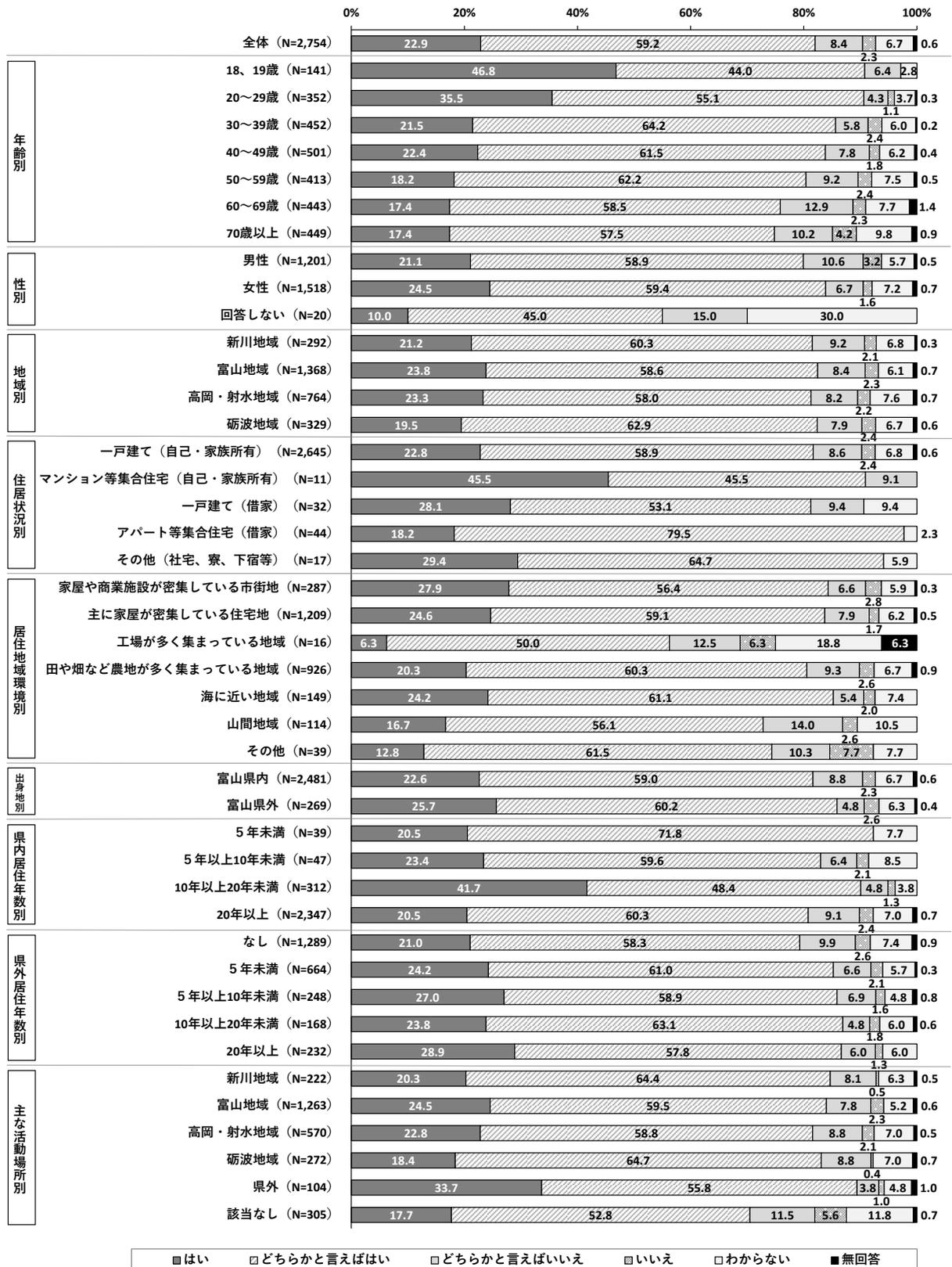
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「なし」では『はい』が79.3%と、他と比べて若干低い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が89.4%と、他の地域と比べて若干高い。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では70.5%となっている。

図表 6-18-1 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。



はい
 どちらかと言えば
 どちらかと言えいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が84.1%を占めている。「はい」も30.2%を占め、他よりも10ポイント程度高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られず、『はい』が8割を超えている。

(5) - 3 同居家族の構成別

すべてで『はい』が7割を超えている。「親と祖父・祖母」では「はい」が44.4%と、他と比べて高い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

2人以上では『はい』が8割を超えている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

どの人数でも『はい』が8割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」と「1人」では『はい』が8割を超えている。

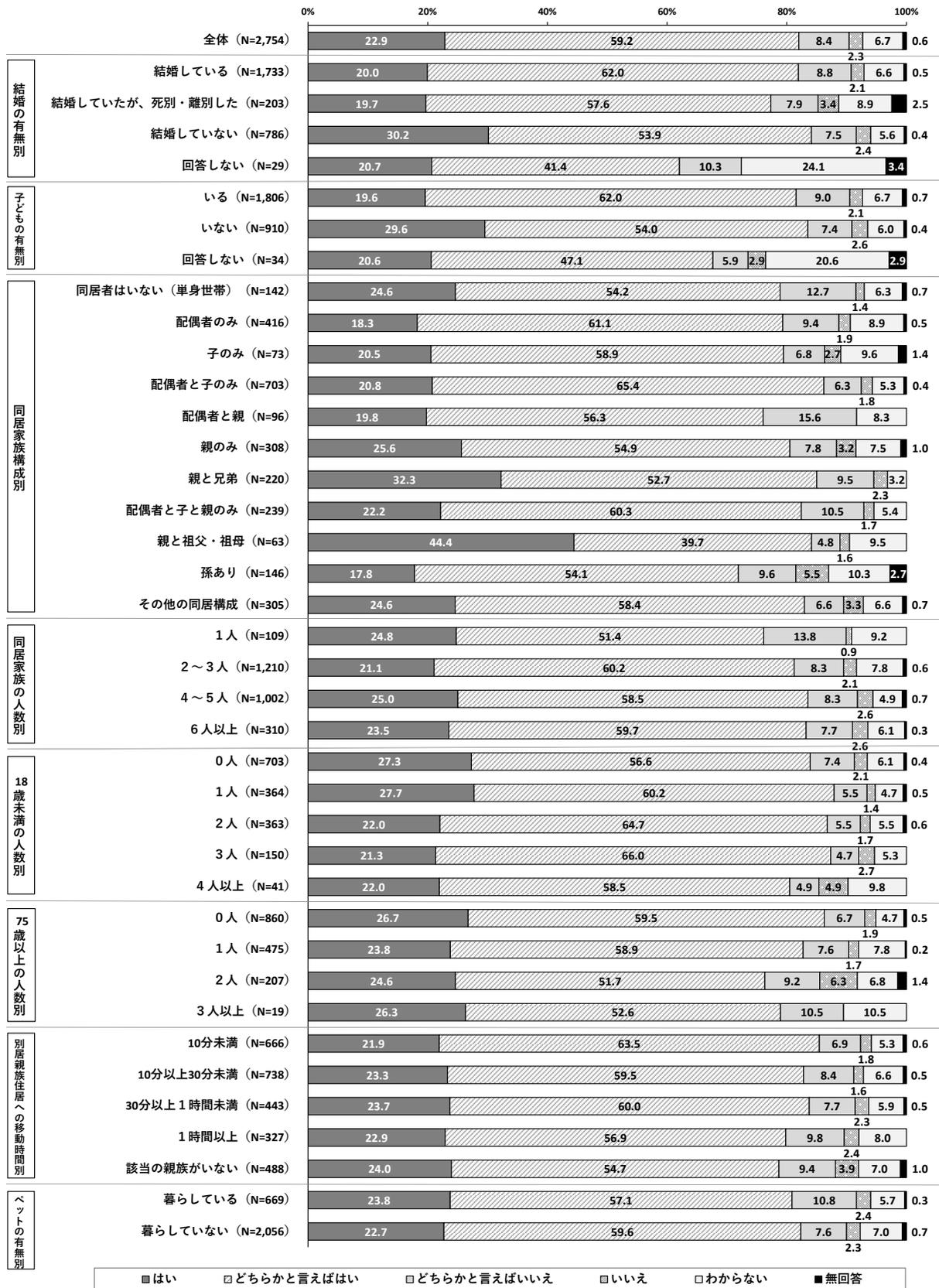
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「10分未満」では『はい』が85.4%を占め、他と比べて若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-18-2 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。
(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が93.3%（うち「はい」が49.7%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が68.3%と、他の職業と比べて低い。

(6) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」では『はい』が9割を超えている。

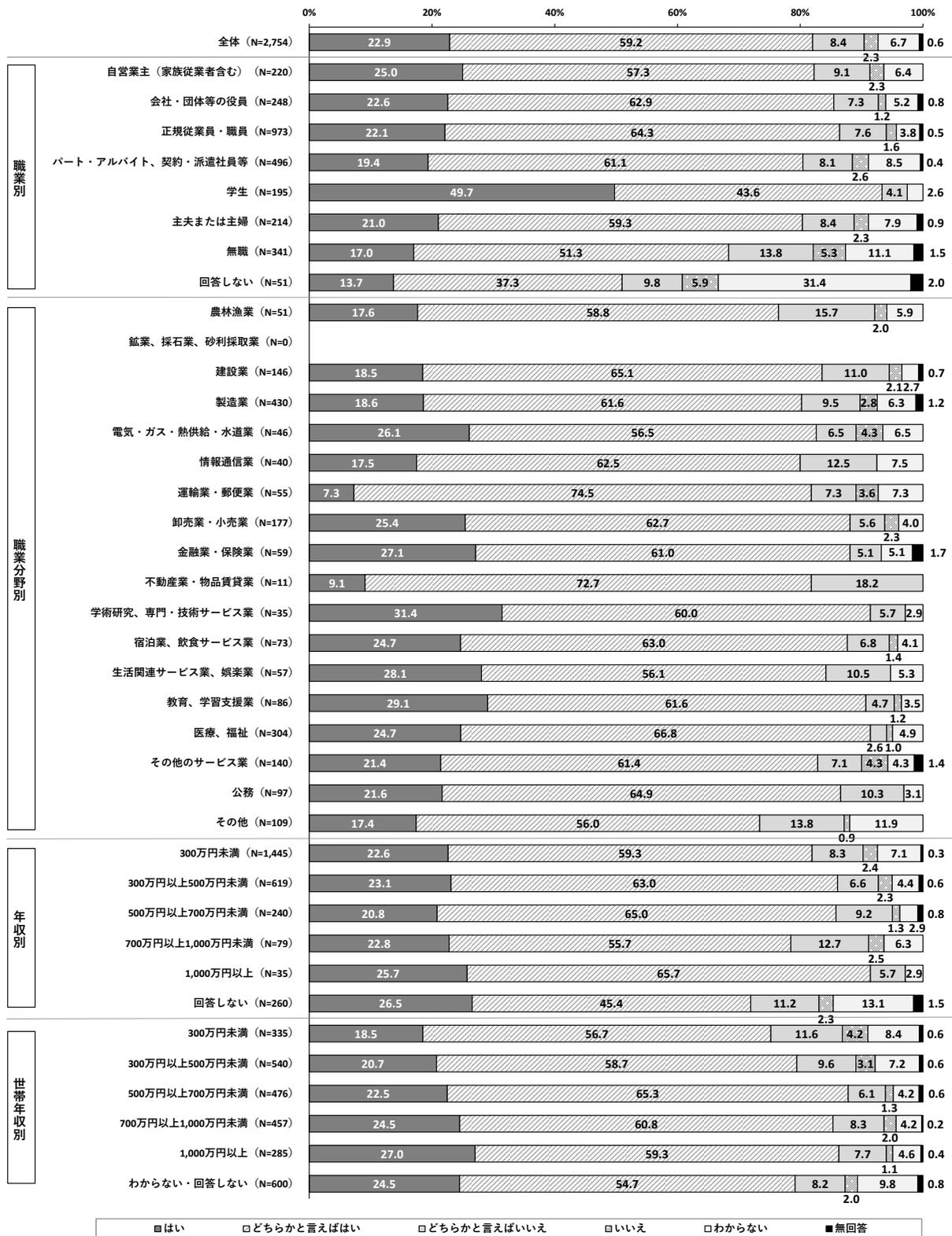
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が91.4%と高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が500万円以上では『はい』が8割を超えている。一方、「300万円未満」では75.2%と、他と比べて若干低い。

図表 6-18-3 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。
(職業・年収別)



問6-19 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が82.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は14.0%であった。

(2) 年齢別

「40～49歳」を除くすべての年代で『はい』が8割を超えている。「18、19歳」では『はい』が90.1%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間での差は見られない。

(4) - 1 地域別

「新川地域」を除くすべての地域で『はい』が8割を超えている。「新川地域」は77.1%と、他の地域と比較して若干低い。

(4) - 2 現在の住居状況別

すべての住居状況で『はい』が8割を超えている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が86.8%と、他と比べて若干高い。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が87.7%と、「富山県内」よりも6.1ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」では『はい』が92.3%と、高い割合を占めている。

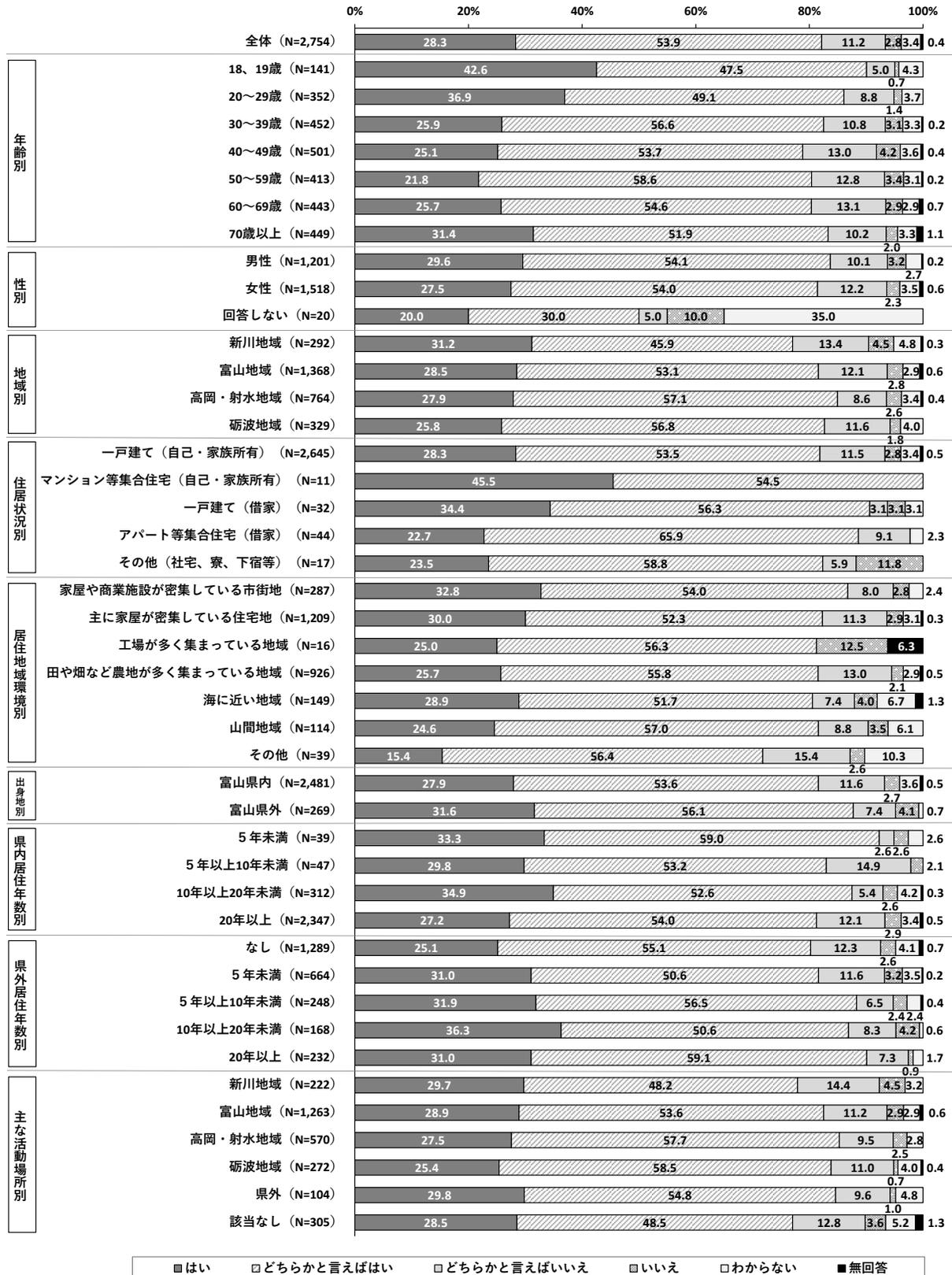
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、「20年以上」では90.1%と、他よりも若干高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「富山地域」「高岡・射水地域」「砺波地域」「県外」では『はい』が8割を超えている。

図表 6-19-1 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

すべてで『はい』が8割を超え、大きな差は見られない。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（単身世帯）」では『はい』が88.7%と、他と比べて若干高い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「2～3人」では『はい』が若干高いものの大きな差は見られない。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「1人」では『はい』が78.3%と、他と比べて若干低い。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

どの人数でも『はい』が80%以上となっている。

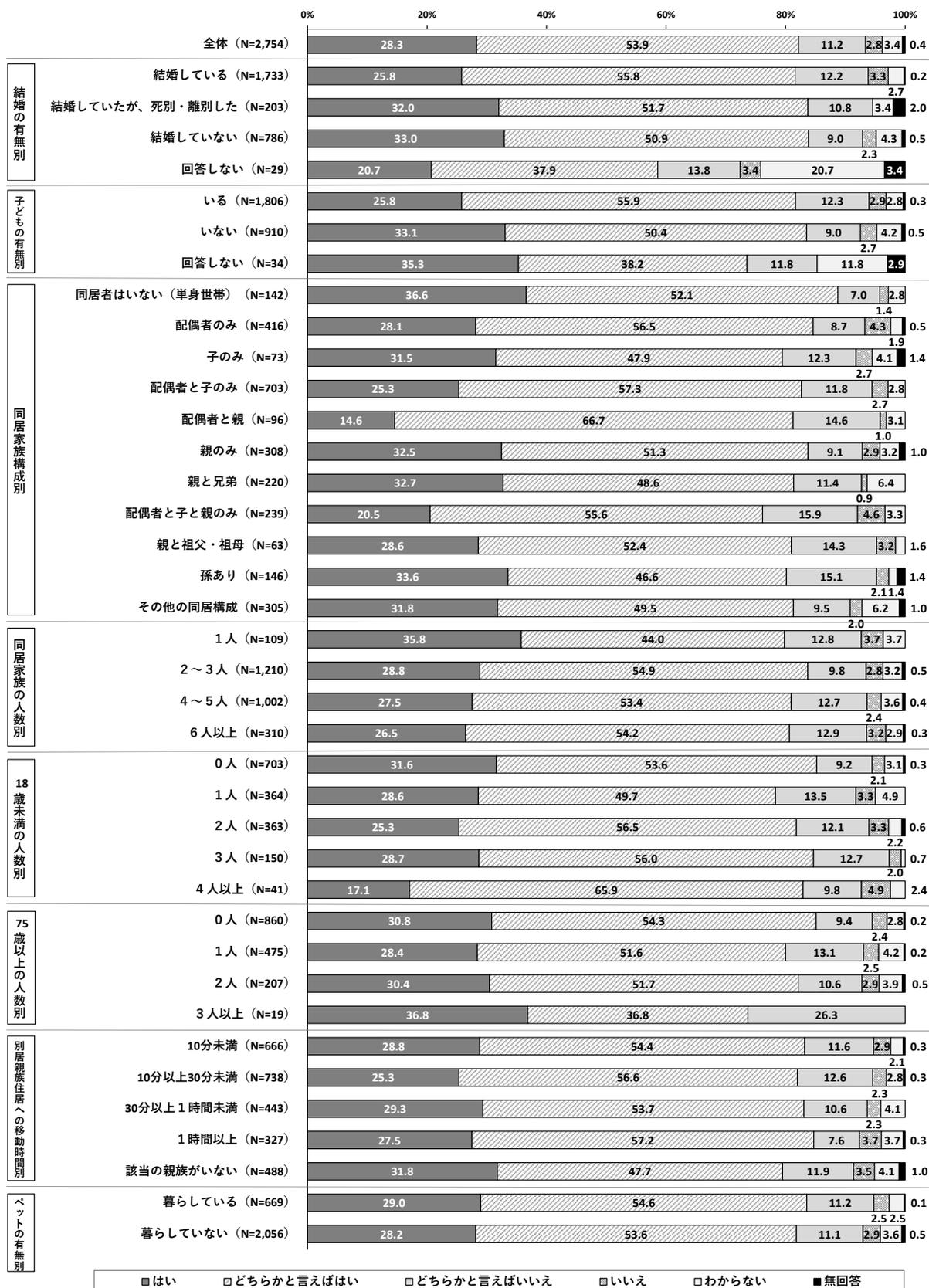
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

移動時間では大きな差は見られず、すべての移動時間で『はい』が8割を超えている。「該当の親族がない」では79.5%となっている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-19-2 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が90.8%（うち「はい」が42.6%）と高い割合を占めている。一方、「主夫または主婦」と「無職」では70%台となっている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が85%を超え、他の職業分野よりも若干高くなっている。

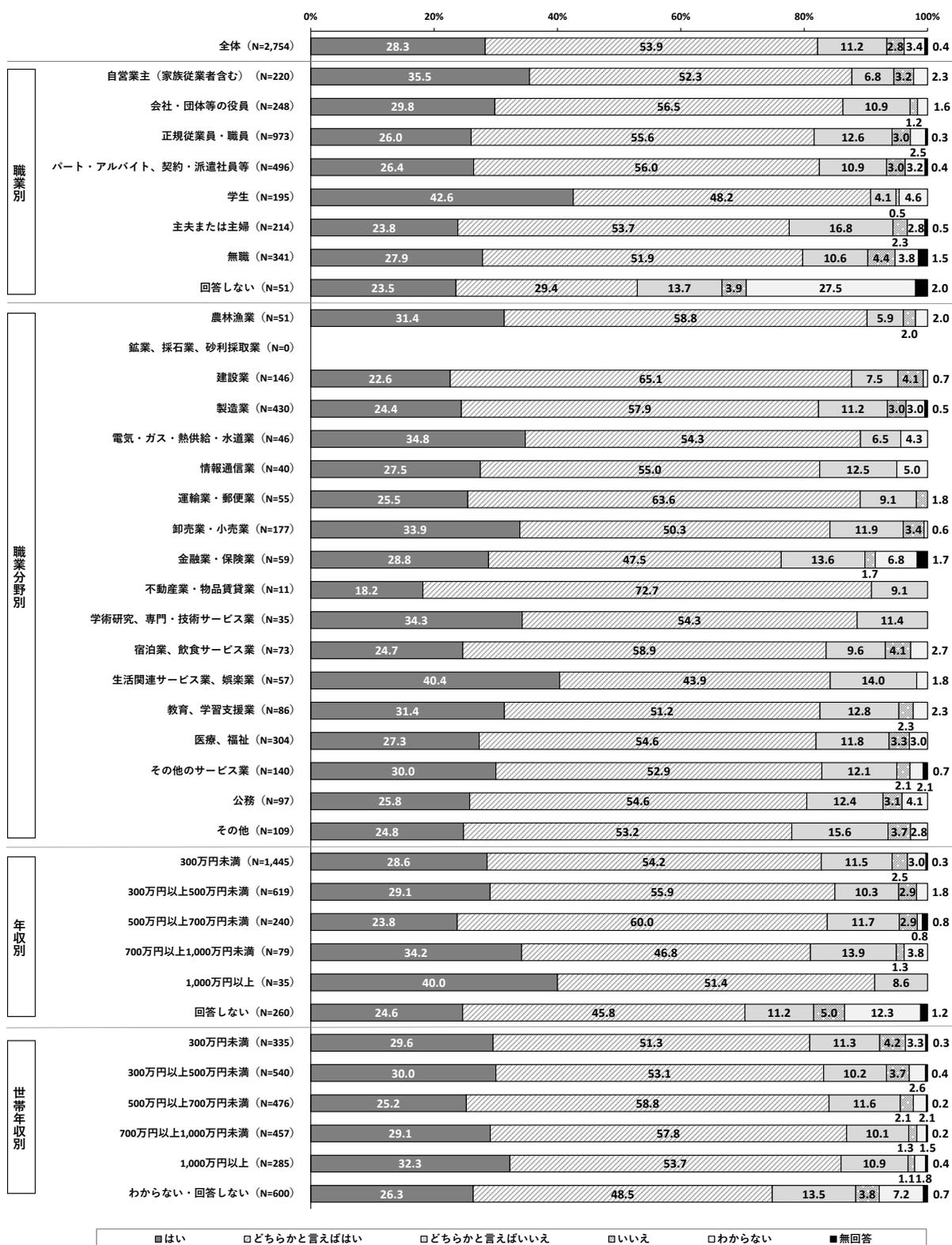
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、「1,000万円以上」では91.4%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にある。

図表 6-19-3 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。(職業・年収別)



問6-20 自分らしく、ありのままでいられている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が71.5%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は21.3%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が83.7%（うち「はい」は40.4%）を占め、他の年代よりも高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

「新川地域」では『はい』が68.2%と、他の地域と比べて若干低い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が63.6%と、他と比べて若干低い。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が67.5%と、他の居住地環境よりも若干低い。

(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年未満」では『はい』が82.1%と、他の居住年数よりも若干高い。

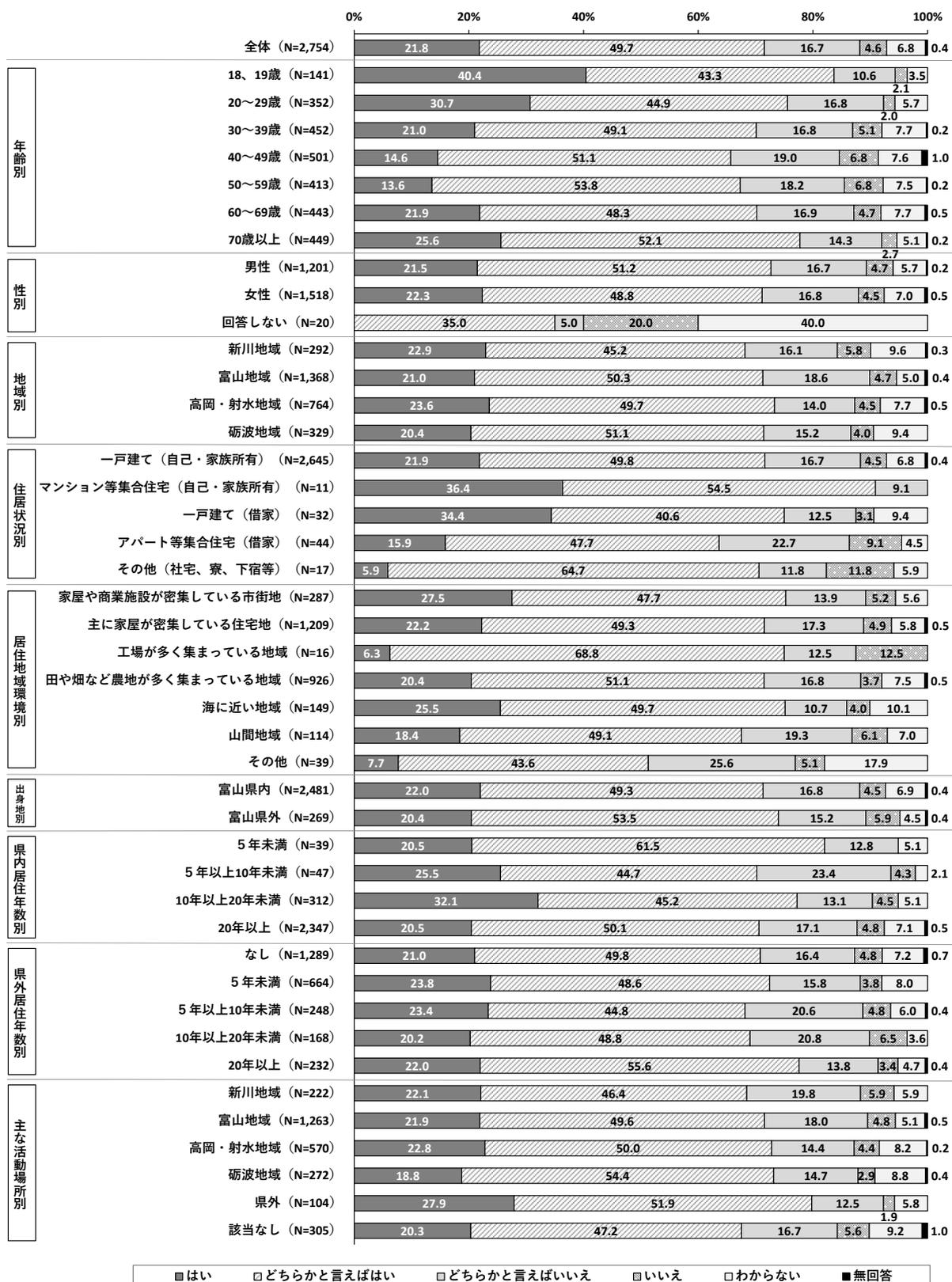
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が77.6%と、他の居住年数よりも若干高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が79.8%と、他の地域よりも若干高い。

図表 6-20-1 自分らしく、ありのままでいられている。



■ はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が65.5%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない(単身世帯)」「配偶者のみ」「配偶者と子のみ」「親と兄弟」「親と祖父・祖母」「孫あり」では『はい』が7割を超えている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

「1人」では『はい』が67.9%と、他よりも若干低い。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「4人以上」を除くすべて『はい』が7割を超えている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「0人」と「2人」では『はい』が7割を超えている。

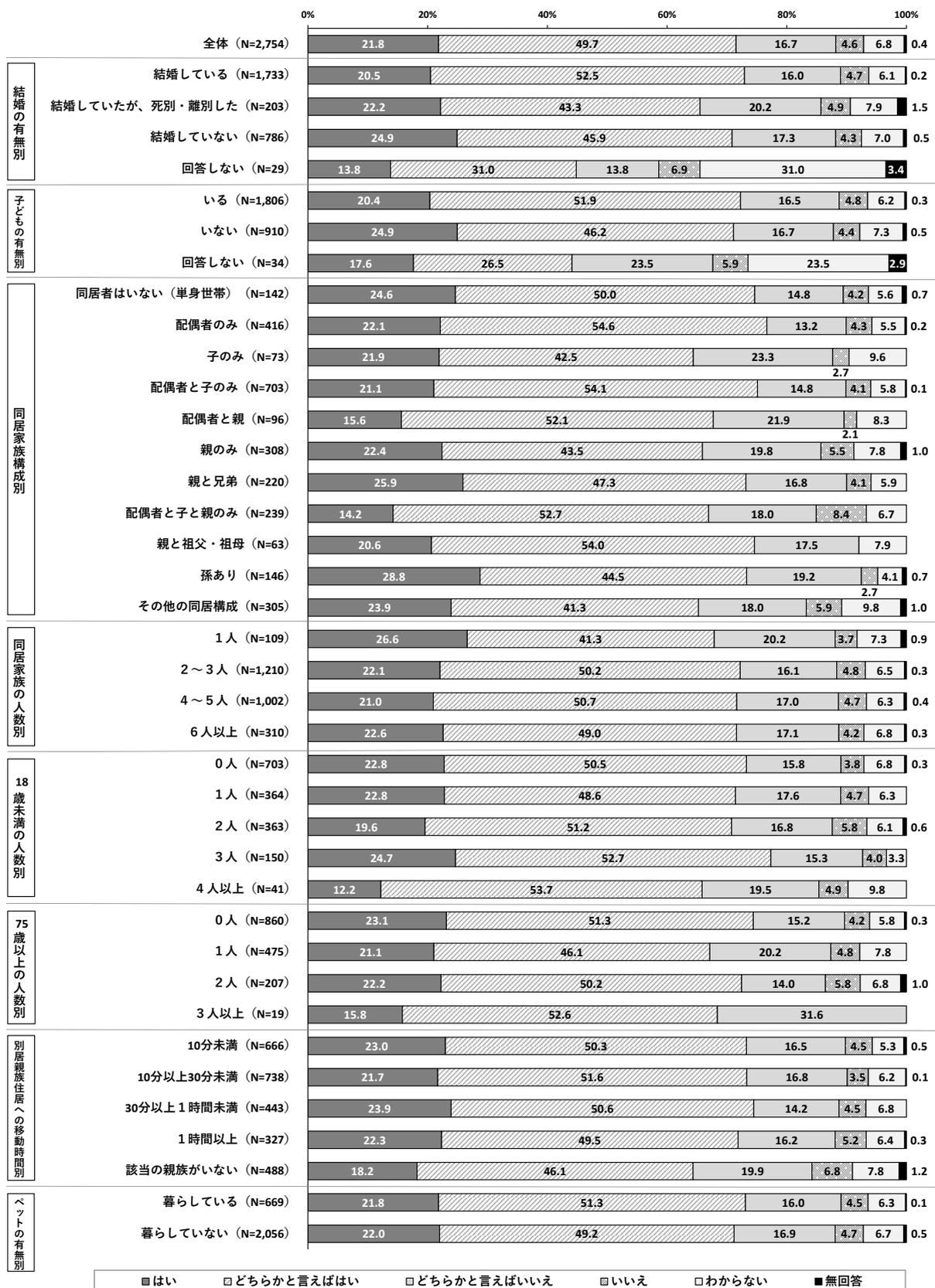
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

移動時間では大きな差は見られず、すべての移動時間で『はい』が7割を超えている。「該当の親族がない」では64.3%となっている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-20-2 自分らしく、ありのままでいられている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」と「学生」では『はい』が8割を超えている。

(6) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が8割を超えている。

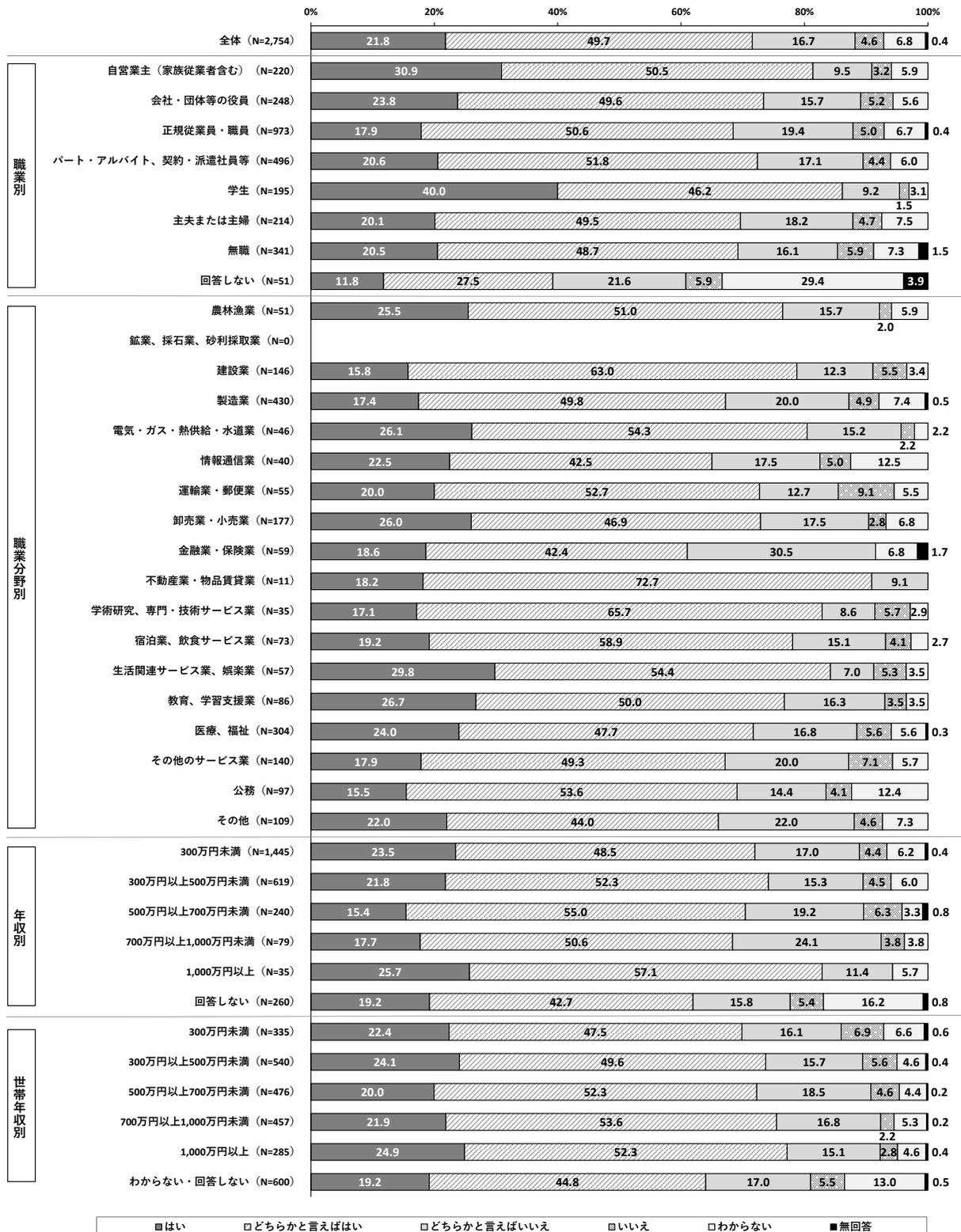
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が82.9%と、他と比べて若干高い。

(6) - 4 世帯年収別

「300万円未満」では『はい』が69.9%と、他と比べて若干低い。世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にある。

図表 6-20-3 自分らしく、ありのままでいられている。(職業・年収別)



問6-21 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が45.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が45.1%となっている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が84.4%と高い割合を占めているが、30歳代以上では5割を下回っている。

(3) 性別

「男性」では『はい』が49.6%と、「女性」よりも6.6ポイント高い。

(4) - 1 地域別

どの地域でも『はい』が45%程度となっており、地域による大きな差は見られない。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が45.7%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『いいえ』が56.1%と、他の居住地環境よりも高くなっている。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が49.1%と、「富山県内」よりも3.6ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年以上10年未満」では『いいえ』が51.1%と、他と比べて高い。

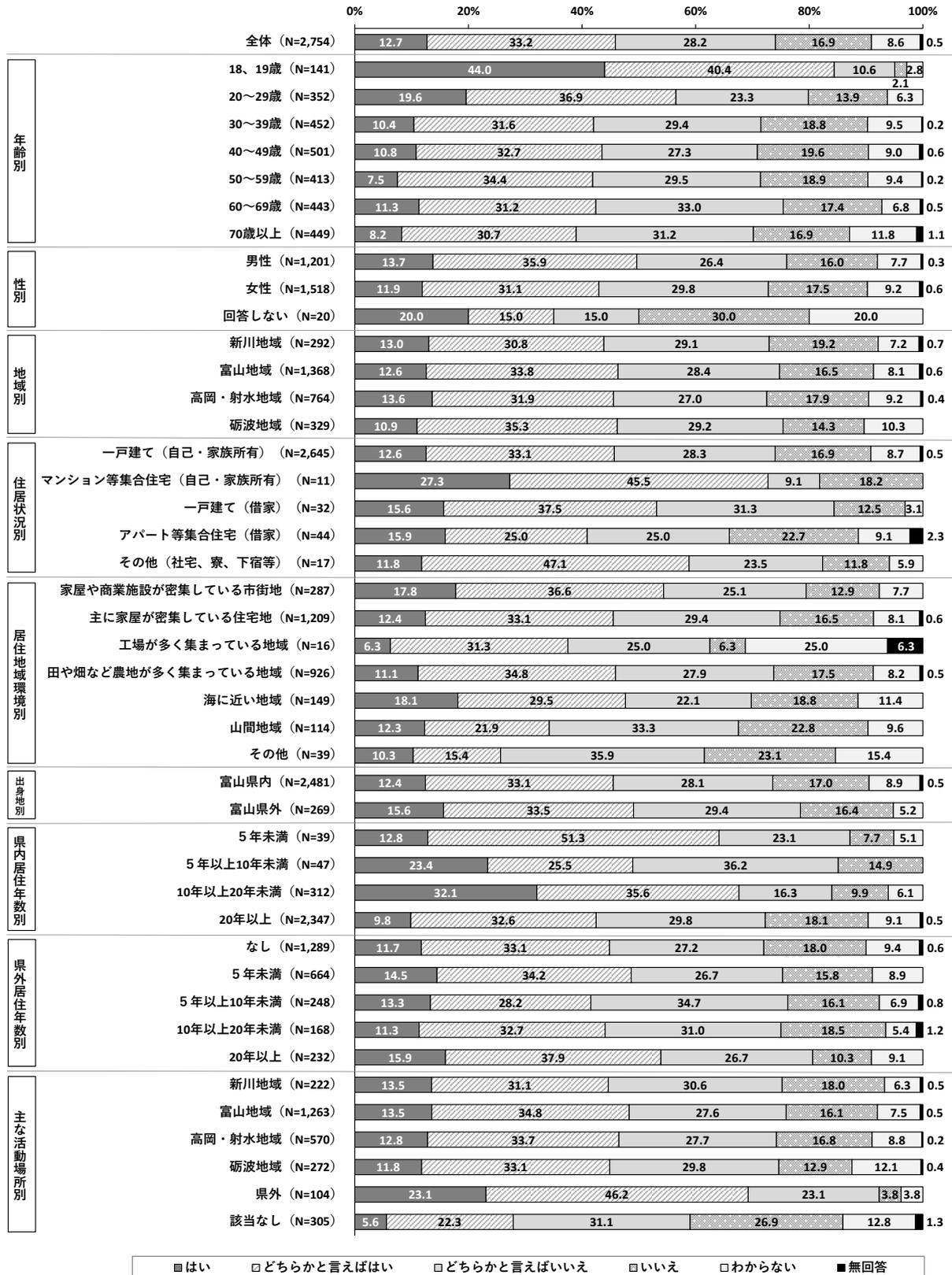
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が53.9%と、他と比べて若干高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が69.2%と他と比べて高い。「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では『いいえ』が58.0%を占めている。

図表 6-21-1 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が53.2%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が51.6%を占め、「いる」より8.5ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と親」では『いいえ』が57.3%と、他と比較して高い割合を占めている。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

すべてで『はい』『いいえ』ともに40%台となっている。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「1人」では『はい』が50.3%と、他と比べて若干高い。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

「1人」では『いいえ』が48.4%と、他と比べて若干高い。

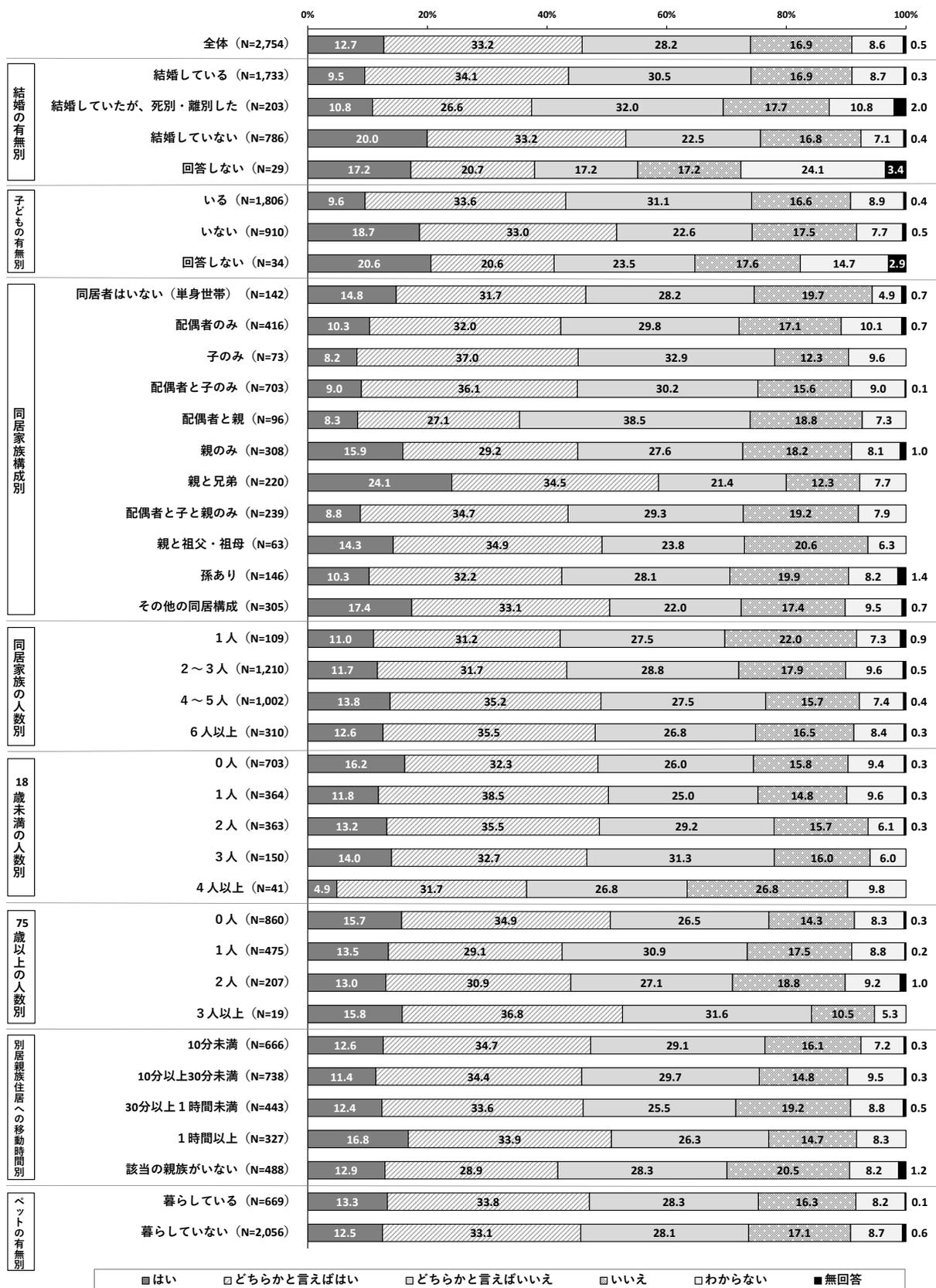
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「1時間以上」では『はい』が50.8%と、他と比べて若干高い。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-21-2 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が82.6%（うち「はい」が40.5%）を占めている。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「主夫または主婦」「無職」では『いいえ』が5割を超えている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「情報通信業」「卸売業・小売業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」では『はい』が5割以上となっている。

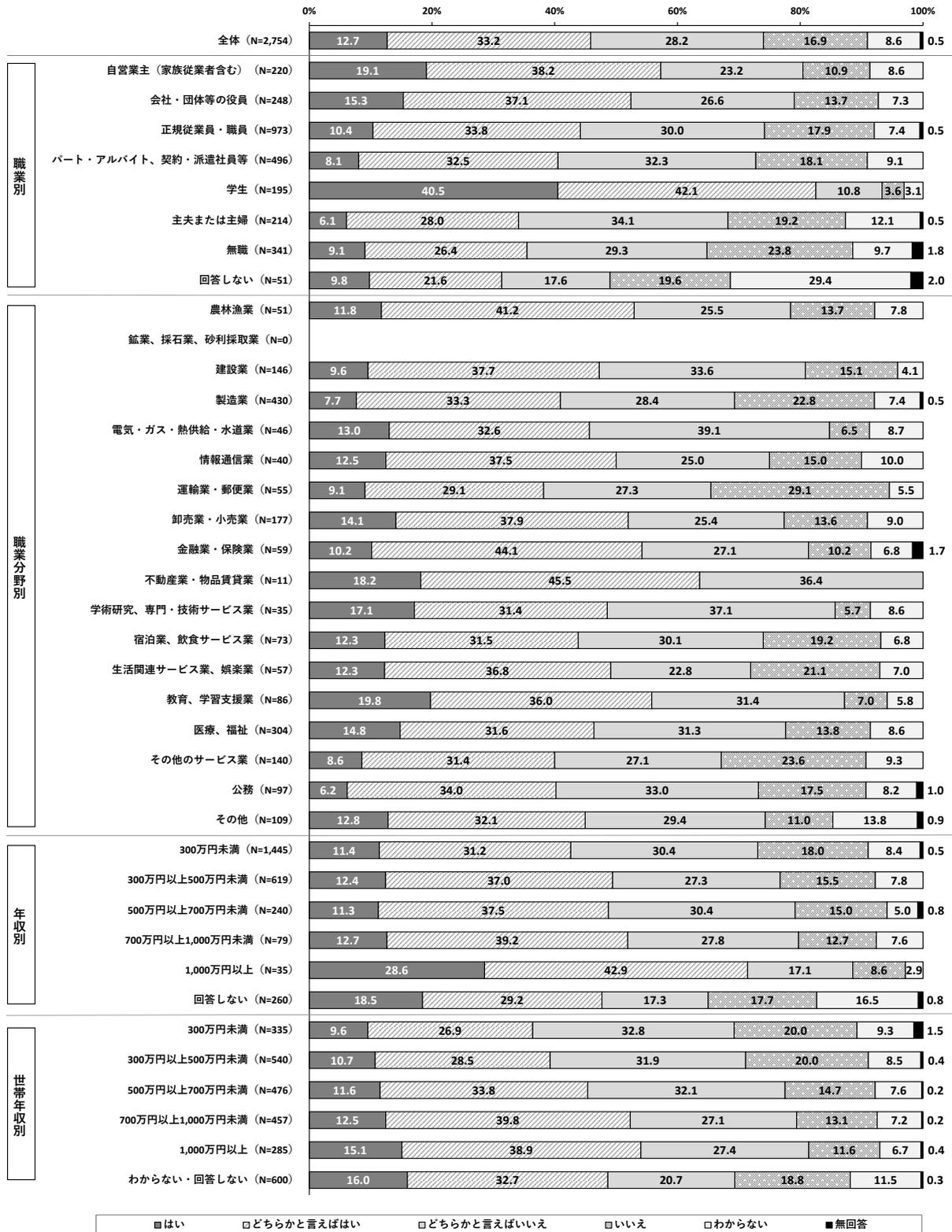
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が71.4%と、他と比べて高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では54.0%を占めている。

図表 6-21-3 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。(職業・年収別)



問6-22 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が60.8%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は25.7%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が83.0%を占めており、他の年代よりも高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

地域間での大きな差は見られず、『はい』が60%前後となっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が60.5%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が52.6%と、他の居住地環境と比較して若干低い。

(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が68.0%と、「富山県内」よりも8.0ポイント高い。

(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

「5年以上10年未満」と「10年以上20年未満」では『はい』が7割を超えている。

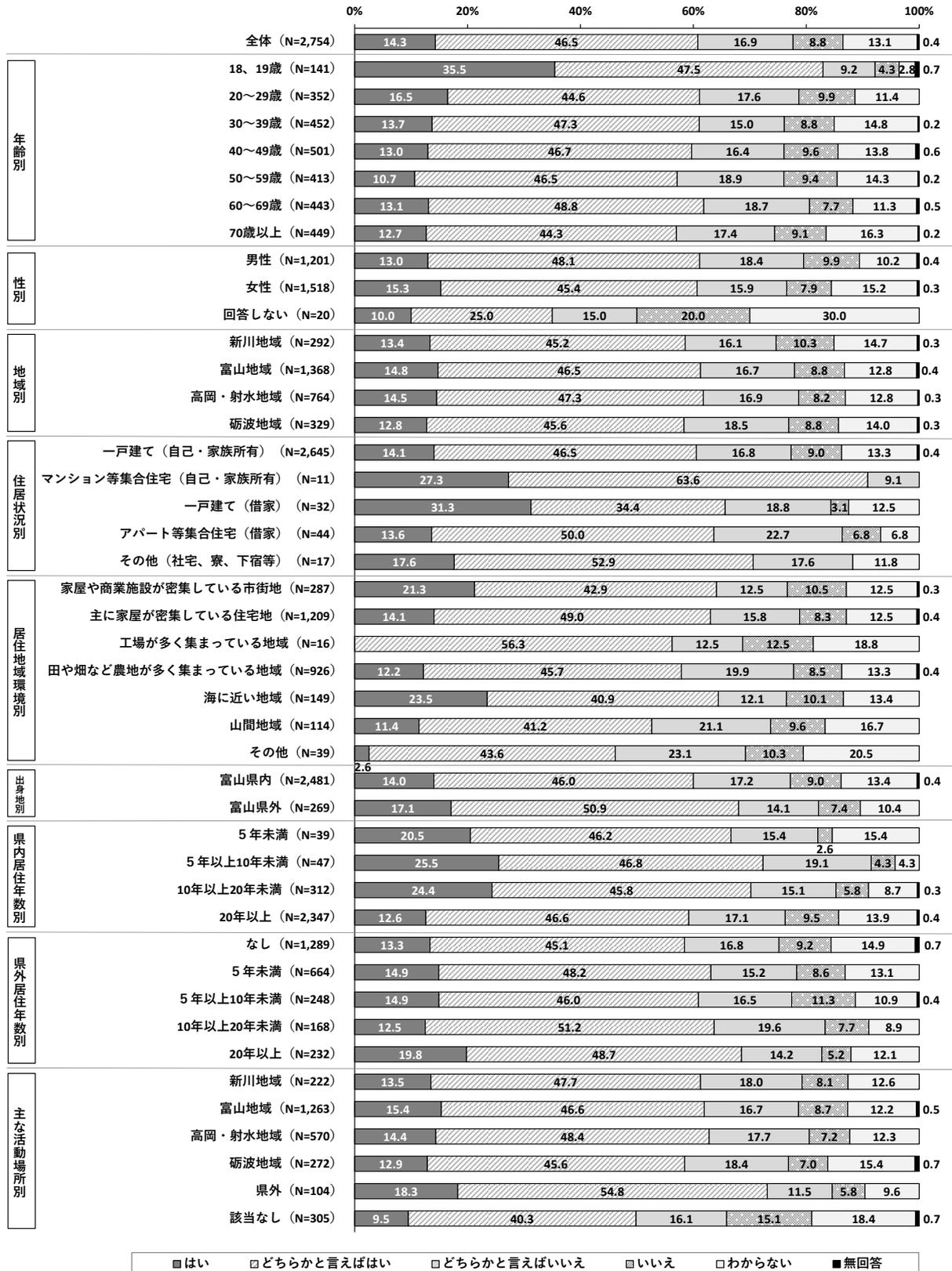
(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」では『はい』が68.5%と、他と比べて若干高い。

(4) - 6 主な活動場所別

「県外」では『はい』が73.1%を占めている。一方、「該当なし」（普段、特定の活動を行っていない）では49.8%となっている。

図表 6-22-1 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が57.9%と、他と比べて若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が62.9%と、「いない」よりも4.9ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「親と祖父・祖母」では『はい』が47.6%と、他と比べて低い。

(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

同居家族の人数が多くなるほど、『はい』が高くなる傾向にある。

(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

「3人」では『はい』が76.7%と、他と比較して高い割合を占めている。

(5) - 4 - ③ 同居家族のうち75歳以上の人数別

人数が少なくなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「0人」では64.3%となっている。

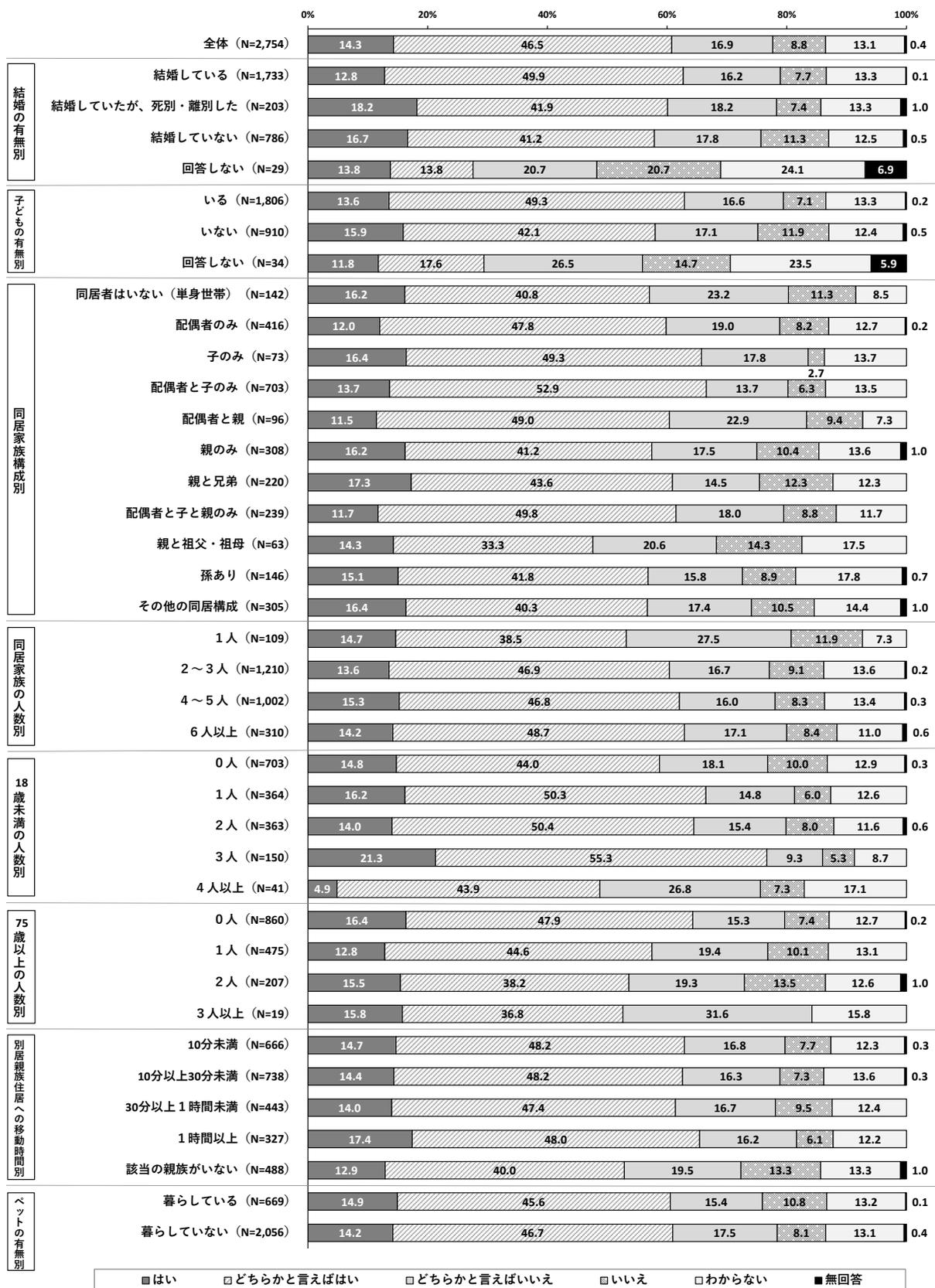
(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

移動時間では大きな差は見られず、すべての移動時間で『はい』が6割を超えている。「該当の親族がいない」では『はい』が52.9%となっている。

(5) - 6 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 6-22-2 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が79.0%を占め、他の職業と比較して高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が48.7%と、他の職業と比べて低い。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が79.1%と、他の職業分野と比べて高い。

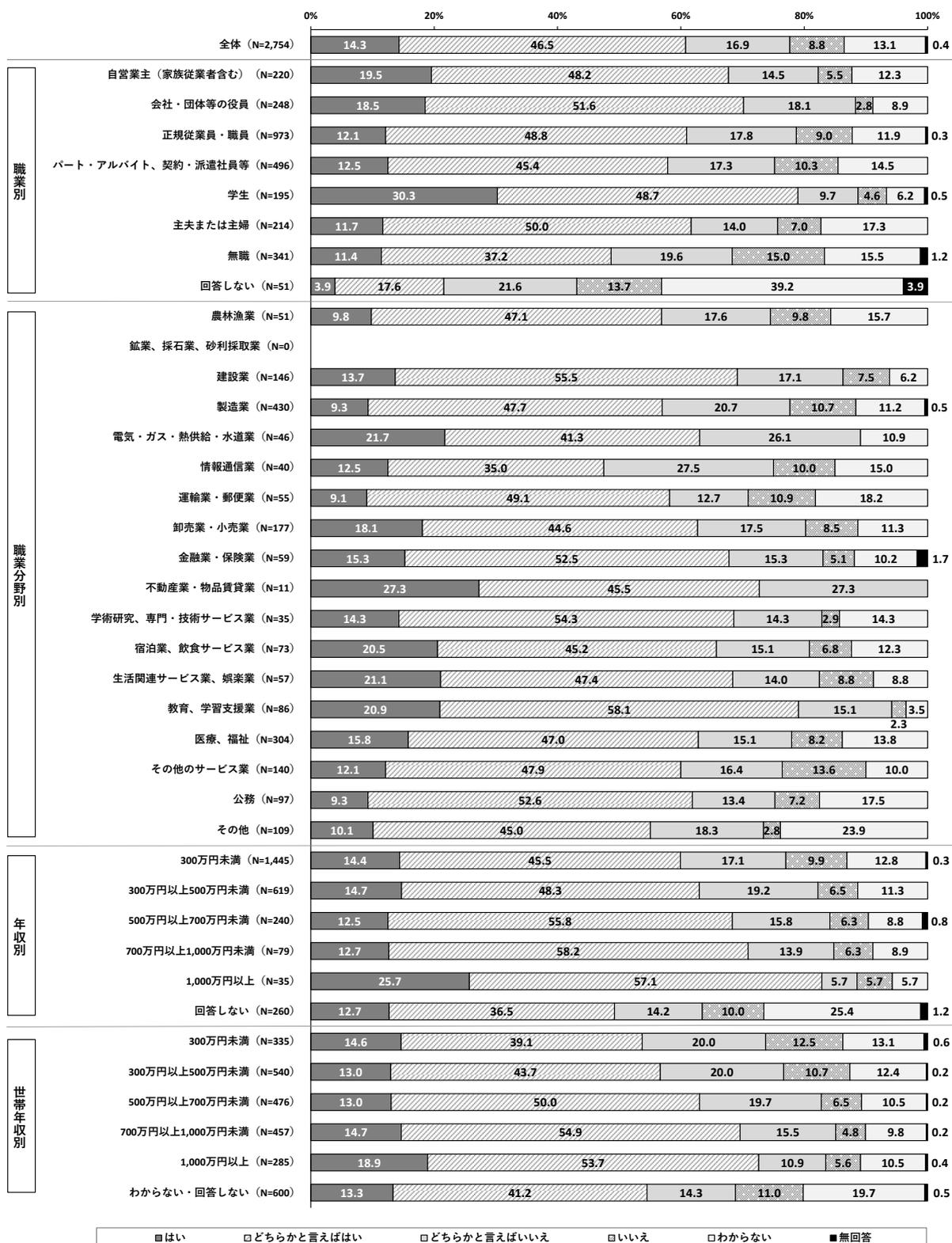
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では82.9%を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では72.6%となっている。

図表 6-22-3 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。
(職業・年収別)



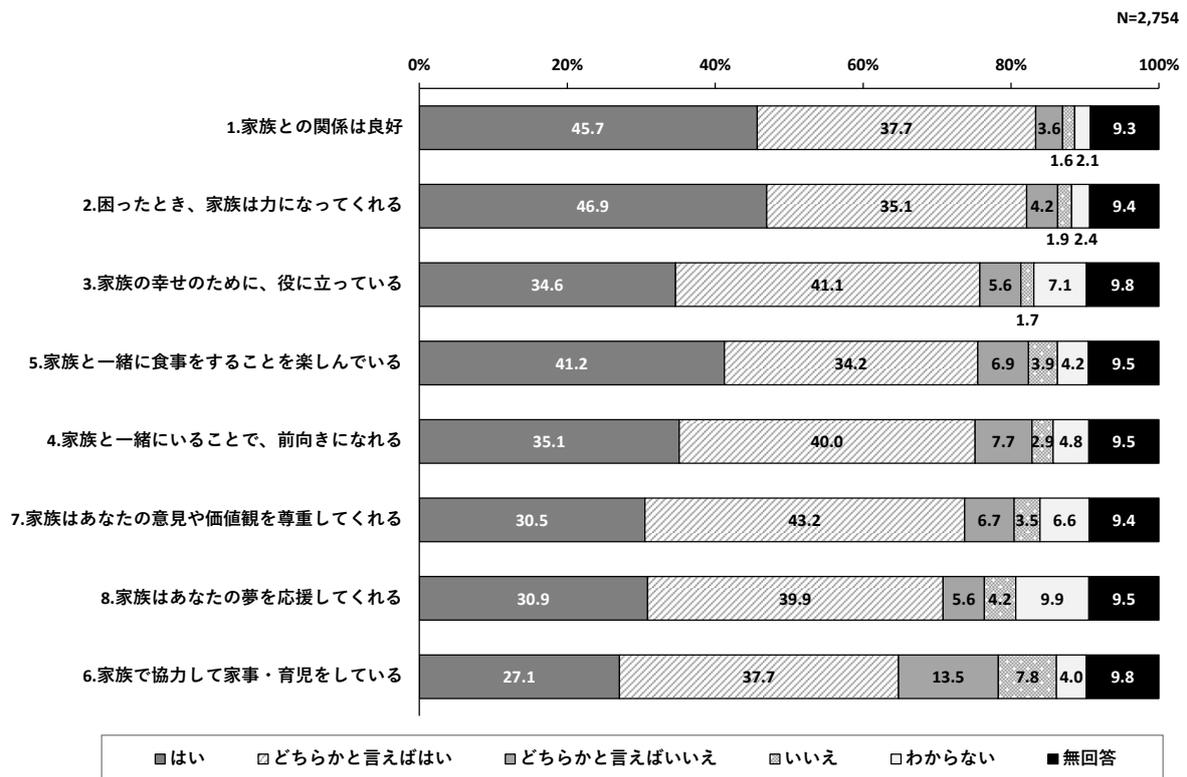
問7. 家族との関係について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

家族との関係について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.家族との関係は良好」が83.3%と最も高く、次いで「2.困ったとき、家族は力になってくれる」が82.1%、「3.家族の幸せのために、役に立っている」が75.8%であった。「1.家族との関係は良好」「2.困ったとき、家族は力になってくれる」「5.家族と一緒に食事をするを楽しんでいる」では「はい」が4割を超えている。

一方、『はい』が低かったのは、「6.家族で協力して家事・育児をしている」が64.8%と最も低く、次いで「8.家族はあなたの夢を応援してくれる」が70.8%、「7.家族はあなたの意見や価値観を尊重してくれる」が73.7%であった。

全体的に見て、「6.家族で協力して家事・育児をしている」を除き『はい』が7割を超えており、全般的に家族との関係は良好であると考えられる。

図表7 家族との関係について



問7-1 家族との関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が83.3%（うち「はい」が45.6%）を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は5.3%であった。

(2) 年齢別

「50～59歳」を除きすべての年代で『はい』が8割を超えている。「18、19歳」では『はい』が90.8%（うち「はい」が68.8%）と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」では『はい』が84%前後と、他の地域よりも若干高くなっている。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が69.5%と、他と比較して低い。

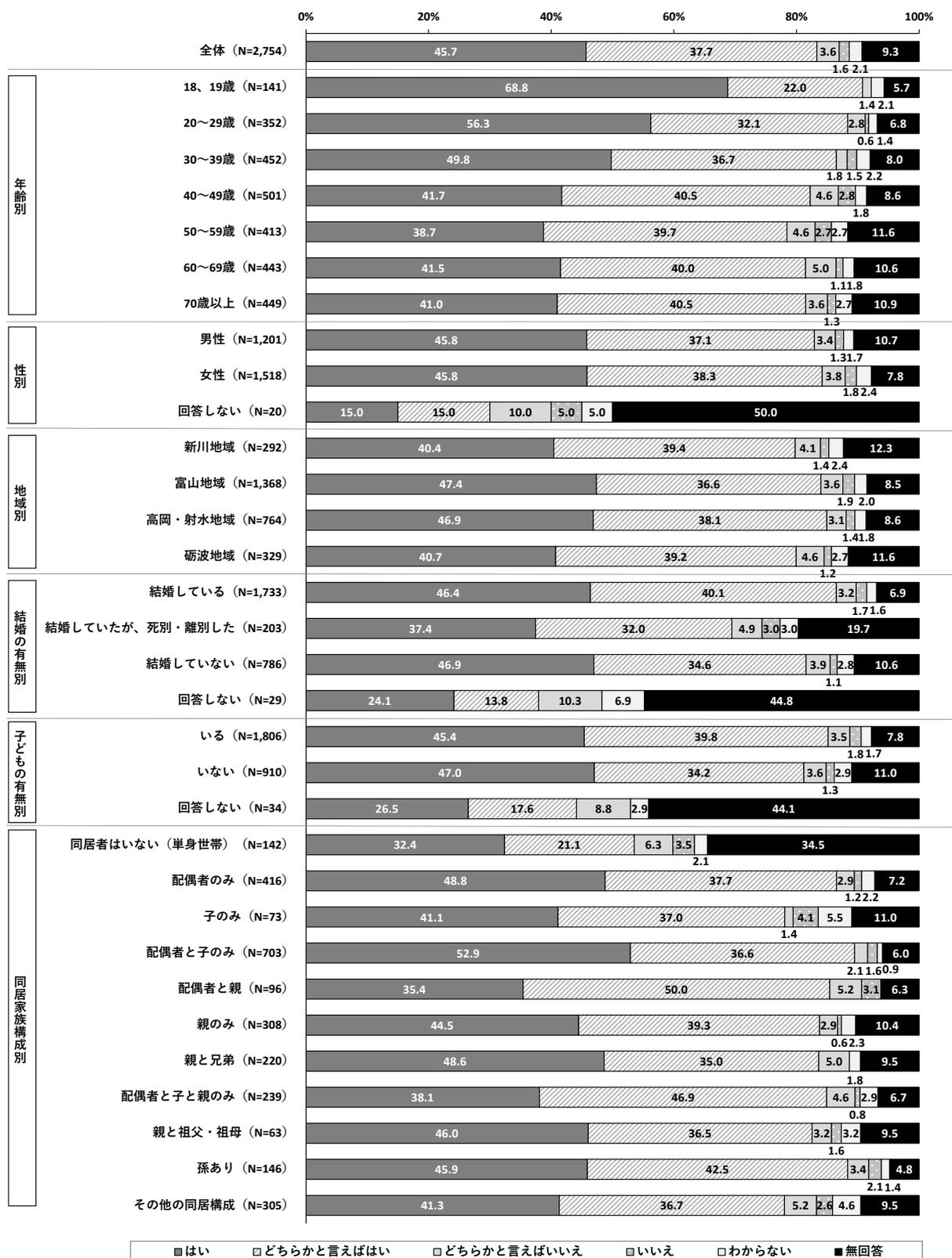
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られないものの、『はい』では子どもが「いない」よりも「いる」の方が4.0ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（単身世帯）」「子のみ」「その他の同居構成」を除く家族構成で『はい』が8割を超えている。「同居者はいない（単身世帯）」では53.5%と、他と比べて低い。

図表 7-1 家族との関係は良好である。



問7-2 困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が82.1%（うち「はい」が46.9%）を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は6.1%であった。

(2) 年齢別

50～69歳で『はい』が70%台と、他の年代よりも若干低い。一方、「18、19歳」では『はい』が90.8%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差はないものの、「はい」は「女性」の方が3.8ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が80%前後となっている。「富山地域」と「高岡・射水地域」では「はい」が48%前後と、他の地域よりも若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が68.5%と、他と比較して若干低い。

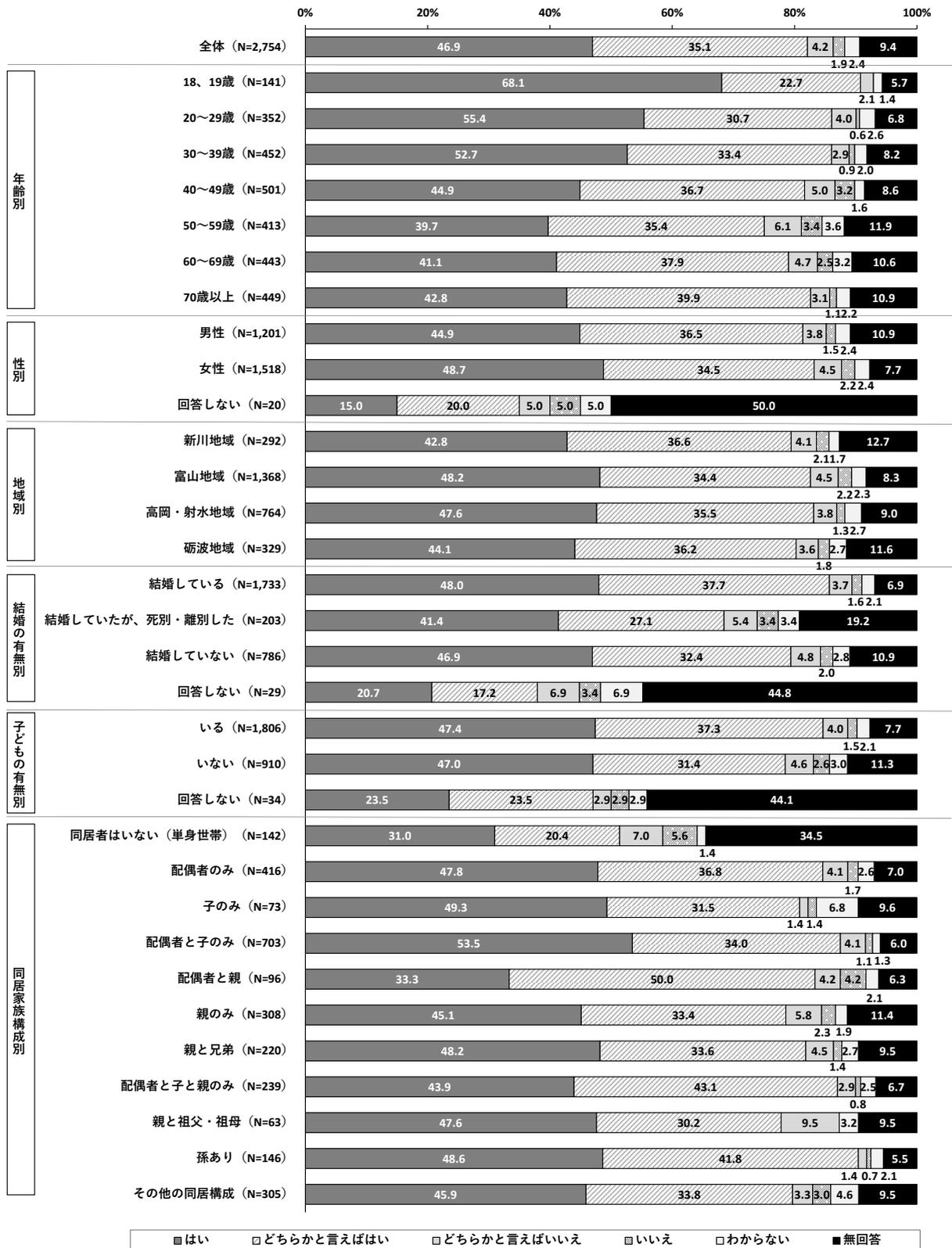
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が84.7%を占めており、「いない」よりも6.2ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「孫あり」では『はい』が90.4%と高い割合を占め、他よりも若干高くなっている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では51.4%と、他と比べて低い。

図表 7-2 困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。



問7-3 家族の幸せのために、何らかの役に立っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が75.8%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は7.3%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超えている。「20～29歳」では『はい』が70.2%と、他の年代と比較して若干低い。

(3) 性別

男女間で大きな差はないものの、『はい』は「女性」の方が3.0ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えている。「富山地域」と「高岡・射水地域」では「はい」が35%前後となっており、他の地域よりも若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が83.5%と、他よりも高い割合を占めている。

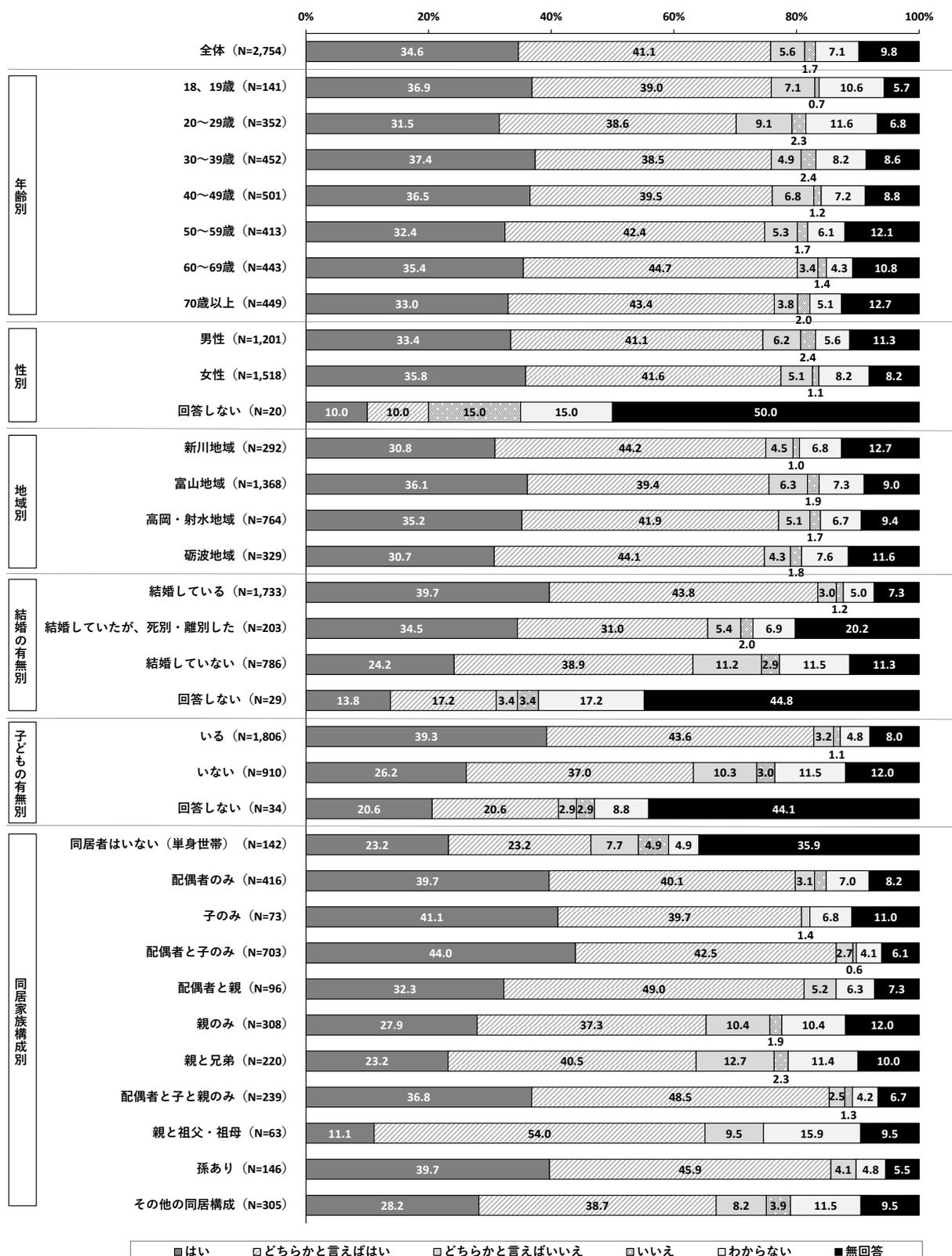
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が82.8%と、「いない」よりも19.6ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子のみ」では『はい』が86.5%と、他よりも若干高い。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では『はい』が46.5%と、他と比べて低い。

図表 7-3 家族の幸せのために、何らかの役に立っている。



■はい □どちらかと言えばいい □どちらかと言えば □いいえ □わからない ■無回答

問7-4 家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が75.1%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.6%であった。

（2）年齢別

「18、19歳」では『はい』が85.1%（うち「はい」が48.9%）と高い割合を占めている。一方、「60～69歳」では『はい』が68.5%となっており、他の年代よりも若干低い。

（3）性別

男女間で大きな差は見られない。

（4）地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」では『はい』が76%前後となっている一方で、「新川地域」と「砺波地域」では70%前後と若干低い。

（5）-1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が80.6%と、他と比較して高い割合を占めている。

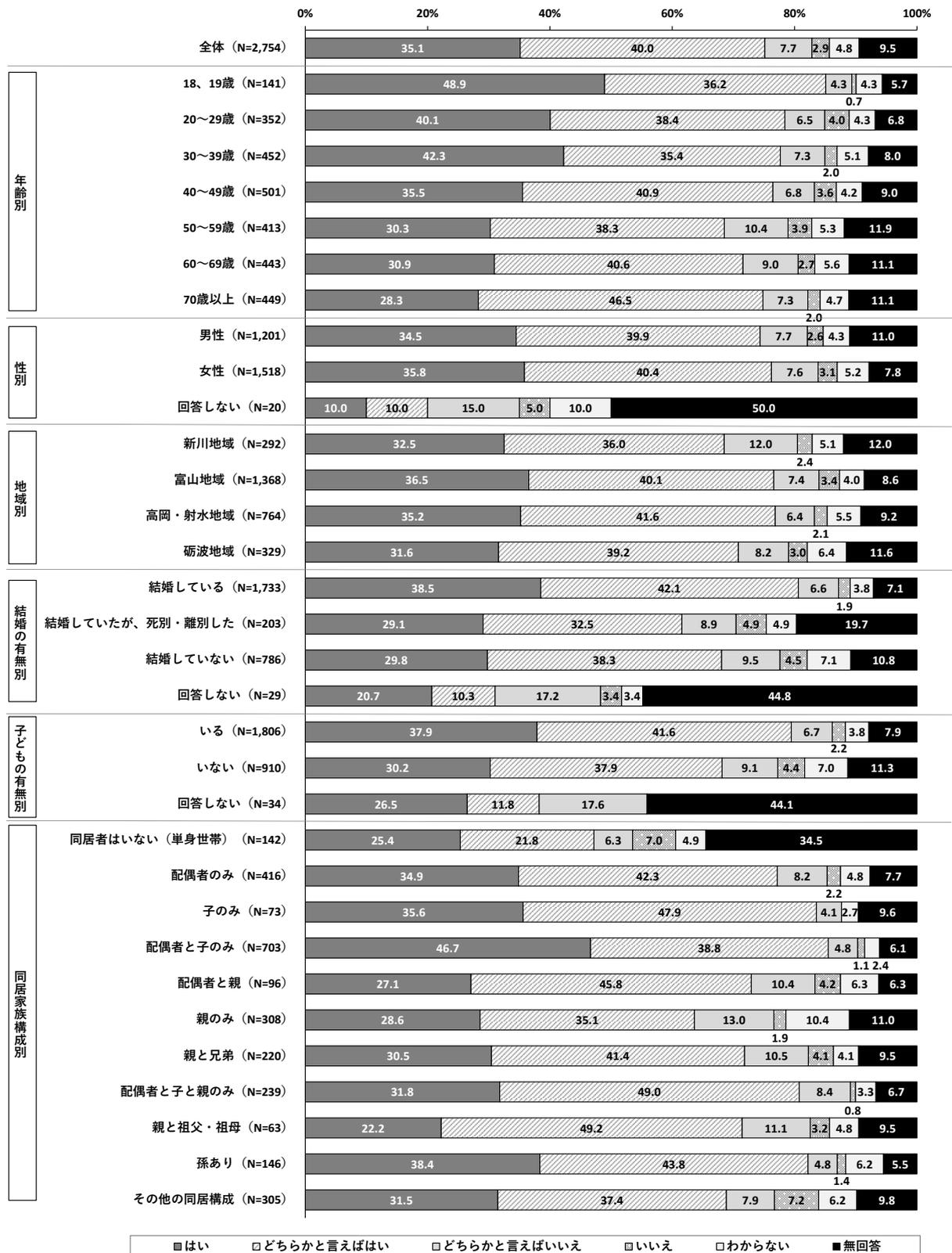
（5）-2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が79.5%と、「いない」よりも11.4ポイント高い。

（5）-3 同居家族の構成別

「子のみ」「配偶者と子のみ」「配偶者と子と親のみ」「孫あり」では『はい』が8割を超えている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では『はい』が47.2%と、他と比べて低い。

図表 7-4 家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。



問7-5 家族と一緒に食事をするを楽しんでいる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が75.5%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.8%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が85.1%（うち「はい」は61.7%）と他の年代よりも高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が2.3ポイント高い。

(4) 地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」で『はい』が76%前後と、他の地域よりも若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が81.5%と、他と比較して高い割合を占めている。

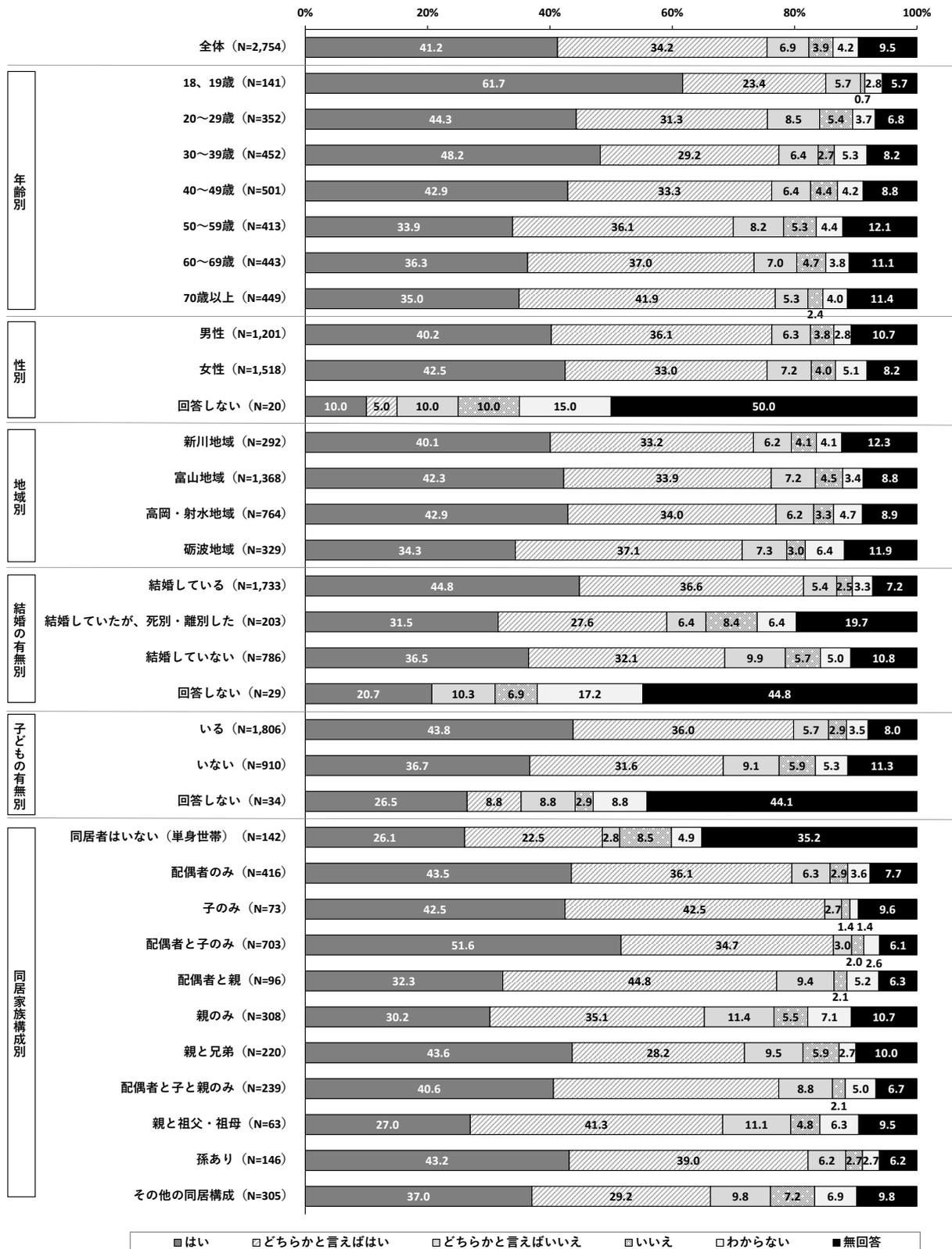
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が79.8%と、「いない」よりも11.4ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「子のみ」「配偶者と子のみ」「孫あり」では『はい』が8割を超えている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では『はい』が48.6%と、他と比べて低い。

図表 7-5 家族と一緒に食事をするを楽しんでいる。



はい
 どちらかと言えばいい
 どちらかと言えば
 いいえ
 わからない
 無回答

問7-6 家族で協力して、家事・育児を行っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が64.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が21.4%となっている。

(2) 年齢別

「30～39歳」では『はい』が70.6%と、他の年代よりも若干高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間での差はあまりないものの、『はい』は「女性」の方が4.5ポイント高い。

(4) 地域別

「新川地域」では『はい』が60.3%と、他の地域よりも若干低い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が72.6%と、他と比較して高い割合を占めている。

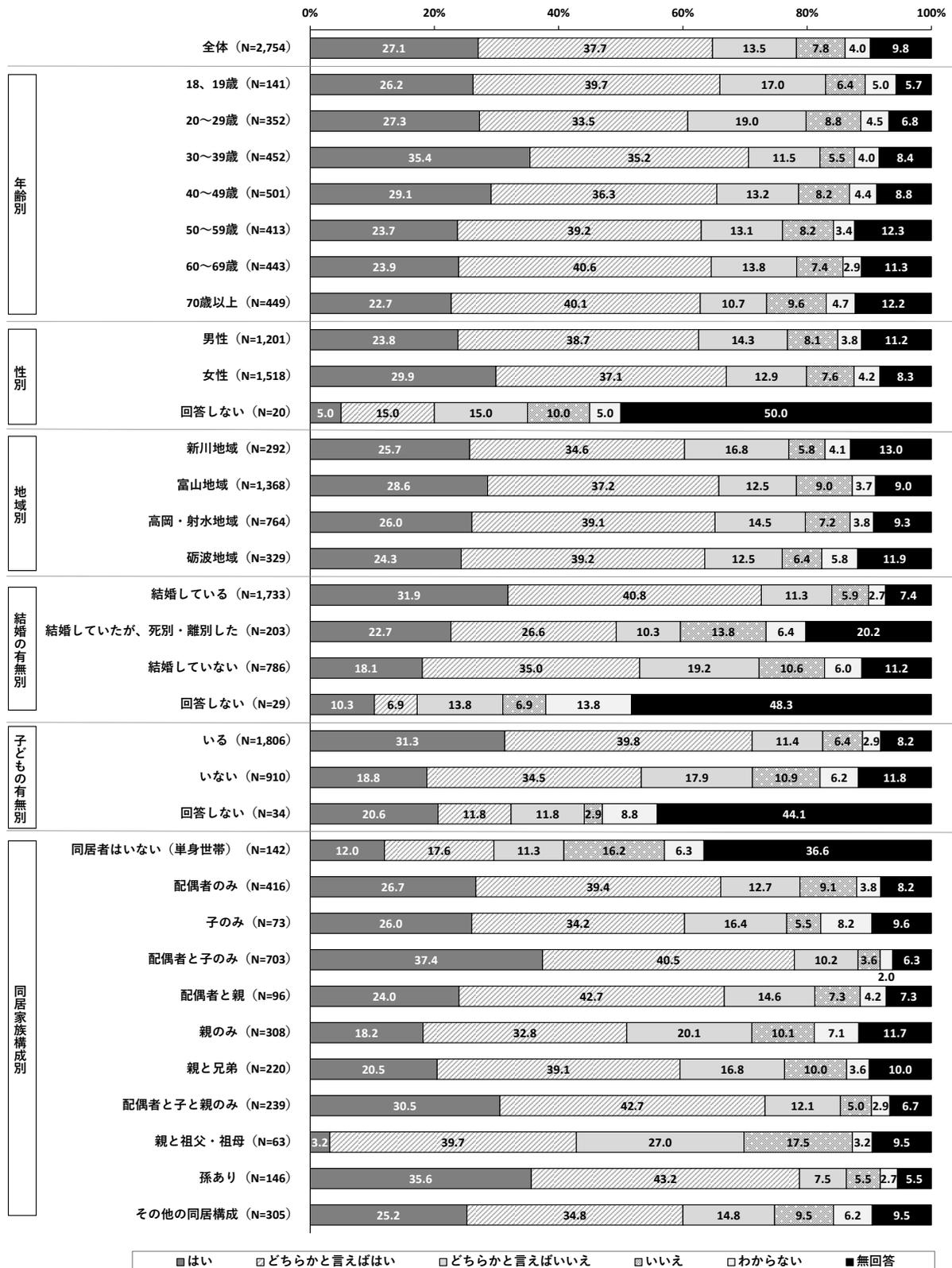
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が71.2%と、「いない」よりも17.9ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子のみ」「配偶者と子と親のみ」「孫あり」では『はい』が7割を超えている。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では『はい』が29.6%と、他と比べて低い。

図表 7-6 家族で協力して、家事・育児を行っている。



問7-7 家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が73.7%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.2%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が89.4%（うち「はい」が53.2%）と高い割合を占めている。一方、50歳以上では『はい』が6割台となっている。「はい」は、年齢が高くなるほど下がる傾向にある。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が3.3ポイント高い。

(4) 地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」では『はい』が74%程度となっており、一方、「新川地域」と「砺波地域」では70%前後と若干低くなっている。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が58.1%と、他よりも低い。

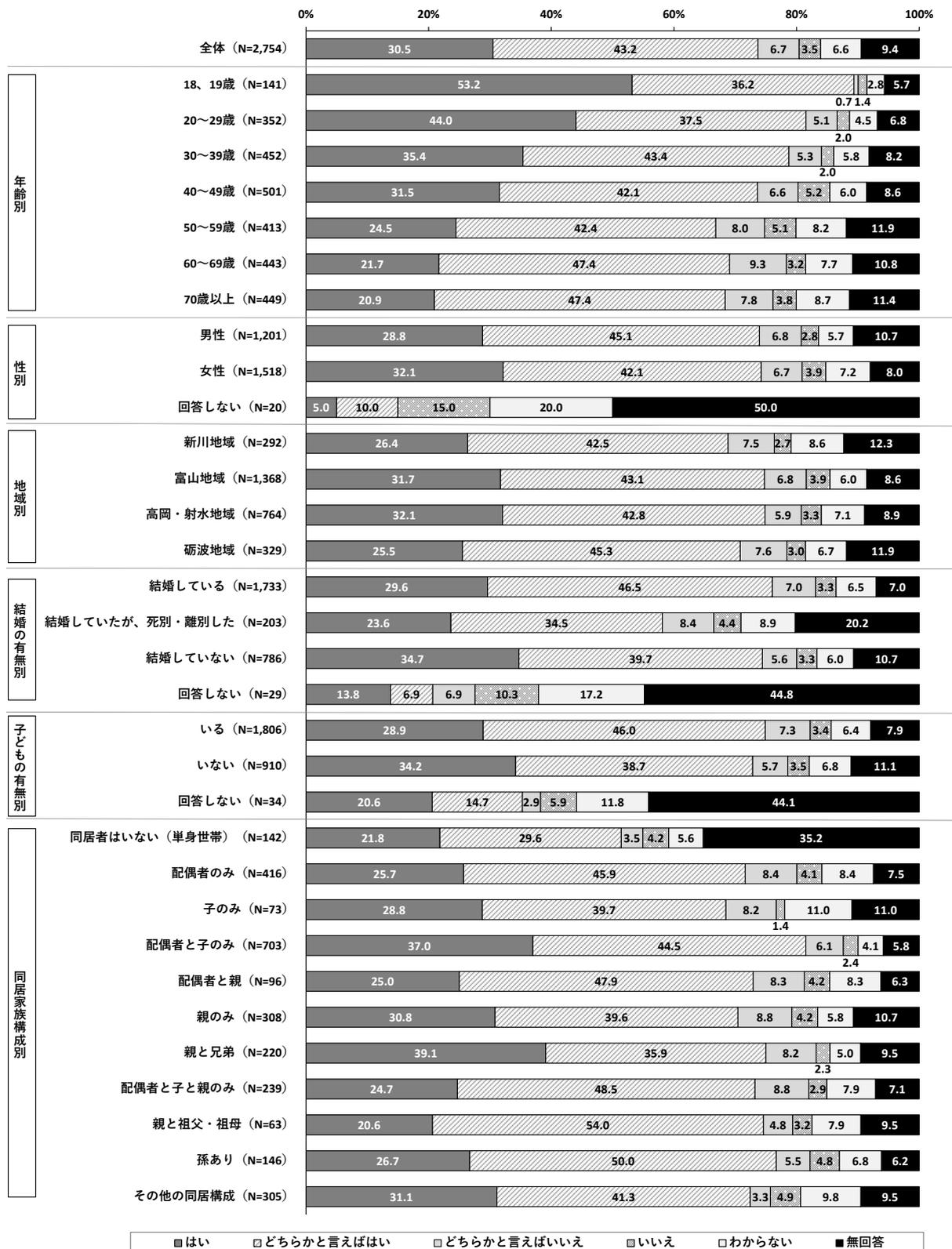
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られず、『はい』が7割を超えている。「はい」は子どもが「いる」よりも「いない」の方が5.3ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子のみ」では『はい』が81.5%と、他と比べて若干高い。一方、「同居者はいない（単身世帯）」では51.4%と、他と比べて低い。

図表 7-7 家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。



問7-8 家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。(または、応援・協力してくれると感じている。)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が70.8%を占め、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は9.8%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が91.5%(うち「はい」が70.2%)と高い割合を占めている。一方、「50～59歳」では『はい』が61.3%と、他の年代と比較して若干低い。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が2.6ポイント高いものの、「はい」では「女性」の方が3.7ポイント高くなっている。

(4) 地域別

「富山地域」と「高岡・射水地域」では72%前後と、他の地域よりも若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が56.7%と、他と比較して低い。

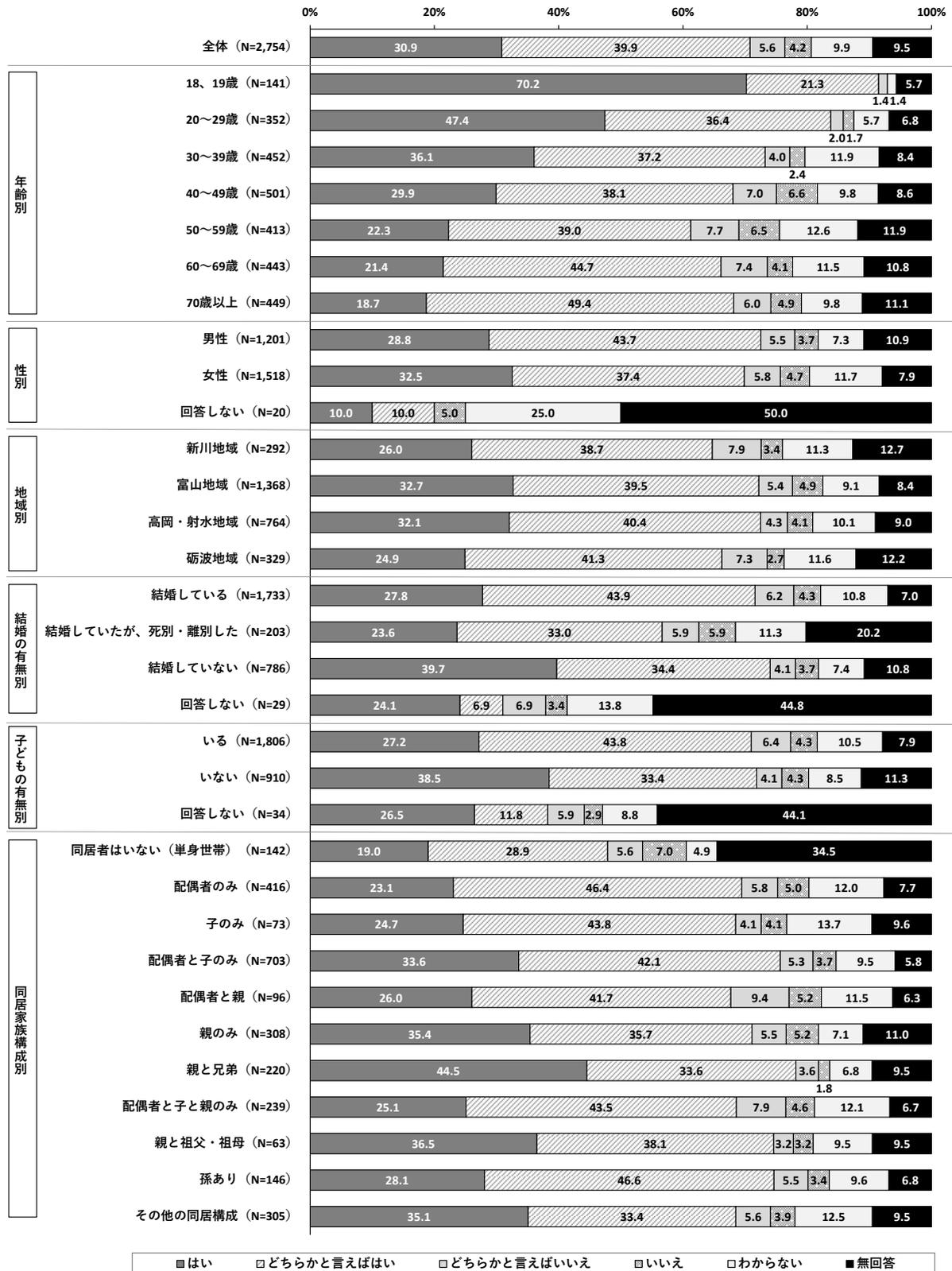
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が38.5%と、「いる」よりも11.3ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子のみ」「親のみ」「親と兄弟」「親と祖父・祖母」「孫あり」では『はい』が7割を超えている。「同居者はいない(単身世帯)」では『はい』が47.9%と、他と比べて低い。

図表 7-8 家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。



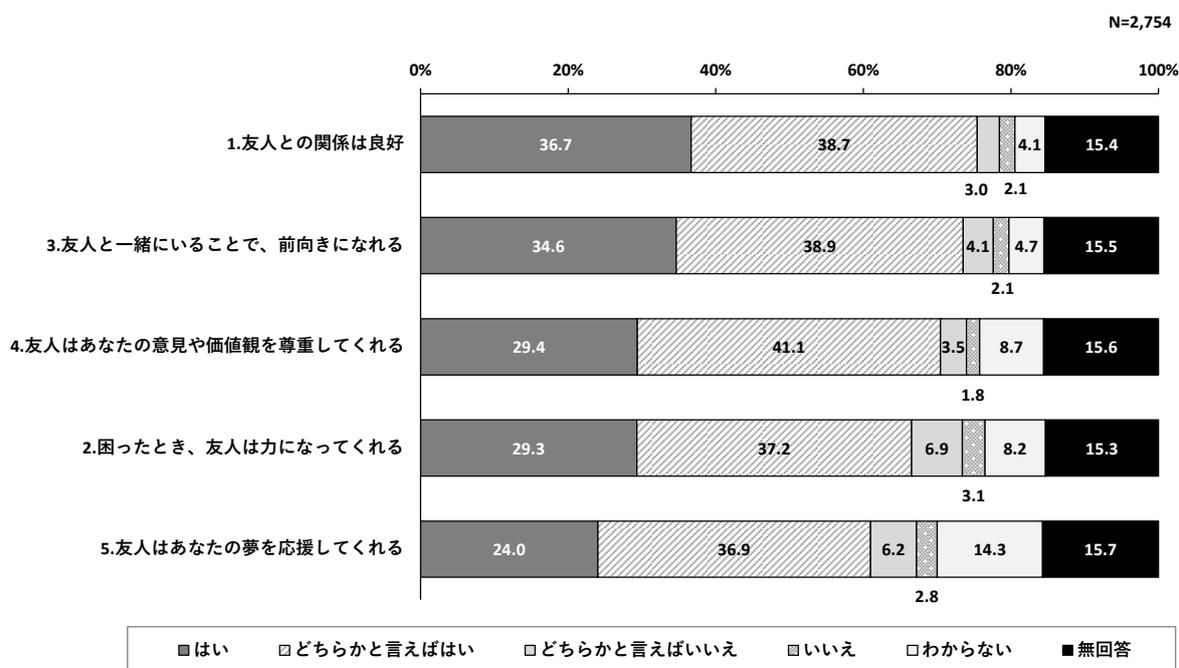
問8. 友人との関係について、以下の設問にお答えください。
 それぞれの設問につき、1つ選んでください。

友人との関係について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.友人との関係は良好」が75.4%と最も高く、次いで「3.友人と一緒にいることで、前向きになれる」が73.5%、「4.友人はあなたの意見や価値観を尊重してくれる」が70.4%であった。

一方、『はい』が低かったのは、「5.友人はあなたの夢を応援してくれる」が61.0%と最も低く、次いで「2.困ったとき、友人は力になってくれる」が66.5%であった。

全体的に見て、『はい』が6割を超えており、家族との関係と同様に友人との関係も全般的に良好であると考えられる。

図表8 友人との関係について



問8-1 友人との関係は良好である。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が75.4%を占めている。一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は5.1%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が8割を超えており、「18、19歳」では92.2% (うち「はい」が65.2%)と比較的高い割合を占めている。

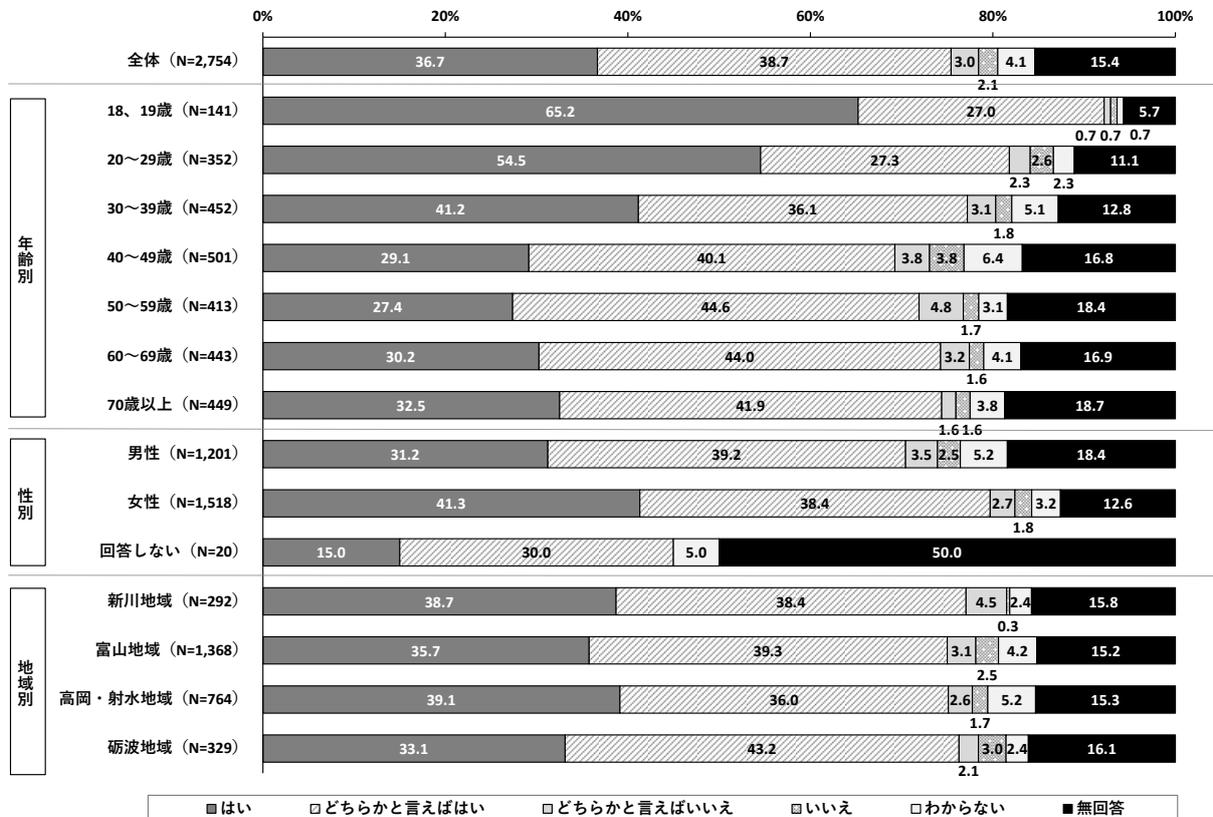
(3) 性別

男女ともに『はい』が7割を超えている。「はい」は「女性」の方が10.1ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えている。「新川地域」と「高岡・射水地域」では「はい」が39%前後と、他の地域よりも若干高い。

図表8-1 友人との関係は良好である。



問8-2 困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が66.5%を占めており、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は9.9%であった。

(2) 年齢別

年代が低くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、20歳代以下では7割を超えている。特に、「18、19歳」では『はい』が87.2%（うち「はい」が61.0%）と高い割合を占めている。

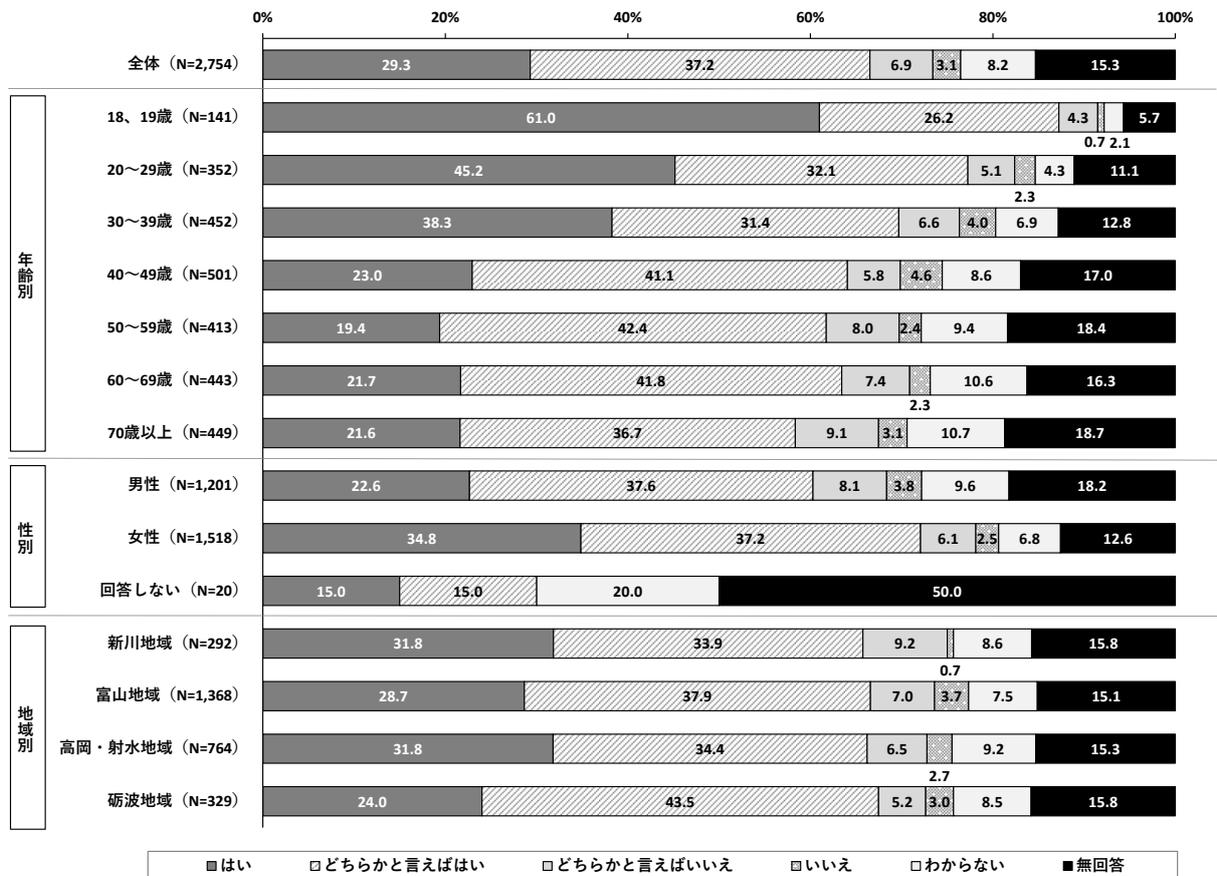
(3) 性別

「女性」では『はい』が72.1%と、「男性」よりも11.8ポイント高い。

(4) 地域別

「新川地域」と「高岡・射水地域」では「はい」が31.8%と、他の地域よりも若干高い。

図表8-2 困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。



問8-3 友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が73.5%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は6.2%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が8割を超えている。特に「18、19歳」では89.4%（うち「はい」が67.4%）と高い割合を占めている。

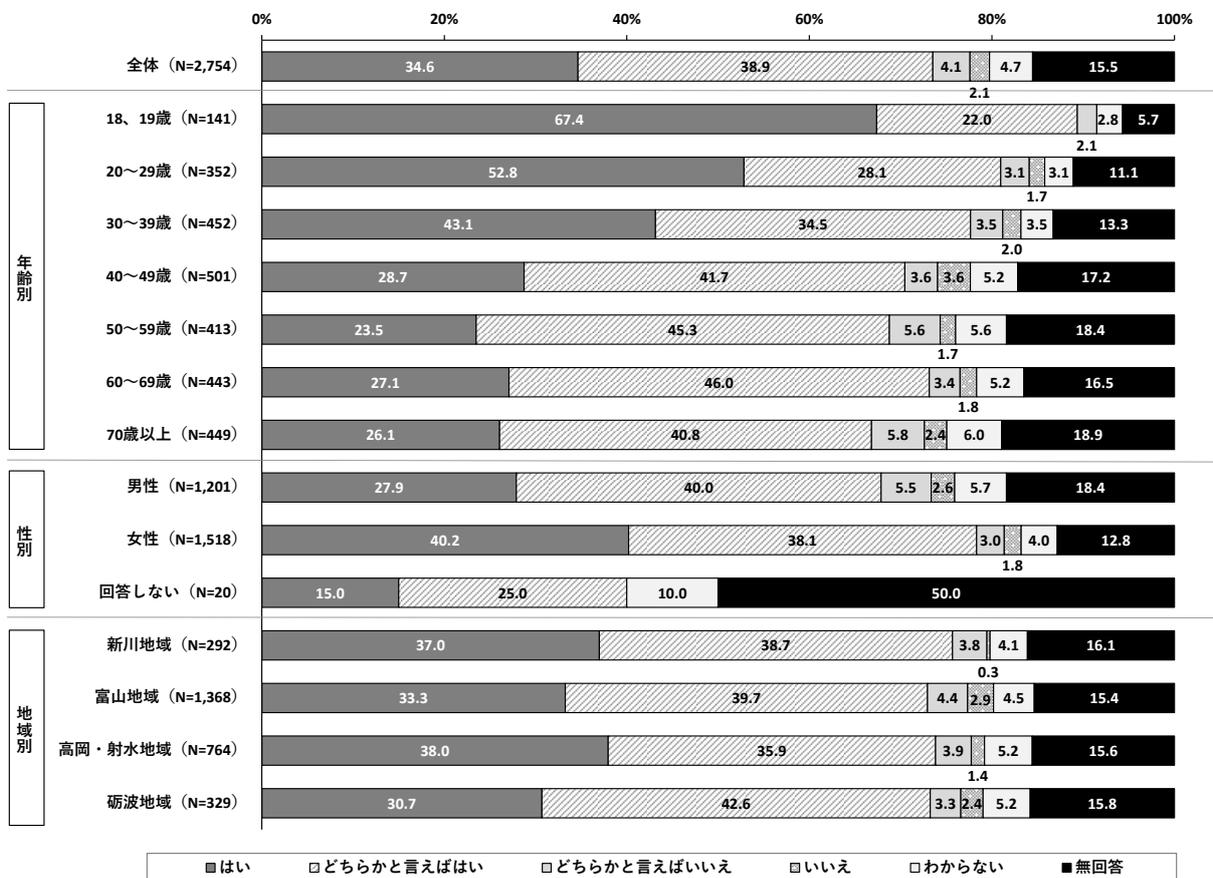
(3) 性別

「はい」は「女性」が40.2%と、「男性」よりも12.3ポイント高い。

(4) 地域別

「新川地域」と「高岡・射水地域」では「はい」が38%前後と、他の地域よりも若干高い。

図表 8-3 友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。



問8-4 友人は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が70.4%を占めている。一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は5.3%であった。

(2) 年齢別

『はい』は「18、19歳」では87.9%を占めているものの、年齢が高くなるほど概ね低くなる傾向にあり、「70歳以上」では61.0%となっている。

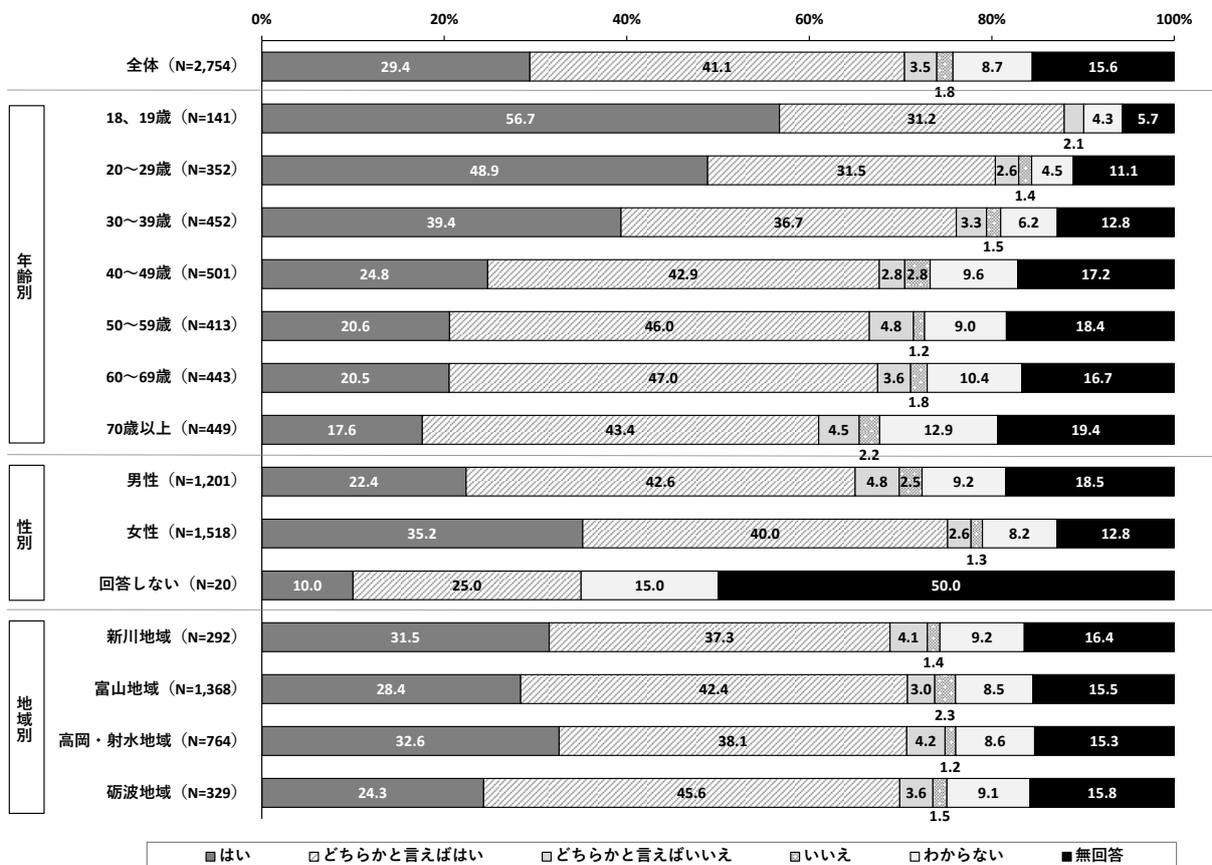
(3) 性別

「女性」では「はい」が35.2%と、「男性」よりも12.8ポイント高い。

(4) 地域別

「新川地域」と「高岡・射水地域」では「はい」が32%前後と、他の地域よりも若干高い。

図表8-4 友人は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。



問8-5 友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。(または、応援・協力してくれると感じている。)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が61.0%を占めており、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は9.0%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が7割を超えているものの、40～69歳では5割台、「70歳以上」では49.2%と、年齢が高くなるほど概ね低くなる傾向にある。

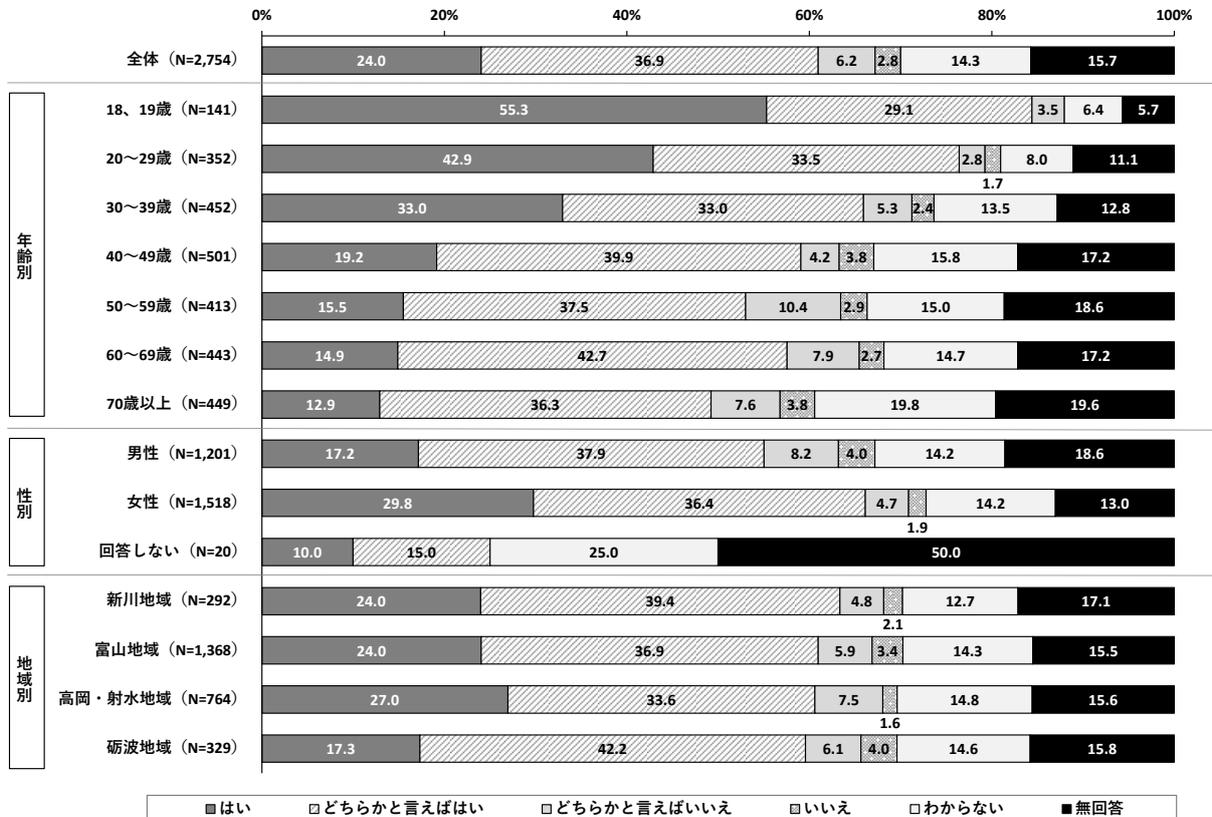
(3) 性別

「女性」では『はい』が66.1%と、「男性」よりも11.1ポイント高い。

(4) 地域別

どの地域でも『はい』が60%前後となっている。

図表8-5 友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。



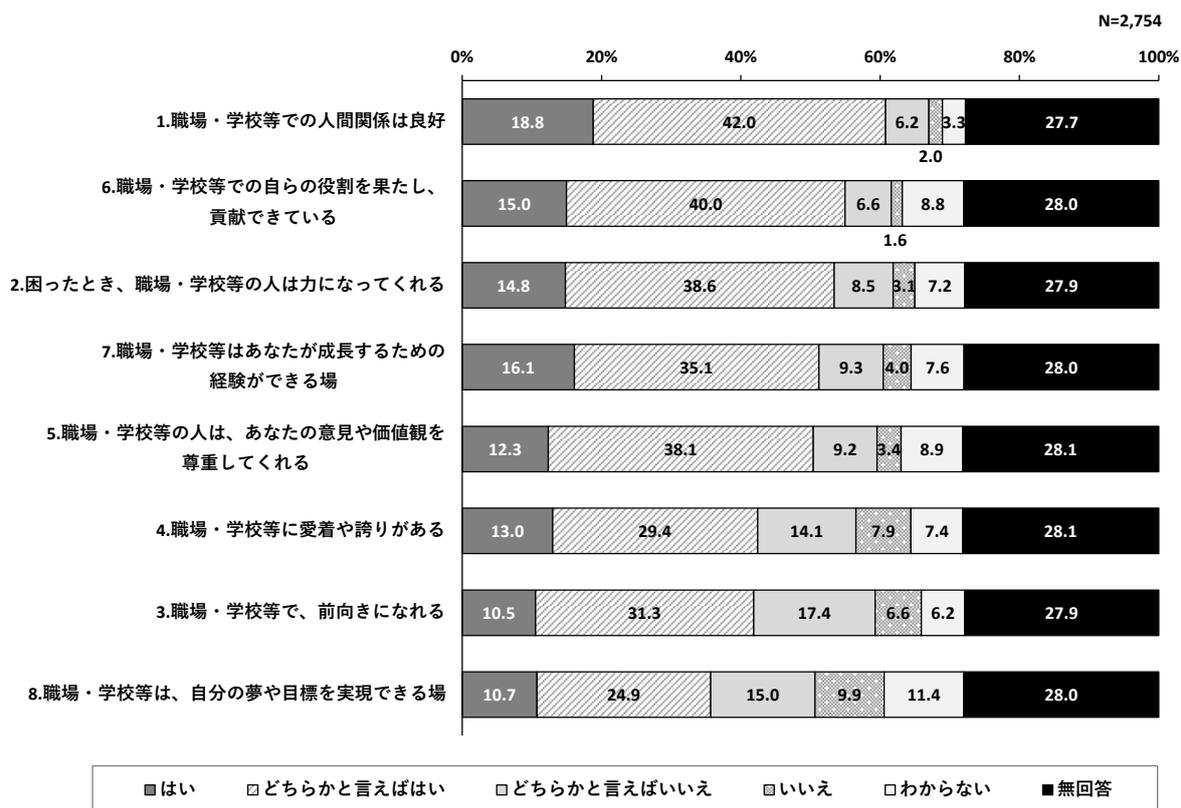
問9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

職場・学校等について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.職場・学校等での人間関係は良好」が60.8%と最も高く、次いで「6.職場・学校等での自らの役割を果たし、貢献できている」が55.0%、「2.困ったとき、職場・学校等の人は力になってくれる」が53.4%であった。

一方、『はい』が低かったのは、「8.職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場」が35.7%と最も低く、次いで「3.職場・学校等で、前向きになれる」が41.9%、「4.職場・学校等に愛着や誇りがある」が42.4%であった。

全体的に見て、職場・学校等での関係性は良好であるものの、自己実現の場や前向きになれる場と捉えている人は比較的少ないことがうかがえる。なお、「無回答」が28%前後を占めている。

図表9 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について



問9-1 職場・学校等での人間関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が60.8%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.2%であった。

(2) 年齢別

30歳代以下では『はい』が7割を超えており、特に「18、19歳」では90.1%（うち「はい」は55.3%）と、他の年代よりも高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

「新川地域」では『はい』が56.5%と、他の地域よりも若干低い。

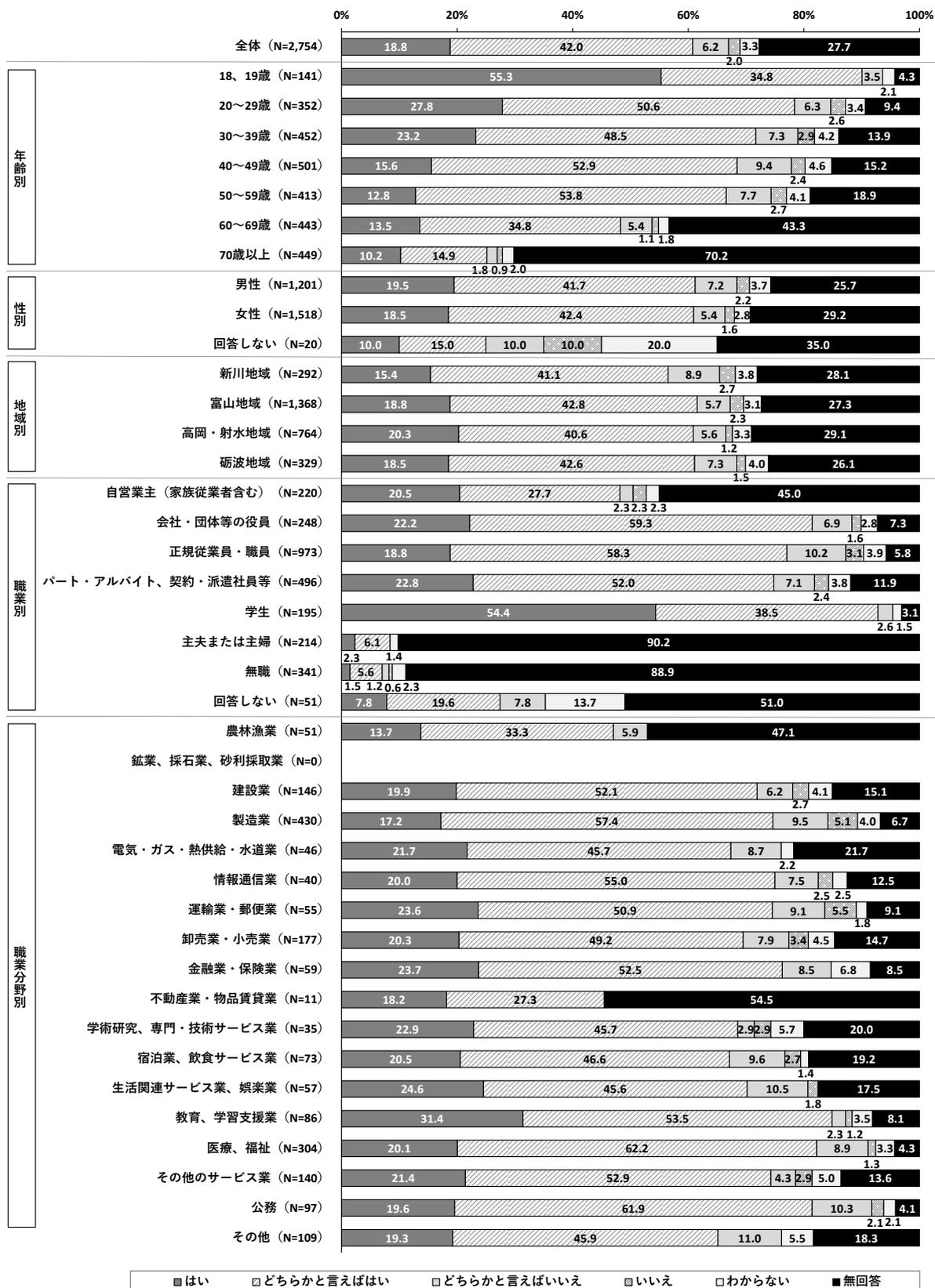
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生」では『はい』が7割を超えている。特に「学生」では『はい』が92.8%（うち「はい」が54.4%）と高い割合を占めている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が8割を超え、他の職業分野と比較して若干高い。

図表 9-1 職場・学校等での人間関係は良好である。



問9-2 困った時や苦しい時に、職場・学校等の人は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が53.4%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は11.6%であった。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が82.3%（うち「はい」が45.4%）を占めている。年齢が高くなるほど『はい』が低くなる傾向にあり、「70歳以上」では20.3%となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が5割を超えている。「新川地域」では50.3%と、他の地域よりも若干低い。

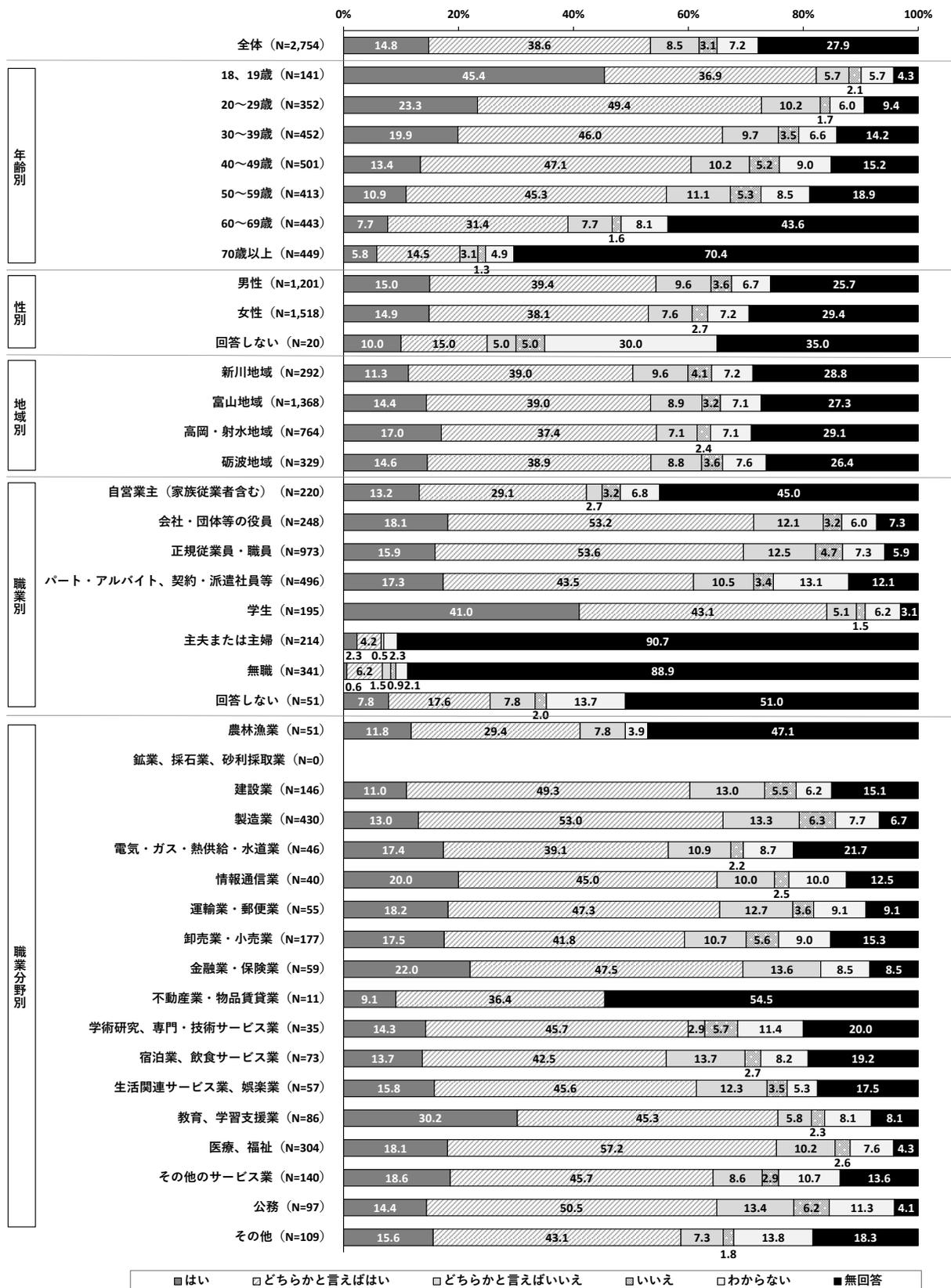
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生」では『はい』が6割を超えている。特に「学生」では『はい』が84.1%（うち「はい」が41.0%）と他の職業よりも高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」と「医療、福祉」では『はい』が7割を超え、他の職業分野と比較して高い。

図表 9-2 困った時や苦しい時に、職場・学校等の人は力になってくれると感じている。



問9-3 職場・学校等で楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が41.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は24.0%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は「18、19歳」で72.3%となっているものの、年齢が高くなるほど下がる傾向にある。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が40%前後を占めており、「新川地域」では39.0%と他の地域よりも若干低い。

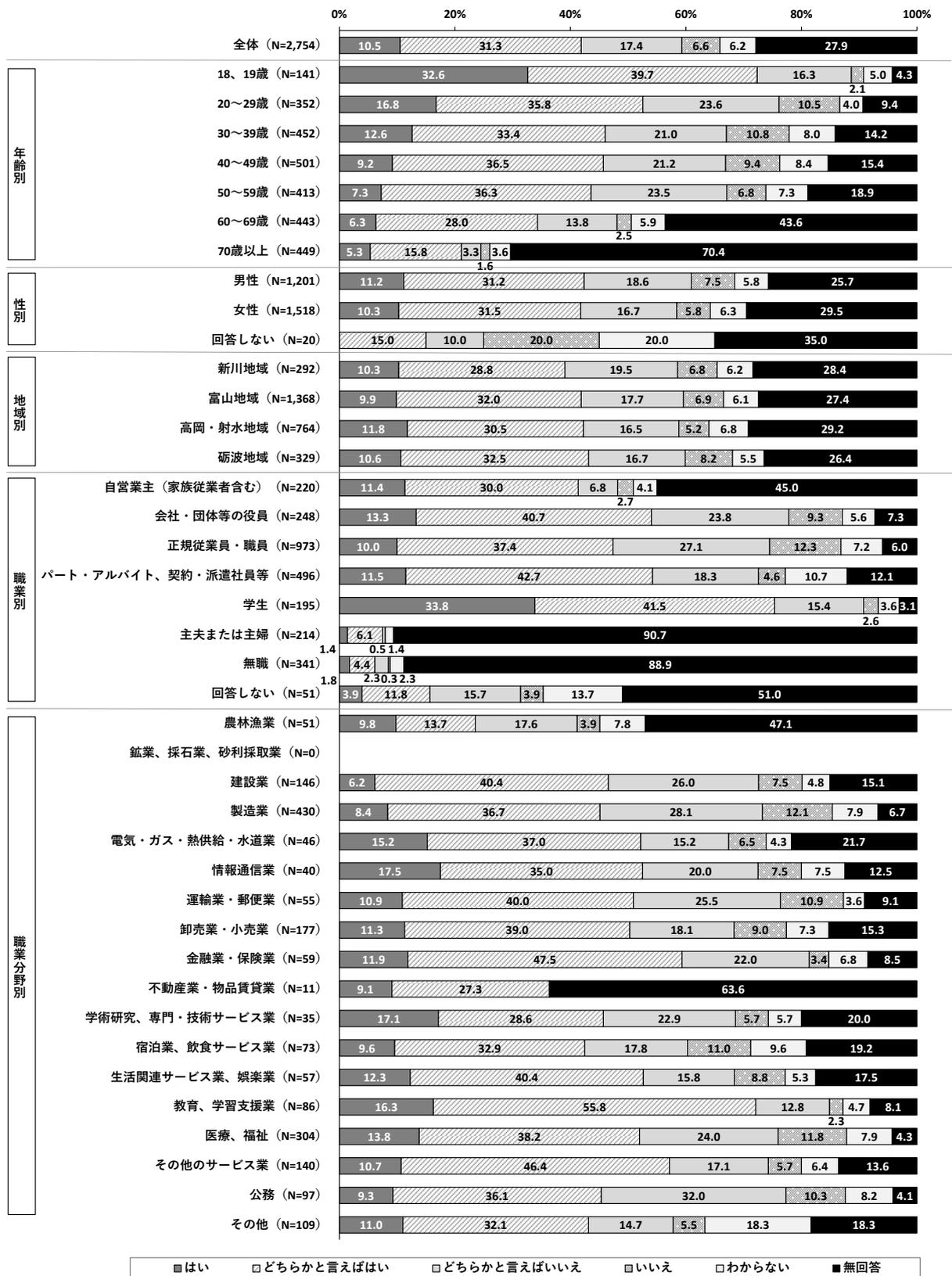
(5) - 1 職業別

「学生」では『はい』が75.4%と、他の職業よりも高くなっている。「正規従業員・職員」では『はい』が47.4%となっているものの、『いいえ』も39.5%と比較的高い割合を占めている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が72.1%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「製造業」と「公務」では『いいえ』が4割を超えている。

図表 9-3 職場・学校等で楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。



問9-4 職場・学校等に愛着や誇りがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が42.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は22.0%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は、「18、19歳」で66.7%と比較的高く、20～59歳では47%前後となっている。一方、『いいえ』は20～39歳で3割を超えている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

「新川地域」では『はい』が39.0%と、他の地域よりも若干低い。

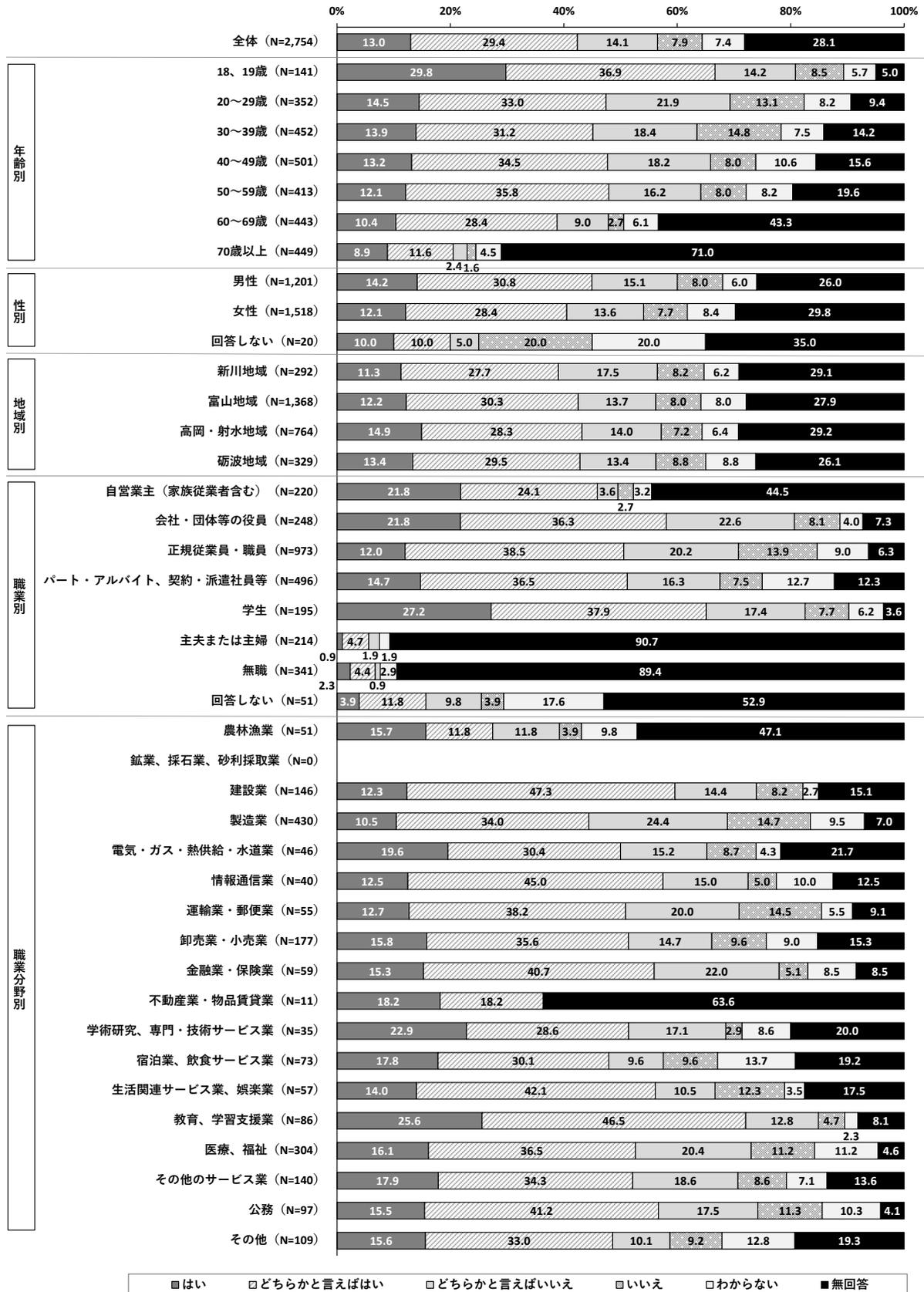
(5) - 1 職業別

『はい』は、「学生」が65.1%と他の職業よりも高い割合を占めている。また、「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」でも5割を超えている。一方、『いいえ』では「会社・団体等の役員」と「正規従業員・職員」で3割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が72.1%と、他の職業分野よりも高い。一方、「製造業」では『はい』が44.4%、『いいえ』が39.1%となっており、比較的愛着度が低い。

図表 9-4 職場・学校等に愛着や誇りがある。



■はい □どちらかと言えばいい □どちらかと言えばいい □いいえ □わからない ■無回答

問9-5 職場・学校等の人は、あなたの意見や価値観を尊重してくれている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が50.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は12.6%となっている。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が6割を超え、「18、19歳」では78.7%を占めている。一方、30～59歳では50%台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、『はい』は「男性」の方が3.5ポイント高い。

(4) 地域別

「新川地域」では『はい』が45.2%と、他の地域よりも若干低くなっている。

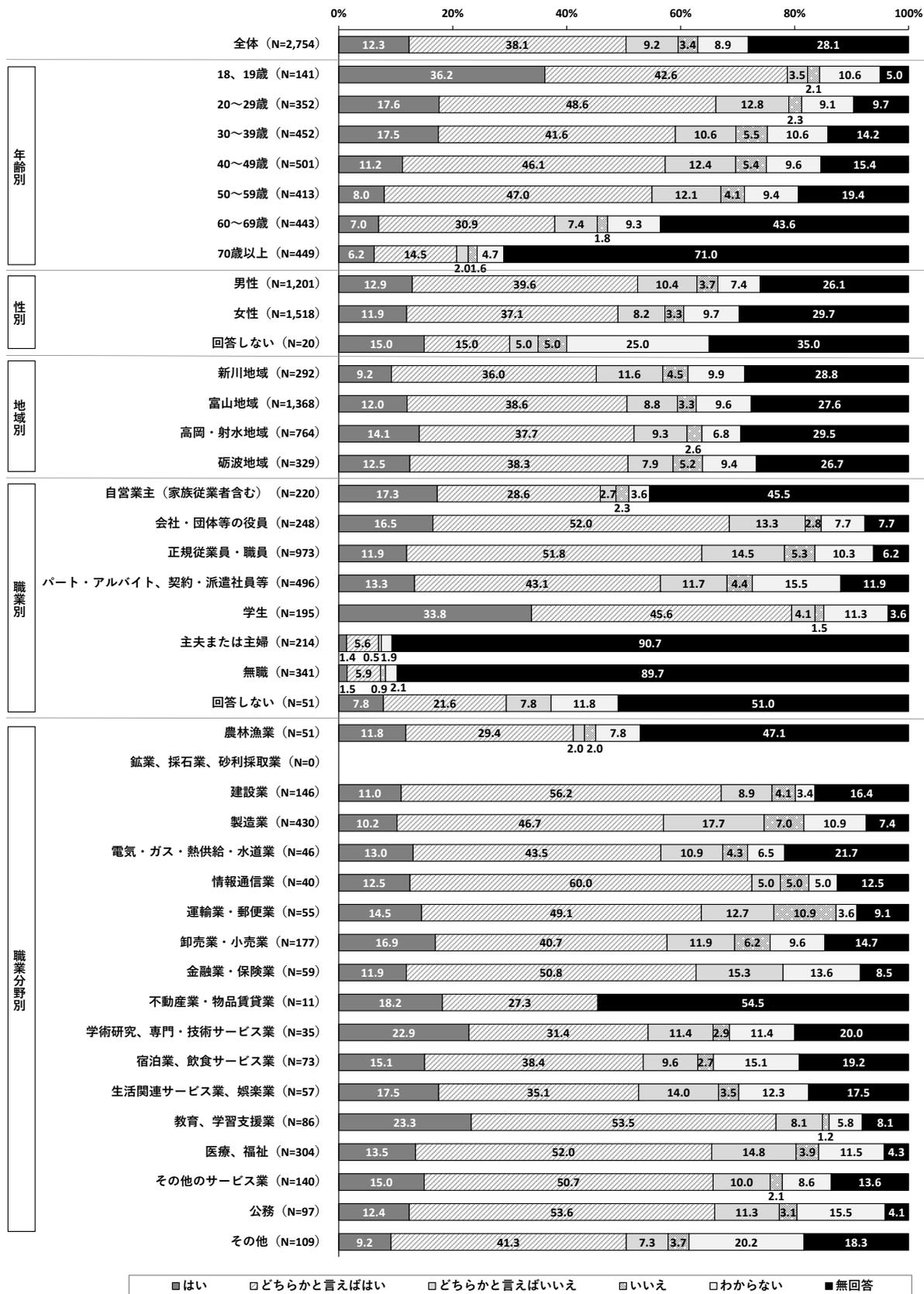
(5) - 1 職業別

「学生」では『はい』が79.5%を占め、他の職業よりも高い割合を占めている。また、「会社・団体等の役員」と「正規従業員・職員」では『はい』が6割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」と「教育、学習支援業」では『はい』が7割を超え、他の職業分野よりも若干高くなっている。

図表 9-5 職場・学校等の人は、あなたの意見や価値観を尊重してくれている。



問9-6 職場・学校等での自らの役割を果たし、貢献できている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が55.0%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.2%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は、「18、19歳」で70.9%を占めており、20～59歳では65%前後となっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が6.1ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が5割を超えており、地域間で大きな差は見られない。

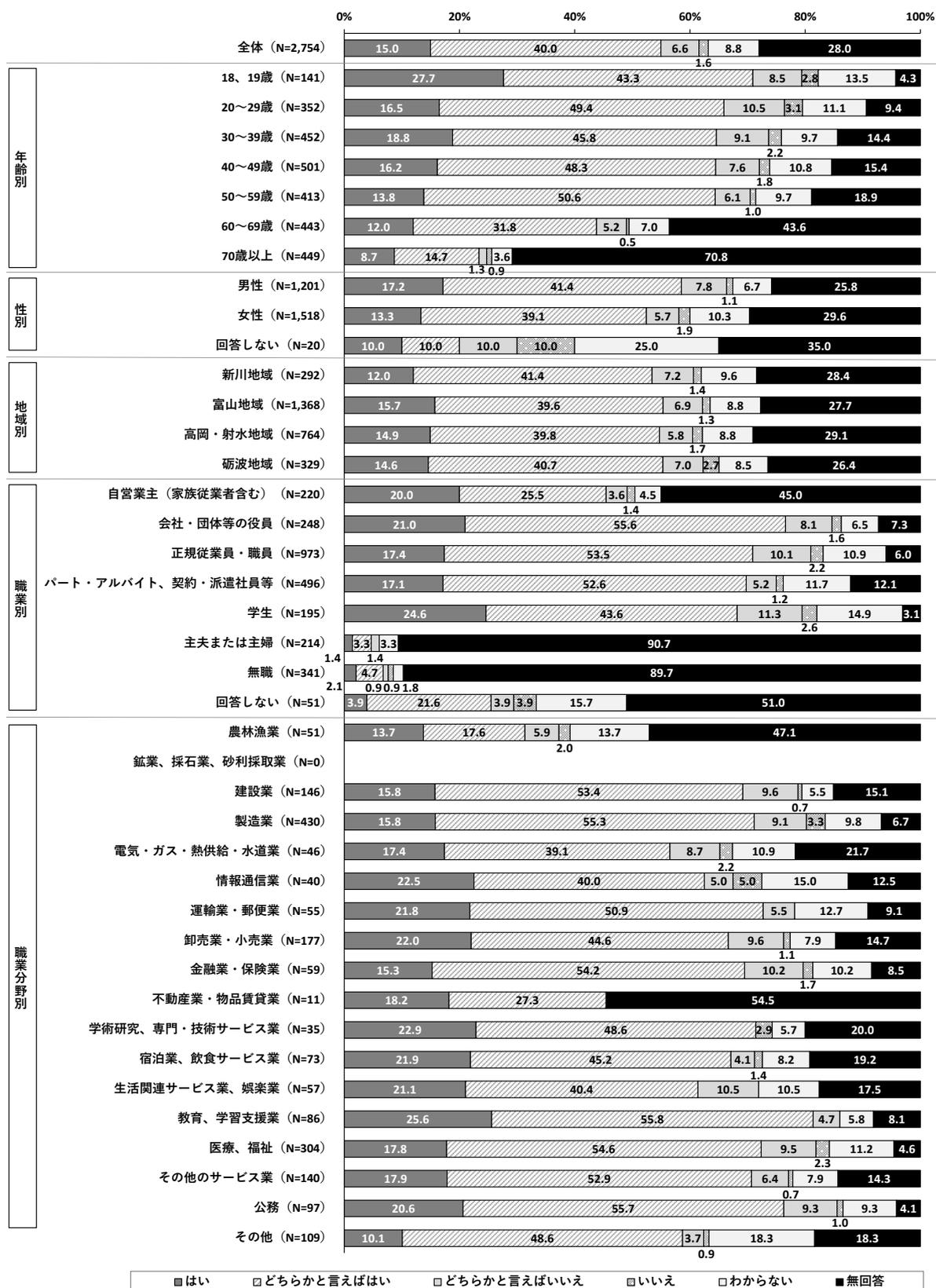
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生」では『はい』が6割を超え、「会社・団体等の役員」は76.6%と他の職業よりも高い割合を占めている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が81.4%と、他の職業分野と比較して高い割合を占めている。

図表 9-6 職場・学校等での自らの役割を果たし、貢献できている。



問9-7 職場・学校等は、あなたが成長するための学びや経験ができる場である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が51.2%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は13.3%となっている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が86.5%（うち「はい」が51.1%）を占めている。「20～29歳」では『はい』が71.9%を占めるものの、30～59歳では50%台となっている。

(3) 性別

男女間の大きな差は見られないものの、『はい』は「男性」の方が2.7ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が5割を超えており、大きな差は見られない。

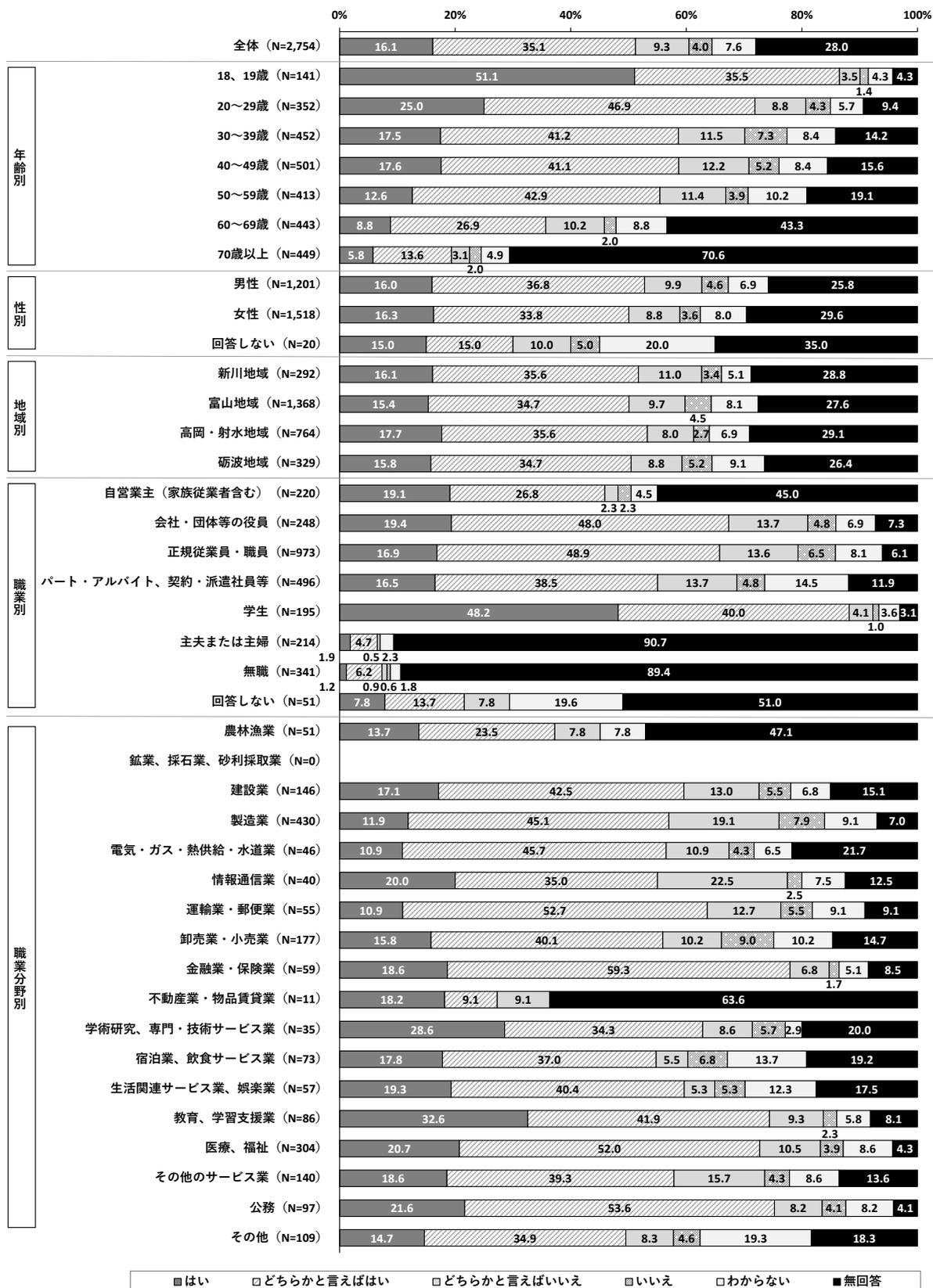
(5) - 1 職業別

「学生」では『はい』が88.2%（うち「はい」が48.2%）を占めている。また、「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」でも『はい』が6割を超え、他の職業よりも若干高い割合を占めている。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が7割を超え、他の職業分野よりも若干高くなっている。

図表 9-7 職場・学校等は、あなたが成長するための学びや経験ができる場である。



問9-8 職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が35.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が24.9%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は、「18、19歳」で80.9%を占めるものの、「20～29歳」では54.0%、30～59歳では30%台と低くなっている。

(3) 性別

男女間の大きな差は見られないものの、『はい』は「男性」の方が3.3ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が30%台となっている。「新川地域」と「高岡・射水地域」で『はい』が37%前後と、他の地域よりも若干高くなっている。

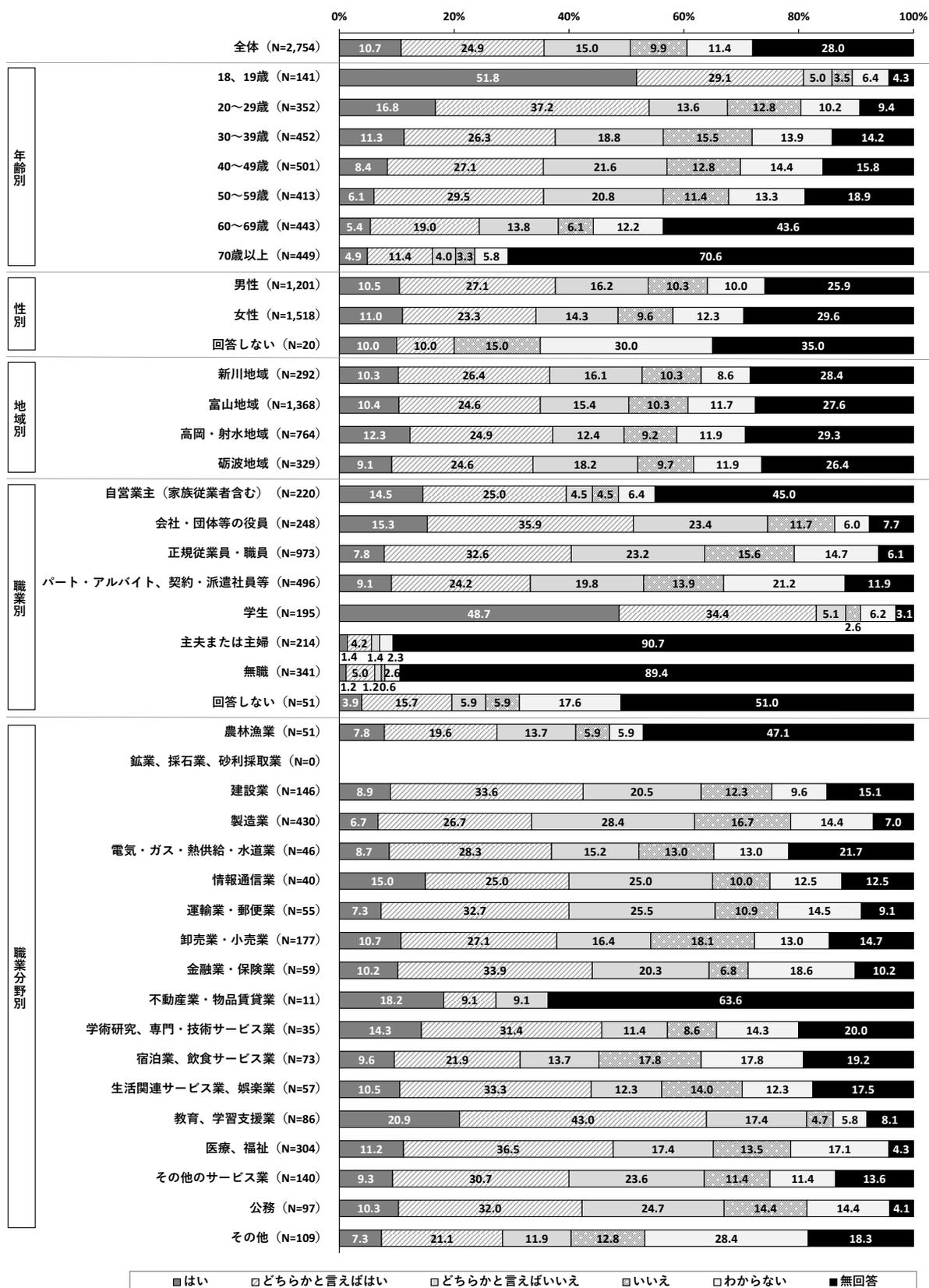
(5) - 1 職業別

『はい』では、「学生」が83.1%と高い割合を占めている。また、「会社・団体等の役員」でも51.2%となっている。一方、『いいえ』は「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」で3割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が64.0%を占め、他の職業分野よりも若干高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が33.5%、『いいえ』が45.1%となっており、『いいえ』の方が11.6ポイント上回っている。

図表 9-8 職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。



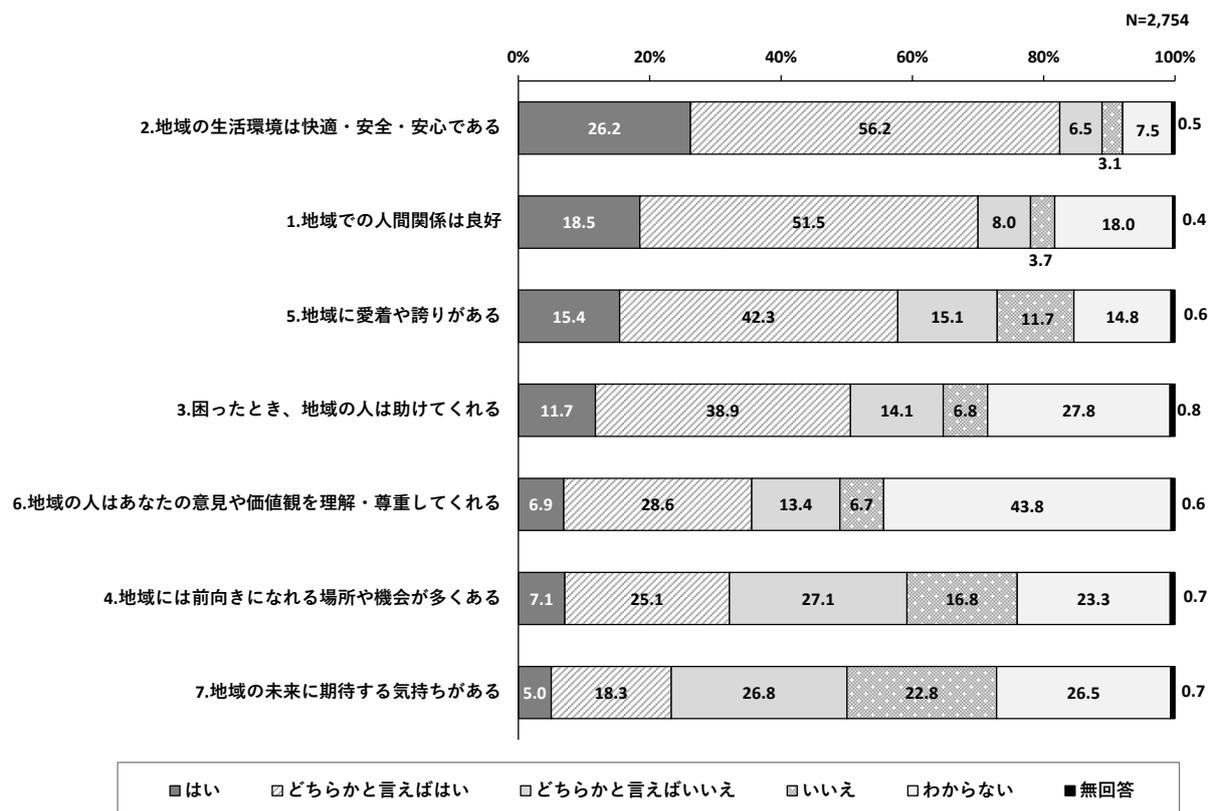
問 10. お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

地域について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「2.地域の生活環境は快適・安全・安心である」が82.4%と最も高く、次いで「1.地域での人間関係は良好」が70.0%、「5.地域に愛着や誇りがある」が57.8%であった。

一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「7.地域の未来に期待する気持ちがある」が49.6%と最も高く、次いで「4.地域には前向きになれる場所や機会が多くある」が43.8%であった。

全体的に見て、地域については、快適・安全な環境で、かつ、人間関係は良好なものの、未来に対する希望が少なく、また、前向きになりにくい環境と捉えられていることがうかがえる。

図表 10 お住まいの場所の近所や町内について



問 10－1 地域での人間関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 70.0%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 11.7%であった。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では「はい」が 36.9%を占め、他の年代よりも高くなっている。「20～29 歳」では『はい』が 58.8%と、他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女間で大きな差はないものの、『はい』は「男性」の方が 3.7 ポイント高い。

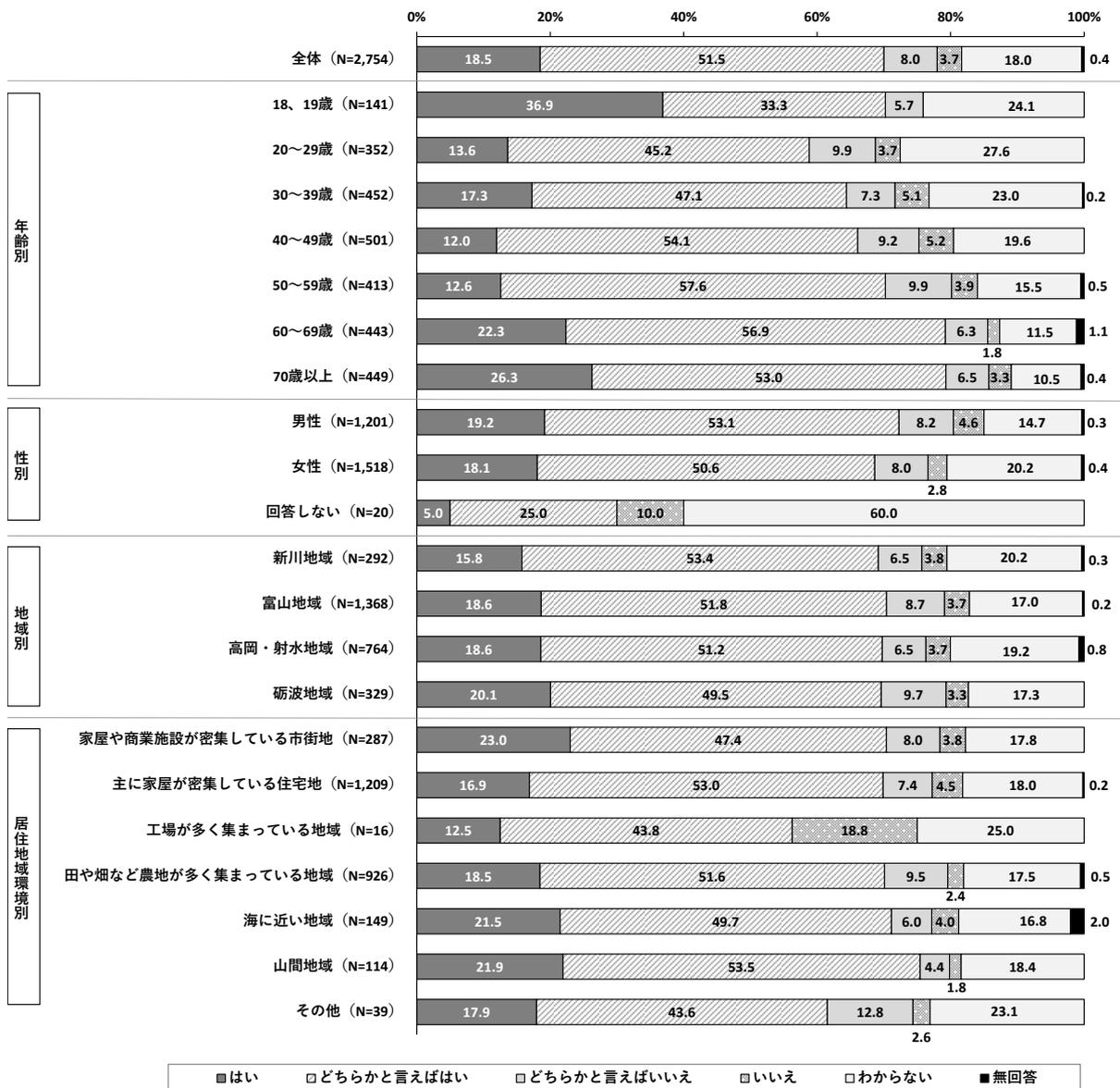
(4)－1 地域別

すべての地域で『はい』が 70%前後となっており、大きな差は見られない。

(4)－2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が 75.4%と、他の居住地環境よりも若干高くなっている。

図表 10-1 地域での人間関係は良好である。



問 10－2 地域の生活環境は、安全・安心である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 82.4%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 9.6%であった。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 89.4%（うち「はい」が 53.2%）と高い割合を占めており、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 4.6 ポイント高い。

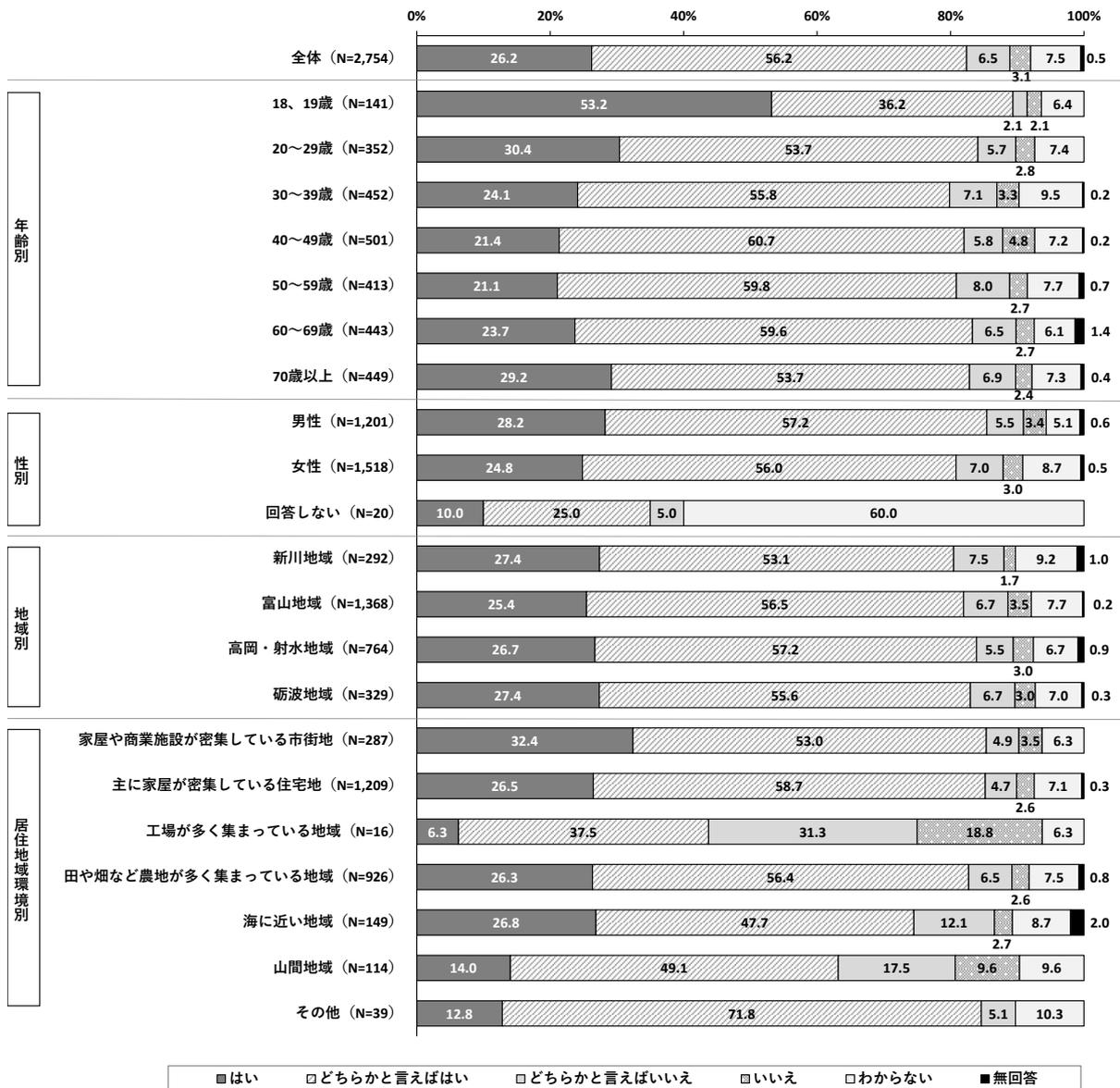
(4)－1 地域別

すべての地域で『はい』が 8 割を超えており、大きな差は見られない。

(4)－2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が 63.2%と、他の居住地環境よりも低くなっている。

図表 10-2 地域の生活環境は、安全・安心である。



問 10－3 困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 50.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 20.9%となっている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 60.3%（うち「はい」が 31.2%）を占め、他の年代よりも高くなっている。一方、20～59 歳では『はい』が 40%台と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 5.9 ポイント高い。

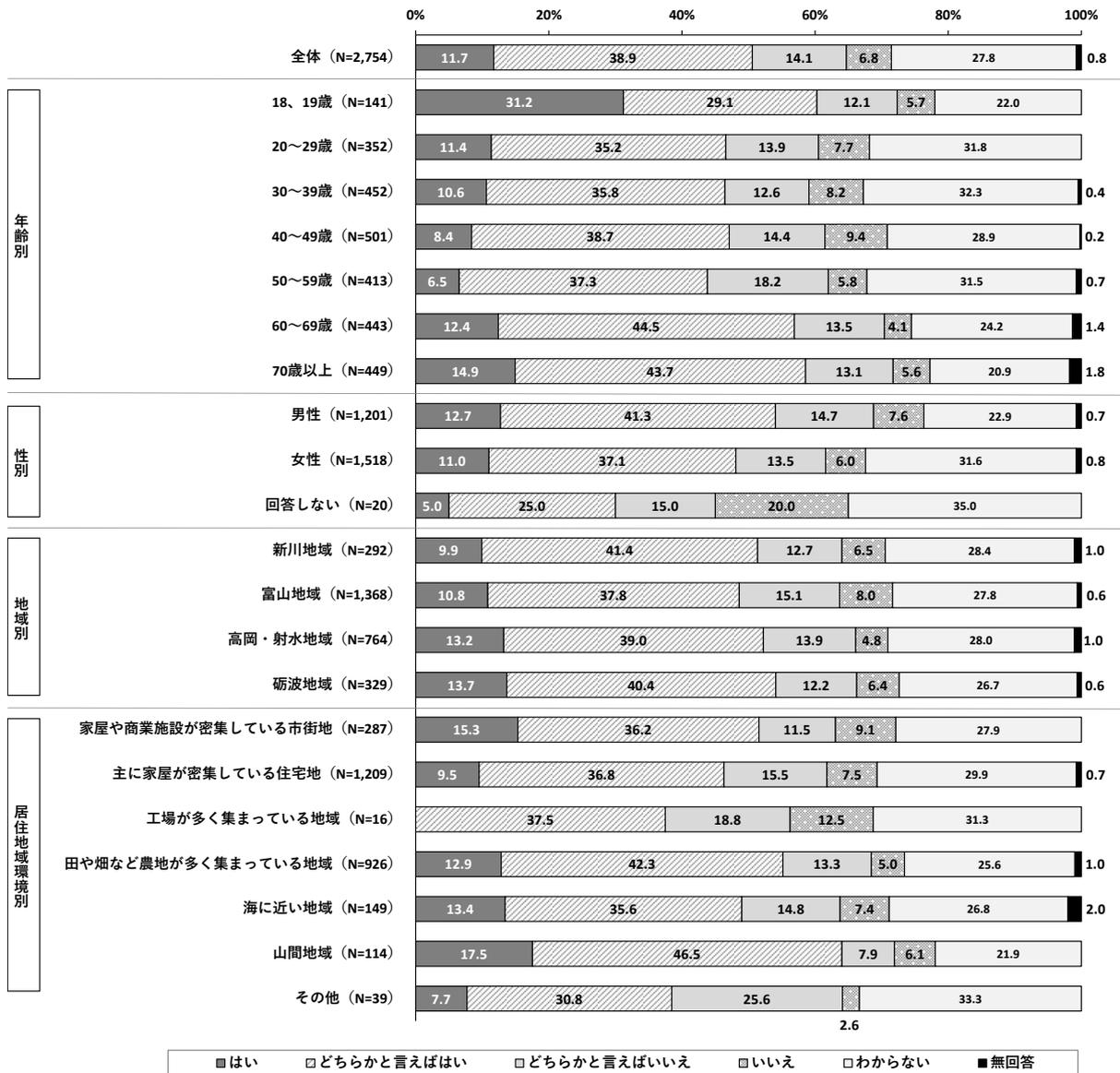
(4) － 1 地域別

「富山地域」では『はい』が 48.6%と、他の地域よりも若干低い。

(4) － 2 現在の居住地域環境別

「山間地域」では『はい』が 64.0%と、他の居住地域環境よりも高くなっている。一方、「主に家屋が密集している住宅地」「海に近い地域」では『はい』が 40%台となっている。

図表 10-3 困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。



問10-4 地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることができる場所や機会が多くある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が32.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が43.8%と、『いいえ』の方が11.7ポイント上回っている。

（2）年齢別

「18、19歳」では『はい』が49.6%となっているものの、他の年代では30%台以下となっており、『いいえ』の方が上回っている。特に、「40～49歳」では『はい』が27.5%、『いいえ』が46.7%と、『いいえ』の方が19.2ポイント高い。

（3）性別

『はい』は「男性」の方が9.2ポイント高い。男女ともに『いいえ』の方が上回っている。

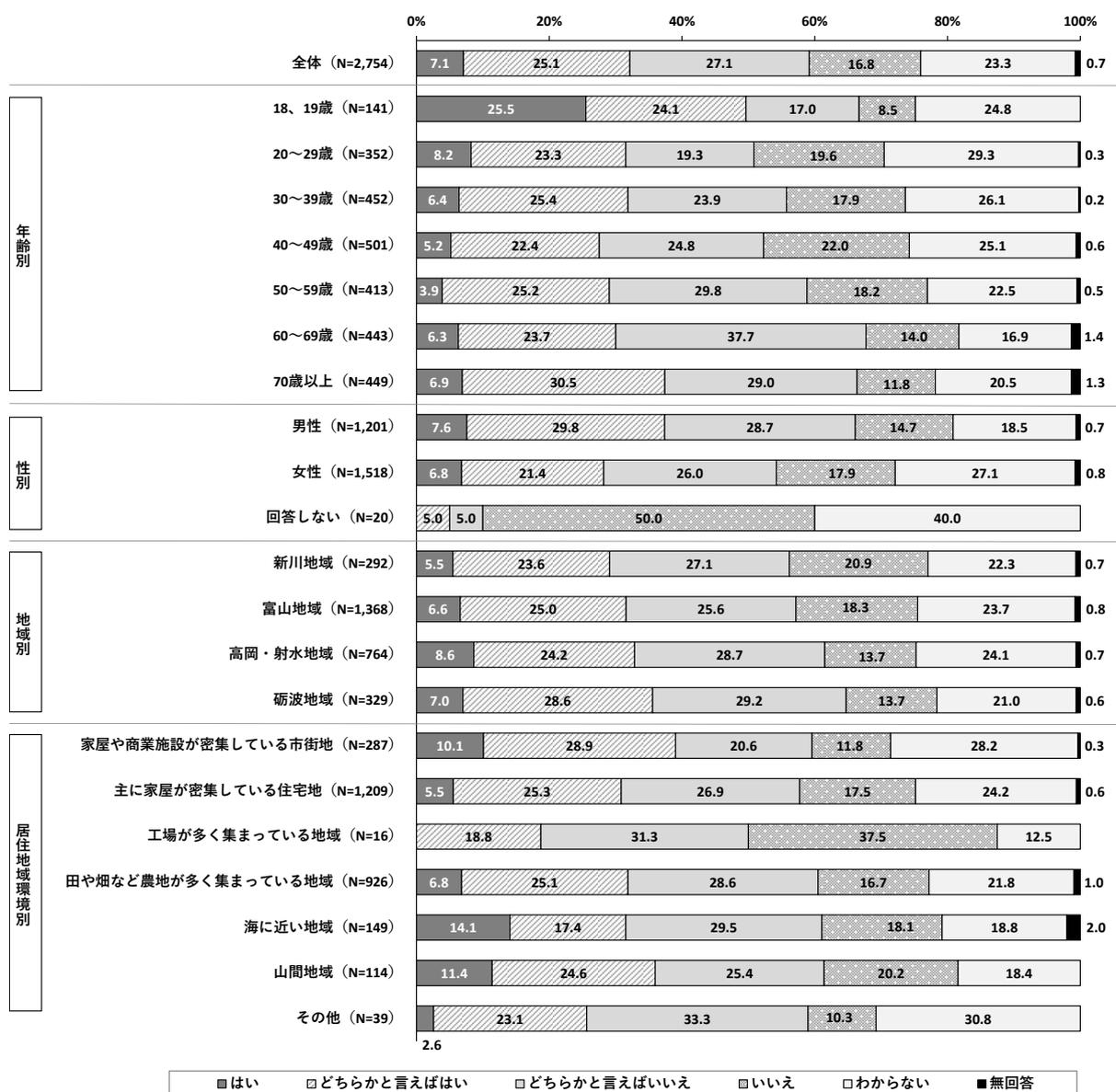
（4）-1 地域別

すべての地域で『いいえ』が4割を超えており、『はい』を上回っている。

（4）-2 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」では『はい』が39.0%と、他の居住地環境よりも若干高くなっている。一方、「家屋や商業施設が密集している市街地」を除くすべての居住地環境で『いいえ』の方が上回っている。

図表 10-4 地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることができる場所や機会が多くある。



問 10－5 地域に愛着や誇りがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 57.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 26.8%となっている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 78.0%を占めており、他の年代よりも高くなっている。一方、20～69 歳では『はい』が 50%台と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 9.4 ポイント高い。

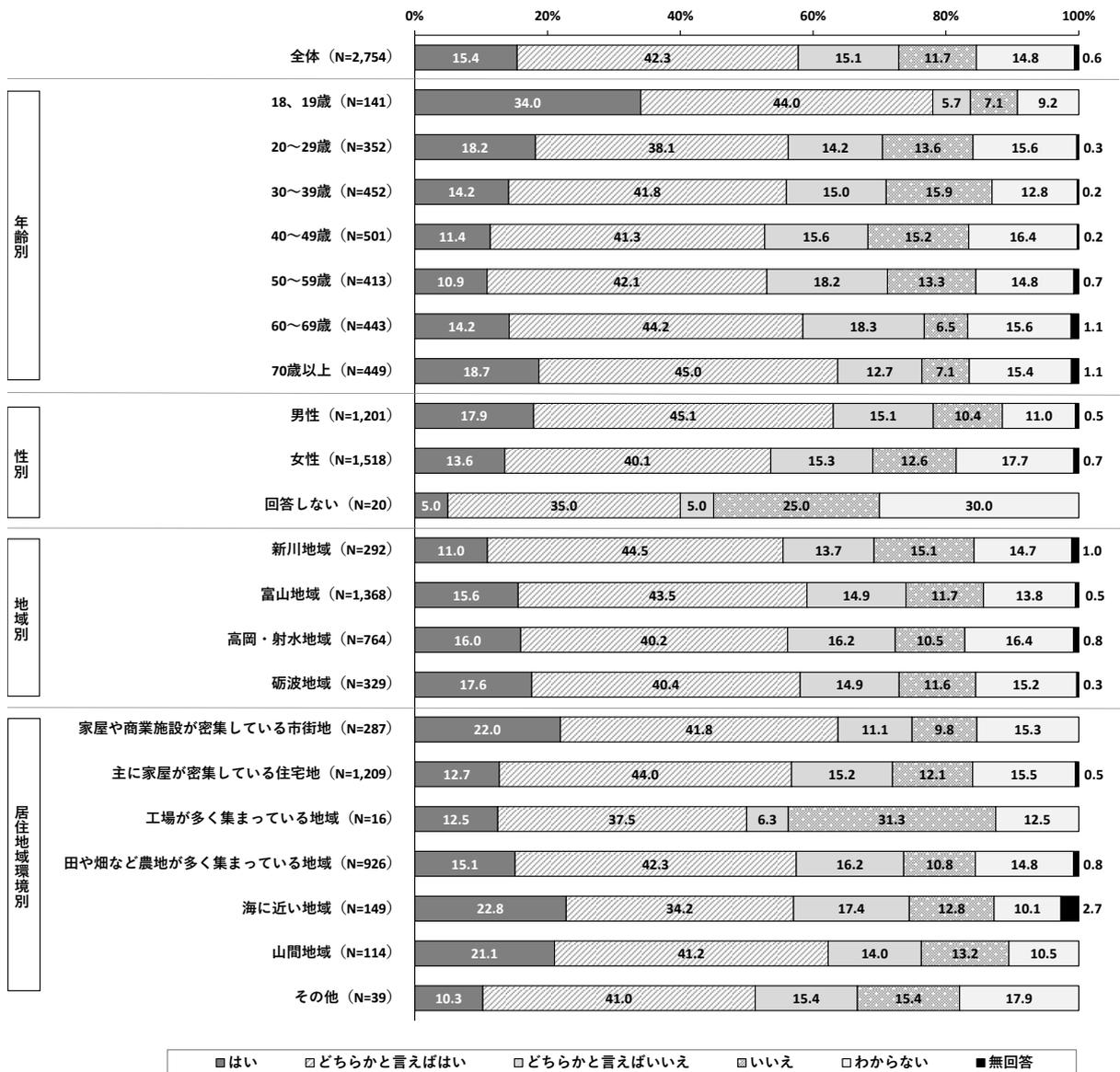
(4)－1 地域別

すべての地域で『はい』が 50%台となっている。

(4)－2 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が密集している市街地」と「山間地域」では『はい』が 6 割を超えており、他の居住地環境よりも若干高くなっている。

図表 10-5 地域に愛着や誇りがある。



問 10－6 地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 35.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 20.1%となっている。なお、「わからない」が 43.8%を占めている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 51.1%を占めており、他の年代よりも高くなっている。一方、「40～49 歳」では 28.5%と、他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 15.3 ポイント高い。

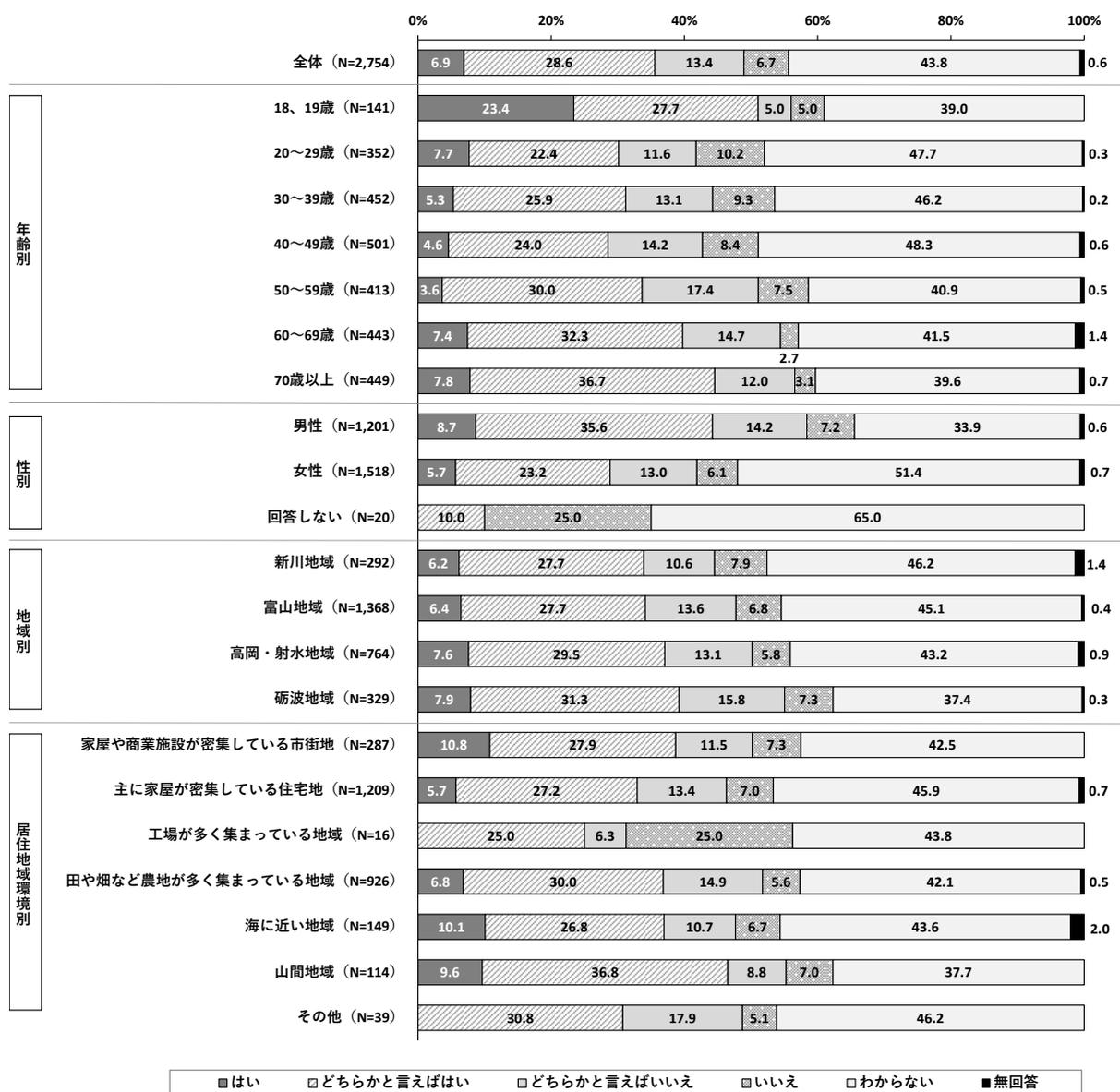
(4) － 1 地域別

すべての地域で『はい』が 30%台となっている。

(4) － 2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が 46.5%と、他の居住地環境よりも高くなっている。

図表 10-6 地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。



問 10-7 地域の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が23.3%、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)が49.6%と、『いいえ』の方が26.3ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「18、19歳」では『はい』が41.1%となっているものの、他の年代では20%台以下と、『いいえ』の方が上回っている。特に、40～69歳では『いいえ』が5割を超えている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が5.7ポイント高い。男女ともに『いいえ』の方が大きく上回っている。

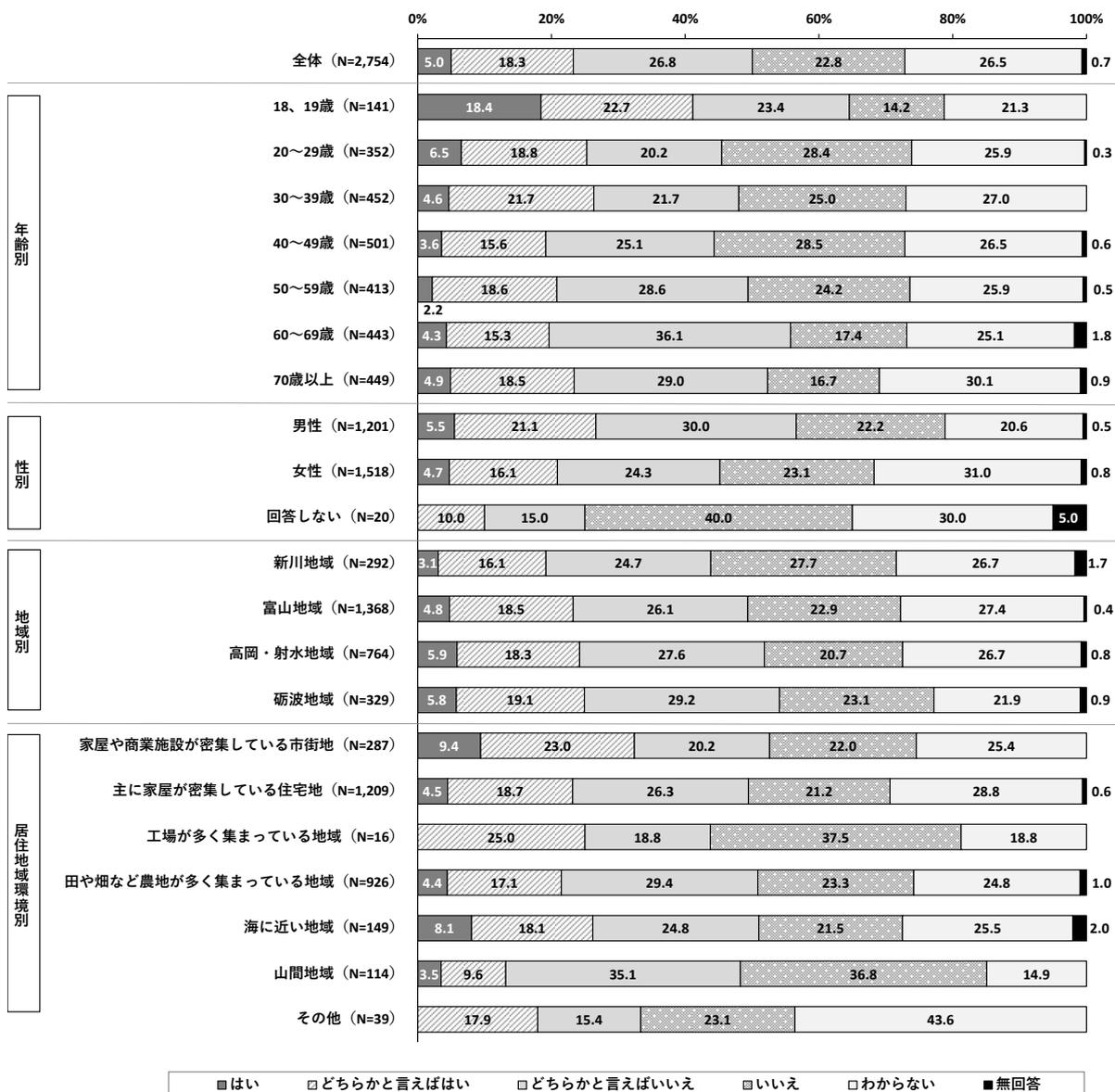
(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』よりも『いいえ』が上回っており、特に「新川地域」と「砺波地域」では『いいえ』が5割を超えている。

(4) - 2 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『いいえ』が上回っている。「山間地域」では『はい』が13.2%、『いいえ』が71.9%と、『いいえ』の方が58.7ポイントも上回っている。

図表 10-7 地域の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。



問 11. 富山県で暮らしているのあなたの実感について、以下の設問にお答えください。
それぞれの設問につき、1つ選んでください。

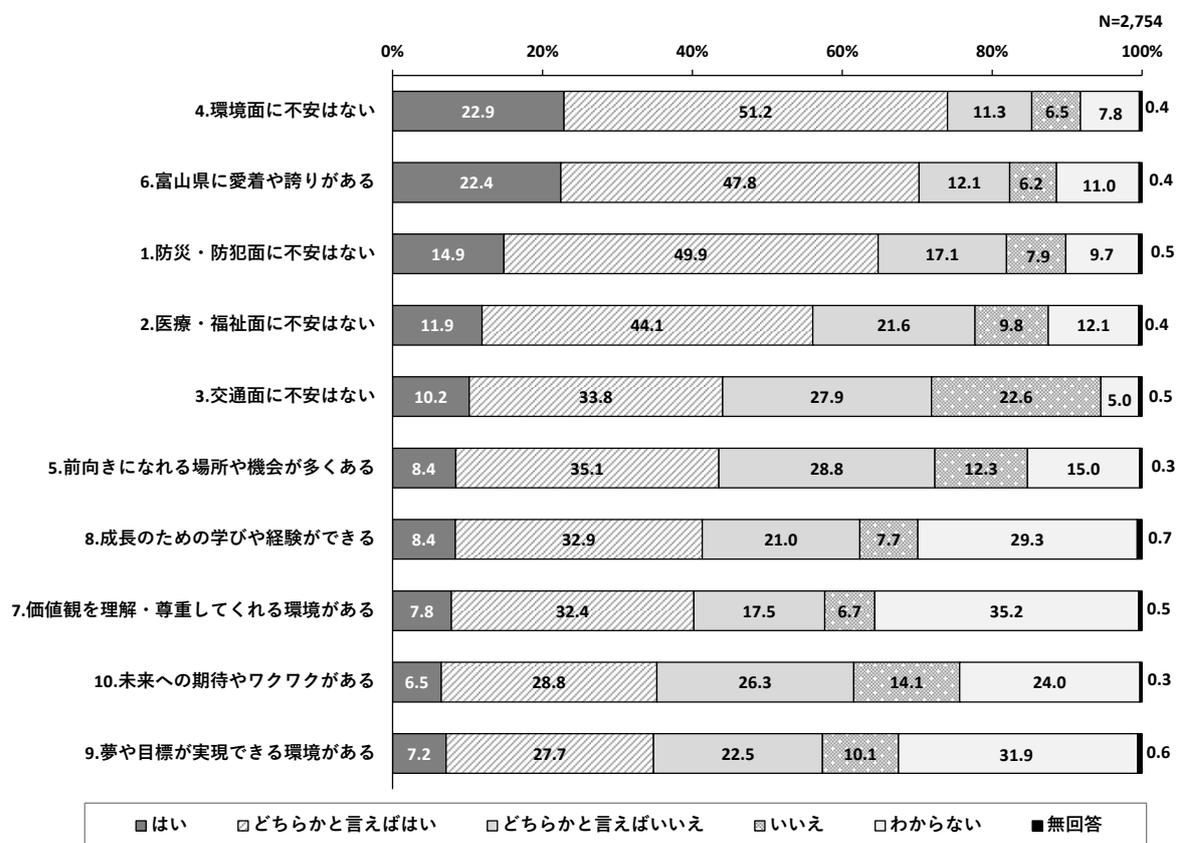
富山県での暮らしについて、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「4.環境面に不安はない」が74.0%と最も高く、次いで「6.富山県に愛着や誇りがある」が70.3%、「1.防災・防犯面に不安はない」が64.8%であった。

一方、『はい』が低かったのは、「9.夢や目標が実現できる環境がある」が34.8%と最も低く、次いで「10.未来への期待やワクワクがある」が35.3%、「7.価値観を理解・尊重してくれる環境がある」が40.2%であった。

また、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「3.交通面に不安はない」が50.5%と最も高く、次いで「5.前向きになれる場所や機会が多くある」が41.2%、「10.未来への期待やワクワクがある」が40.4%であった。

全体的に見て、富山県の暮らしは、環境面や防災・防犯面について優れており、愛着や誇りを持つ人が多い一方で、夢や目標の実現、未来に対する期待が持ちにくく、また、前向きになりにくい環境になっていることがうかがえる。さらに、交通面で不安に感じている人が多いこともうかがえる。

図表 11 富山県で暮らしているのあなたの実感について



問 11-1 富山県で暮らしていて、防災・防犯面に不安はない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 64.8%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 25.1%であった。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 80.9%と他の年代よりも高く、一方、「30～39 歳」では 56.2%と他の年代よりも低い。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 7.7 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が 6 割を超えており、「新川地域」と「高岡・射水地域」が 67%程度と、他の地域よりも若干高くなっている。

(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が 65%程度である。

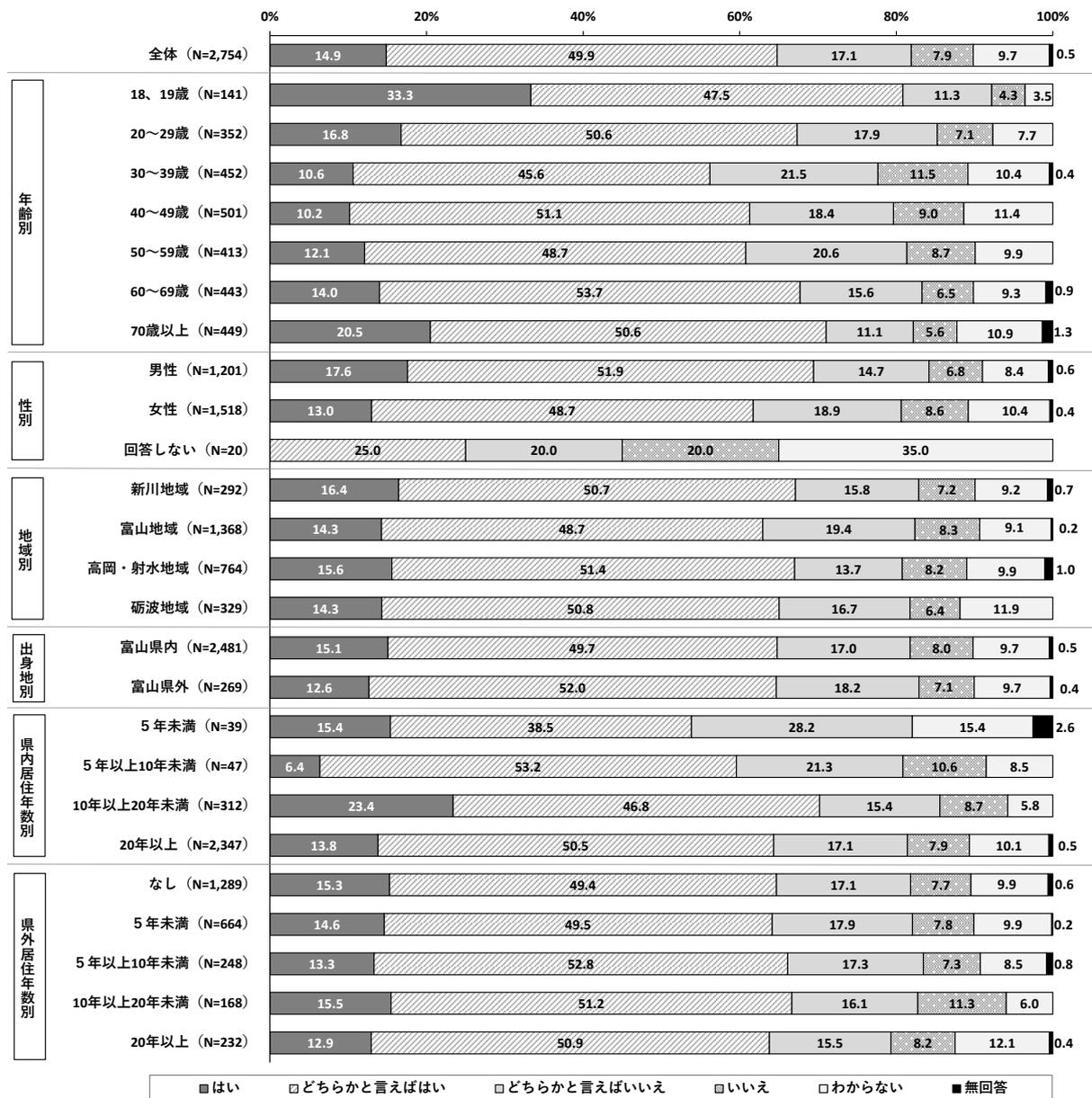
(4) - 3 - ① 県内での居住年数別

「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 70.2%であり、他の居住年数よりも高くなっている。

(4) - 3 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が 65%前後となっており、大きな差は見られない。

図表 11-1 富山県で暮らしていて、防災・防犯面に不安はない。



問 11-2 富山県で暮らしていて、医療・福祉面に不安はない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 56.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 31.4%となっている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 78.0%と他の年代よりも高く、一方、「40～49 歳」では 45.7%と他の年代よりも低い。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 10.6 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が 5 割を超えており、「新川地域」と「高岡・射水地域」は他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』が 56%前後である。

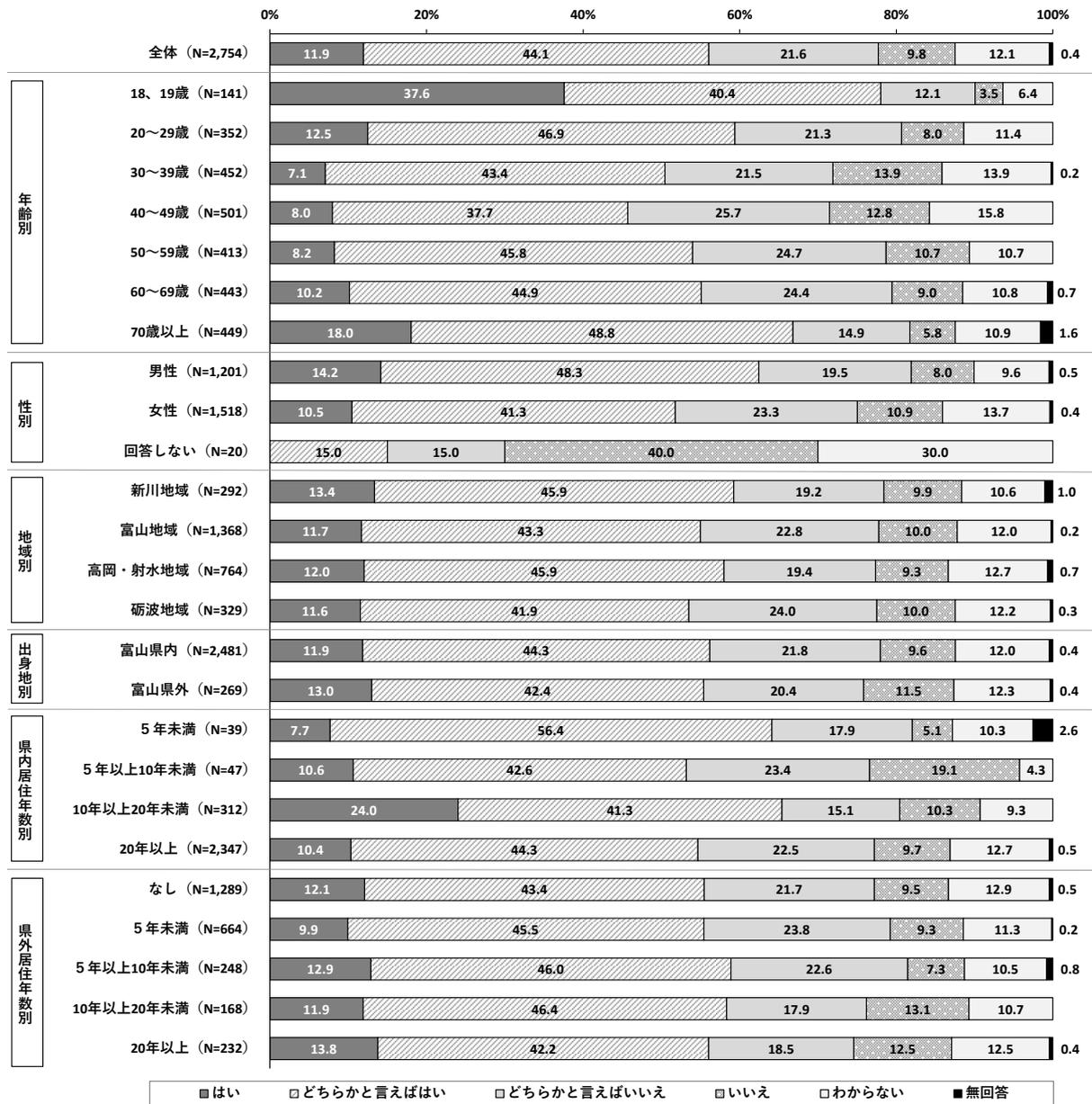
(4) - 3 - ① 県内での居住年数別

「5 年未満」と「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 6 割を超えている。一方、「5 年以上 10 年未満」では『はい』が 53.2%、『いいえ』が 42.6%と、他の居住年数と比較して『いいえ』が高い。

(4) - 3 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が 50%台で、大きな差は見られない。

図表 11-2 富山県で暮らしていて、医療・福祉面に不安はない。



問 11-3 富山県で暮らしていて、交通面（車や公共交通などで移動すること）に不安はない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 44.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 50.5%となり、『いいえ』の方が 6.5 ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「70 歳以上」では『はい』が 51.7%と他の年代よりも高く、『いいえ』を 10.7 ポイント上回っている。一方、60 歳代以下では『いいえ』の方が上回っている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 8.3 ポイント高い。一方、『いいえ』は、「女性」の方が 7.1 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「富山地域」「高岡・射水地域」「砺波地域」では『いいえ』の方が上回っており、50%前後となっている。

(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」とともに『いいえ』の方が上回っている。

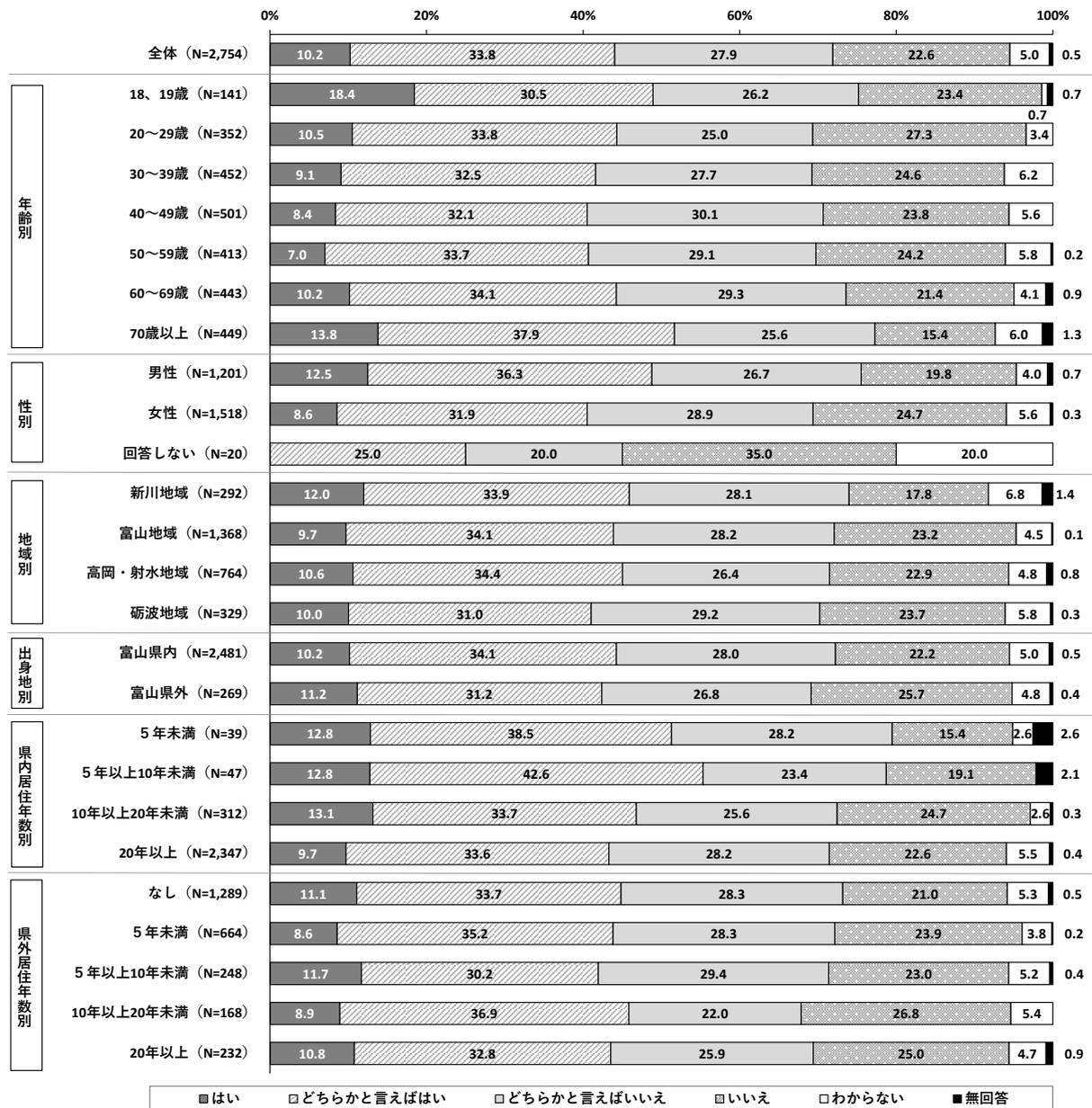
(4) - 3 - ① 県内での居住年数別

「5 年未満」と「5 年以上 10 年未満」では『はい』が 5 割を超えている。一方、「10 年以上 20 年未満」と「20 年以上」では『いいえ』が 5 割を超えている。

(4) - 3 - ② 県外での居住年数別

すべての居住年数で『いいえ』の方が上回っている。

図表 11-3 富山県で暮らしていて、交通面（車や公共交通などで移動すること）に不安はない。



問 11-4 富山県で暮らしていて、環境面（水、大気、動植物等の自然環境の保全など）に不安はない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 74.0%を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 17.8%となっている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 90.1%（うち「はい」が 47.5%）を占め、他の年代よりも高くなっている。年齢が高くなるほど『はい』が低くなる傾向にあり、「70 歳以上」では 69.9%となっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 6.4 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「新川地域」では『はい』が 78.1%と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『はい』は 74%程度である。

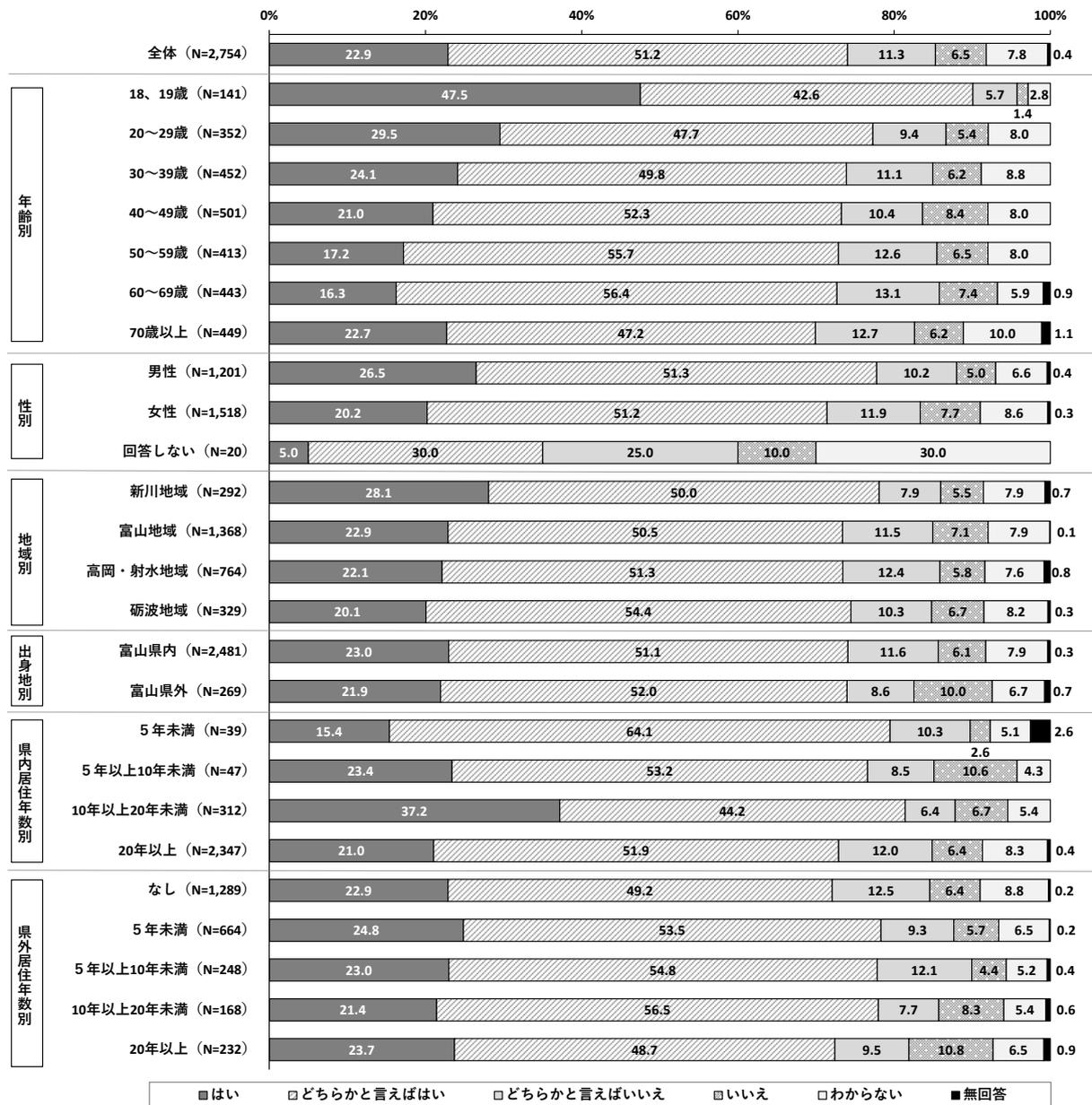
(4) - 3 - ① 県内での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が 7 割を超え、「10 年以上 20 年未満」では 81.4%を占めている。

(4) - 3 - ② 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が 7 割を超えている。

図表 11-4 富山県で暮らしていて、環境面（水、大気、動植物等の自然環境の保全など）に不安はない。



問 11-5 富山県には、楽しい、嬉しい、感動するなど前向き（ポジティブ）な気持ちになる場所や機会が多くある。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 43.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 41.2%となっている。

（２）年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 61.0%を占めているものの、20 歳代以上では 40%台以下と低くなっている。特に、40～69 歳では『いいえ』の方が上回っている。

（３）性別

男女間で大きな差は見られない。『はい』は「男性」の方が 3.0 ポイント高い。

（４）－１ 地域別

「新川地域」では『はい』が 37.7%、『いいえ』が 44.5%と、『いいえ』の方が 6.8 ポイント上回っている。

（４）－２ 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに 45%程度である。

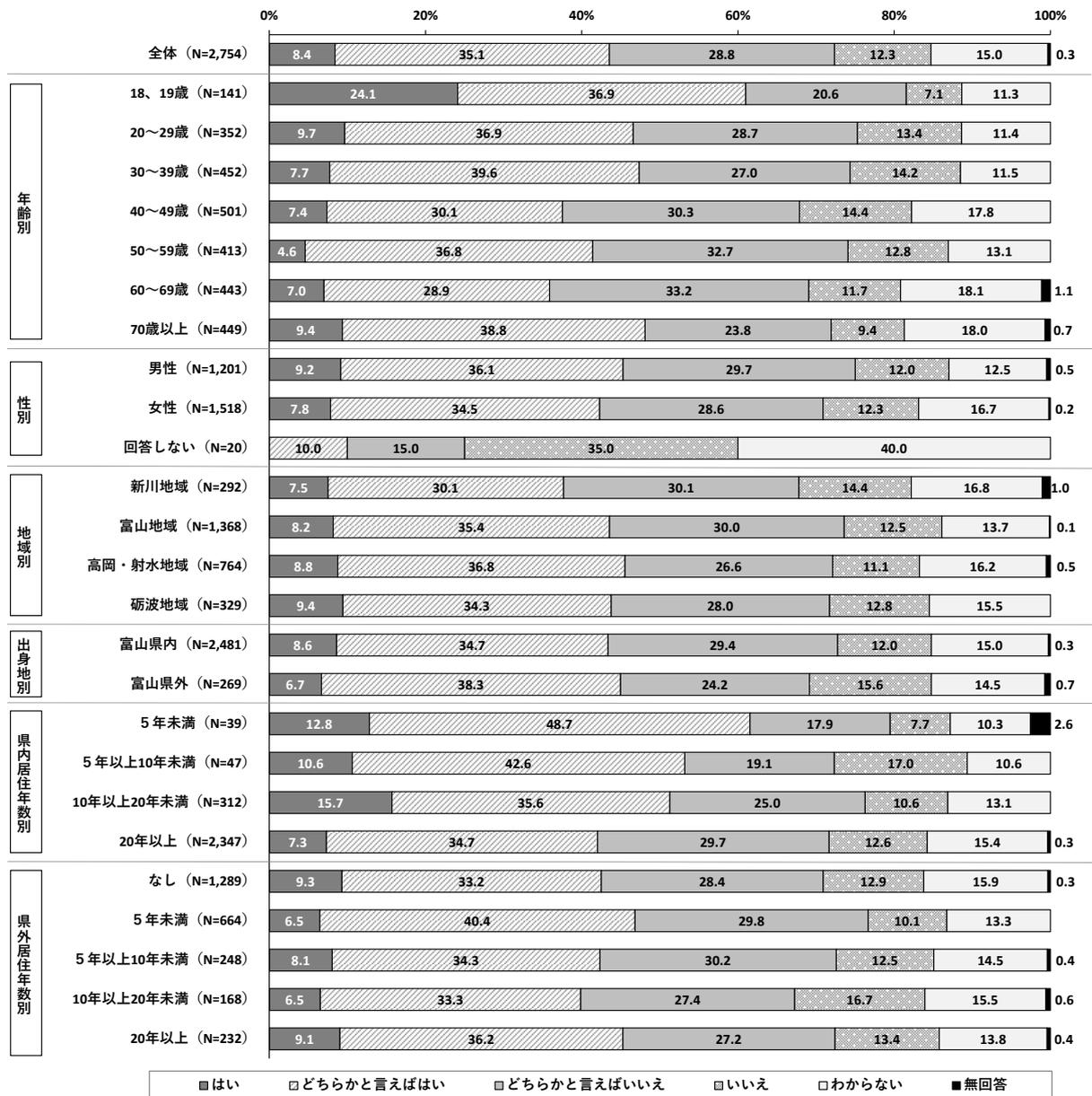
（４）－３－① 県内での居住年数別

「5 年未満」では『はい』が 61.5%を占めるものの、居住年数を経つほど『はい』が低くなる傾向にあり、「20 年以上」では 42.0%となっている。

（４）－３－② 県外での居住年数別

「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 39.9%、『いいえ』が 44.0%と、『いいえ』の方が 4.1 ポイント上回っている。

図表 11-5 富山県には、楽しい、嬉しい、感動するなど前向き（ポジティブ）な気持ちになる場所や機会が多くある。



問 11－6 富山県（自然・文化・歴史など）に愛着や誇りがある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 70.3%を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 18.3%となっている。

（2）年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 78.0%（うち「はい」が 41.8%）と、他の年代よりも高くなっている。

（3）性別

男女間で大きな差は見られない。

（4）－1 地域別

「砺波地域」では『はい』が 67.2%と、他の地域よりも若干低い。

（4）－2 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 14.8 ポイント高い。

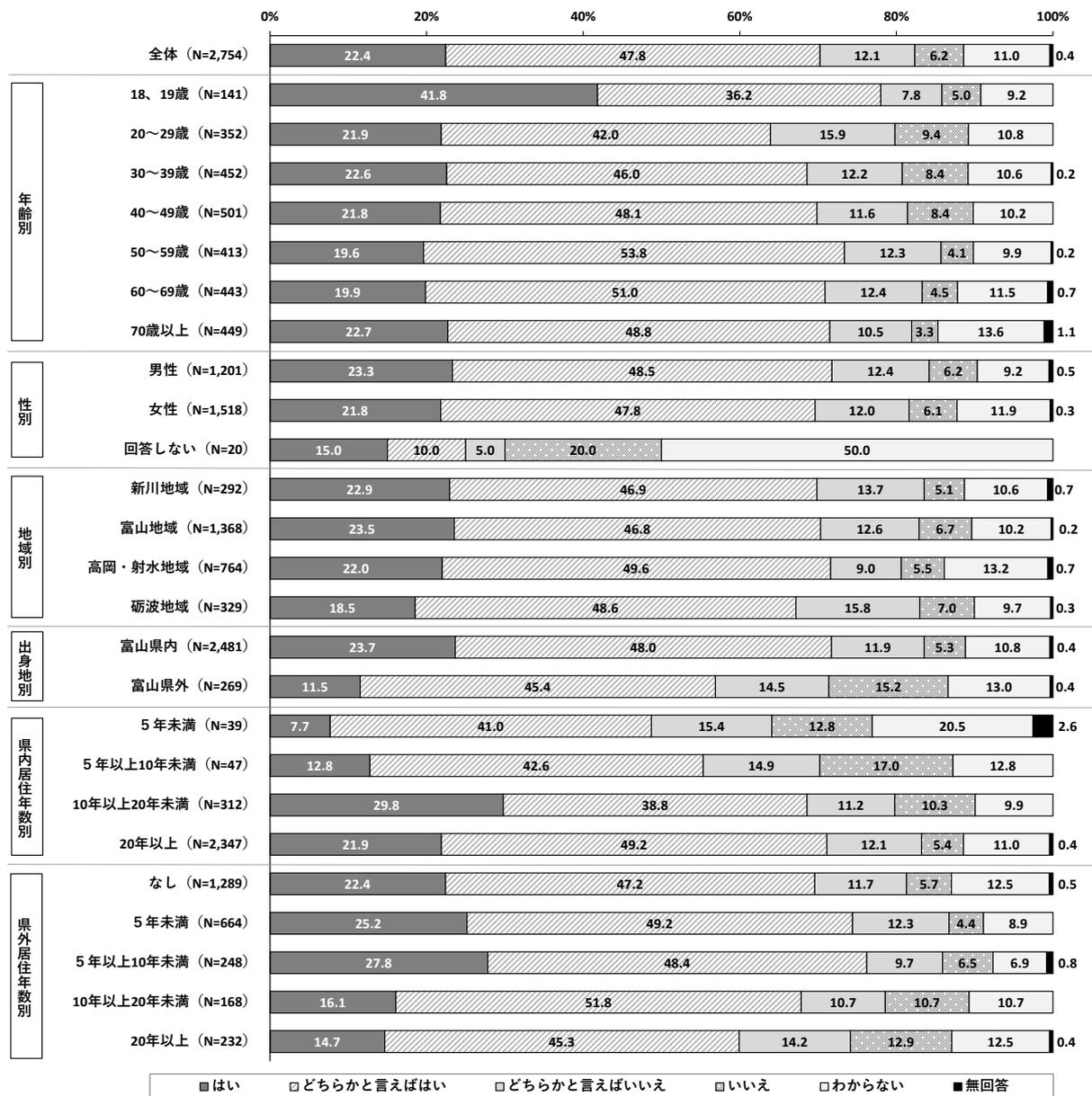
（4）－3－① 県内での居住年数別

居住年数を経つほど『はい』が高くなる傾向にあり、「20 年以上」では 71.1%を占めている。

（4）－3－② 県外での居住年数別

「20 年以上」では『はい』が 59.9%と、他の居住年数よりも低くなっている。

図表 11-6 富山県（自然・文化・歴史など）に愛着や誇りがある。



問 11-7 全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 24.1%となっている。なお、「わからない」が 35.2%を占めている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 67.4%と、他の年代よりも高い。30 歳代以上では『はい』が 30%台と低くなり、「わからない」も 3 割を超えている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 6.4 ポイント高い。一方、「女性」では「わからない」が 40.1%を占めている。

(4) - 1 地域別

「新川地域」では『はい』が 37.7%と、他の地域よりも若干低くなっている。なお、すべての地域で「わからない」が 3 割を超えている。

(4) - 2 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 9.6 ポイント高い。

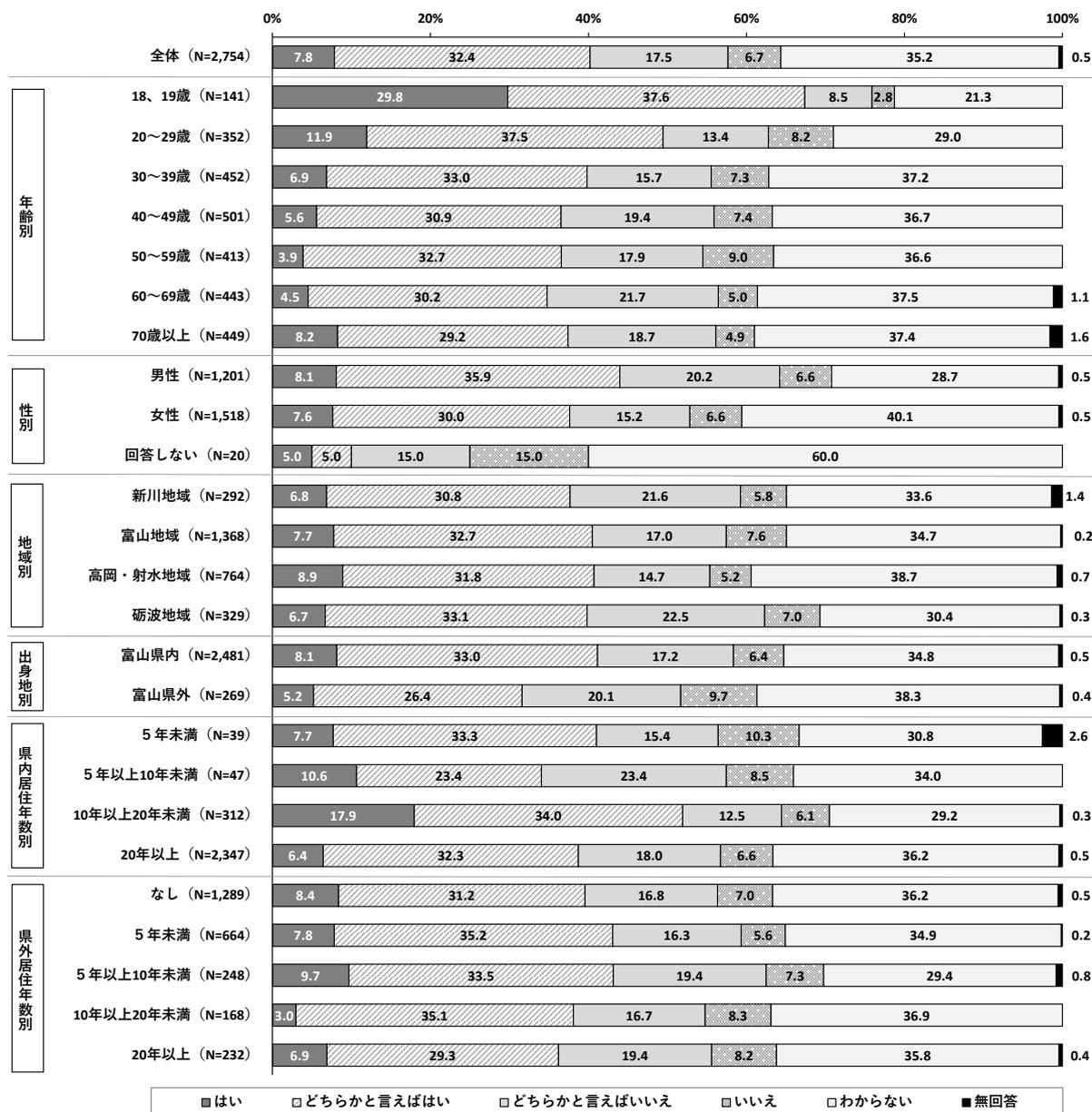
(4) - 3 - ① 県内での居住年数別

「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 51.9%と、他の居住年数よりも高い。

(4) - 3 - ② 県外での居住年数別

「5 年未満」と「5 年以上 10 年未満」では『はい』が 43.1%と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 11-7 全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。



問 11－8 全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 28.8%となっている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 74.5%と、他の年代よりも高い。20 歳代以上では『はい』が 40%台以下と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 6.2 ポイント高い。一方、「女性」では「わからない」が 33.9%を占めている。

(4)－1 地域別

地域間の大きな差は見られず、どの地域も『はい』が 40%前後となっている。

(4)－2 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 5.0 ポイント高い。

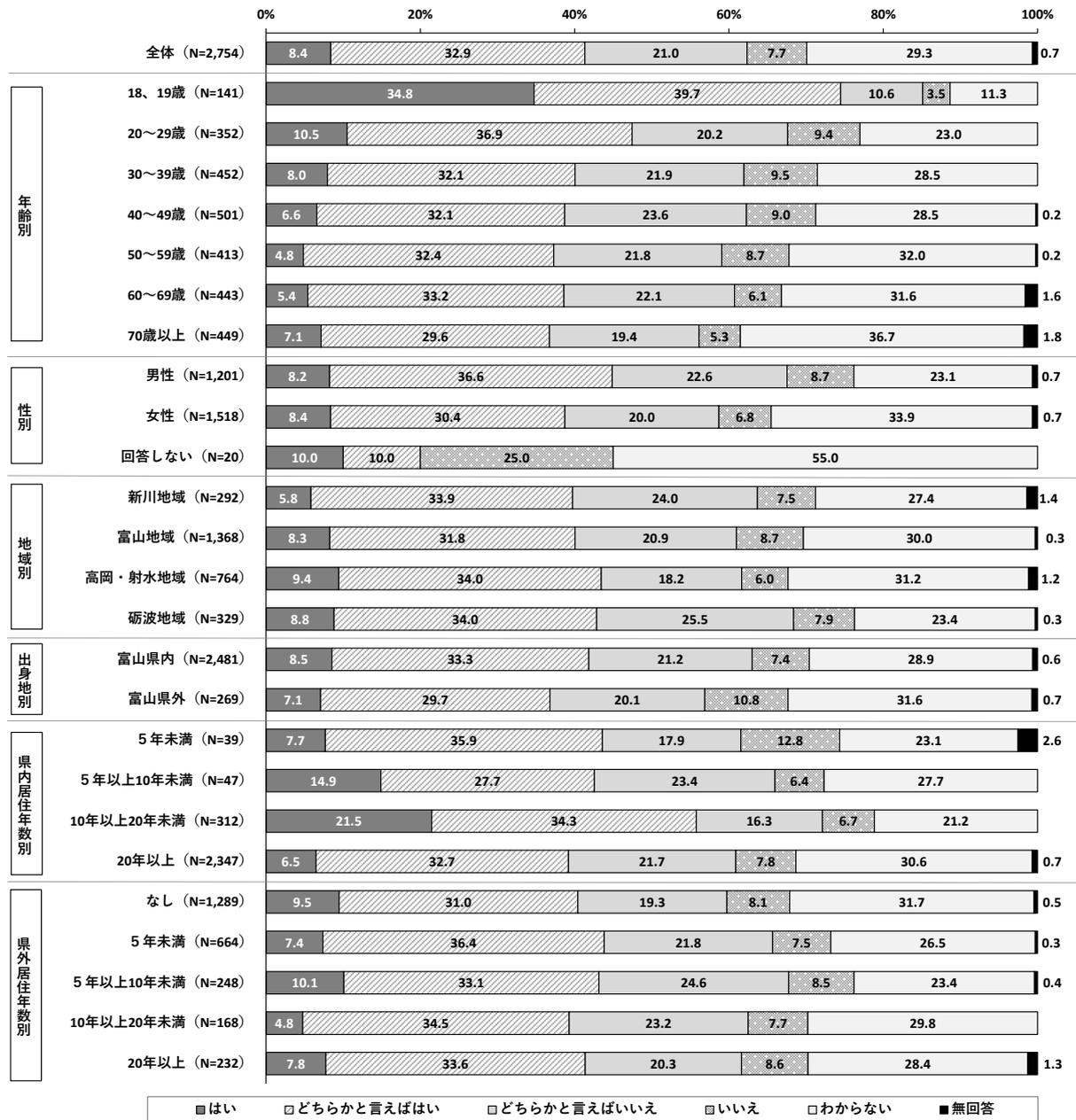
(4)－3－① 県内での居住年数別

「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 55.8%と、他の居住年数よりも高い。

(4)－3－② 県外での居住年数別

どの居住年数でも大きな差は見られず、『はい』が 40%前後となっている。なお、「なし」では「わからない」が 31.7%を占めている。

図表 11-8 全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。



問 11－9 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 34.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 32.7%となっている。なお、「わからない」も 31.9%を占めている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 66.0%と、他の年代よりも高い。20 歳代以上では『はい』が 40%台以下と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 5.6 ポイント高い。一方、「女性」では「わからない」が 36.2 を占めている。

(4)－1 地域別

地域間の大きな差は見られず、どの地域も『はい』が 30%台となっている。なお、「新川地域」「富山地域」「高岡・射水地域」では「わからない」が 3 割を超えている。

(4)－2 出身地別

出身地による大きな差は見られない。「富山県内」「富山県外」とともに「わからない」が 3 割を超えている。

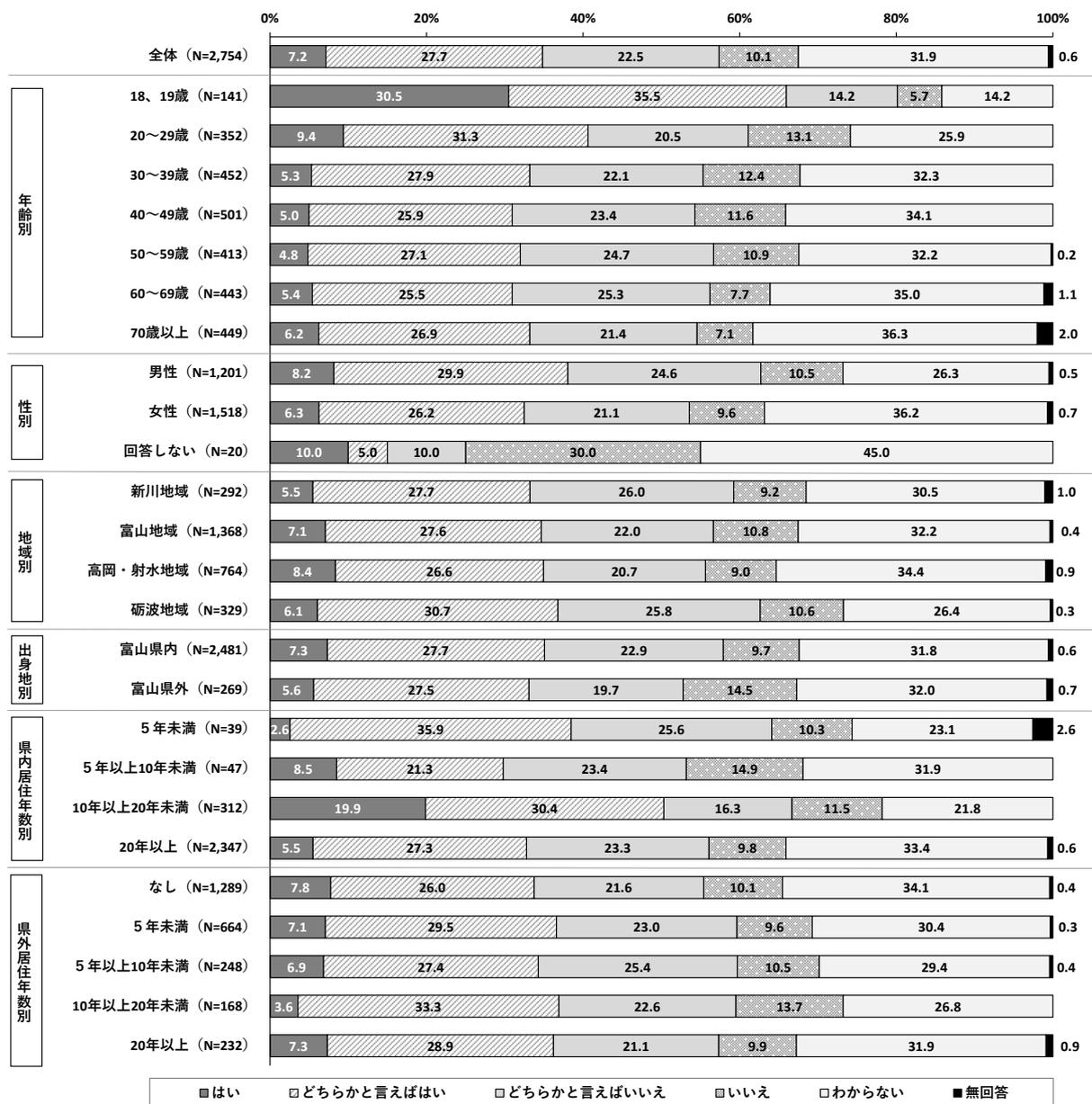
(4)－3－① 県内での居住年数別

「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 50.3%と、他の居住年数よりも高い。

(4)－3－② 県外での居住年数別

どの居住年数でも大きな差は見られず、『はい』が 35%前後となっている。なお、「なし」「5 年未満」「20 年以上」では「わからない」が 3 割を超えている。

図表 11-9 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。



問 11-10 富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 35.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 40.4%と、『いいえ』の方が 5.1 ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」では『はい』が 53.9%と、他の年代よりも高い。一方、30 歳代以上では『いいえ』の方が上回っている。

(3) 性別

『いいえ』は「男性」の方が 6.5 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『いいえ』の方が上回っており、「新川地域」「富山地域」「砺波地域」では 4 割を超えている。

(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『いいえ』が 40%程度になっている。

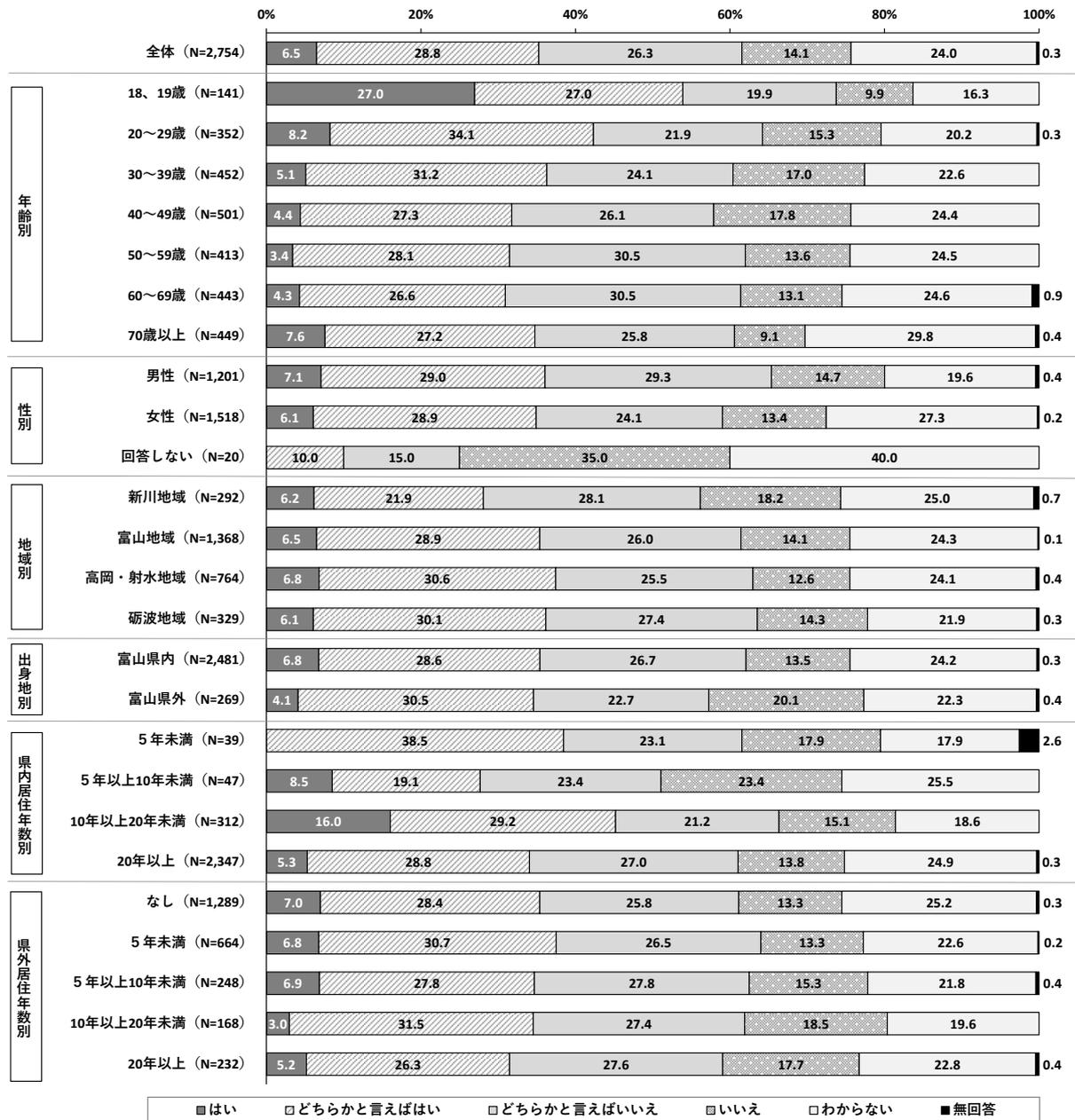
(4) - 3 - ① 県内での居住年数別

「5 年以上 10 年未満」では『いいえ』が 46.8%と、他の居住年数よりも高い。

(4) - 3 - ② 県外での居住年数別

どの居住年数でも大きな差は見られず、『いいえ』の方が上回っている。

図表 11-10 富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。



問 12. あなたが、富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じるのは、どういうこと（時）ですか。
箇条書きでも構いません。自由にご記入ください。

富山県で暮らしていて、どういうこと（時）に「幸せ」を感じるかという問いに対する自由意見として、県民 1,930 人（有効回答者のうちの 70.1%）から回答をいただき、下表のカテゴリで分類を行った。

その結果、「自然」「食べ物」「災害・治安」に分類される意見が多く、美しい自然、美味しい食べ物、災害が少ない安心感などの恵まれた環境に幸せを感じるという回答が多い一方、人とのつながりや社会的活動にともなうものなどの回答は少なかった。

内訳は、以下のとおりである。

※自由意見には、それぞれの複数の内容が含まれることが多いため、主に述べられている内容により分類した。

図表 12 富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じるのは、どういうこと（時）

	カテゴリ	主なキーワード	件数
1	自然	自然、海、山（立山）、空気、自然環境	674
2	災害・治安	災害、犯罪、安全	533
3	食べ物	食べ物、水、魚、米	342
4	住環境・生活環境	住まい（家）、生活、地域、医療・福祉、交通、教育	117
5	家族との関係	家族	96
6	友人・職場・学校・ 地域の人との関係	友人、職場、学校、地域 （上記のうち人間関係に類するもの）	56
7	愛着・誇り	愛着、誇り	15
8	その他		97

（1）自然

「自然が豊か」「空気・水がきれい」「立山連峰が美しい」「海・山が近い」といった豊かな自然を評価する意見が数多くみられた。なかでも「立山連峰」のキーワードは頻出しており、富山県民にとって「幸せ」を感じる重要な要素であることがわかる。

主な自由意見	年齢	性別	地域
朝夕（年間）に立山連峰が見れることは何よりも幸せと感じます。余談ではありますが、東京に住んでいる私の兄弟への手紙や電話にも立山連峰がでます。当然、知人友人に出す便りにも立山の四季も近況同様伝えます。	70 歳代	女性	新川地域
四季がはっきりし山並みがすごくきれい	70 歳代	男性	富山地域

主な自由意見	年齢	性別	地域
大自然の中でボーっとできるとき。子どもと自然の中で遊んだとき。大自然の雄大で素敵な景観を見たとき。	30歳代	女性	富山地域
空気と食べ物が美味しい。自然がいっぱい。晴れたときの立山が素晴らしい。	40歳代	女性	富山地域
美しい自然や水が身近にあることを感じ感謝するとき。	40歳代	女性	富山地域
自然豊かな環境で、心身ともにリフレッシュできたと感じたとき。	40歳代	男性	富山地域
自宅にいる時や普段の通勤時に季節の移ろいを感じるができること。	40歳代	女性	砺波地域
水や空気がきれいで、水道水を不安なく使用できること。	30歳代	男性	新川地域
自然豊か。水がおいしい。魚がおいしい。人が優しい。	20歳代	男性	富山地域

(2) 災害・治安

自然災害の少なさを挙げる意見が多くみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
自然災害が少なく安心して暮らせる。地産地商など食に関して豊かだと感じている。富山の人は富山が好きとよく言っている。私も言っています。	50歳代	女性	富山地域
自然災害が少ないので安心して暮らせる。	60歳代	男性	新川地域
地震が少ない、台風の被害が少ない、治水がうまくいってる。	30歳代	男性	富山地域
大きな災害もなく、冬は雪が積もりますが、安心して生活ができることを感じます。	70歳代	女性	高岡・射水地域
移住（県外より）者です。災害の少なさ、地震のなさ、自然が豊かなこと、棚田、山脈がきれい。	40歳代	女性	富山地域
重大な災害がなく安心して暮らしていることが幸せです。	60歳代	女性	富山地域
災害が少ない。医療に不安を感じる事が無い。障害があっても働く場所がある。	70歳代	女性	富山地域
自然災害が少ない。食べ物がおいしい。豊かな自然がある。物価が安い。事件や交通事故が少ない。	60歳代	女性	高岡・射水地域
自然災害が少ない。子どもが楽しめるような施設やイベントが増えてきたこと。	30歳代	女性	富山地域

(3) 食べ物

「食べ物が美味しい」「魚が新鮮」「水と米が美味しい」といった食べ物の美味しさを評価する意見が数多くみられた。特に、「魚」「水」「米」が頻出ワードとなっている。

主な自由意見	年齢	性別	地域
空気、水、お米、魚、野菜、新鮮なものが不足なく身近にある。住みやすい幸せだと思います。	60歳代	女性	高岡・射水地域
新鮮な魚や野菜が食べられる。そして、おいしいこと。四季の移り変わりがはっきりしていて、季節感が感じられること。人間関係が殺伐としていない。人に優しい。	60歳代	女性	砺波地域
水、米、魚等食べ物が美味しい。災害が少ないこと。都会に比べて、人が少ないため、(地方なので当たり前だが) ゆっくりした気持ちになれる。	20歳代	女性	富山地域
水も食べ物もおいしい。晴れた日には立山連峰が美しく望め、空気もおいしく家の窓を開けても過ごせる環境。高層ビルが少なく、空がよく見えること。緑が多く、癒される。派手さは無いが落ち着いた雰囲気。基本的に優しい人が多い。	40歳代	女性	富山地域
暮らしていて「幸せ」を感じるのは魚や野菜等自然の物がおいしく感じられること。	70歳代	男性	高岡・射水地域
水(水道水)がおいしい。地場物の野菜果物を食べられる。海に山も近いので手軽に自然の中に身をおける。	60歳代	女性	富山地域
美味しい食事、お酒がいつでも手に入ること。趣味(釣り)に没頭できること。	30歳代	男性	高岡・射水地域
食べ物が美味しい。水・魚・米・肉等、なんでもおいしいので旅行先での食に少し感動が薄れるぐらい。	30歳代	女性	高岡・射水地域
富山湾で捕れる魚介類。名水箇所が点在し水が豊富。お米が美味しい。	50歳代	男性	新川地域

(4) 住環境・生活環境

比較的のどかでゆったりした環境である一方で、商業施設がほどよく充実していることで暮らしやすさがあるといった意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
祭りなど行事があり、毎年楽しみにしている。いろいろな人とのコミュニケーションが取れるため。	30歳代	女性	高岡・射水地域
近所を散歩していて昔と変わらない風景やものと出会った時。	20歳代	男性	富山地域

主な自由意見	年齢	性別	地域
老人施設や社会福祉や保障の充実で高齢者が安全で安心な日々を送れる様な社会づくりでの暮らしです。	70 歳代	男性	富山地域
自然が多い。山がきれい。食べ物が美味しい。東京、名古屋、大阪、どこも行きやすい。	40 歳代	女性	富山地域
地域がおおらかで犯罪が少なく感じている。	40 歳代	男性	高岡・射水地域
各スーパーが努力して作っている惣菜や刺身を食べる時。友人たちが子育てをしている話を聞く時。水道から飲む水が美味しかった時（※水道管系の職員さん本当にありがとうございます）。	30 歳代	男性	富山地域
自然が豊かであること。また、郊外からでも少し車で市街地方面へ移動すれば商業施設などが多く、生活がしやすいこと。	20 歳代	女性	富山地域

（５）家族との関係

「家族と一緒にいられること」「家族と食事をしている時」「家族が健康なこと」といった意見が多くみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
子どもの夢を応援している時、家族友人と楽しく過ごしている時。	30 歳代	男性	高岡・射水地域
家族全員が健康であること。平凡でも笑って暮らせること。月に2、3回外食や年に一度程度の旅行。趣味ができること。	60 歳代	男性	砺波地域
子どもや孫たちと食事をしたり買い物に出かけたりしている時。友人とランチを楽しんでいる時。山を見て美しいと感動した時。自然が身近にある事。	30 歳代	女性	新川地域
家族みんなが健康に不自由なく暮らせていること。	30 歳代	男性	富山地域
自分の子ども、両親、主人の両親が皆富山にいて、私が仕事をしながらでも子育てに協力してくれる主人や義理の両親、母親が身近にいることに感謝しています。	40 歳代	女性	富山地域

(6) 友人・職場・学校・地域の人との関係

優しい人が多く、友人や地域の人と過ごすことで幸せを感じるという意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
富山県の皆さんはとても優しく、子育て面でも助けられることが多いので、そのような時ここで暮らせて幸せだと感じます。	20 歳代	女性	富山地域
豊かな人とそうでない人との差が少ない。自然や食べ物等豊富でありながらそれなりの便利さがある。	60 歳代	女性	富山地域
地域あるいはグループ（趣味を含めて）のお世話をしている時に積極的に協力してくれた時。	70 歳代	男性	富山地域
小さな頃から自分のことを知ってくれている近所付き合いがあること。	40 歳代	女性	砺波地域

(7) 愛着・誇り

不便なことがありつつも、田舎であることや代わり映えのないことに、安心や愛着を感じられるという意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
旅行などで県外から戻って来て日常に戻った時、しみじみと幸せを感じる。特別感のない代わり映えのない部分に安心と幸せを感じる。	40 歳代	女性	高岡・射水地域
富山にずっと暮らしているので親しみがある。	40 歳代	女性	富山地域
生まれた地域であるので安心できる環境であり災害も少なく自然豊かで生活していて心安らぐ時間を過ごしていると思う。	40 歳代	男性	新川地域
若い頃は物足りなく感じたこともありましたが、60代になった頃からは、穏やかで静かな土地に安心感を持つようになりました。	60 歳代	女性	富山地域
他県に行って帰ってくると、雰囲気ですぐ安心する。	30 歳代	女性	富山地域
富山に住んでいるというだけで強い繋がりがあること。直近6年間は東京にいて、富山へ戻って来たばかりなのですが、戻ってきたことを喜んでくれる人が多かったり、富山を盛り上げたい人が集まるコミュニティが多かったりと、東京にはない人との繋がりを感じます。	20 歳代	女性	富山地域
他の県など生活に便利な地域はたくさんあると思うが、やはり地元に戻ってくるとホッとできる場所が富山県である幸せ。	40 歳代	男性	高岡・射水地域

(8) その他

趣味や自分の好きなことをやっている時に幸せを感じるという意見がある一方で、幸せを感じることができないという意見もみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
精神的にも肉体的にもゆとりがあり美しいものを、美しいと感じることができたとき。	60 歳代	女性	新川地域
富山県に暮らしていて幸せを感じることはありません。他県の方が訪れたい観光地、食べたいグルメがあり、県内の魅力はあまりないように思います。ただ、大きな震災や津波など災害が少なく悲しいニュースを見るたびに富山ではなく自分の身に起きたことではないことに安心を覚えています。	40 歳代	男性	富山地域
心身ともに健康で、普通に暮らせればいいと思う。	60 歳代	男性	新川地域
自分の好きなことをしているときです。	20 歳代	女性	高岡・射水地域
他の地域で暮らしたことがないので比較できませんが富山で暮らしていて富山だからこそ「幸せ」は感じられません。	50 歳代	女性	富山地域
他県からみても富山県は何事においても少し遅れている気がするのであまり幸せを感じません。	70 歳代	男性	高岡・射水地域

問 13. あなたにとって、最も理想的な生活を想像してください。それは、自分がどのような人生や生活を送っている状態ですか。箇条書きでも構いません。自由にご記入ください。

どのような人生や生活を送っている状態が最も理想的な生活かという問いに対する自由意見として、県民 1,906 人（有効回答者のうちの 69.2%）から回答をいただき、下表のカテゴリで分類を行った。

その結果、「健康」「収入、家計」に分類される意見が比較的多く、健康で、ゆとりのある状態を理想的な生活とする回答が多かった。

内訳は、以下のとおりである。

※自由意見には、それぞれの複数の内容が含まれることが多いため、主に述べられている内容により分類した。

図表 13 最も理想的な生活

	カテゴリ	主なキーワード	件数
1	健康	健康	450
2	収入、家計	収入、家計、生活のゆとり	412
3	住環境・生活環境	住まい（家）、生活、地域、医療・福祉、交通、教育	242
4	家族との関係	家族	184
5	仕事	仕事、仕事のやりがい、ワークライフバランス	183
6	余暇	学び、趣味、スポーツ・芸術・文化、観光・旅行	134
7	将来への希望・期待	将来への希望、期待、夢	90
8	友人・職場・学校・ 地域の人との関係	友人、職場、学校、地域 （上記のうち人間関係に類するもの）	48
9	災害・治安	災害、犯罪、安全	41
10	社会貢献	社会貢献、ボランティアなど	26
11	社会の寛容性	男女平等、多様な価値観	26
12	その他		68

(1) 健康

自分自身が心身ともに健康な状態であることはもとより、家族も健康な状態で楽しく生活することを理想とする意見が数多くみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
家族みんなが健康で元気に過ごすこと。	30 歳代	女性	富山地域
自分と自分の大切な人たちが心身ともに健康で、いい人間関係を保っている状態。世の中が平和で経済的に不安のない生活。	50 歳代	女性	富山地域
年齢とともに衰えを感じますが、子どもたちになるべく負担をかけないように健康に注意して過ごせればよいと思います。	70 歳代	女性	富山地域
人生 100 年時代。とてもそこまで生きることが不可能と思うが、大きな病、事故等に遭わず、いつまでも健康であり、日本中を旅行できればと常々思っている。妻と二人で遠出をしたり、四季折々出掛ける。残りのわずかな人生を楽しみたい。	70 歳代	男性	新川地域
健康で悩み事もなく穏やかな毎日を送っている状態が私にとって理想的な生活です。	50 歳代	女性	新川地域
健康であること。金の心配をしなくてよいこと。金持ちになりたいのではなく普通の生活ができること。家族が信頼しあうこと。	70 歳代	男性	高岡・射水地域
家族が健康に社会生活を送れている状態。家族がお互いに穏やかに過ごせること。やりがいのある仕事をできる限り続けること。	50 歳代	女性	高岡・射水地域
自分らしくストレスのない生き方。後悔のないように健康で働いて人生を終わりたい。	50 歳代	女性	富山地域
健康で食事を美味しくいただき、元気に草刈りができて、楽しく仕事ができ、人間関係が良好な生活を送ることができれば最高です。	60 歳代	女性	富山地域
家族皆健康で仕事が安定して家計が安定。定年後も金銭的ゆとりある健康的な生活を希望。	50 歳代	男性	富山地域
家族みんなが心身ともに健やかに生活を送っている状態。	40 歳代	女性	富山地域
自営業ですが仕事を終えた後も健康で楽しく暮らせる状態。	60 歳代	男性	砺波地域
自身も含め家族全員が心身ともに健康で何かしらの向上する目標に向かって歩みを進めている。また、それぞれの目標を達成するためにお互いが思い合い協力し合って生活をしている状態。	40 歳代	男性	高岡・射水地域

(2) 収入、家計

経済的な余裕とともに、自分のやりたいことができることを理想とする意見が多くみられた。また、一定の収入を得ることにより、子どもに迷惑をかけたくないという意見もみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
ある程度、貯金があり、安心して老後を過ごせる環境。	20 歳代	女性	富山地域
現在子育て中（2人）夫と自分と子供2人。あと1人か2人子どもがいて、今の職は変えず、給料の良い所に転職して家族が増えても現在と同じ生活水準、またはそれ以上であればいいかなと思う。社会的に子育て世代に優しい情勢であってほしい。少子化の今、産みたい人が安心して育てられる世の中であれば理想的です。	20 歳代	女性	富山地域
心身ともに健康で家計や生活にゆとりがあり、同年代の人たちとボランティア等で楽しく語り合える生活。	70 歳代	男性	新川地域
老後もお金に困ることなく、旅行に行ったりすることが出来るような生活を送りたい。	30 歳代	男性	富山地域
やりたい仕事をして十分な収入がある生活。	30 歳代	女性	富山地域
経済的ゆとりがあって家族が仲良く健康で生活できること。	70 歳代	女性	富山地域
日々お金の心配することなく、必要な時に必要な医療を受けられ、学びたいことを学べ、笑顔で明るく過ごせる状態。	20 歳代	女性	高岡・射水地域
金銭面で余裕があり心身ともに健康で自分のやりたい事や好きなことに熱中できる生活。	70 歳代	男性	砺波地域
時間的にも金銭的にもゆとりがあり自分の好きなことを好きなだけできる生活。	60 歳代	男性	富山地域
自分の好きな人と一緒に生活水準も高く、暮らしていける生活。日本の周りの国々や日本国内、世界的なお金持ちの方々に振り回されることのない世界で治安が保たれ、人類がしっかりと幸せな生活を地球上で送ることのできる生活。旅行をしても日本人として誇りを持って、愛国心のあふれた国である生活。	20 歳代	男性	富山地域
安定な収入があること。後期高齢者になったら集いの場が欲しい（公共の地区センター的な施設）。体の不良・不調の相談をしたり、趣味を楽しんだりできる場。	50 歳代	女性	富山地域
できる限り長く働いて、少しばかりの贅沢をする余裕があり、静かに年を重ねていけること。	60 歳代	女性	富山地域
老後、夫婦2人で不安なく、子どもに迷惑をかけずに生活できること。	30 歳代	男性	砺波地域

(3) 住環境・生活環境

公共交通機関が充実し、車が無くても生活できる環境、高齢者が安心して暮らせる環境を求める意見が多くみられた。一方で、子どもが安心して暮らせる環境を求める意見もみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
地域（市や県）の枠を超えて手助けの必要な人には手助けサポートができる環境。強制される活動には何も意義や気持ちが無い。人がいない、伝統、皆やっているが口癖になっている風土が多い。	40 歳代	男性	砺波地域
夫も妻も働ける社会。なんだかんだ学童や習い事までの送り迎え等でしっかり働けない。気軽に頼める人がいないので、また山間地は交通が不便のためそうなる。	30 歳代	女性	富山地域
車がなくとも生活に不便がない生活。	40 歳代	女性	富山地域
子どもが安全に暮らせる環境。子どもへの補助支援が手厚い環境。	30 歳代	女性	高岡・射水地域
運転できなくなっても公共交通機関だけで自由に行動できる生活スタイル。冬季の除雪問題、スキー場等、必要としている人のところだけ雪が降ればいいのに。すべての高齢者が笑顔で過ごせる場所の確保。	50 歳代	女性	富山地域
今はほぼ車ですが、公共交通機関でも行きたい場所へすぐ行けること、欲しい物、買いたいものが近くにあること。	50 歳代	女性	富山地域
いつでも近くに医療があること。いつも近くに学びがあること。必要な時に我が身を預けられる介護環境が整っていること。	60 歳代	男性	砺波地域
家の近くにスーパーやショッピングモールなど、生活に欠かせないものが近くにあることで自然が豊かで一軒家(平屋)を買ってすてきな家族をもらいたいです。	20 歳代	女性	新川地域
歩いて移動できる場所に生活に必要なものを買える場所がある。交通の便が良い。文化施設があり社会や文化に触れられること。	40 歳代	女性	高岡・射水地域
交通の便が良い生活、子どもができたとき育てやすい環境がある生活。高齢になった時に生活に困らない環境がある生活。	20 歳代	女性	富山地域
徒歩で病院、飲食ができる場所に住み、孤独にならないような生活がしたい。	60 歳代	女性	富山地域
娯楽民間施設(モールなど含む)の充実が無いことにより、子育ての環境や様々なきっかけ作りが無いように感じている。(スーパーマーケットが乱立している気がします)	30 歳代	男性	新川地域

(4) 家族との関係

家族で仲良く、楽しく暮らすことを理想とする意見が多くみられた。また、子どもと暮らすことや子どもが元気で過ごすことを望む意見も多くみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
家族が大家族でお互い笑いあえる家族。やりがいのある仕事もでき趣味を楽しみできるだけ健康で年を老いていきたい。	50 歳代	女性	富山地域
子どもたちが結婚して孫がいて、食事をしたり旅行に行ったりする。友人と食事をしたり趣味の時間が持てる。金銭的余裕がある。	50 歳代	女性	高岡・射水地域
家族みんなが元気で子どもたちが楽しく生活してくれれば一番幸せです。	30 歳代	女性	富山地域
子どもや孫たちと仲良く一緒に住めて、健康でお金に困らない生活。	60 歳代	女性	高岡・射水地域
家族関係が良好で何かあった時に頼ることが出来る関係であること。	20 歳代	女性	富山地域
家族（妻）と明るく、毎日当たり前の生活ができることに感謝できること。	70 歳代	男性	富山地域
子どもたちが元気に勉強やスポーツに取り組んでいる姿を応援して毎日過ごす生活。それが幸せと感じられること。	40 歳代	女性	富山地域
家族揃っている。人々との交流がよい。交通網の発達。公共施設の充実。生涯自分が必要とされる。心身ともに健康。経済的なゆとり。	70 歳代	女性	砺波地域
家族が心身ともに健康で安心して暮らしている状態。時々小さな気づきがあったり、楽しみがあったり、県外にも遊びに行ったり。時間的余裕、心の余裕（苦しくない程度の経済的な余裕）があって、チャレンジする気力が維持できている状態。	50 歳代	女性	高岡・射水地域
家族と仲良く暮らし、たまに友人と出掛け、節約しながらも経済的に少しゆとりがある。子どもも自立しているか、自立に向かって健やかに成長している。	40 歳代	女性	富山地域
子どもたちと良好な関係を築き、仕事をほどほどにして生活を充実させている状態。	30 歳代	女性	新川地域
大切なパートナーと結婚して、家庭を持ち、自分の強みを活かせる仕事で稼いで、人間関係などのしがらみに囚われない自由な生活。	20 歳代	女性	高岡・射水地域

(5) 仕事

やりがいのある仕事をしつつ、家族との時間や趣味などを楽しみながら生活できることを理想とする意見が多くみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
仕事や趣味にやりがい、生きがいを感じ、各々が他者に貢献し争いや不満、陰口なく皆仲良く暮らしていけること。コロナ禍においては感染の恐怖や外出制限へのストレスから世の中が閉塞的で利己的な雰囲気になっており、早く感染症が終息して元通りの生活が送れることを願っています。	40 歳代	男性	富山地域
家族も自分も健康で、仕事と生活のバランスよく仲良く暮らせる状態。各々が趣味を楽しみ、生きがいをもっていて、不足しない程度のゆとりある経済状態で生活できること。	50 歳代	女性	富山地域
必要とされている間は仕事を続け、病気やケガをせず自分のことは自分でできる生活をする。	60 歳代	女性	砺波地域
仕事と生活のバランスがとれていること。心身の健康が良好であること。家計にゆとりがあること。	70 歳代	男性	砺波地域
自分の日々の生活に何ら恥じる部分が無く、己の生活や仕事に誇りをもって過ごすことができる状態。	20 歳代	男性	富山地域
今なりたいと追っている職業にしっかりと就き、そこでやりがいを感じて毎日が楽しいと思えている状態。	18、19 歳	男性	富山地域
共働きでも家事分担できること。休日でも自由な時間が持てること。	50 歳代	女性	富山地域
接客なので年齢の幅広く日々笑顔でいろんな人と楽しい会話を心掛け、ストレスを溜めないで元気に長く続けることが理想です。ただ、高齢になると病気、認知症、介護生活などちょっと不安に思うこともあります。	70 歳代	女性	富山地域
ON・OFFのはっきりとした生活。仕事はしっかりと、休日は自分の好きなことをする。経済的にも余裕がある。	50 歳代	男性	富山地域
楽しく仕事ができ、休日は思いっきり遊んだり、休息ができ、それができるくらいの蓄えがある。	40 歳代	男性	富山地域
「仕事」が生活のためではなく、自己実現のためのツールとして機能すること（その結果として収入があり生活ができる）。	30 歳代	男性	富山地域

(6) 余暇

「自分のやりたいことをしたい」「自由な時間を楽しみたい」など、趣味や好きなことをしながら時間を過ごすことを理想とする意見が数多くみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
家にいて(働かなくて) 畑や花を育て、散歩したり、買い物に出かけたり、時々友達の食事をしてのんびり時間に追われず過ごせたらいい。	70 歳代	女性	富山地域
誰にも迷惑がかからない日々を送れること。自由に思い通りの時間があること。	70 歳代	女性	高岡・射水地域
今は仕事を中心の生活のため、安心して安全な環境のもと自分の時間にゆとりを持ち、趣味を見つけ過ごしたい。	50 歳代	女性	高岡・射水地域
仕事以外に趣味や新たに勉強し、時間の余裕がある状態。贅沢はできなくても、年に数回は家族で旅行がしたい。思い出を作る金銭的余裕がほしい。	40 歳代	女性	富山地域
好きなことを好きな時にできる。自由にできる。楽しく毎日が送れる。金銭面を心配しなくても良い。	18、19 歳	女性	高岡・射水地域
仕事以外の趣味を持ち、心身ともに健やかに過ごす。	50 歳代	女性	富山地域
趣味など自分のやりたいことができている状態。	40 歳代	男性	砺波地域

(7) 将来への希望・期待

特別な希望や夢よりも、日常的な生活の中に自分や家族の夢、幸せを求める意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
子どもたちの夢がかなって(スポーツ選手)、それを妻と応援しに行く生活。	30 歳代	男性	高岡・射水地域
目標を持ち続けて、生活にハリを持つ生きがいを持つ。	50 歳代	女性	砺波地域
特別にいいところがあるわけでもなく、特別に悪いところがあるわけでもなく…家族がいて、仕事があって、みんな健康でいて、ただただ平穏無事な毎日を過ごせて、時には友達、家族と旅行でも行けたらいいですね。	60 歳代	女性	高岡・射水地域
みんなが幸せそうで国が平和であること。	40 歳代	女性	富山地域
自分の夢を叶える。幸せな家庭を持つ。住み慣れた好きな場所で生活をする。	20 歳代	女性	富山地域

(8) 友人・職場・学校・地域の人との関係

友人と楽しく過ごすことを望む意見がみられた。また、地域の人々とコミュニケーションを図り、良い関係を望む意見もみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
年齢関係なく人々の交流の場があり、笑いの絶えない日常がある。	60 歳代	男性	新川地域
近所とのコミュニケーションが良くて毎日楽しく思えること。	40 歳代	男性	富山地域
老後のことを思うと、もう少し地域の方々とコミュニケーションが図れる場があったらと考えます。昔は、青少年会、婦人会、老人会等活動されていたと記憶します。私が子どもの頃、町内で老人会の方々が毎日ゲートボールを楽しんでおられました。今思うと素敵です。	40 歳代	男性	高岡・射水地域
仲間に囲まれて楽しく過ごしている。	40 歳代	女性	高岡・射水地域
近所の人たちと助け合い、協力できる生活。	30 歳代	男性	富山地域

(9) 災害・治安

災害や事件などがなく、安心して平和に暮らせる生活を求める意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
天災や不審者や自動車の事故などの脅威にさらされることなく、自分が学生時代に過ごしたように平和で暮らせる状態。	30 歳代	男性	富山地域
治安が良くて人々が寛容的で、一人一人がストレスなく過ごせる環境。	20 歳代	女性	富山地域
治安に不安がない。災害の心配がない。好きな時に好きな場所に行ける（交通手段や情報など）。	40 歳代	男性	富山地域
自分も周りも知らない人も、不安なく安全に幸せに過ごすことができる生活。	40 歳代	女性	新川地域
自然災害などの不安なく、健康で、心と身体が自由であり、普通に暮らすことができること。旅行や学び、好きなことにもお金を使うことができる生活ができればありがたいです。	50 歳代	女性	富山地域

(10) 社会貢献

仕事やボランティアなどを通じて「誰かのために役立つ」「地域のために貢献する」といった意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
できるだけ実家で暮らして仕事を通し、プラベートでも地域に貢献したい。今はまだ仕事が安定していないため貢献はできていない状態である。	60歳代	男性	富山地域
現在、複数のボランティアをしています。多くの笑顔と出会う時、社会とのかかわり、つながっている喜びを感じます。	70歳代	女性	高岡・射水地域
やりたい仕事を通して地域に貢献し、子どもとの時間も楽しみ、充実させられること。	40歳代	女性	高岡・射水地域

(11) 社会の寛容性

他人の意見を尊重できる社会や障害者も含め様々な人が生活しやすい環境を求める意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
人生のほとんどを過ごしてきてしまうと何が理想的なのかわかりませんが、共に助け合える人とお互いの価値観を尊重し、健康で趣味や旅行ができれば最高でしょう。	60歳代	女性	砺波地域
共働きであることを否定されない。やりたい仕事ができる。家族で協力して家事や育児をする。	30歳代	女性	富山地域
結婚していなくても誰からも責められず一人一人が独りで生きていつも幸せな社会がある。推している人が何回も来てくれる。高齢者の価値観がアップデートされている社会になっている。	20歳代	女性	富山地域
個人の意見が尊重される。付かず離れずの程よい距離感で人と人とが繋がっている。自分の仕事が誰かの役に立っているという実感がある。ジェンダーやセクシャリティがマイノリティであっても生きづらくない。性別の枠を超えて結婚の自由がある。	20歳代	女性	富山地域
私は障害を持っているので障害を持った人が働きやすい環境。	20歳代	女性	富山地域

(12) その他

特別な理想を求めるのではなく、今の生活が理想的な状態であるといった意見がみられた。

主な自由意見	年齢	性別	地域
理想的な生活など無いと思っています。そう思って日々の生活を楽しんでいます。	70 歳代	男性	富山地域
現在の生活が理想的な生活です。	40 歳代	女性	新川地域
理想を考えるより今のことを考えることで精一杯な状態。日本自体に理想を感じない。	50 歳代	-	富山地域
理想的な生活とは何ですか？まずそれに疑問を感じます。私は今のありのままの生活を受け入れ、小さな幸せを大切にしているので、大げさな理想は掲げません。まず理想といえば、現実があり、そのギャップを感じることにまず疑問を感じます。ですからどんなに厳しい状況の時でもこれは私の理想の生活ではないと不満を思うことはありませんでした。	60 歳代	女性	富山地域
現状と変わりのない生活を送りたい。	18、19 歳	男性	新川地域
今 自分がいるこの場所、やっていること、今までやりたかったことが出来ています。それが出来なくなるまでやれればと思います。	50 歳代	女性	富山地域

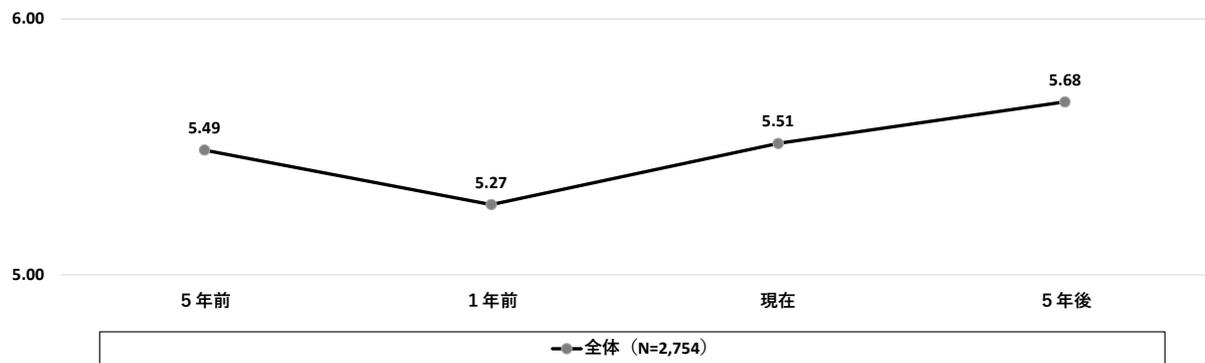
問 14. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、
 ①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。
 また、②5年前、③1年前は、それぞれどの程度の状態であったと思いますか。
 そして、あなたの想像では、④5年後どういう状態になっていると思いますか。
 それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

(1) 全体

【平均】

「5年前」の5.49から「1年前」には5.27と一旦落ち込んでいる。その後回復し、「現在」の5.51から「5年後」には5.68と上向き傾向になっている。

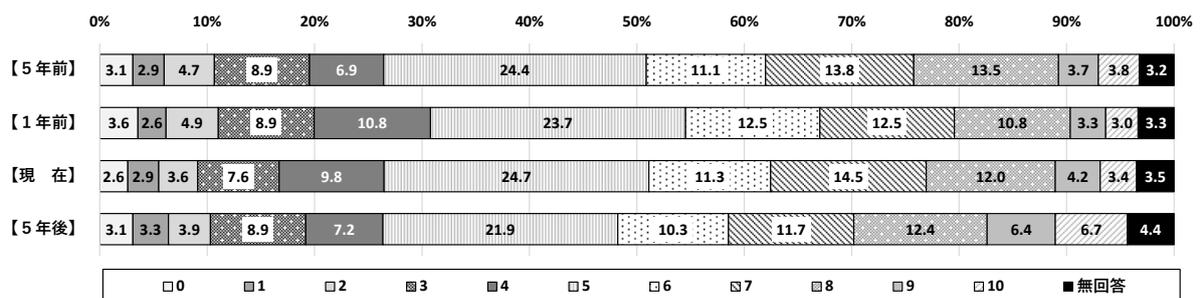
図表 14-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(全体)



【割合】

「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも中央値の「5」が最も高い。「6以上」の割合は、「1年前」に42.1%と一旦落ち込むが、その後は上向き傾向となり、「5年後」には47.4%となっている。一方、「4以下」の割合は、「1年前」には増加し、30.8%となったものの、「現在」は26.5%と「5年前」(26.4%)と同水準になっている。

図表 14-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(全体)

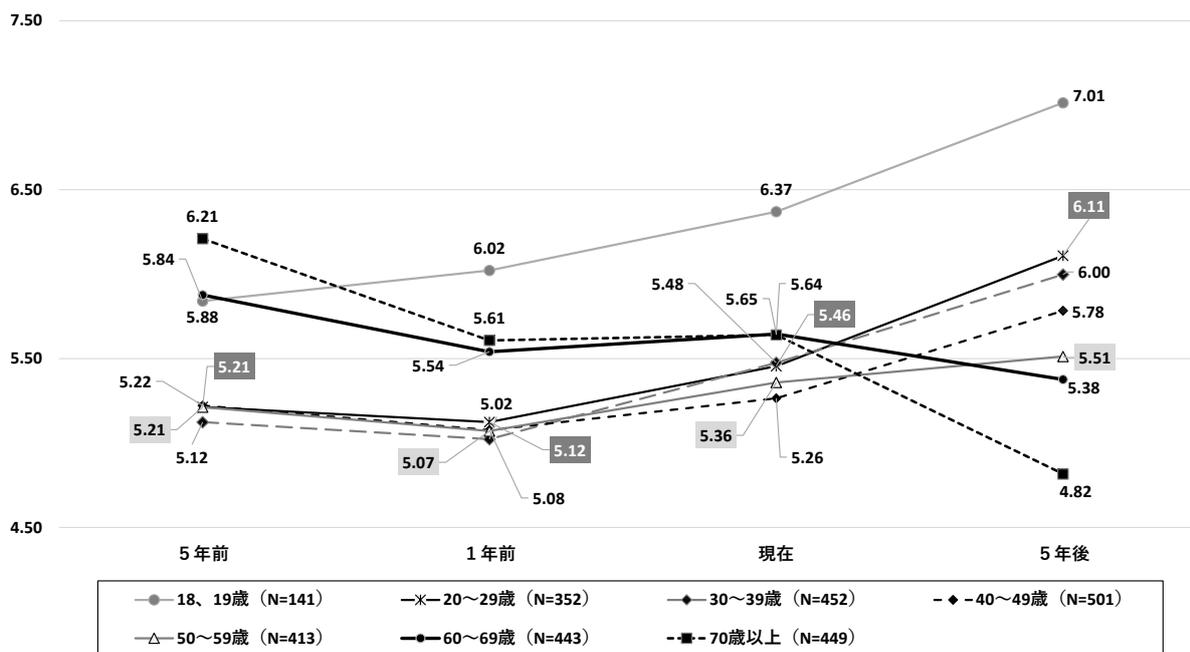


(2) 年齢別

【平均】

「18、19歳」は「5年前」の5.84から上向き傾向にあり、「5年後」には7.01と、どの年代よりも高い。20～50歳代は、「1年前」に一旦下がるものの、その後上向き傾向となっている。60歳代以上は「5年前」よりも「5年後」の方が低い水準となっている。

図表 14-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（年齢別）



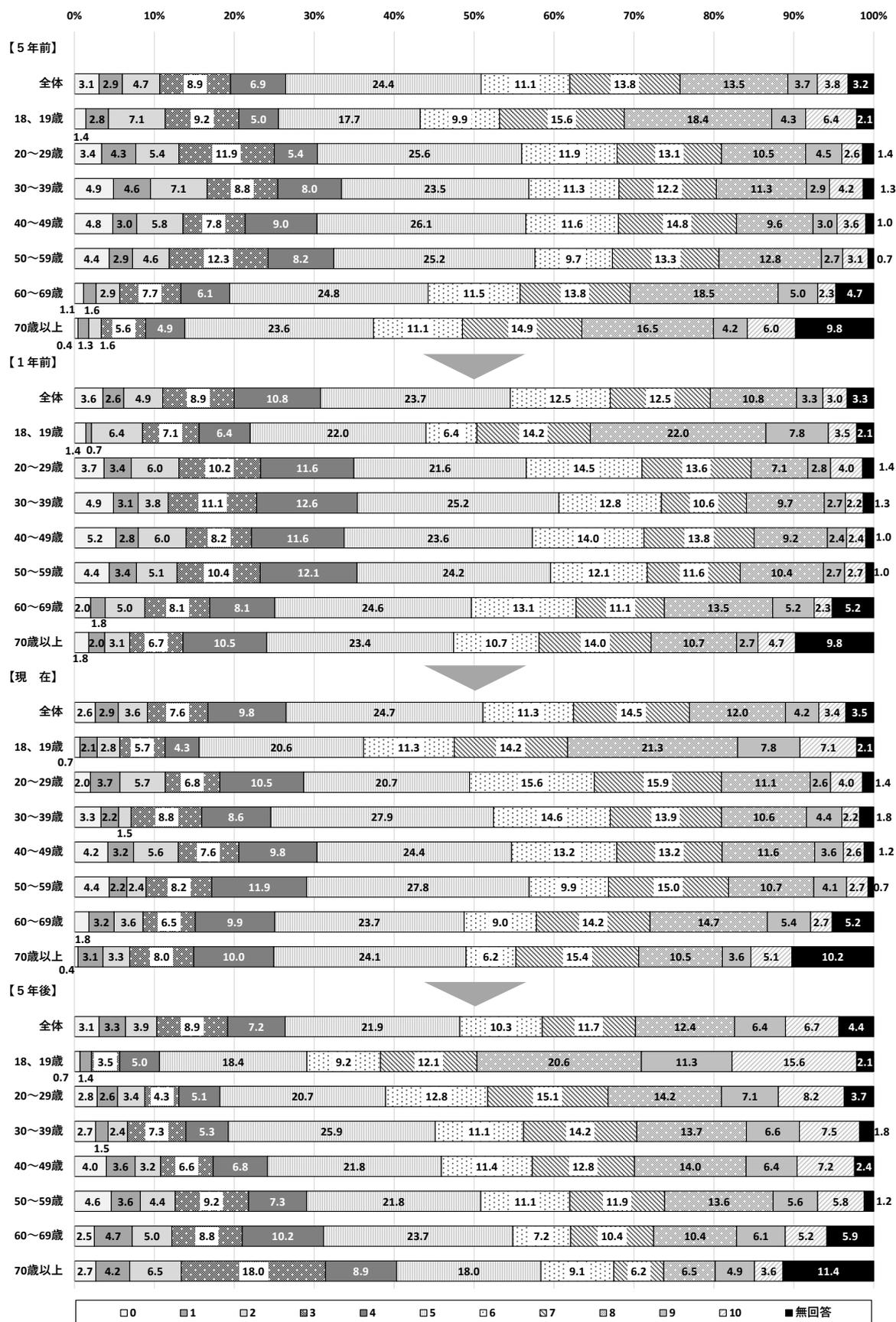
【割合】

「18、19歳」では、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「8」が最も高く、その他の年代では中央値の「5」が最も高くなっている。

「現在」と「5年後」において、「18、19歳」では「6以上」が6割を超えている。

「5年後」を見ると、「6以上」は年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあり、「70歳以上」では30.3%となっている。

図表 14-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年齢別）

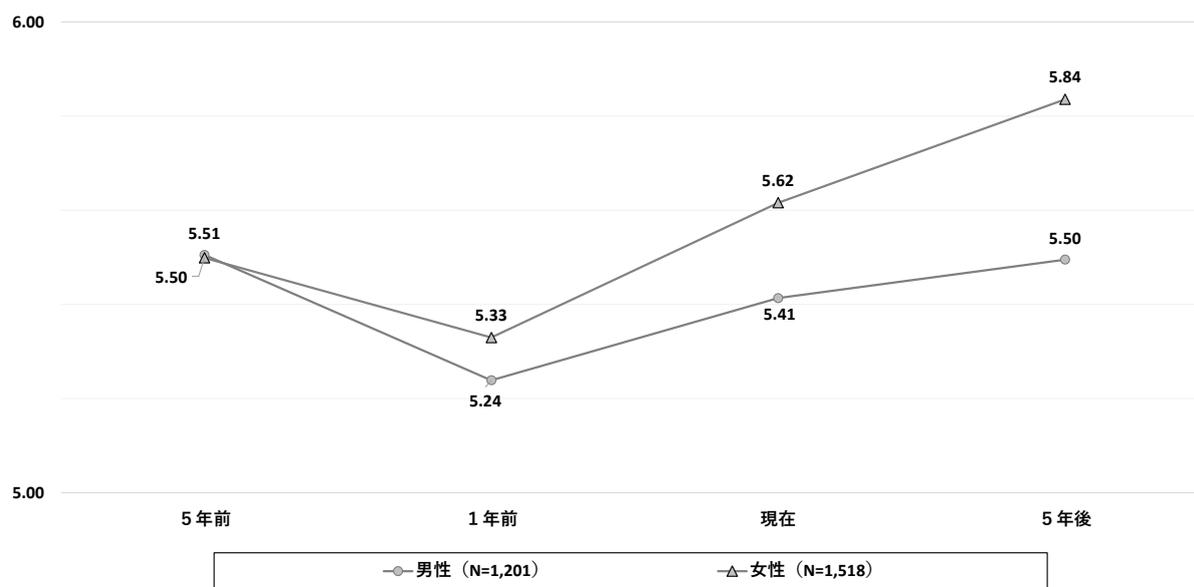


(3) 性別

【平均】

男女ともに、「1年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。また、「男性」より「女性」の方が高い傾向にある。

図表 14-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(性別)

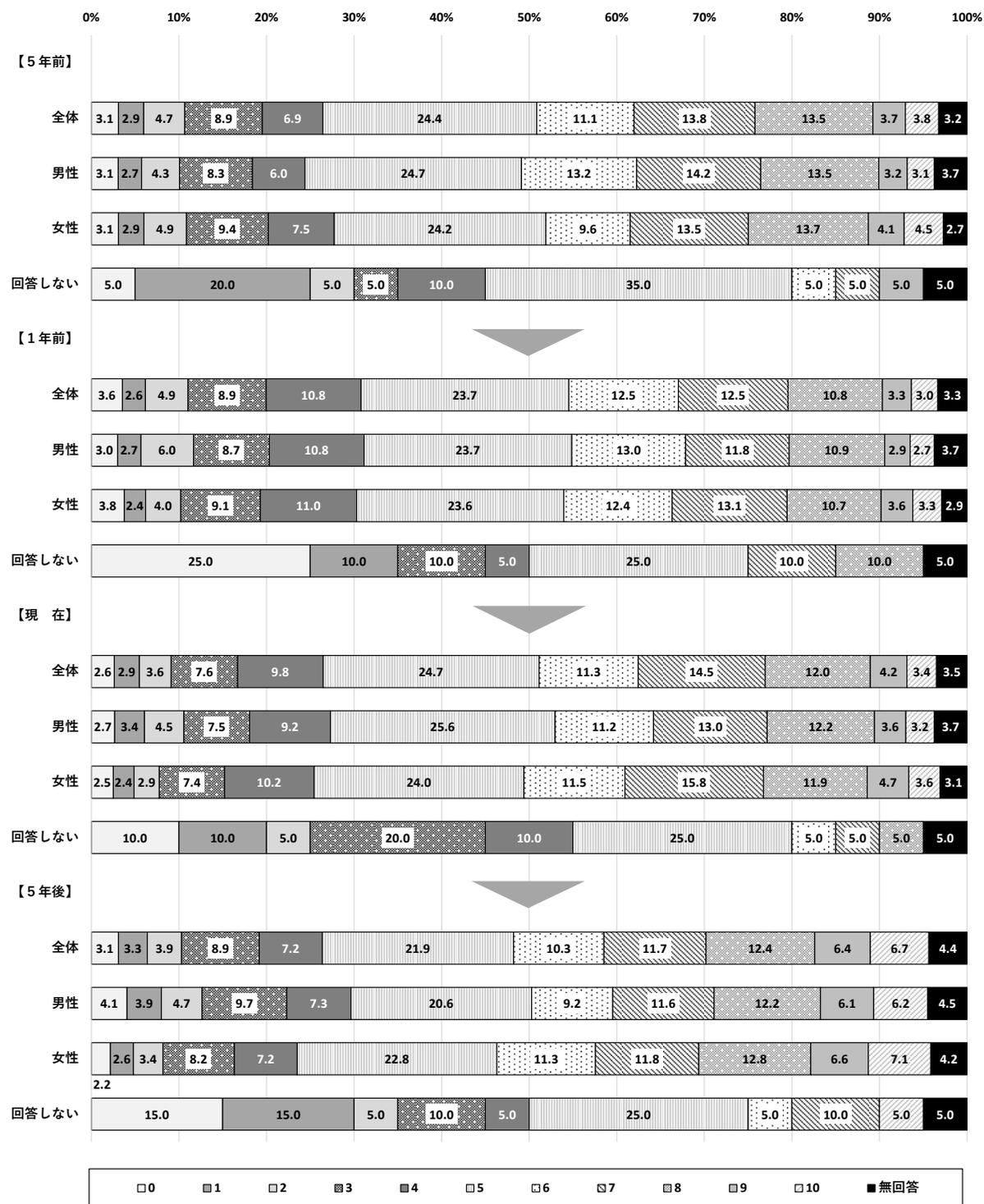


【割合】

男女ともに、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」は、「5年前」は「男性」の方が高いものの、「1年前」からは「女性」の方が高くなり、「5年後」には「男性」の45.2%に対して「女性」が49.5%と4.3ポイント高い。

図表 14-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（性別）

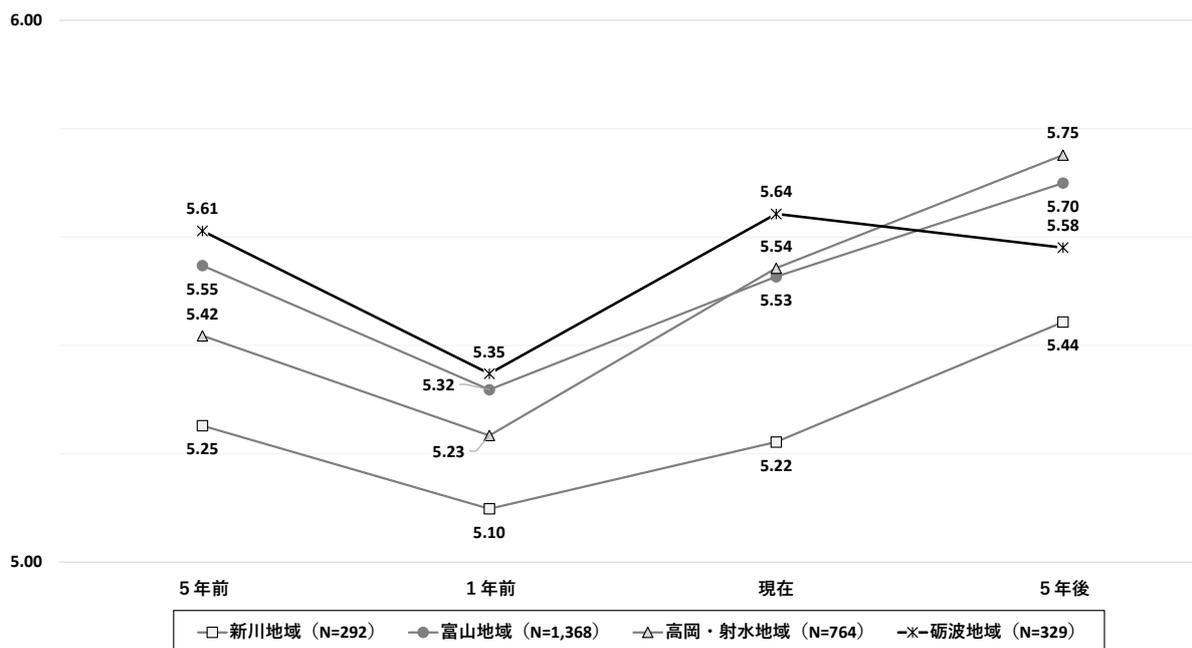


(4) - 1 地域別

【平均】

どの地域も、「1年前」に一旦下がり、「現在」は「5年前」の水準まで回復している。「5年後」は、「新川地域」「富山地域」「高岡・射水地域」で上向き傾向だが、「砺波地域」では若干下がっている。

図表 14-4-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(地域別)

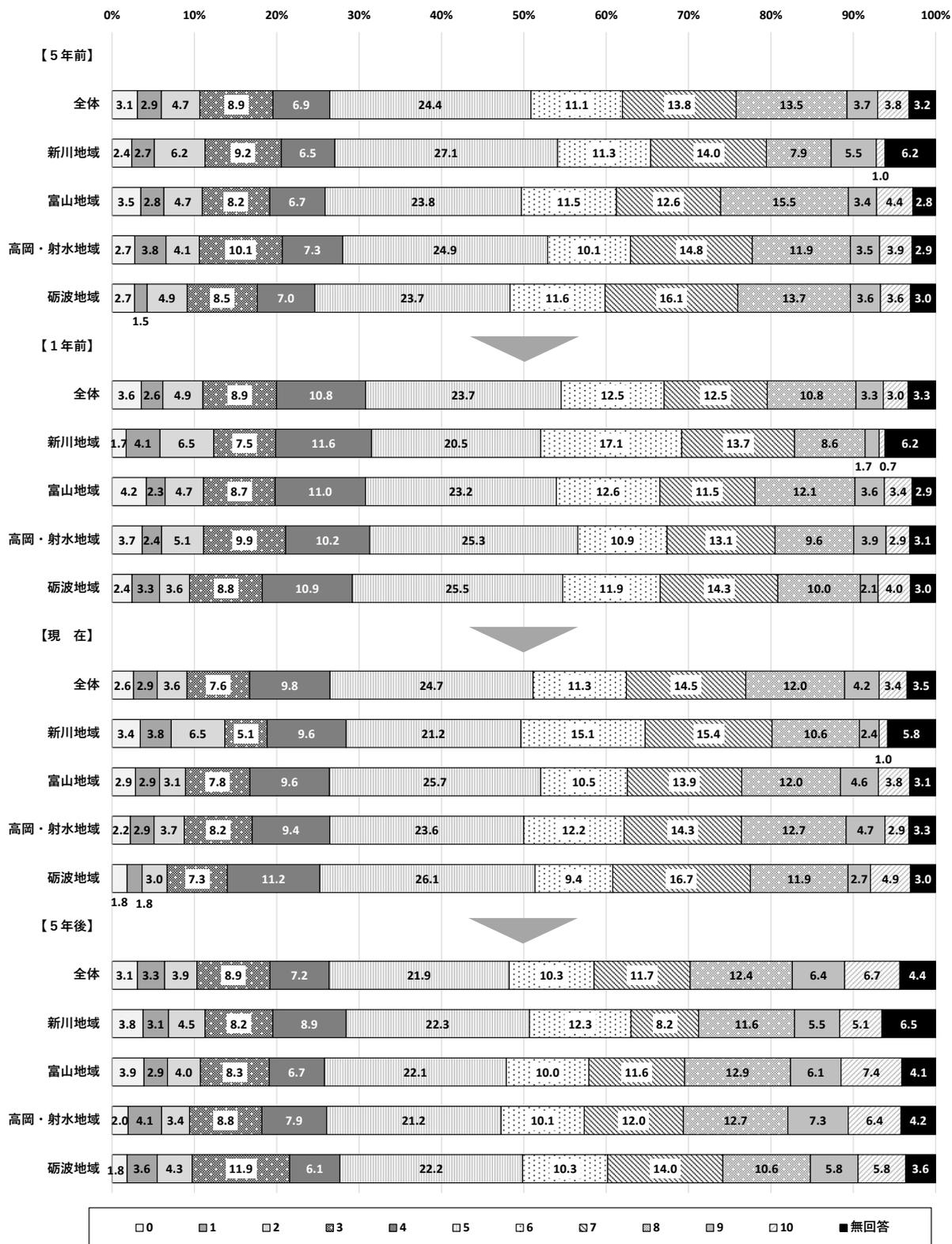


【割合】

すべての地域で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「富山地域」と「高岡・射水地域」で48%前後となっている。

図表 14-4-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(地域別)

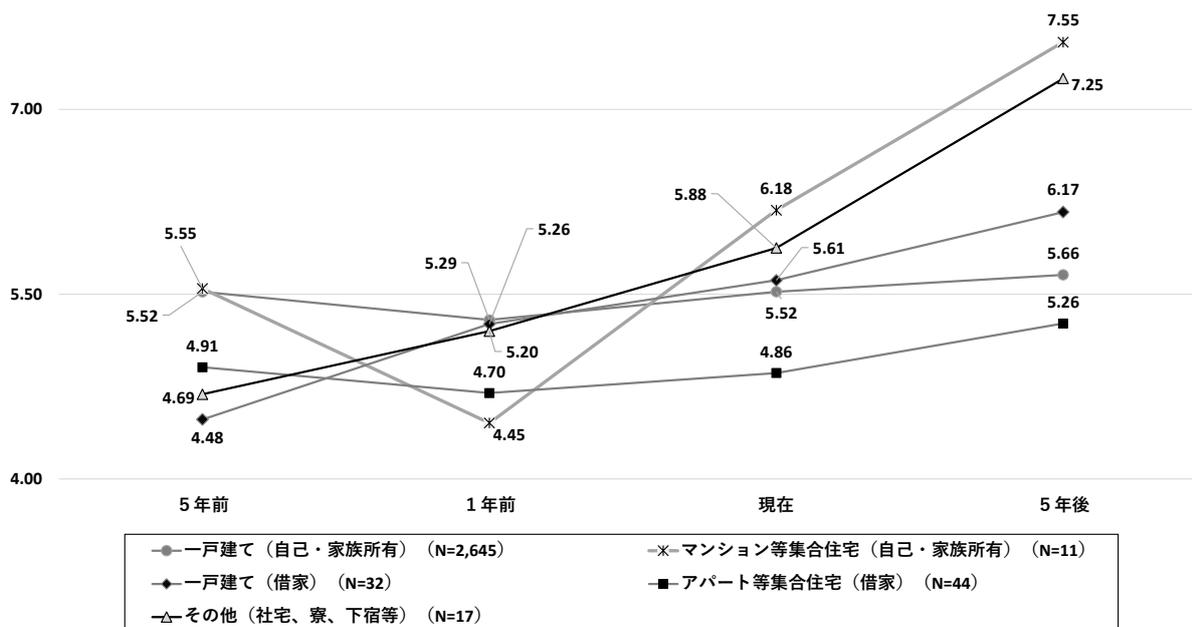


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「1年前」に一旦下がり、「現在」は5.52と「5年前」(5.52)と同じ水準まで回復している。「5年後」は5.66と若干上向き傾向にある。

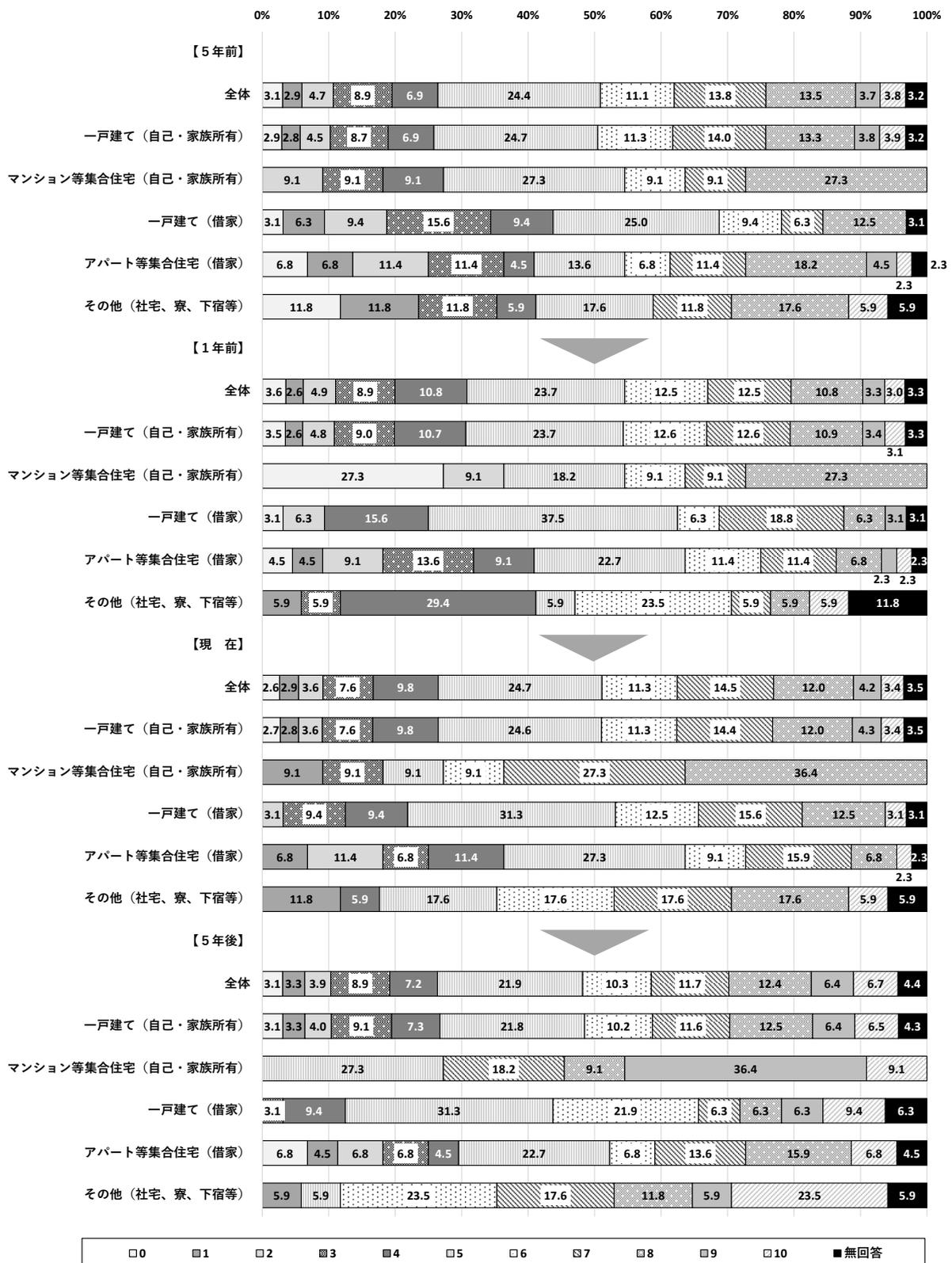
図表 14-4-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（年齢別）



【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「現在」は45.5%だが、「5年後」には47.2%と若干上向き傾向にある。

図表 14-4-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年齢別）

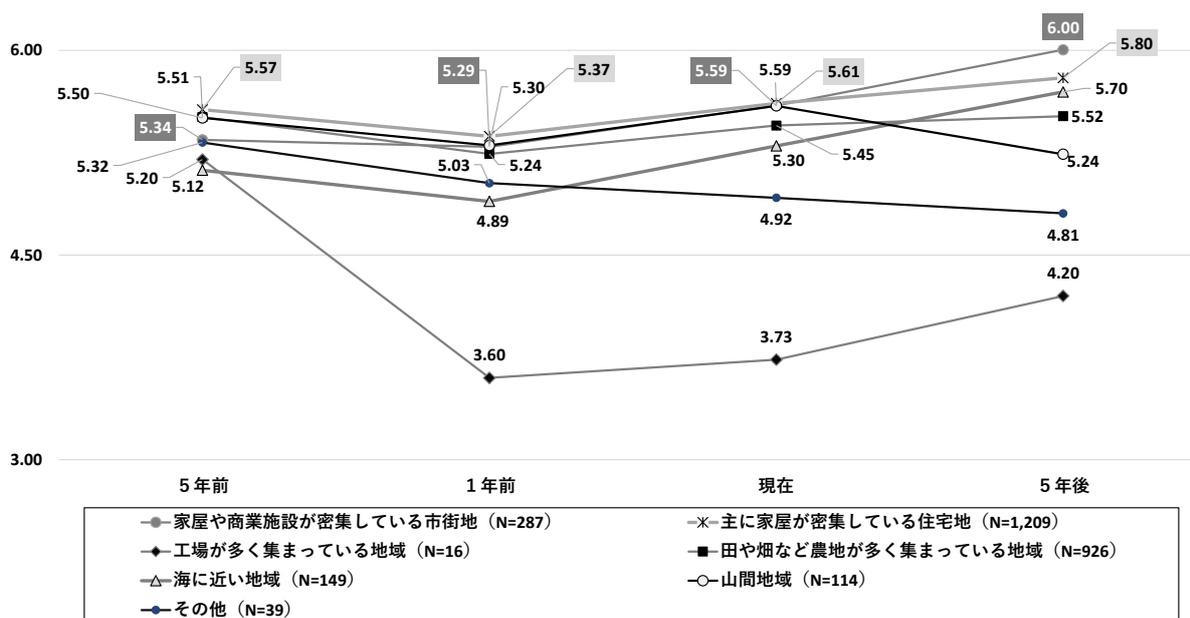


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「その他」を除きどの居住地環境も、「1年前」に一旦下がっている。「5年後」は「山間地域」と「その他」を除き上向き傾向にあり、「家屋や商業施設が密集している市街地」では 6.00 と、他の居住地環境よりも高くなっている。

図表 14-4-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(居住地環境別)

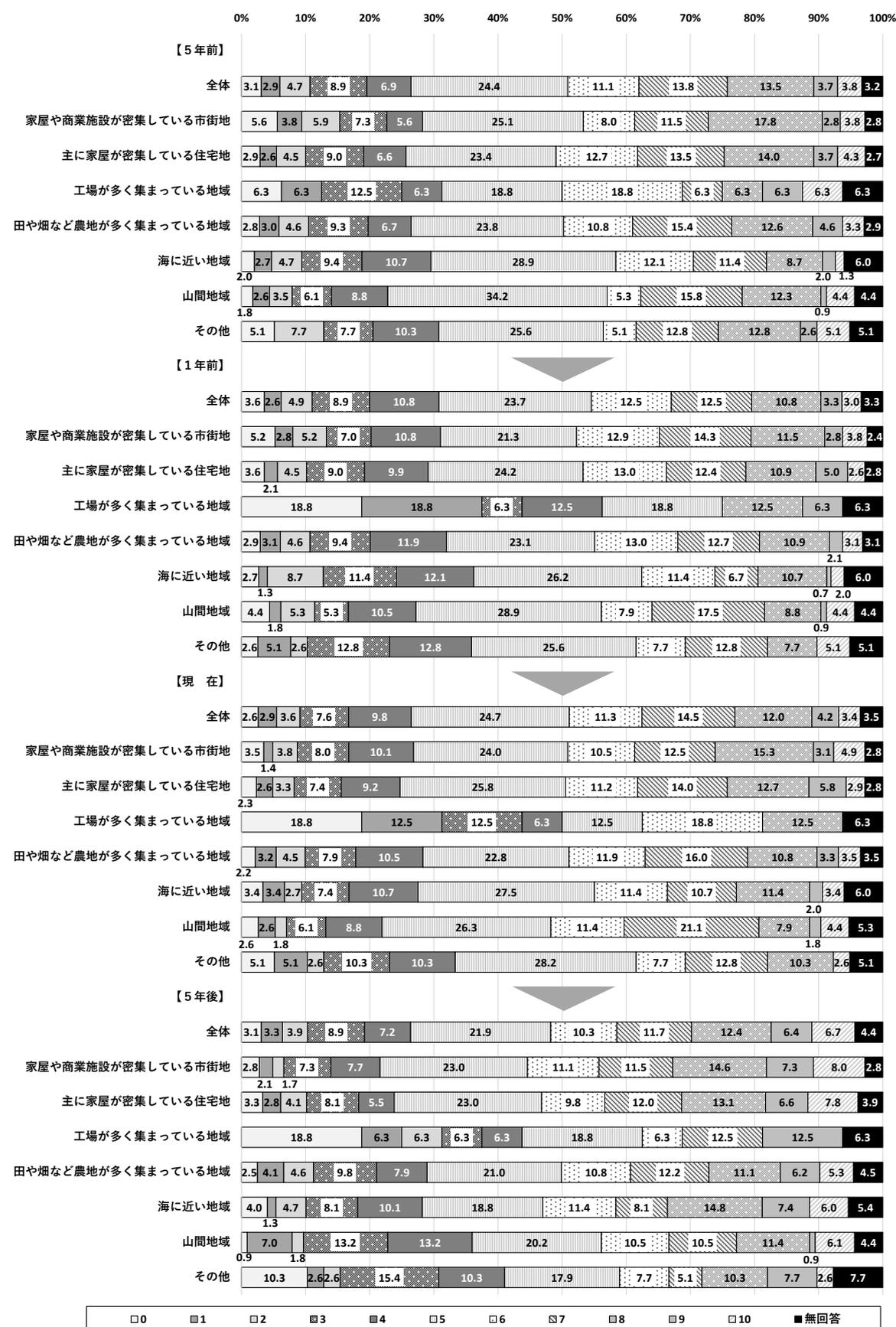


【割合】

どの居住地環境でも、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「家屋や商業施設が密集している市街地」と「主に家屋が密集している住宅地」では「現在」は 46%程度だが、「5年後」には上向き傾向にある。特に、「家屋や商業施設が密集している市街地」では 52.6%と高い割合を占めている。一方、「山間地域」では「現在」は 46.5%だが、「5年後」には 39.5%と下降傾向にある。

図表 14-4-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（居住地域環境別）

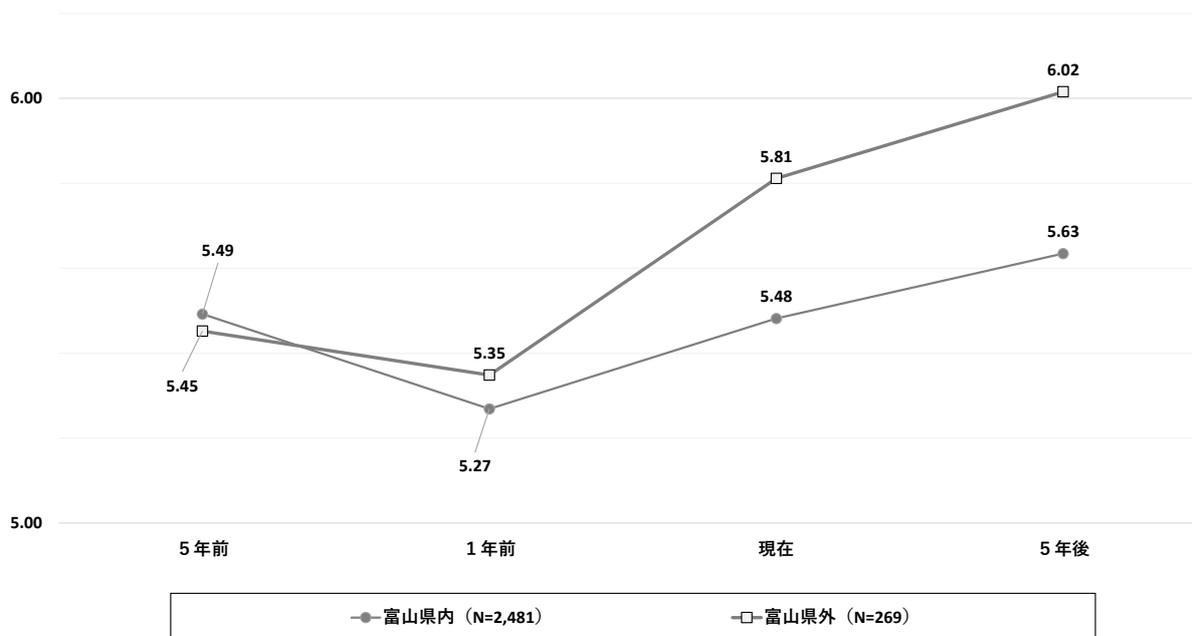


(4) - 4 出身地別

【平均】

「富山県内」「富山県外」とともに、「1年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。また、「富山県内」より「富山県外」の方が高い傾向にあり、「5年後」には6.02となっている。

図表 14-4-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(出身地別)

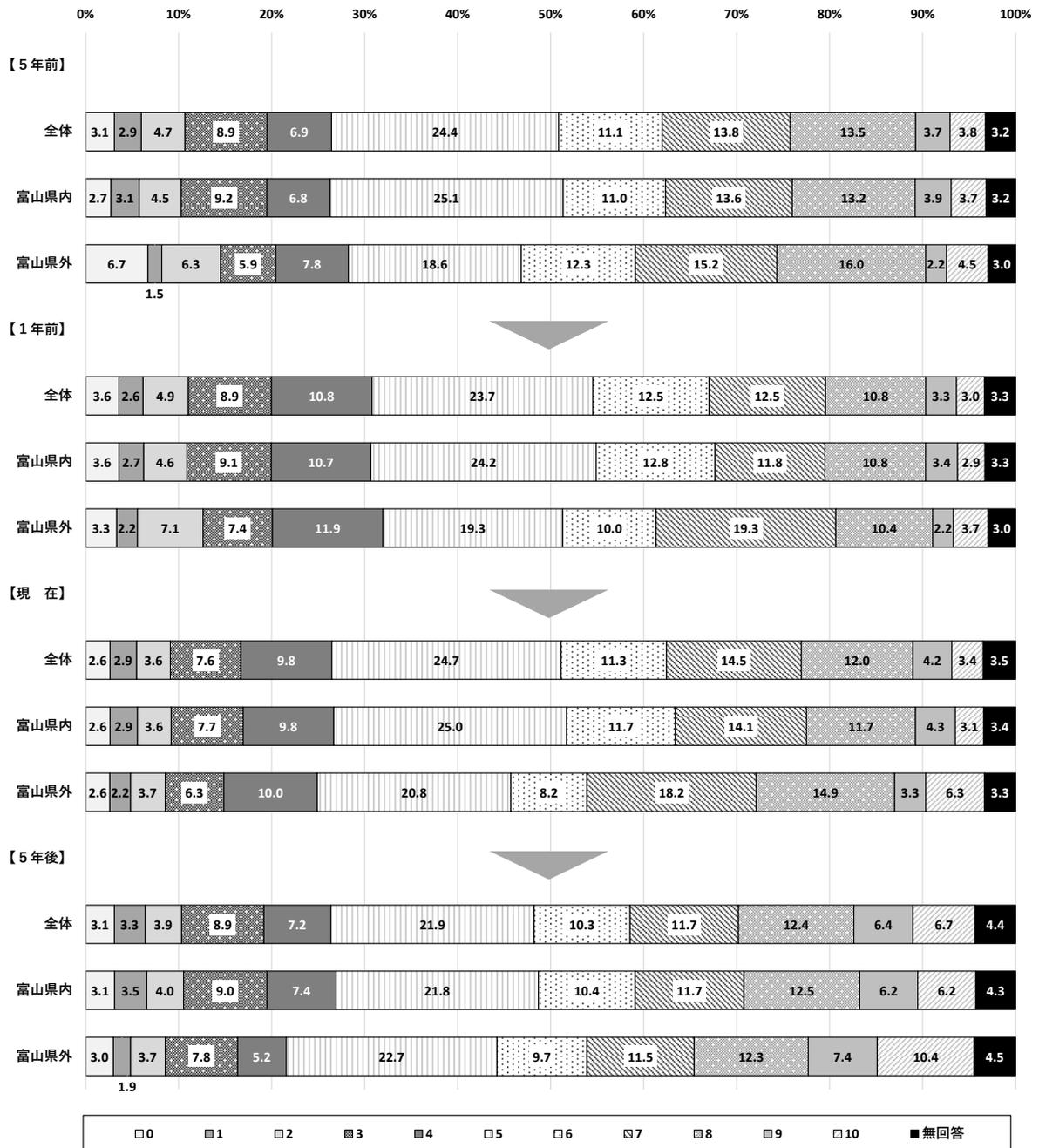


【割合】

「富山県内」「富山県外」とともに、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「富山県外」の方が高く、「5年後」には51.3%と「富山県内」(47.0%)よりも4.3ポイント高くなっている。

図表 14-4-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（出身地別）

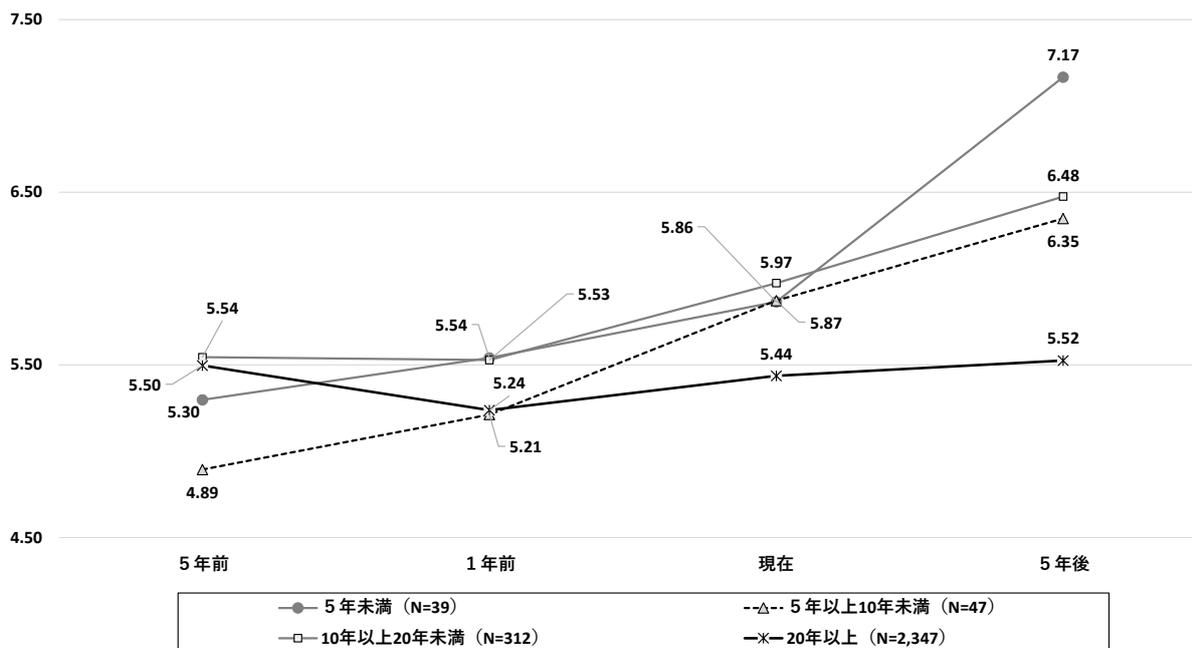


(4) - 5 - ① 県内での居住年数別

【平均】

20年未満では、上向き傾向となっており、特に「5年未満」では「5年後」は7.17となっている。一方、「20年以上」は、「1年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。

図表 14-4-5-①-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(県内居住年数別)

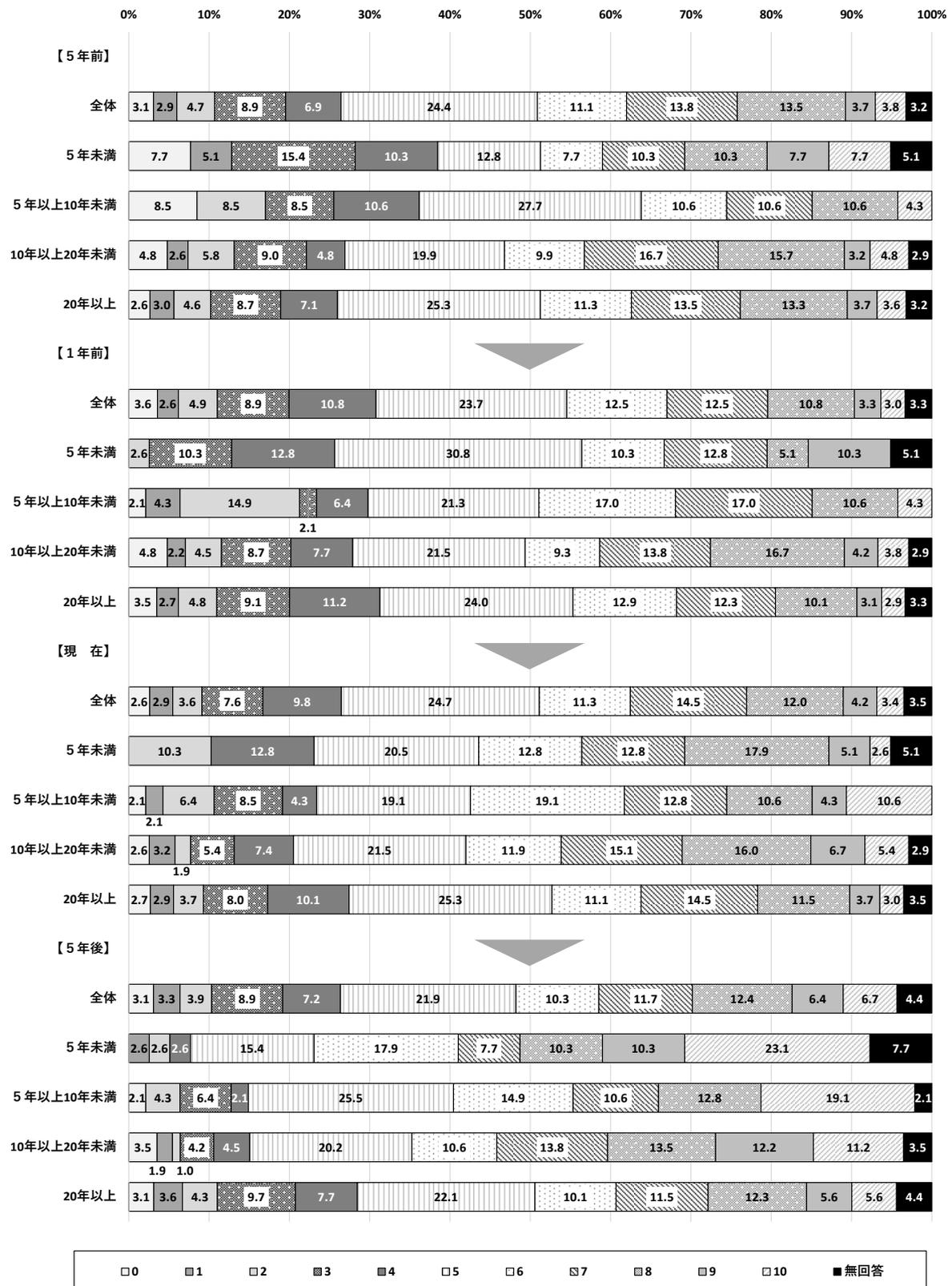


【割合】

「5年未満」では「5年前」は「3」が15.4%と最も高く、「5年後」は「10」が23.1%と最も高くなっている。そのため、「5年後」の「6以上」は69.2%と高い割合を占めている。

「20年以上」では、「現在」の「6以上」は43.8%であるが、「5年後」でも45.0%と、ほぼ横ばいになっている。

図表 14-4-5-①-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(県内居住年数別)

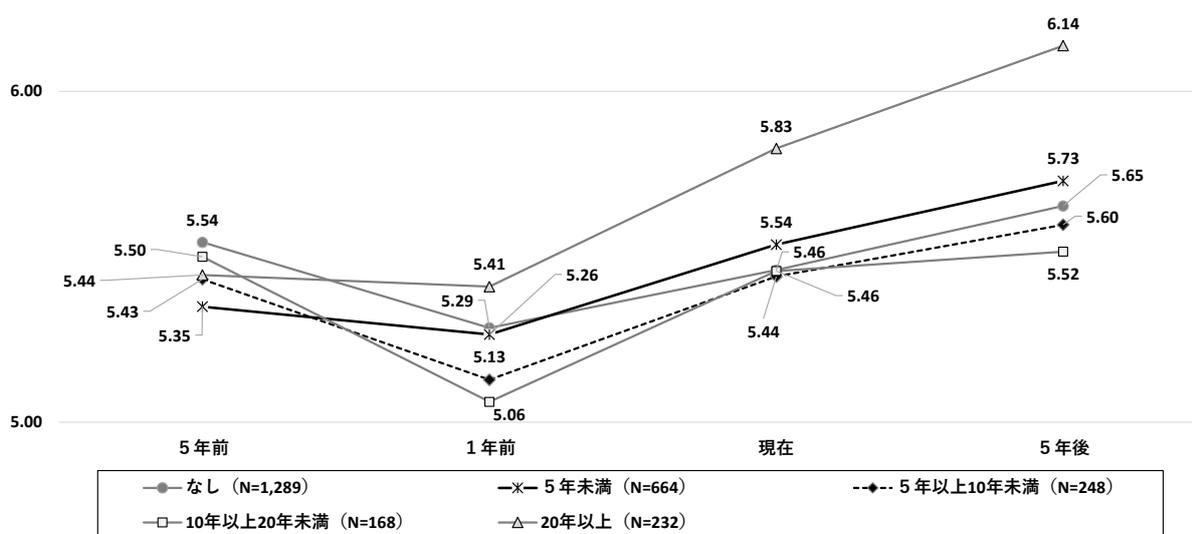


(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

【平均】

どの居住年数も、「1年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。特に「20年以上」では「5年後」には6.14と、他の居住年数よりも高くなっている。

図表 14-4-5-②-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(県外居住年数別)

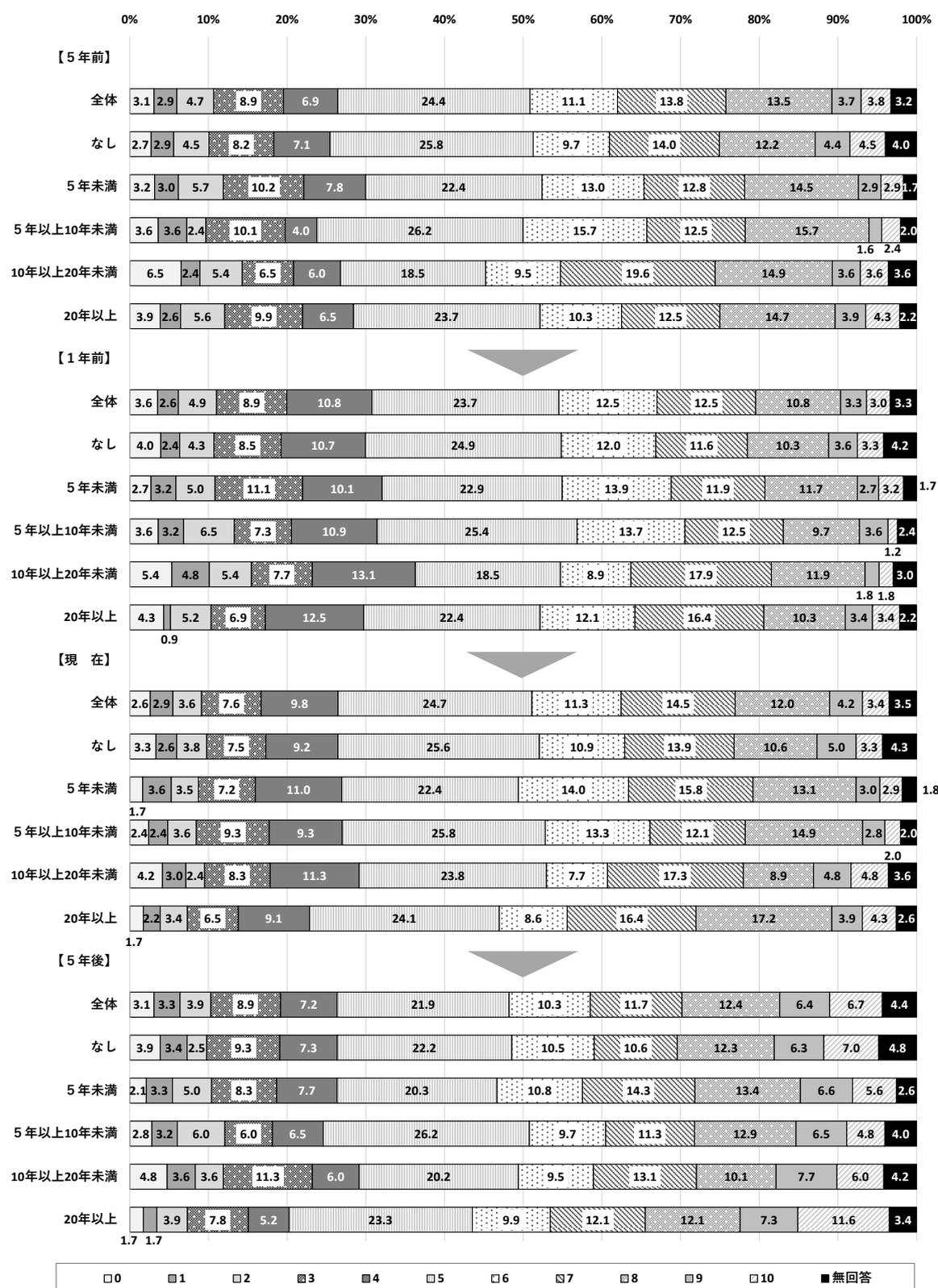


【割合】

「現在」の「6以上」を見ると、「5年未満」(48.8%)と「20年以上」(50.4%)で50%前後となっている。

「5年後」には「5年未満」(50.8%)で2.0ポイント、「20年以上」(53.0%)で2.6ポイント「現在」よりも若干上向いている。

図表 14-4-5-②-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（県外居住年数別）

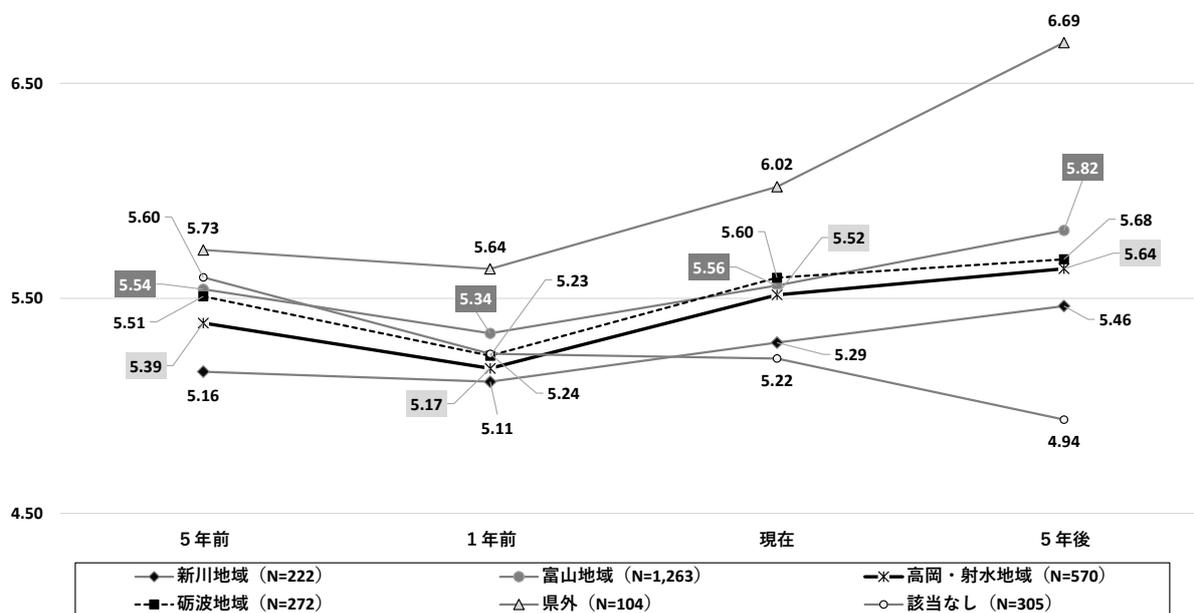


(4) - 6 主な活動場所別

【平均】

「該当なし」(普段、特定の活動を行っていない)を除きどの地域も、「1年前」から上向き傾向にある。特に「県外」は高い伸びを示しており、「5年後」には6.69と、他の地域よりも高くなっている。一方、「該当なし」(普段、特定の活動を行っていない)は下降傾向にあり、「5年後」には4.94となっている。

図表 14-4-6-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(主な活動場所別)

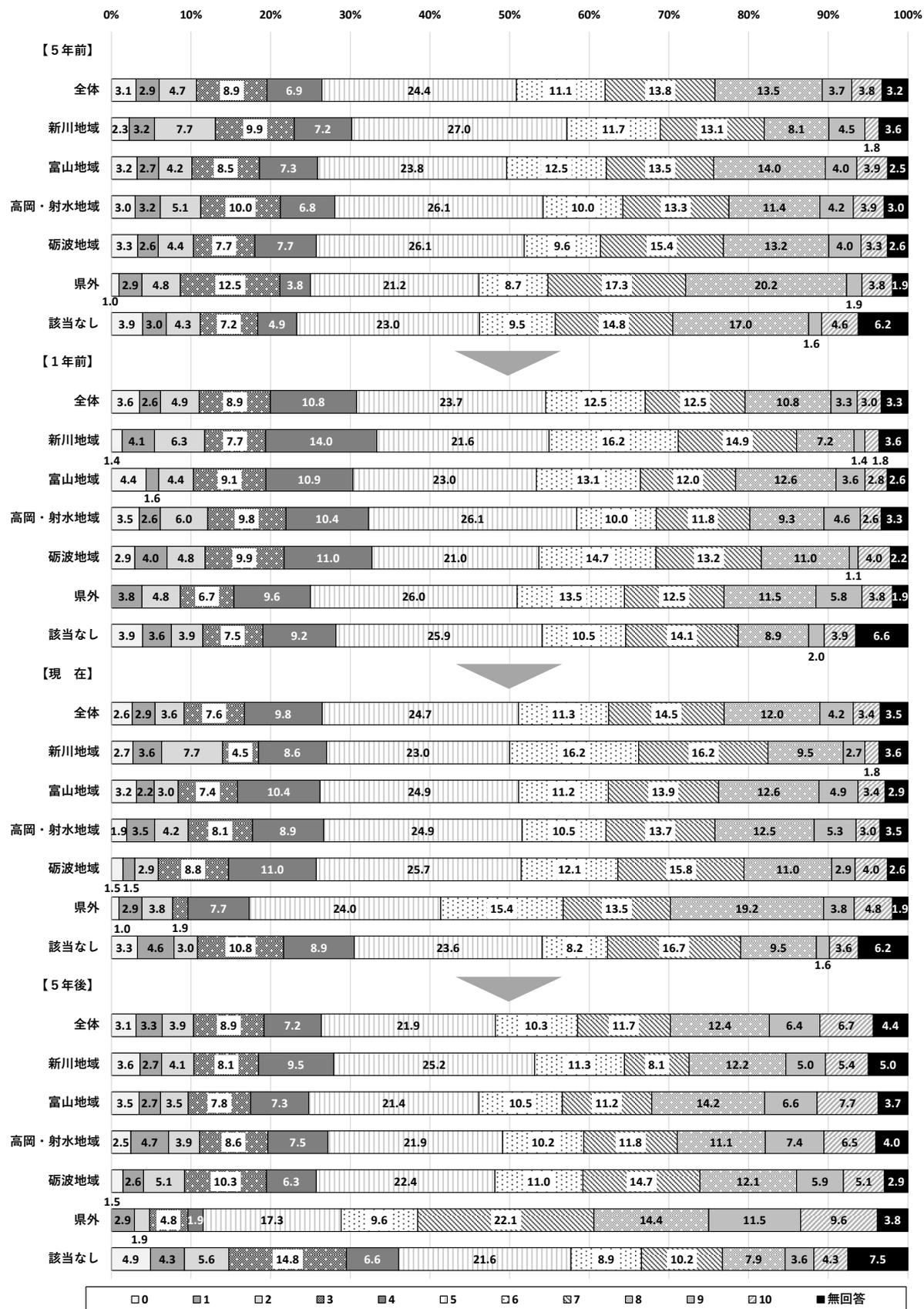


【割合】

「県外」を除くすべての地域で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「県外」では「7」が22.1%と最も高くなっており、「6以上」は67.3%を占めている。

図表 14-4-6-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(主な活動場所別)

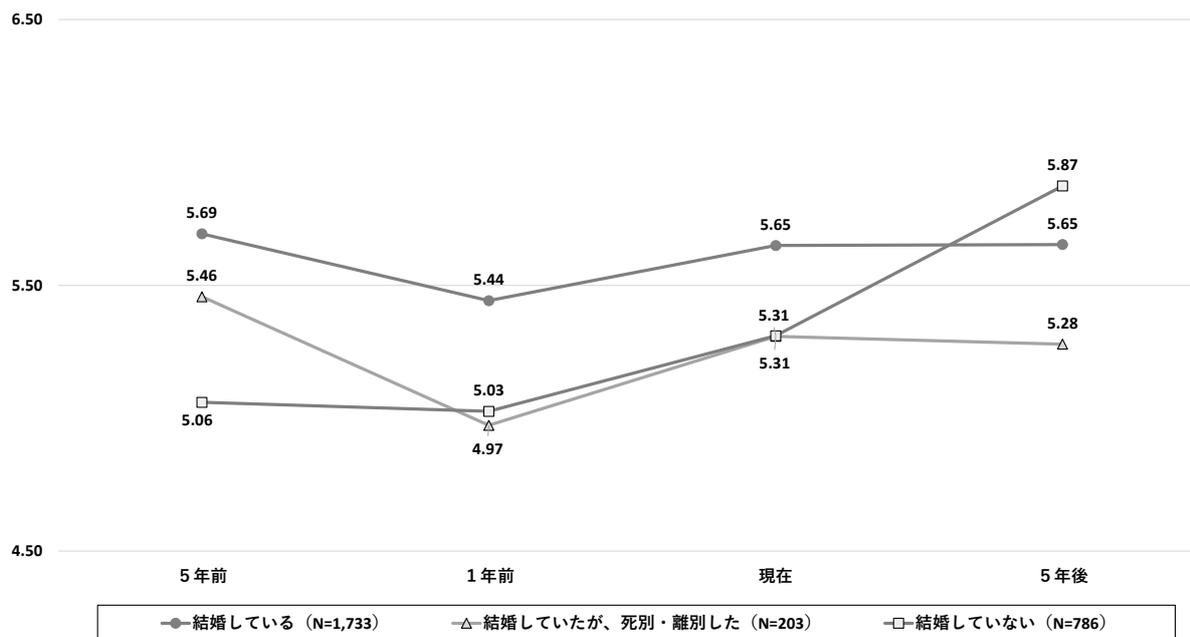


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では、「1年前」に一旦下がり、「現在」は「5年前」の水準に回復しているものの、「5年後」は横ばいとなっている。「結婚していない」は上向き傾向にあり、「5年後」には5.87となっている。

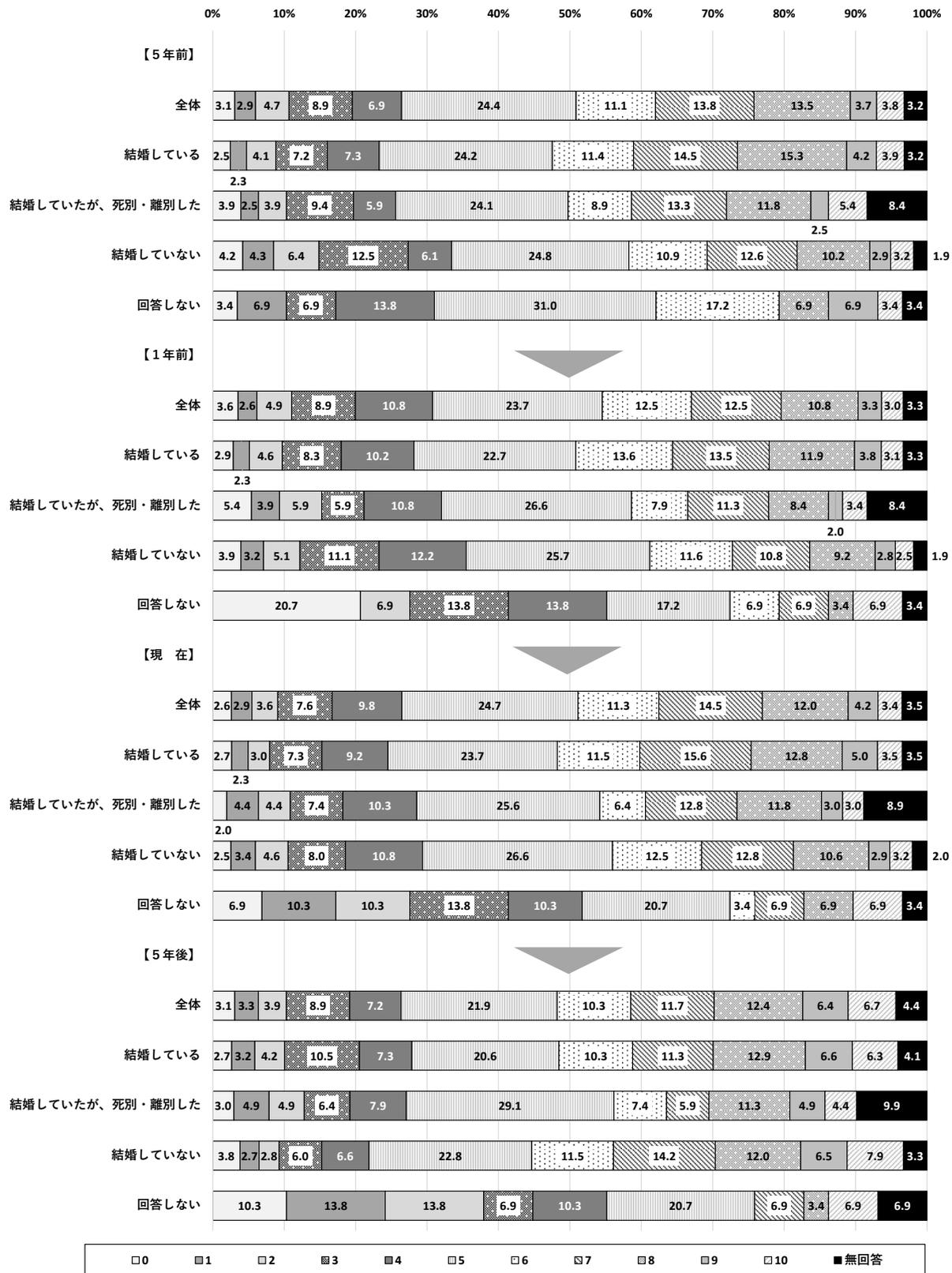
図表 14-5-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(結婚の有無別)



【割合】

どの属性も、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「5年後」の「6以上」を見ると、「結婚していない」では52.0%を占めている。

図表 14-5-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（結婚の有無別）

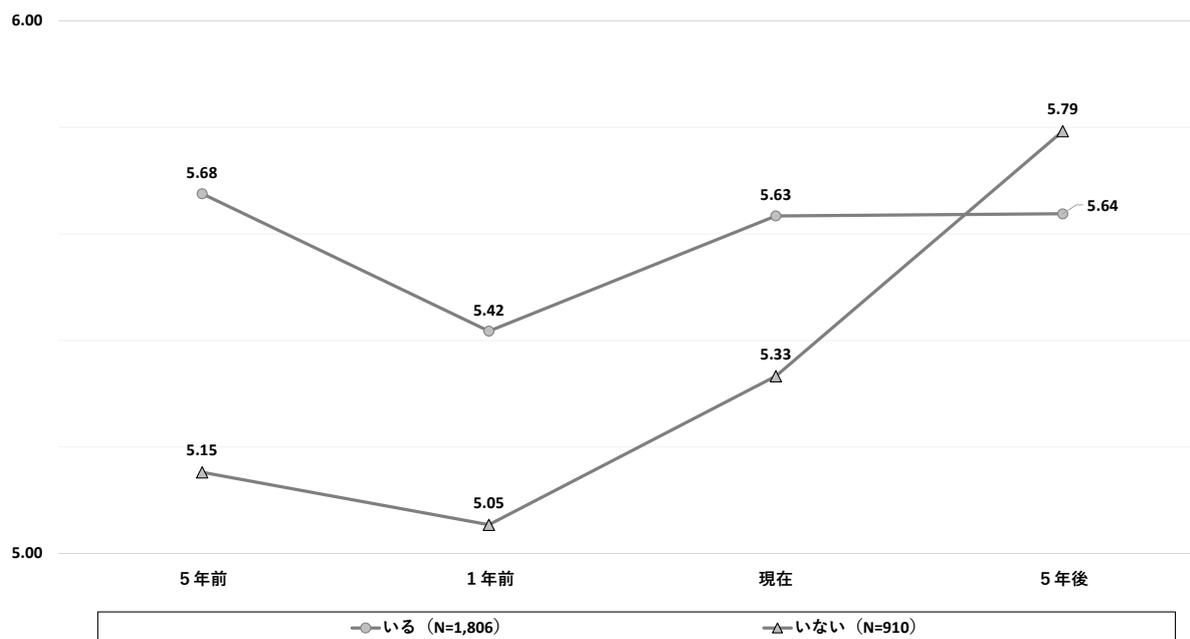


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

子どもの有無に関わらず「1年前」に一旦下がり、その後上向いている。子どもが「いる」では「現在」から横ばいであるものの、子どもが「いない」では上向き傾向となっているおり、「5年後」には5.79となっている。

図表 14-5-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(子どもの有無別)

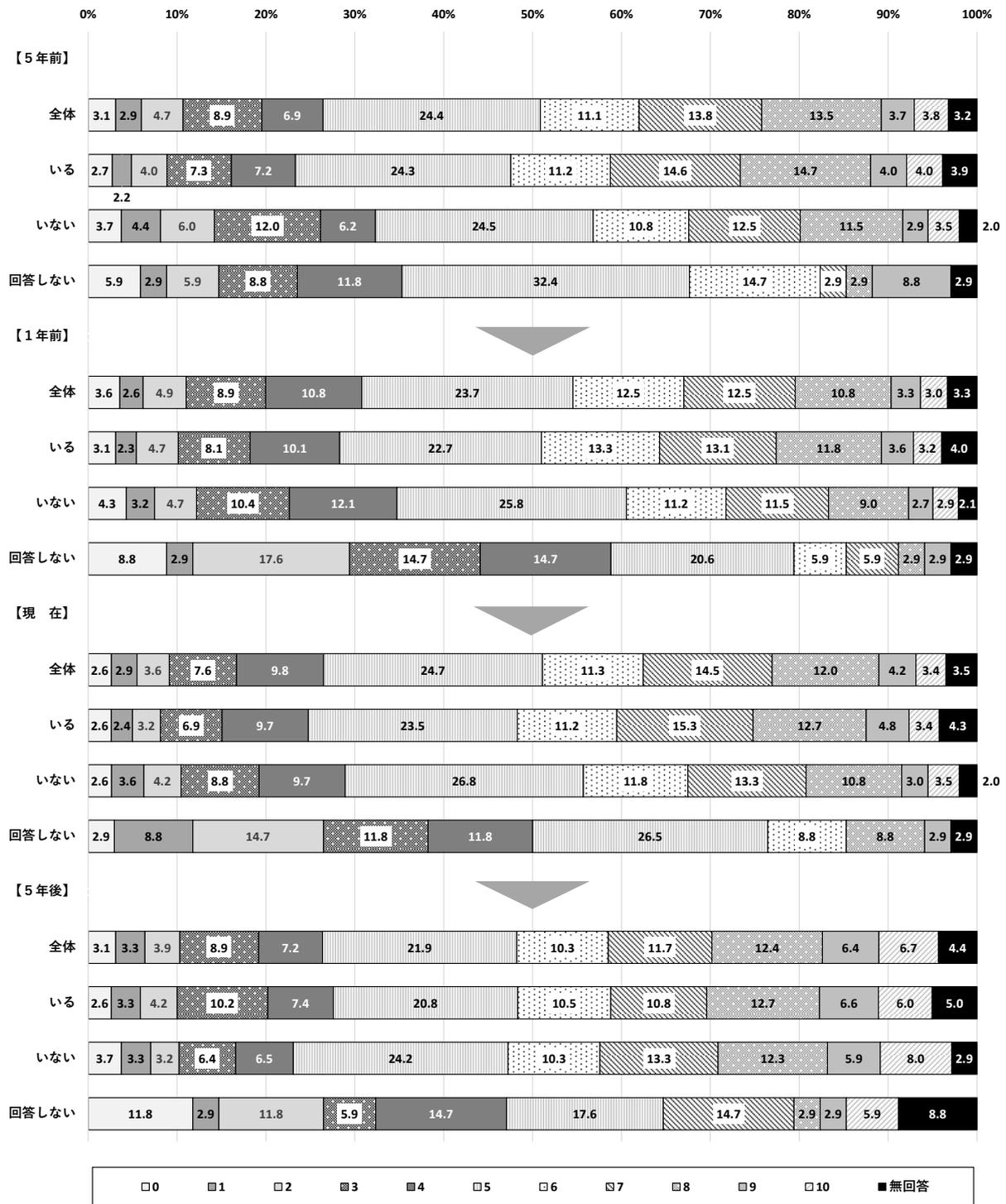


【割合】

子どもの有無に関わらず、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、子どもが「いない」では「現在」は42.3%だが、「5年後」には49.9%となり上向き傾向にある。

図表 14-5-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(子どもの有無別)

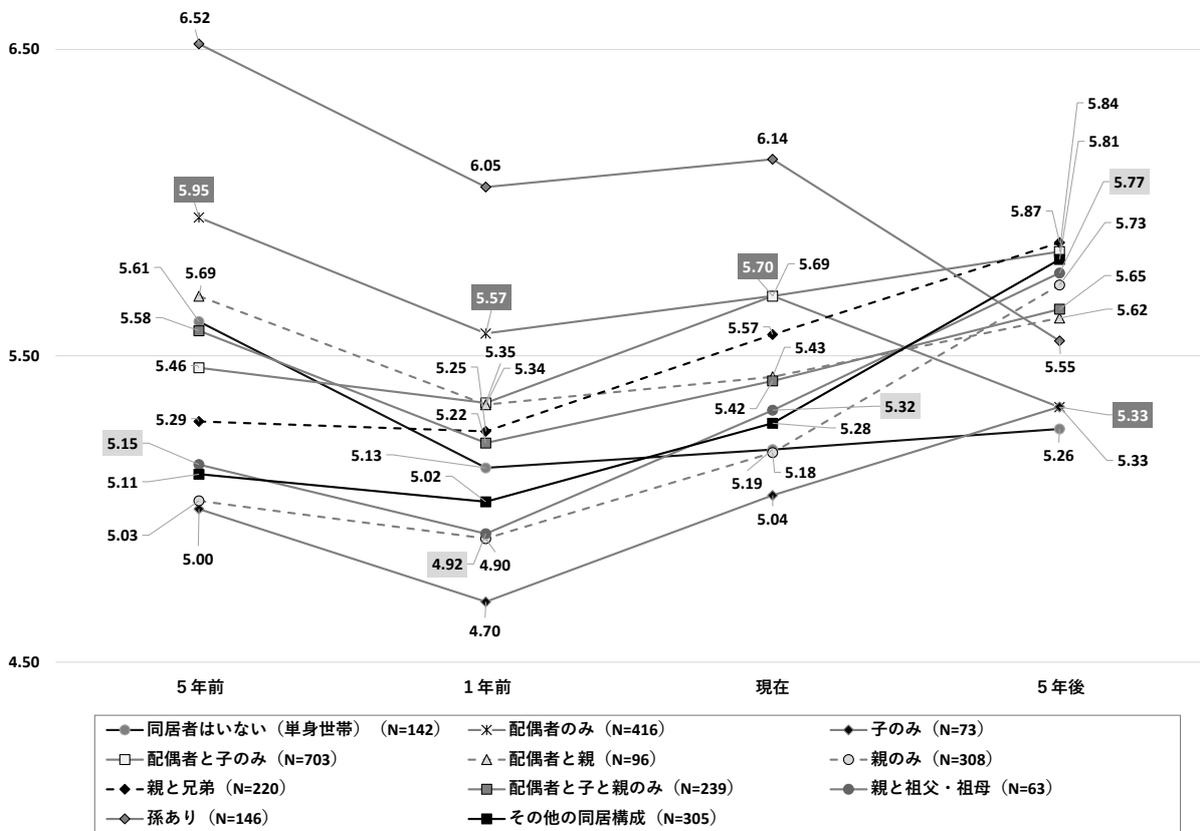


(5) - 3 同居家族の構成別

【平均】

どの家族構成でも、「1年前」から上向き傾向にあるが、「配偶者のみ」と「孫あり」では「5年後」は下降傾向にある。特に「孫あり」は、「現在」の6.14から「5年後」には5.55まで下がっている。

図表 14-5-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(同居家族構成別)

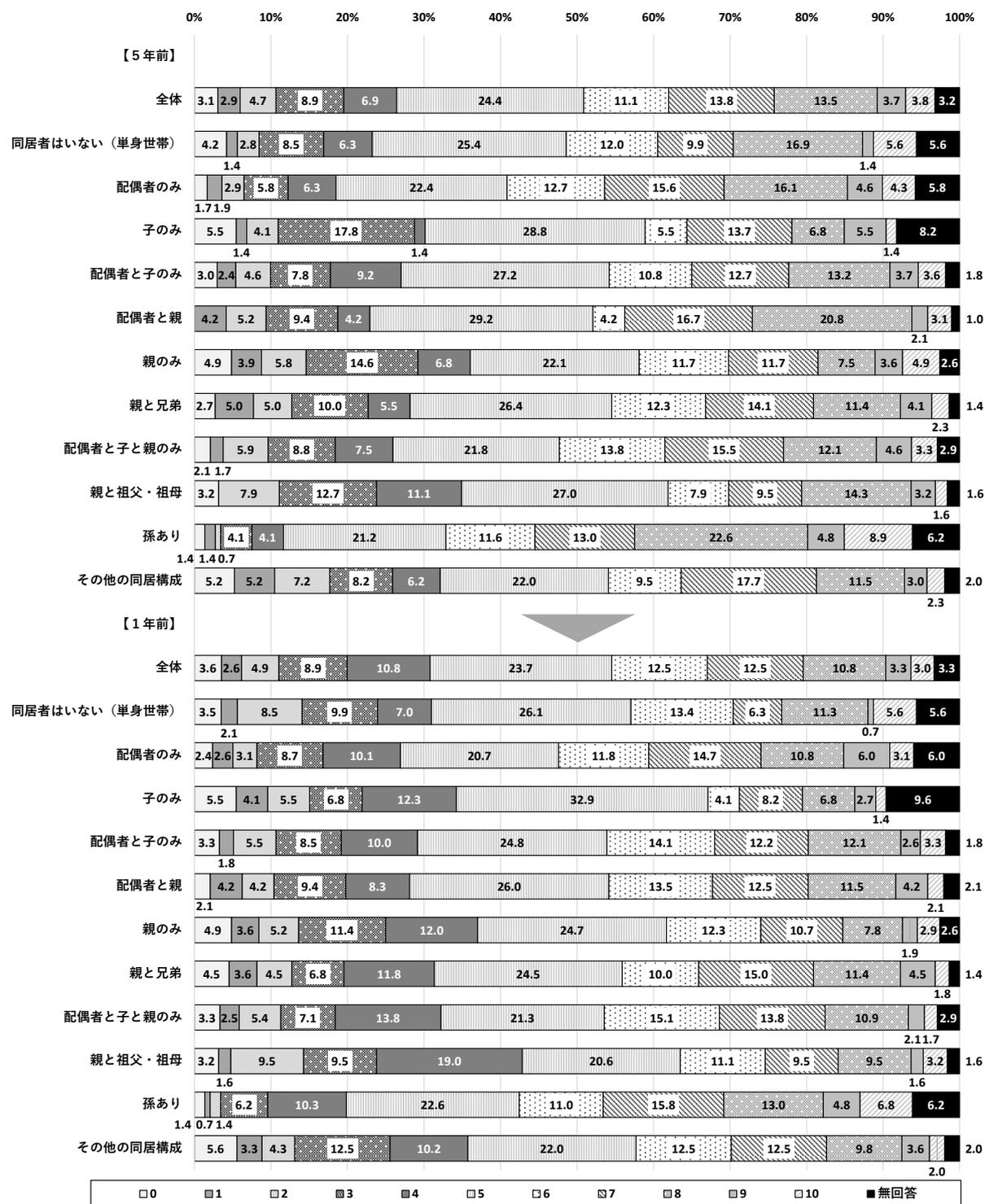


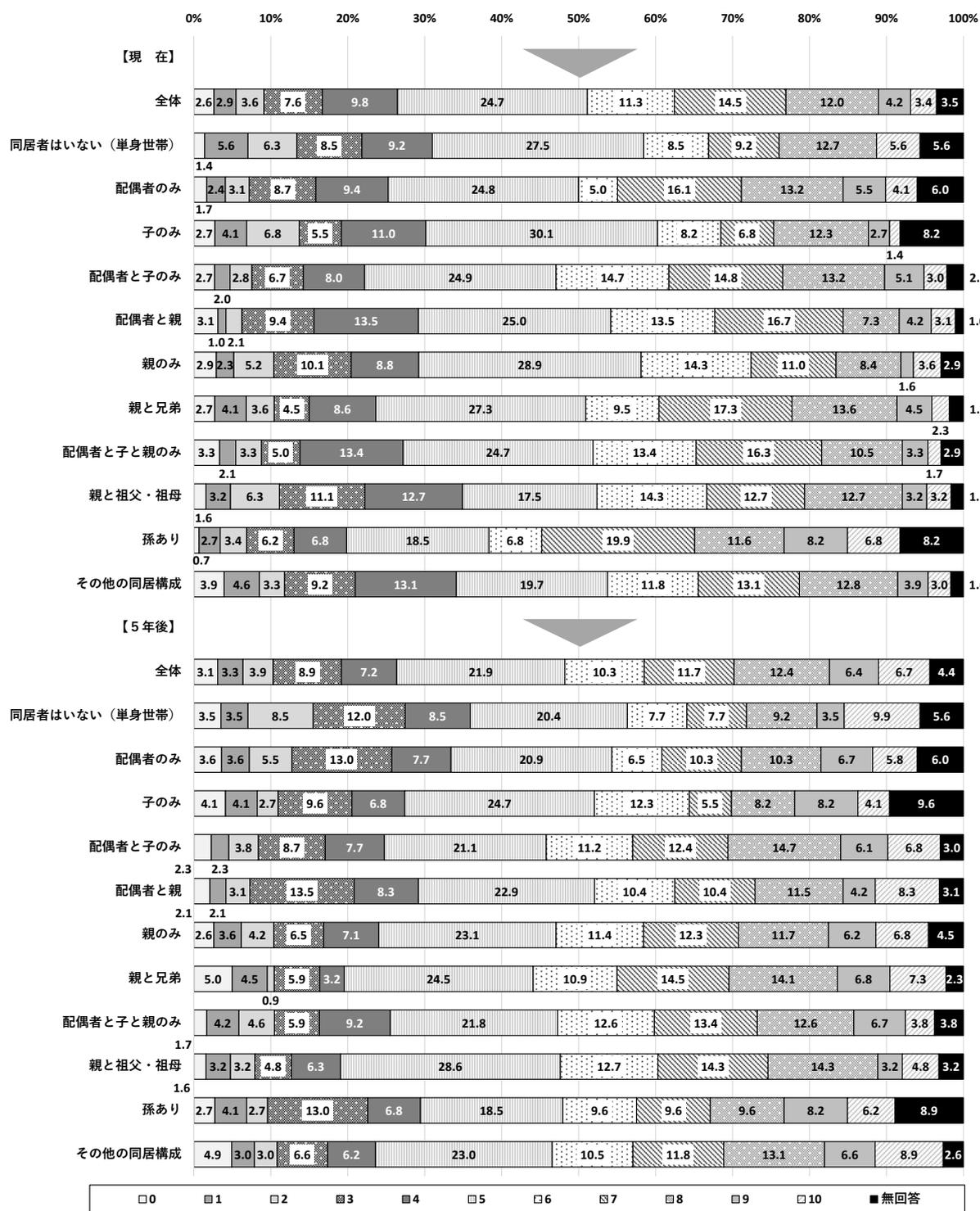
【割合】

「孫あり」を除くすべての家族構成で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では「配偶者と子のみ」「孫あり」で5割を超えている。「5年後」では「配偶者と子のみ」「親と兄弟」「その他の同居構成」で5割を超えている。

図表 14-5-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（同居家族構成別）



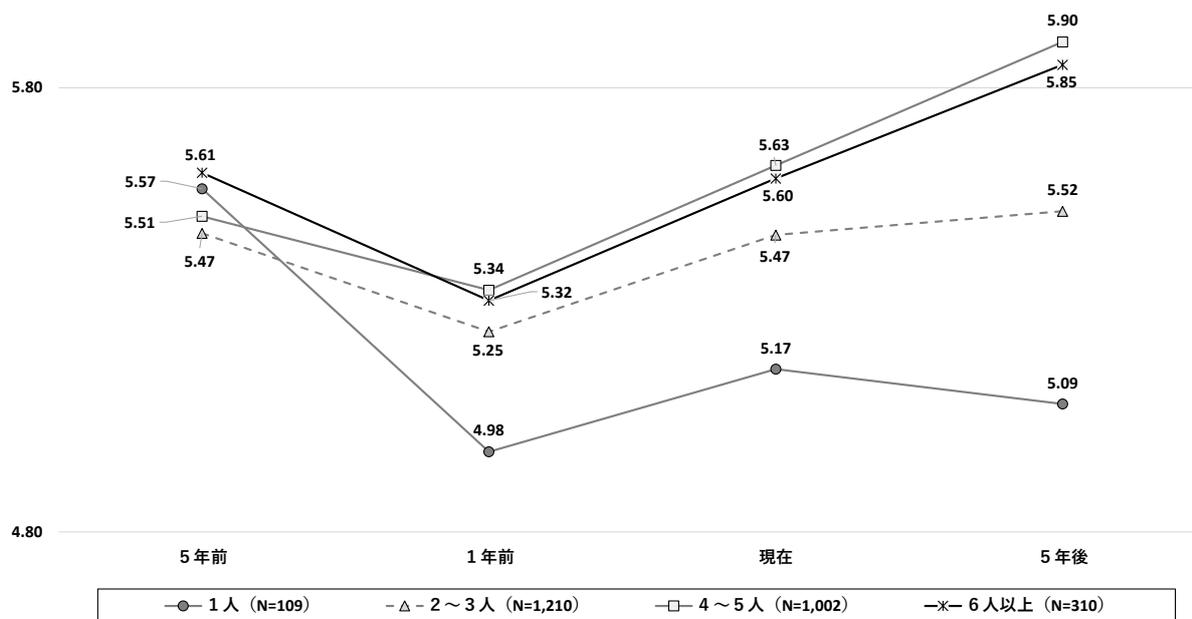


(5) - 4 - ① 同居家族の人数別

【平均】

2人以上では「1年前」に一旦下がり、その後「5年後」にかけて上向き傾向となっている。一方、「1人」では「現在」から「5年後」に若干下がる傾向にある。

図表 14-5-4-①-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(同居家族人数別)

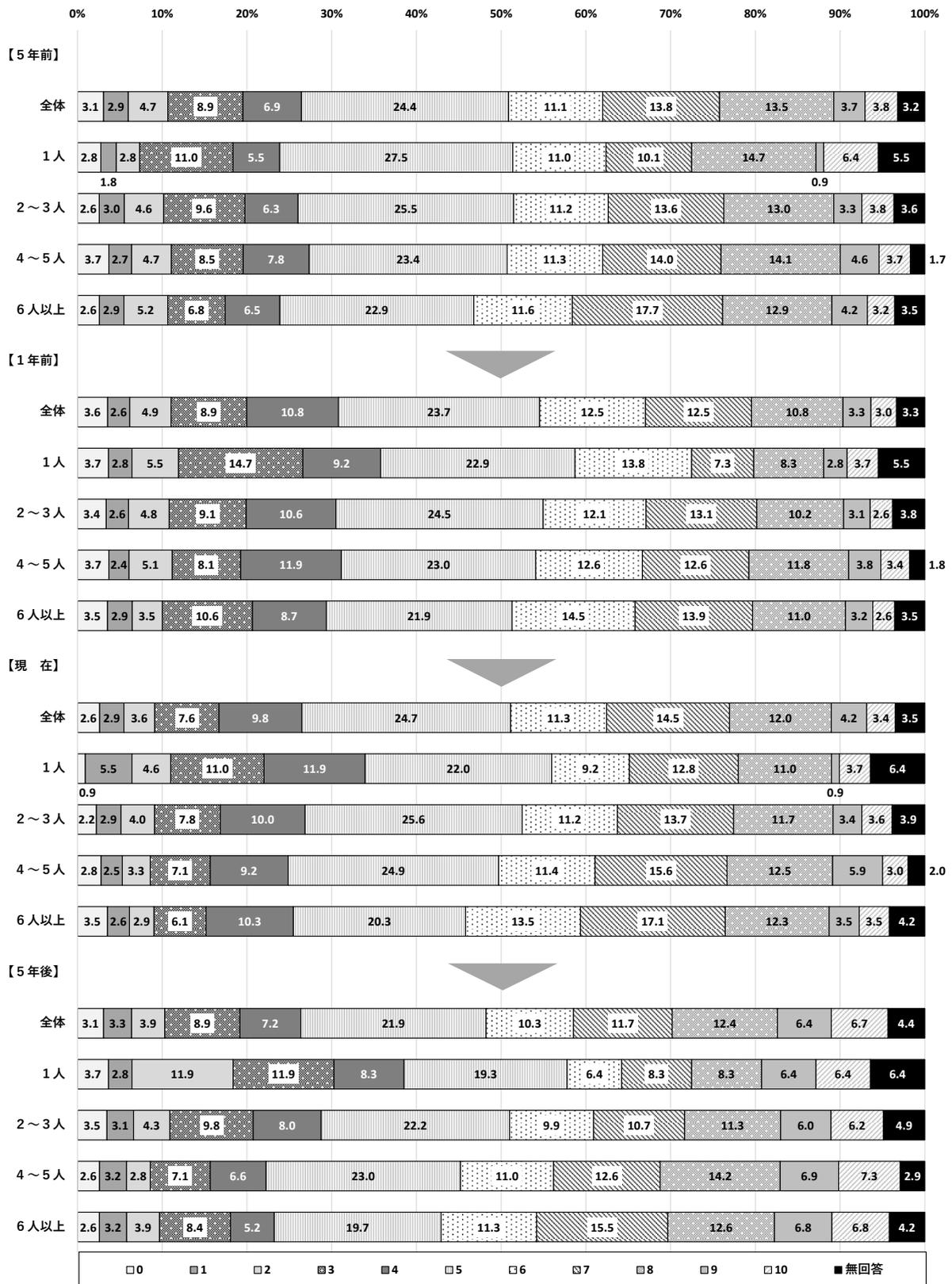


【割合】

すべての同居人数で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」は4人以上で5割を超えている。一方、「5年後」の「1人」では「4以下」が38.5%と「6以上」(35.8%)を2.7ポイント上回っている。

図表 14-5-4-①-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（同居家族人数別）

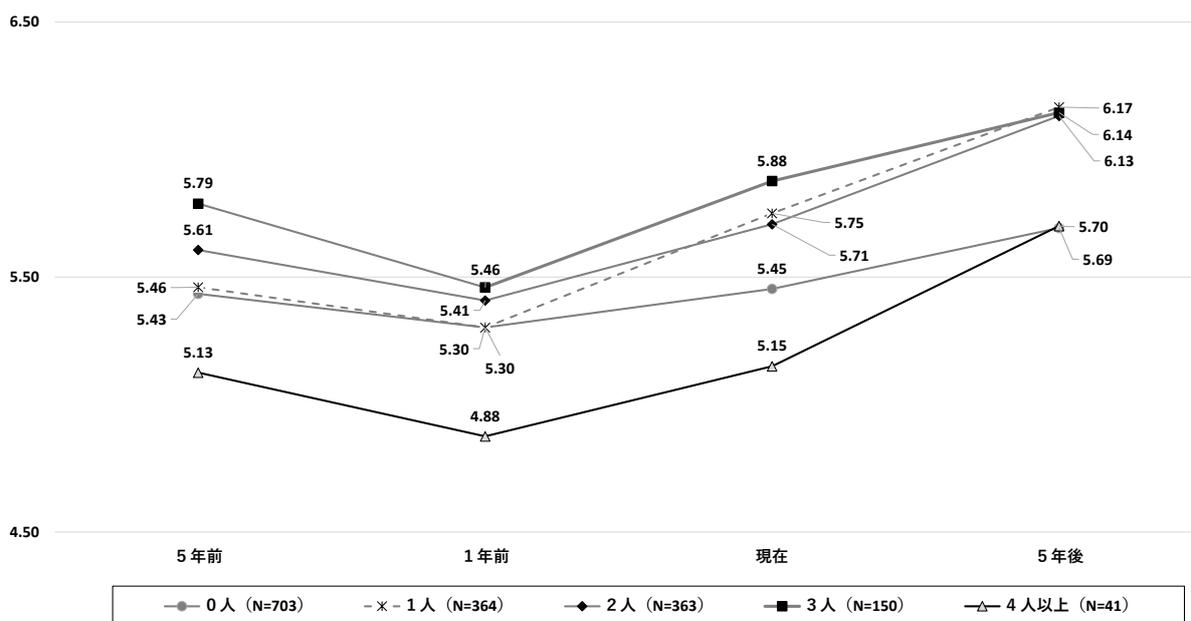


(5) - 4 - ② 同居家族のうち18歳未満の人数別

【平均】

すべての属性で「1年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。1～3人では「5年後」に6.10を超えている。

図表 145-4-②2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(18歳未満の同居家族別)

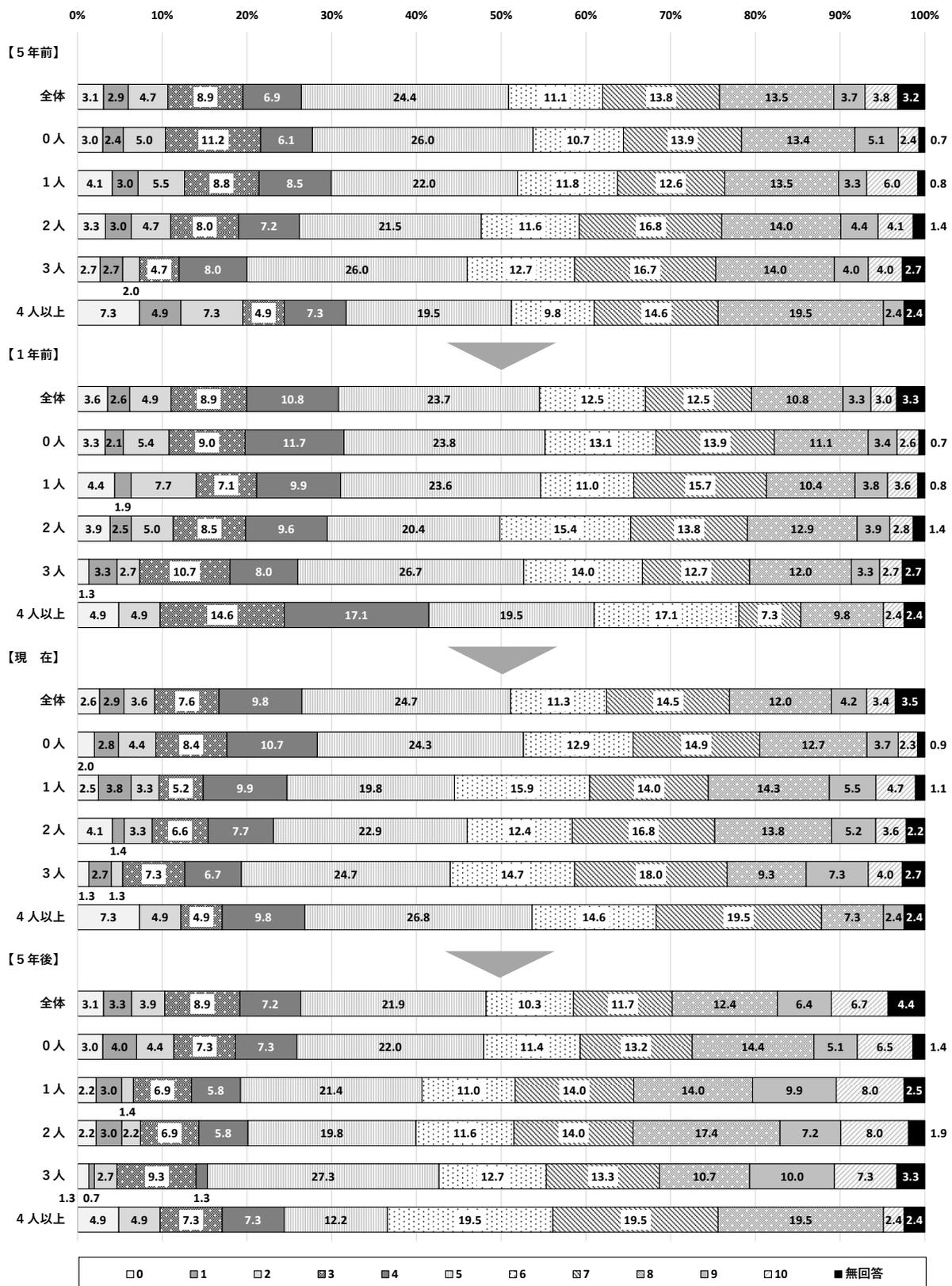


【割合】

「4人以上」を除くすべての属性で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「4人以上」では「5年後」には「6」「7」「8」が同割合で最も高くなっている。

「6以上」を見ると、「5年後」はすべての属性で5割を超えており、「4人以上」では61.0%と、他と比べて高くなっている。

図表 145-4-②2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（18歳未満の同居家族別）

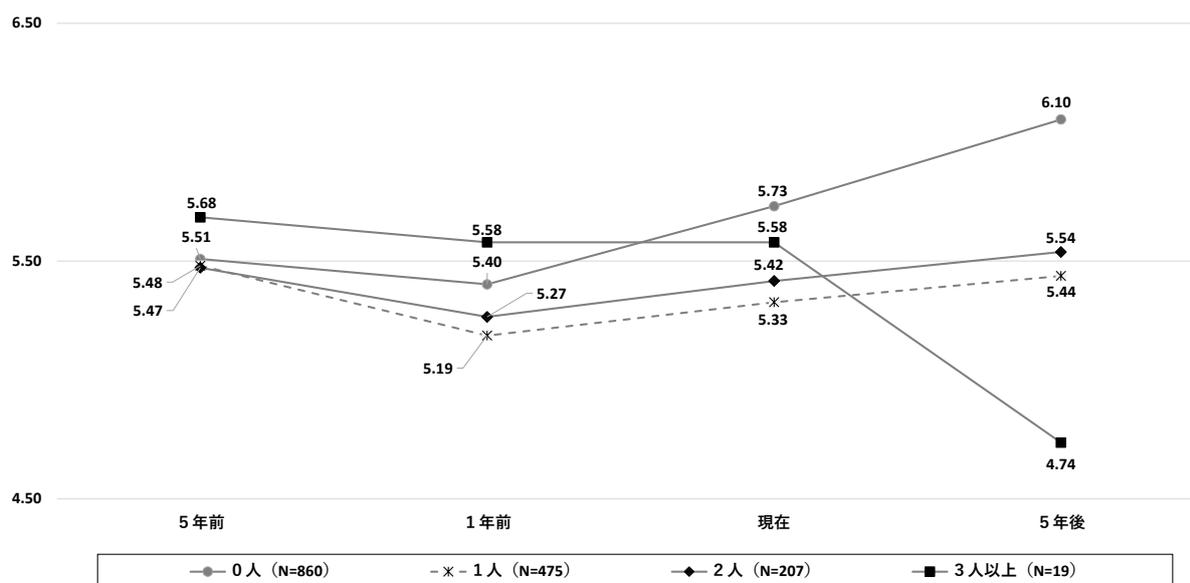


(5) - 4 - ③ 同居家族のうち 75 歳以上の人数別

【平均】

2 人以下では「1 年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。「0 人」では「5 年後」には 6.10 と、他と比べて高くなっている。

図表 14-5-4-③-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(75 歳以上の同居家族別)

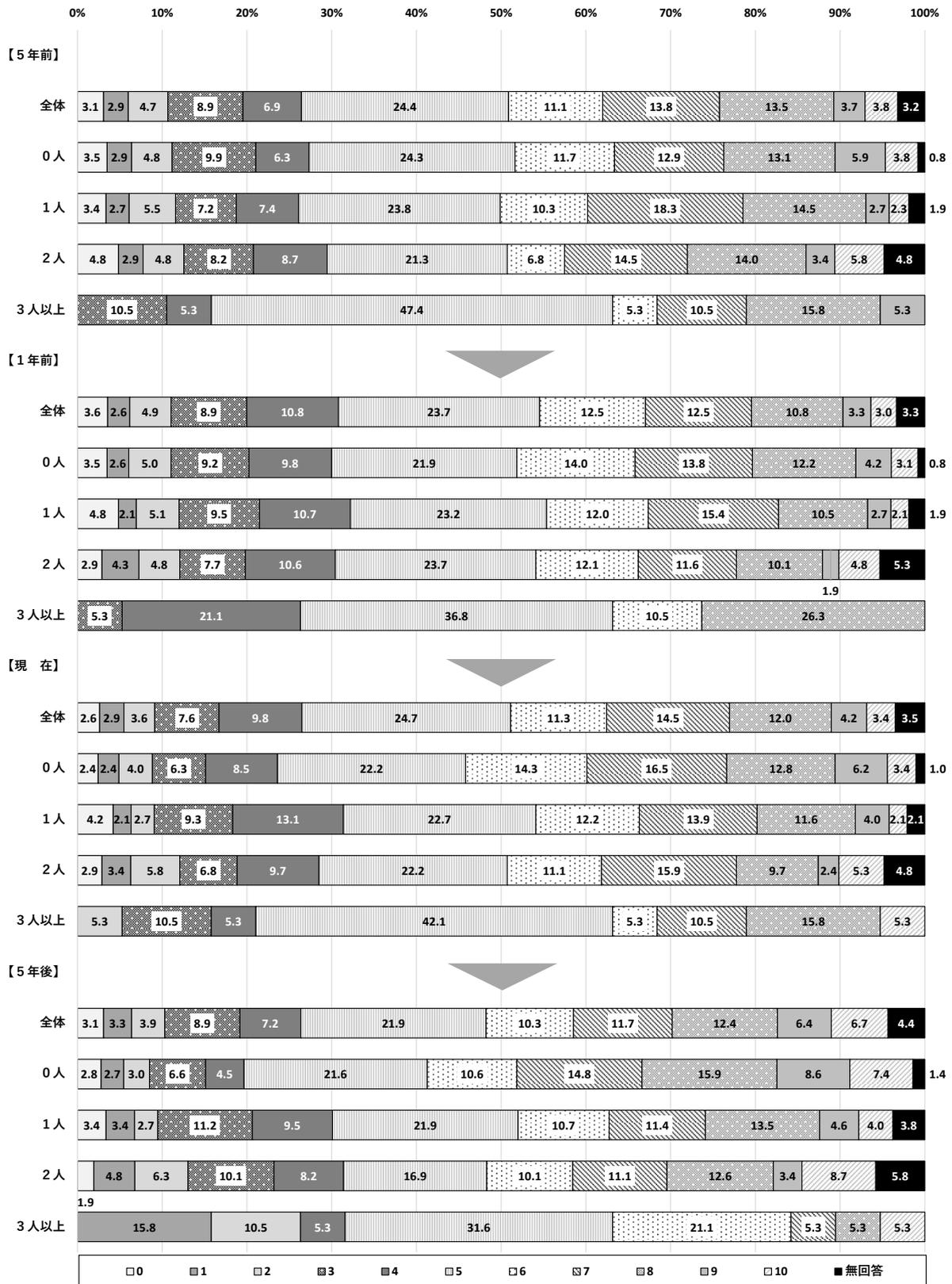


【割合】

すべての属性で、「5 年前」「1 年前」「現在」「5 年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6 以上」を見ると、「現在」の「0 人」では 53.1% を占め、「5 年後」には 57.3% となっている。

図表 14-5-4-③-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（75歳以上の同居家族別）

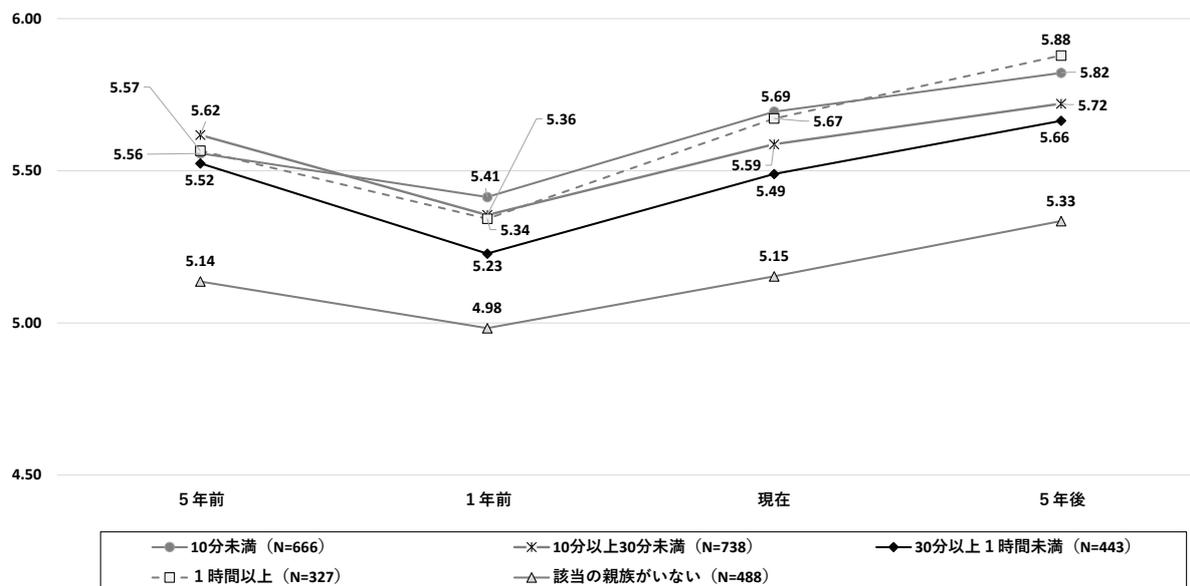


(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

【平均】

すべての属性で「1年前」に一旦下がり、その後は上向き傾向となっている。

図表 14-5-5-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(別居親族住居への移動時間別)

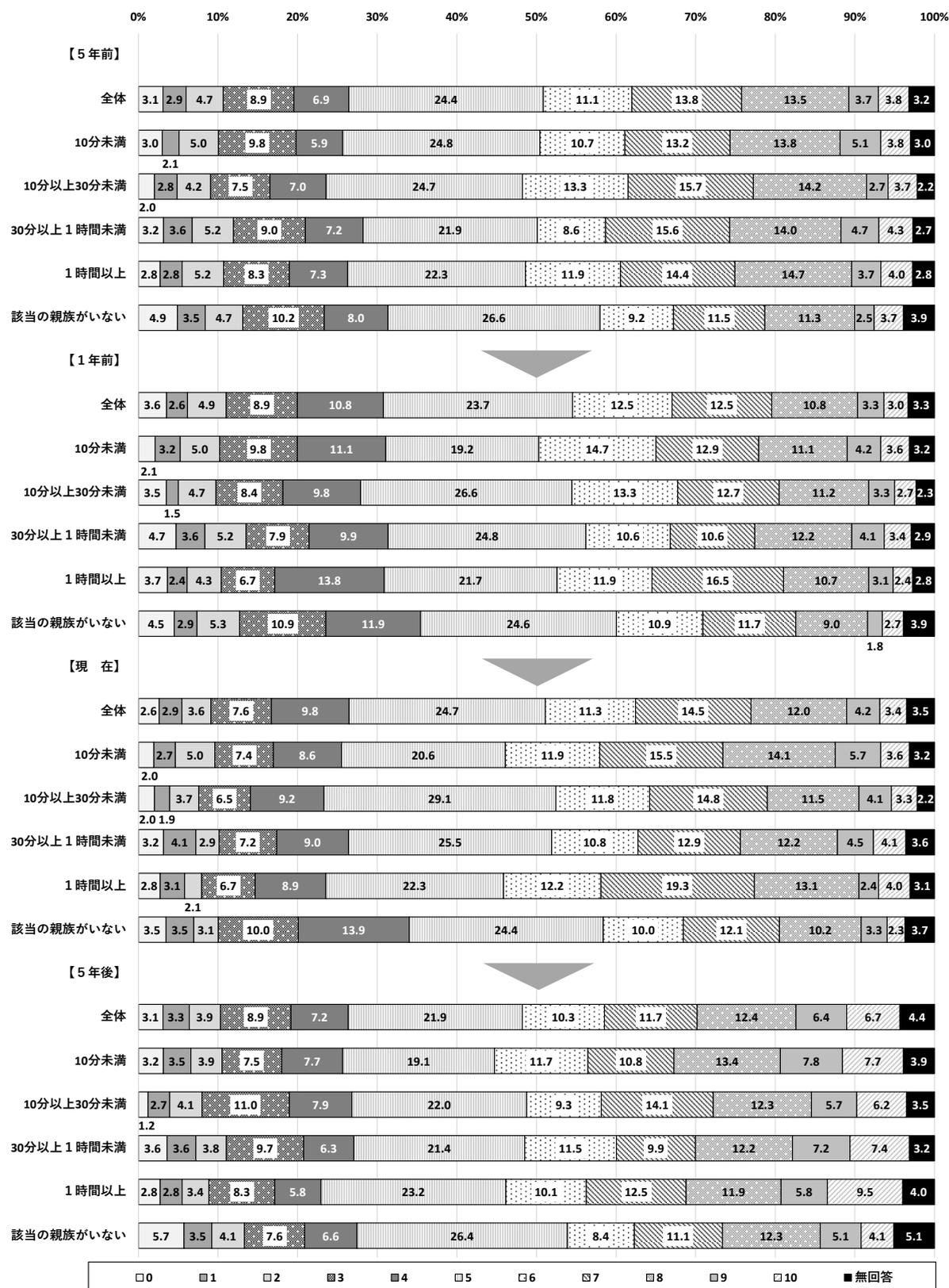


【割合】

すべての属性で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」は「10分未満」で51.4%となっており、一方、「該当の親族がない」では41.0%と、他と比べて低くなっている。

図表 14-5-5-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（別居親族住居への移動時間別）

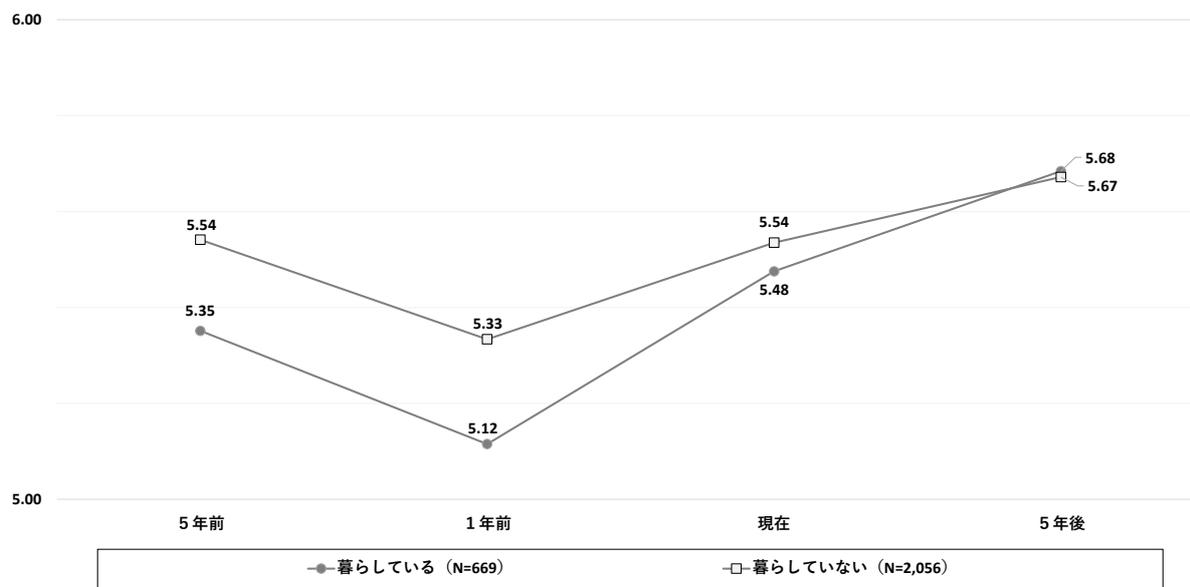


(5) - 6 ペットの有無別

【平均】

ペットの有無に関わらず、「1年前」に一旦下がり、その後上向き傾向となっている。「5年後」には「暮らしている」「暮らしていない」ともに5.7弱となっている。

図表 14-5-6-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(ペットの有無別)

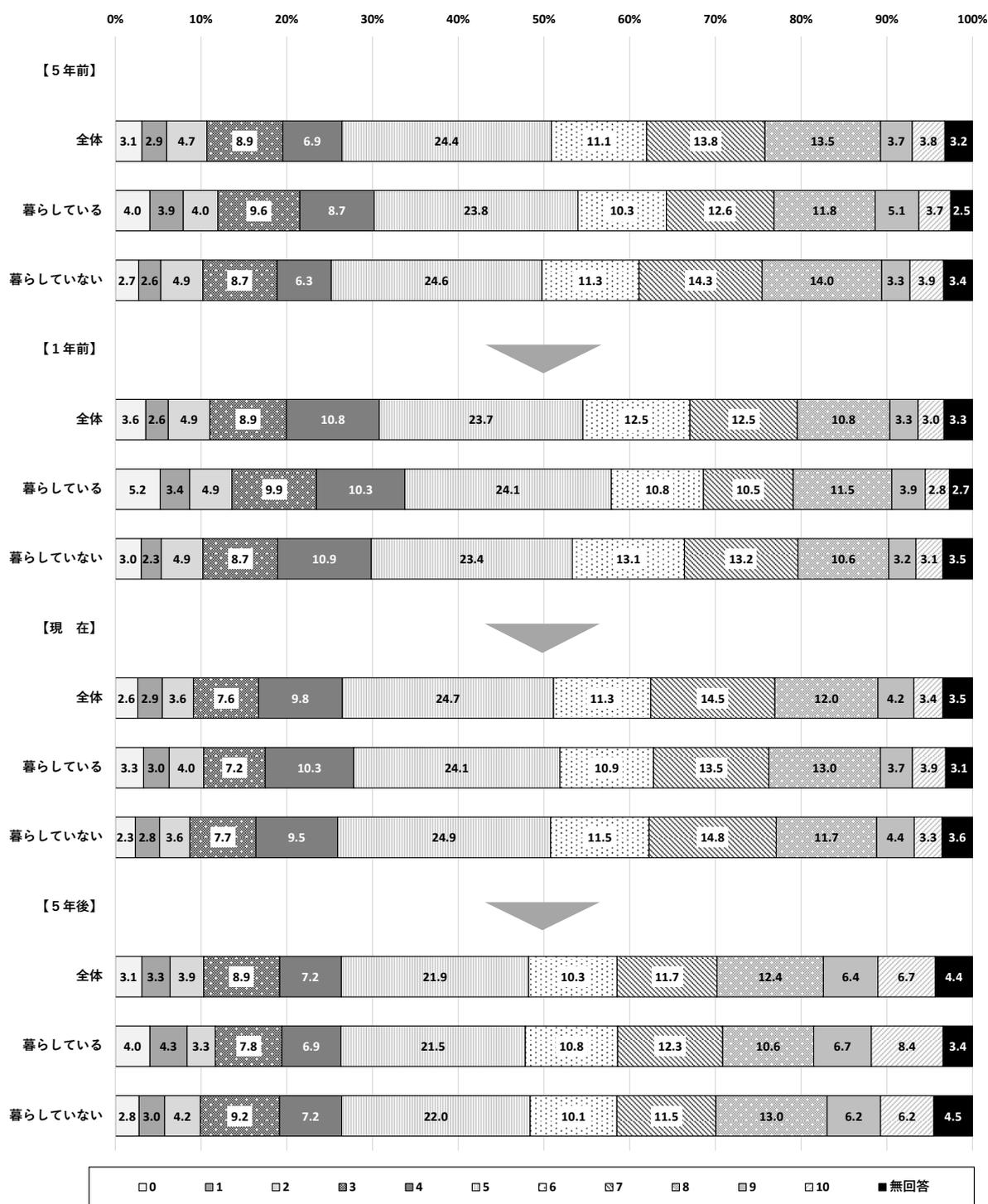


【割合】

「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」「5年後」ともに、ペットの有無による大きな差は見られない。

図表 14-5-6-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（ペットの有無別）

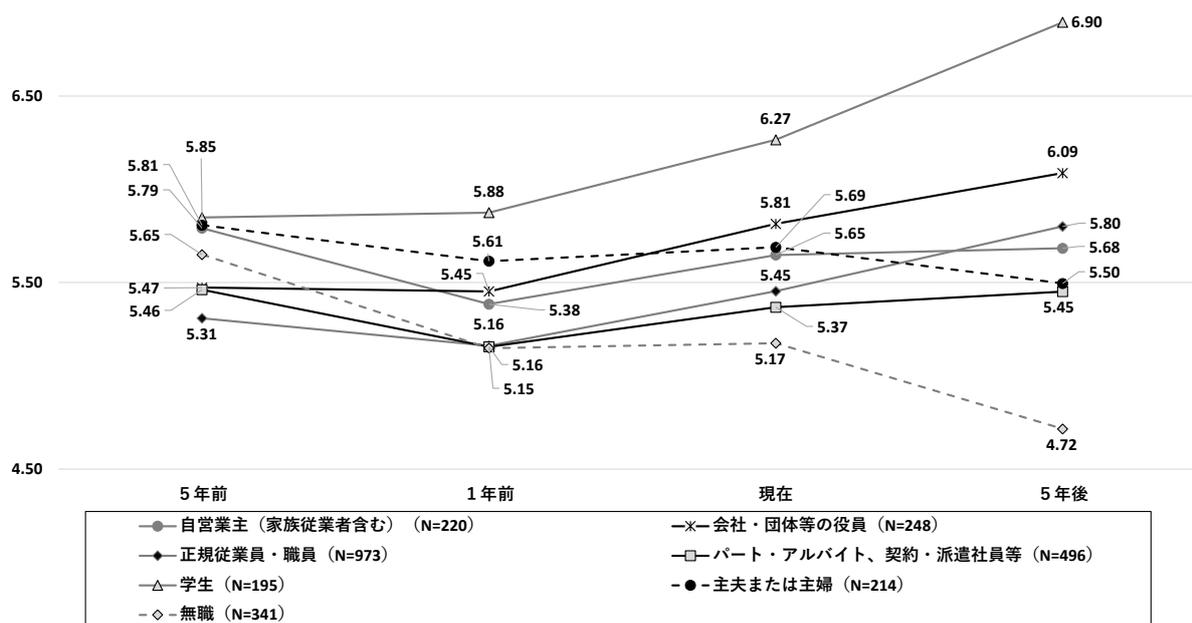


(6) - 1 職業別

【平均】

「学生」は上向き傾向となっており、「5年後」には6.90となっている。また、「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」も「1年前」から上向き傾向である。一方、「主夫または主婦」と「無職」は下降傾向にあり、「無職」では「5年後」には4.72となっている。

図表 14-6-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（職業別）

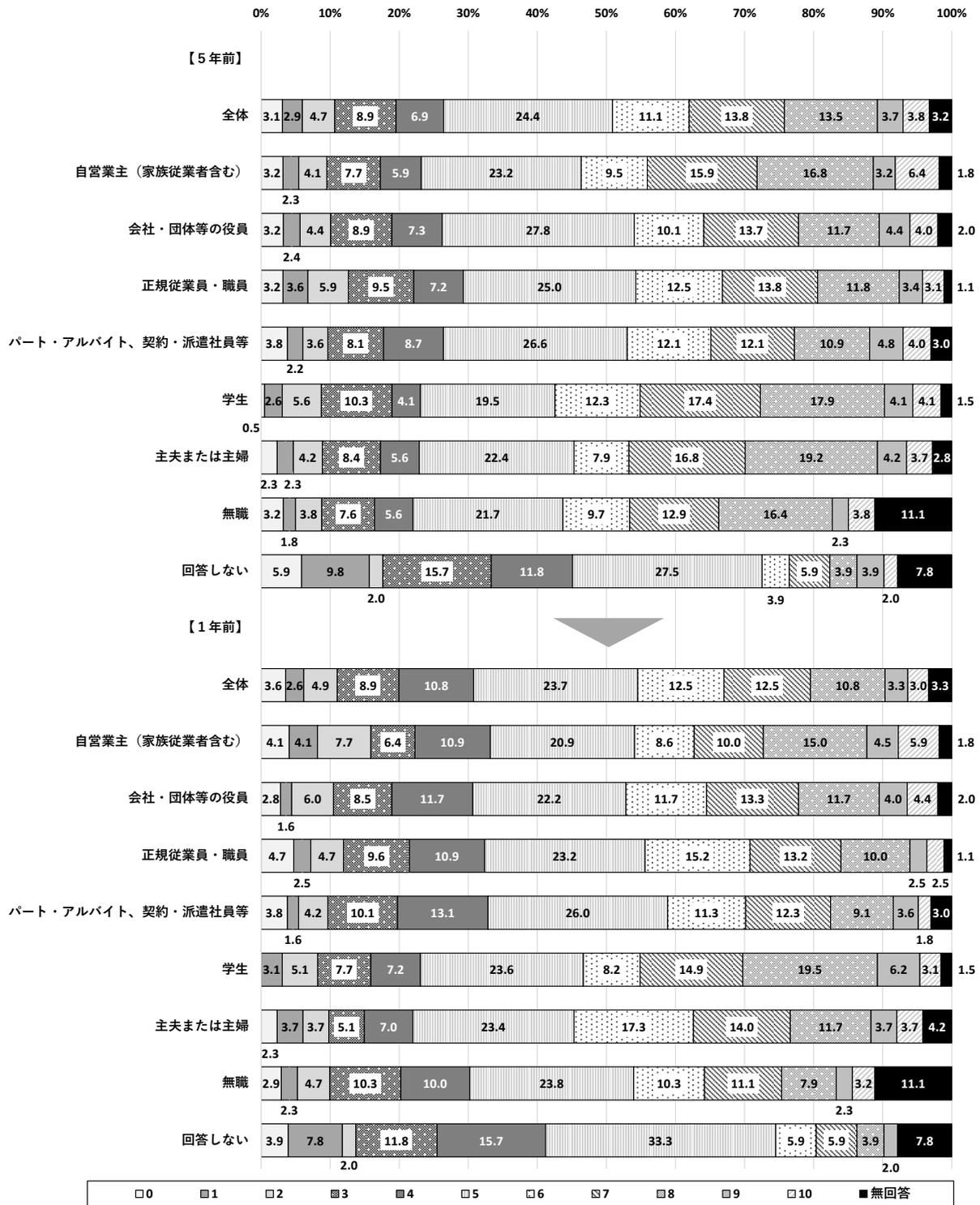


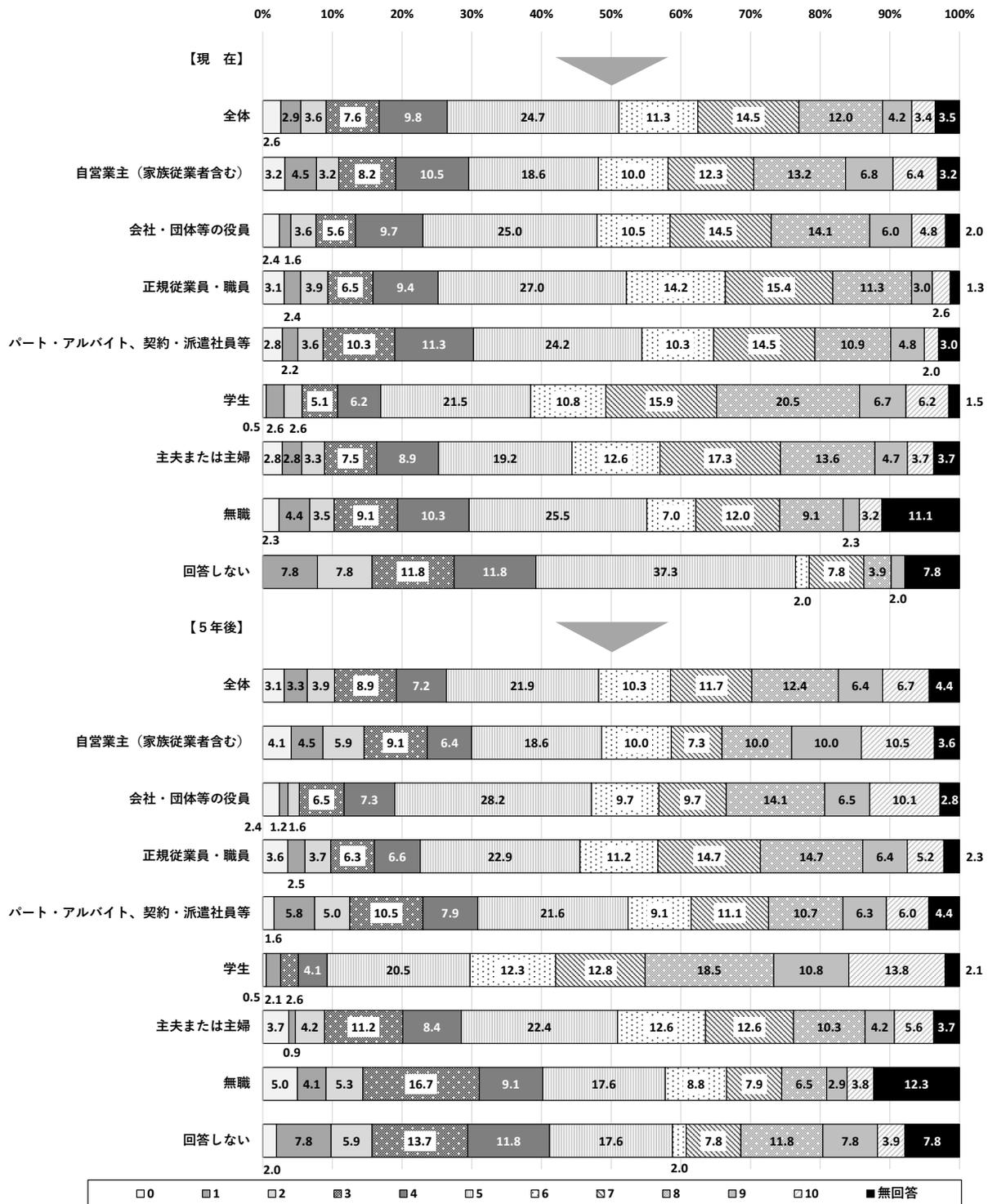
【割合】

どの職業でも、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」は「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「学生」で5割を超えており、特に「学生」は68.2%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「無職」は「4以下」が40.2%と「6以上」(29.9%)を10.3ポイント上回っている。

図表 14-6-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業別）



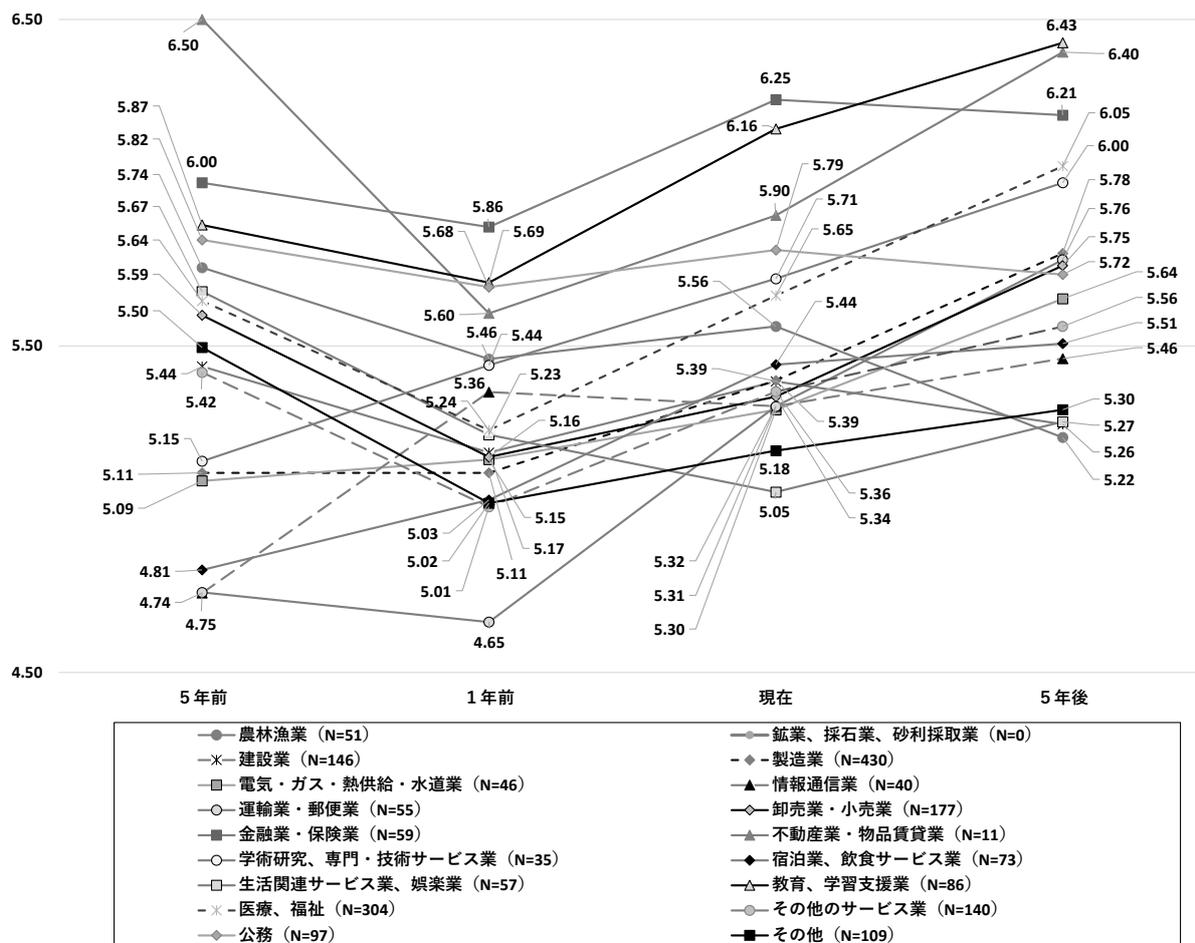


(6) - 2 職業分野別

【平均】

「現在」と「5年後」を見ると、「農林漁業」と「建設業」で下降傾向にある。「金融業・保険業」と「公務」は横ばいであり、その他の職業分野では上向き傾向となっている。

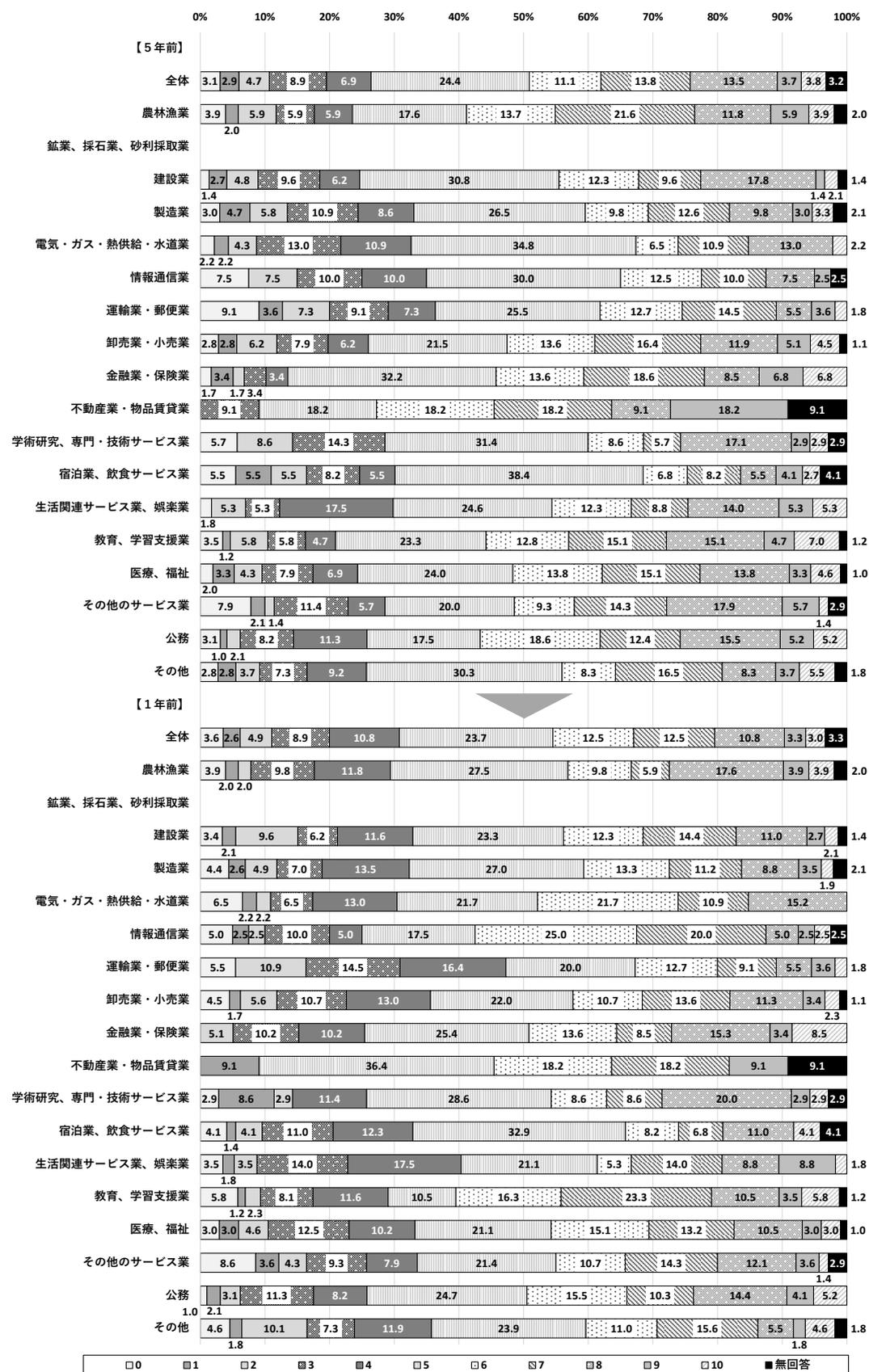
図表 14-6-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(職業分野別)

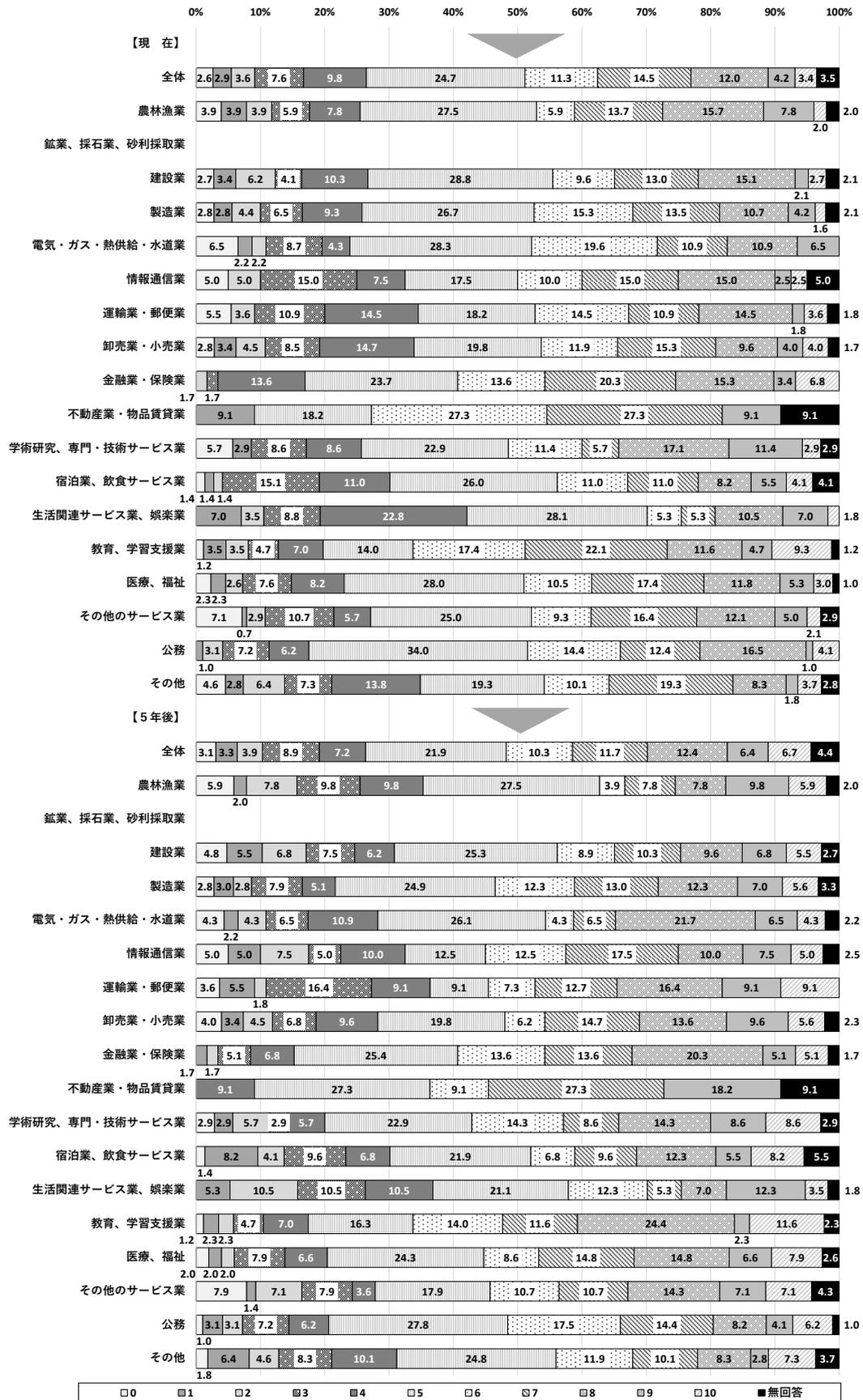


【割合】

「5年後」の「教育、学習支援業」では「8」が24.4%と最も高く、そのため「6以上」も64.0%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「農林漁業」は「4以下」が35.3%と、「6以上」(35.3%)と同割合になっている。

図表 14-6-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業分野別）



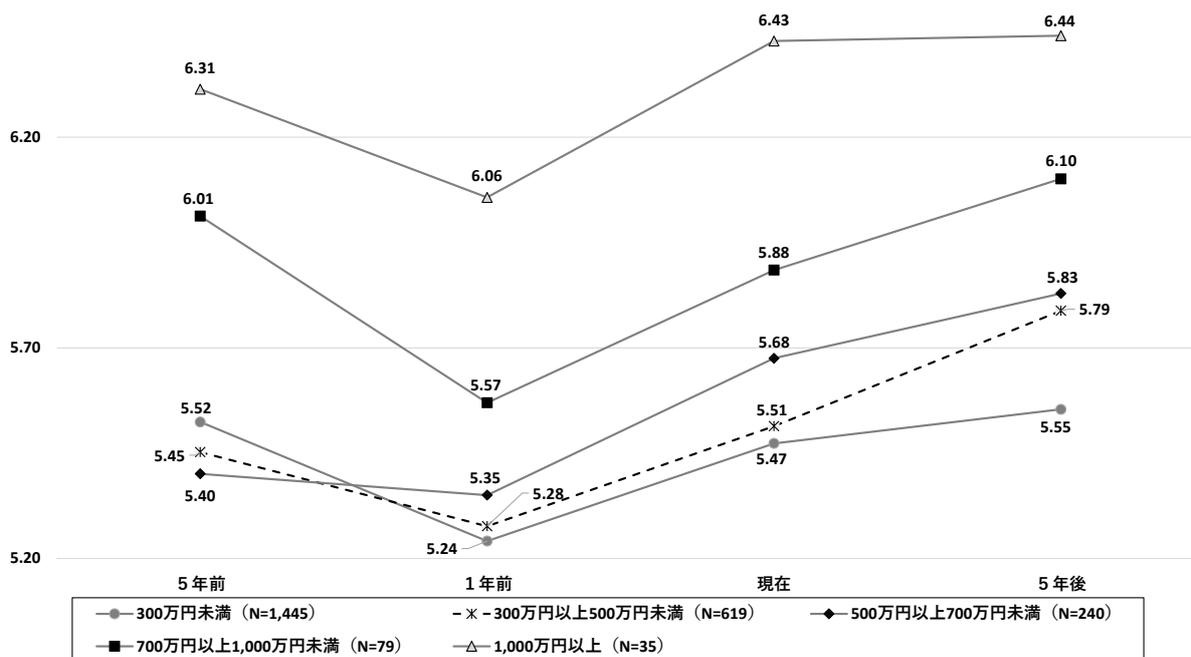


(6) - 3 年収別

【平均】

すべてで「1年前」に一旦下がったものの、その後上向き傾向にある。特に、「5年後」には「1,000万円以上」で6.44、「700万円以上1,000万円未満」で6.10と高い評価になっている。一方、「300万円未満」では、「5年後」は5.55と「5年前」(5.52)の水準にとどまっている。

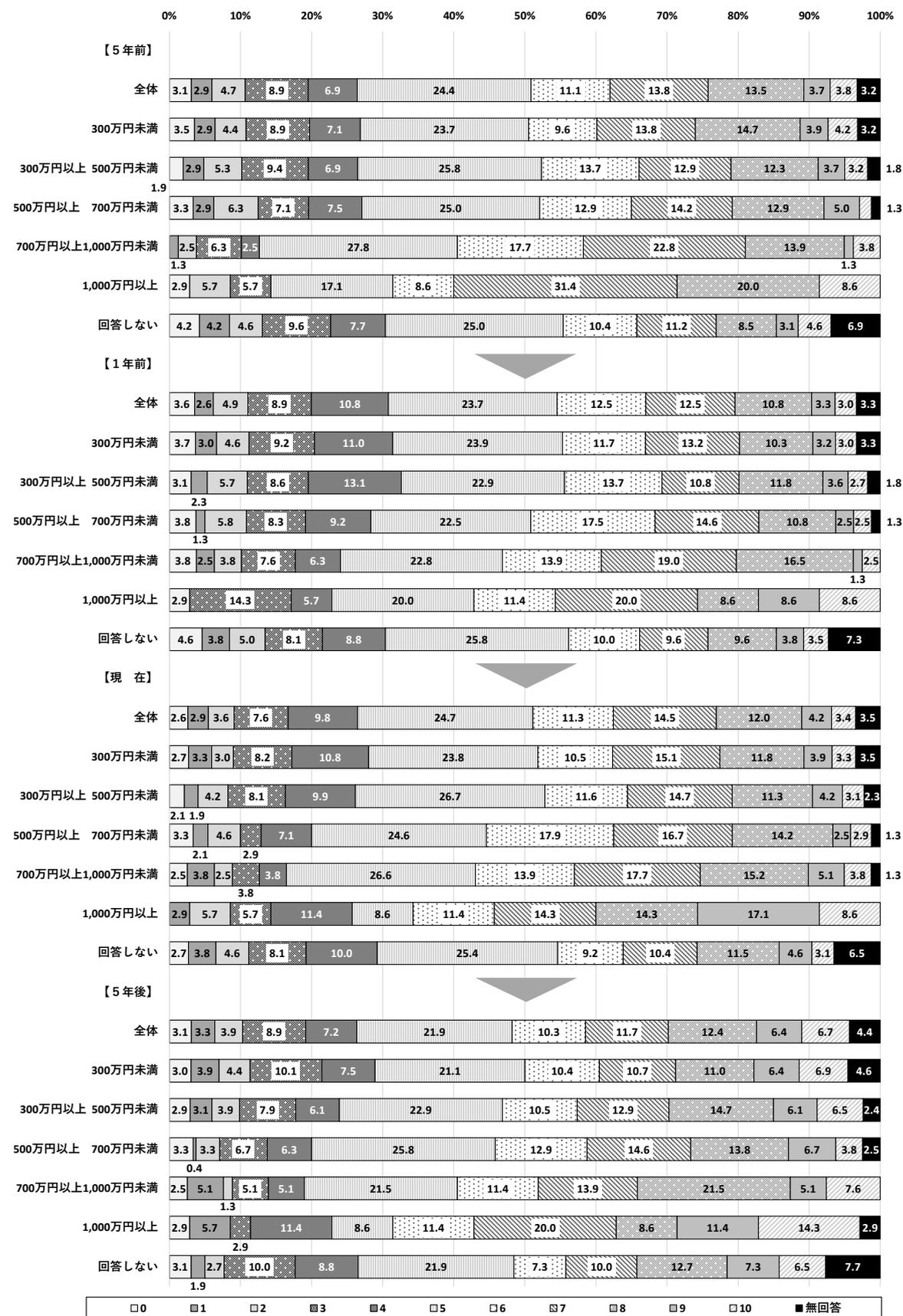
図表 14-6-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(年収別)



【割合】

「6以上」を見ると、「現在」では500万円以上で5割を超え、「1,000万円以上」では65.7%と高い割合を占めている。また、「5年後」では300万円以上で5割を超え、「1,000万円以上」では65.7%と高い割合を占めている。

図表 14-6-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年収別）

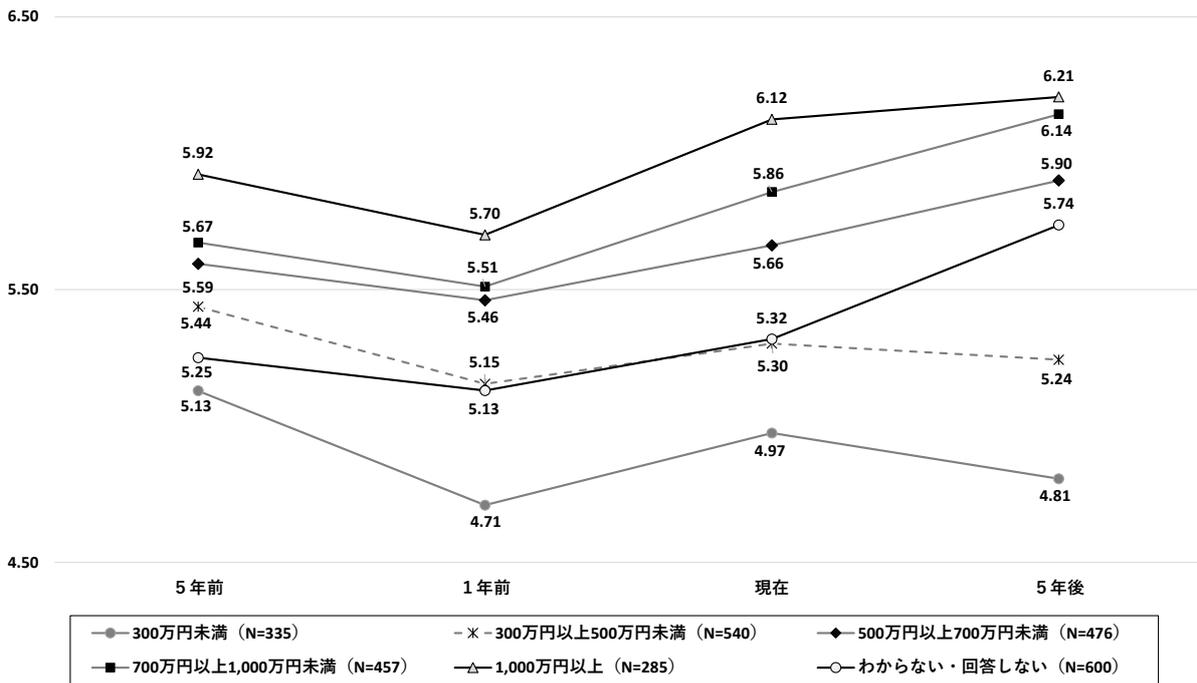


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

500万円以上では「1年前」に一旦下がったものの、その後上向き傾向にある。特に、「5年後」は「1,000万円以上」で6.21、「700万円以上1,000万円未満」で6.14と高い評価になっている。一方、「300万円未満」では「5年前」の5.13よりも低い4.81、「300万円以上500万円未満」では「5年前」の5.44よりも低い5.24となっている。

図表 14-6-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(世帯年収別)

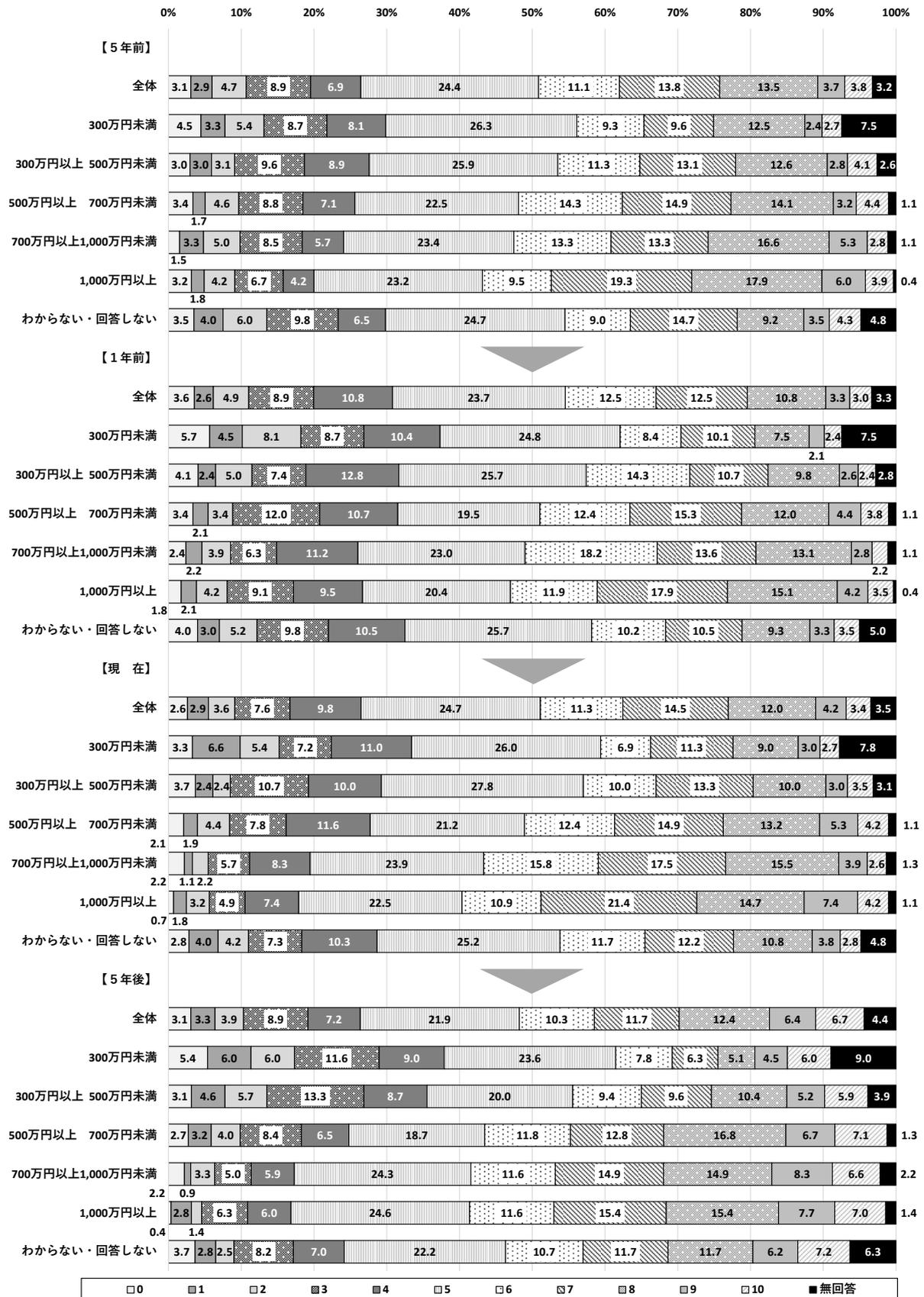


【割合】

すべての世帯年収で、「5年前」「1年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では500万円以上で50%以上となっており、「1,000万円以上」では58.6%を占めている。また、「5年後」では500万円以上で5割を超え、「1,000万円以上」では57.2%を占めている。一方、「300万円未満」では「4以下」が37.9%を占め、「6以上」(29.6%)を8.3ポイント上回っている。

図表 14-6-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（世帯年収別）

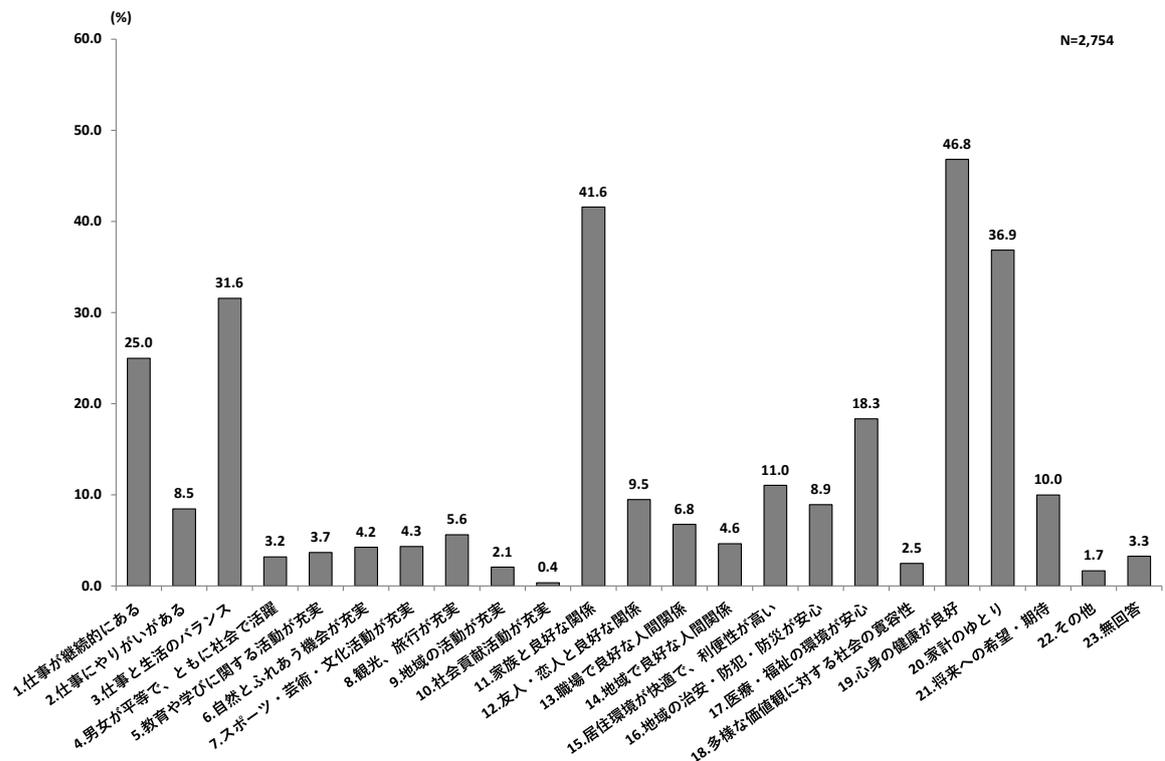


問 15. あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うことを、次の中から3つ選んでください。

(1) 全体

「19.心身の健康が良好」が46.8%と最も高く、次いで「11.家族と良好な関係」(41.6%)、「20.家計のゆとり」(36.9%)、「3.仕事と生活のバランス」(31.6%)となっている。

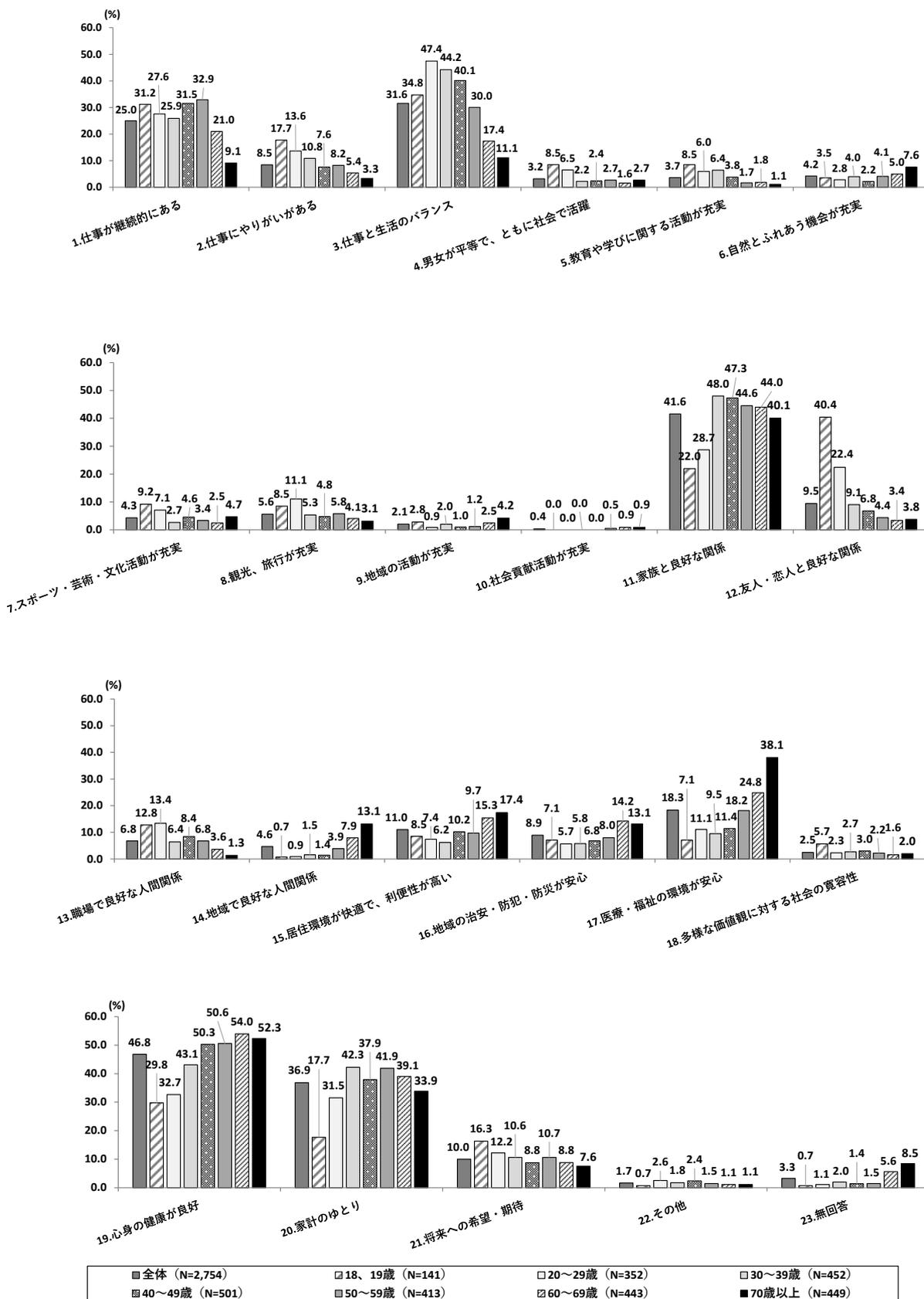
図表 15-1 あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うこと (全体)



(2) 年齢別

「19.心身の健康が良好」は40歳代以上で5割を超えている。一方、若年層を見ると、「18、19歳」では「12.友人・恋人と良好な関係」が40.4%、「20～29歳」では「3.仕事と生活のバランス」が47.4%、「30～39歳」では「11.家族と良好な関係」が48.0%と最も高くなっている。

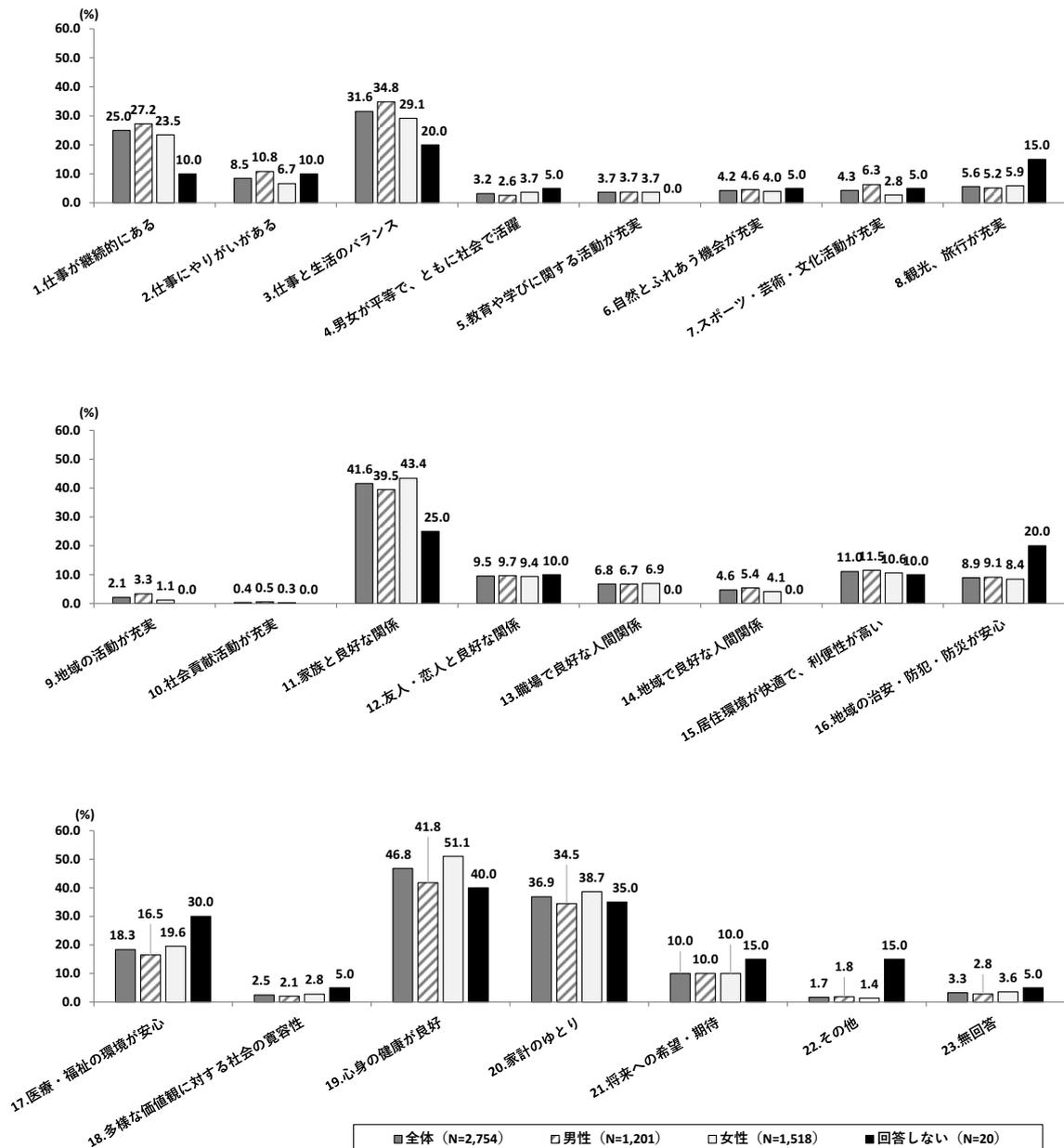
図表 15-2 あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うこと
(年齢別)



(3) 性別

男女ともに「19.心身の健康が良好」が最も高く、「男性」が41.8%、「女性」が51.1%と「女性」の方が9.3ポイント高い。次いで「11.家族と良好な関係」が高く、「男性」が39.5%、「女性」が43.4%と「女性」の方が3.9ポイント高い。「3.仕事と生活のバランス」では「男性」が34.8%、「女性」が29.1%と「男性」の方が5.7ポイント高い。一方、「20.家計のゆとり」では「男性」が34.5%、「女性」が38.7%となり、「女性」の方が4.2ポイント高くなっている。

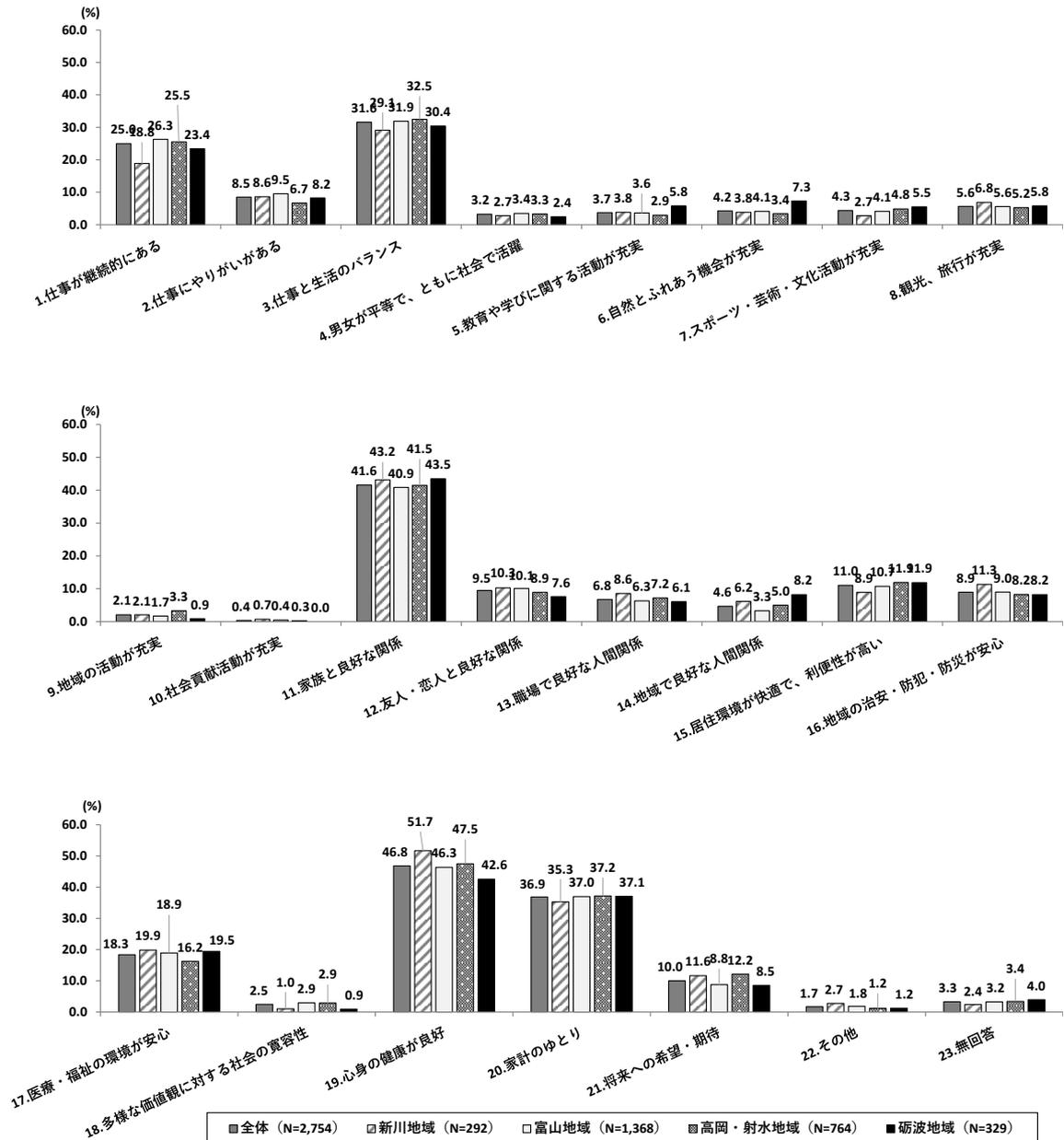
図表 15-3 あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うこと
(性別)



(4) 地域別

「19.心身の健康が良好」は「新川地域」「富山地域」「高岡・射水地域」で最も高く、「新川地域」では 51.7%を占めている。「11.家族と良好な関係」は、いずれの地域も 4 割を超えている。全体的に見て大きな差は見られない。

図表 15-4 あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うこと (地域別)



(5) 「22. その他」の意見

「22.その他」の回答として102件の自由記載があった。住環境に関する意見が多く見られ、特徴的な主な意見は以下のとおりである。

主な自由意見	年齢	性別	地域
利用しやすい公共交通機関があること。自宅近くで乗降できるなど。	50歳代	女性	新川地域
中山間地域で農業をやっていますが、後継者が育っていないので、後10年後には耕作放棄地が大量に発生していくので、人も住まなくなります。中山間地域に若者が働く場を作っていくのが大切だと思います。狭い日本こんなに多くの中山間地域があるのになぜ国や県は真剣に考えないのか・・・思い切った対策を講ずるべきである。	70歳代	男性	富山地域
子どもたちの遊び場所(施設)が富山県には少ないと思います。自然とマッチングした施設が必要だと思います。また、同様に高齢者もくつろげる遊び場がありません。子どもたちと高齢者が一緒に楽しめる施設を希望します。豊かな富山になりませんか。	60歳代	女性	高岡・射水地域
バスなど公共機関が充実していないと感じる。富山は車が無ければ都合が悪いのに近くにスーパーがない。山の人は特に思う。	30歳代	女性	富山地域
自由に自分らしく過ごせることができる～年金が不安である。今は運転できるが返納した時が心配～交通の便で大変不安。理想的な介護ばかり目指すことも大事だが、入所しやすい施設も大事だと思う(金銭的に)。	70歳代	女性	新川地域
高校や大学を卒業した後に県外に出て行ってしまう同級生が多く、今でも若い人が富山県から多く離れて行っているように感じる。高齢者への施設も大変だが、未来を創る若者にも暮らしやすい施策を考えて富山県をよりよくしてもらいたい。	30歳代	男性	富山地域
現在、息子が未婚のため、若いものが出会える機会、場、おせっかいな人たちが必要と感じる。昔はお見合い、仲人等の人が場を作ってくださいました。ありがたい時代でしたよ。	60歳代	男性	砺波地域
収入のわりに税金が高すぎるのが負担になっている。国民健康保険とか市民税とかもう少し安くならないと一人暮らしは大変です。	60歳代	女性	富山地域
貧富の差がありすぎな富山県地域には何の楽しみもなく年を取れば不自由さが目立つ。子どもがいても頼れる状態ではない。外国のように医療費や入院費など考えて欲しい。	70歳代	男性	富山地域

主な自由意見	年齢	性別	地域
一人暮らしが増え、話し相手もない。中高年でも元気で自分の身の回りのことをできる人達が住むシェアハウスのようなものがあればと思います。女性限定で各自個室、最低限トイレと洗面所はあった方がいいね。キッチンやリビングは共同で、料理を作ったり、食事をしておしゃべりしたり、ルールや条件を決めて、それを守る人のみ、そんなところがあればな。便利で楽な時代になったと思うと同時に、多くのものが失われた気がします。お金も大事かもしれないが、もっと豊かな気持ちになりたいと思う。	60 歳代	女性	富山地域
ペットとお出かけできる場所やイベントなどがあると嬉しいです。富山は他県と比べてペットと出かける場所が少ない。	50 歳代	女性	富山地域
今は 60 代で車で自由に移動できているが、今後もっと高齢になり運転ができなくなった時、移動手段が少ないことに不安を感じます。買い物通院など一人で行けない人も多くいます 散居村では交通手段が少ないことは課題と感じています（自分はまだ歩ける町部にいますが）。	60 歳代	女性	砺波地域
まず自助、次に他助、それでも足りない所を公助。自助の可能性を多く秘めている富山です。インターネットの時代になって本当のコミュニケーションが失われコミュニティの成立案件コミュニケーションがインフォメーション化されてコミュニティが崩れ（地球、職場）お互い様、お先にどうぞの感覚がなくなってきました。コミュニティの復活を。金をたくさん持たなくても分相応の暮らしができ、本当の幸せを感じられる地域に出来るところが富山です。その根本は水の量と質と考えます。金半分の地域づくりを。	70 歳代	男性	富山地域

2. 生活習慣等について（※最近1週間の状況）

問 16. あなたの睡眠時間は平均で何時間程度でしたか。

（1）全体

平日は、「6時間以上7時間未満」が35.0%と最も高くなり、次いで「7時間以上8時間未満」が28.7%、「5時間以上6時間未満」が16.6%となっている。

一方、休日は、「7時間以上8時間未満」が30.2%と最も高く、次いで「8時間以上9時間未満」が24.4%、「6時間以上7時間未満」が23.7%となっており、平日よりも睡眠時間を長くとしている人が多いことがうかがえる。

（2）年齢別

平日は、「70歳以上」を除くすべての年代で「6時間以上7時間未満」が最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」となっている。「70歳以上」は「7時間以上8時間未満」が35.2%と最も高い。

一方、休日は、「18、19歳」と「20～29歳」で「8時間以上9時間未満」が36%台と最も高く、30歳代以上では「7時間以上8時間未満」が最も高くなっている。

（3）性別

平日は、男女ともに「6時間以上7時間未満」が最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」となっている。

一方、休日は男女ともに「7時間以上8時間未満」が最も高くなっている。

（4）－1 結婚の有無別

平日は、すべての属性で「6時間以上7時間未満」が最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」、「5時間以上6時間未満」となっている。

一方、休日は、「結婚していたが、死別・離別した」と「結婚していない」で「8時間以上9時間未満」が最も高く、「結婚している」では「7時間以上8時間未満」が最も高いことから、結婚している人の方が、睡眠時間が若干短いことがうかがえる。

（4）－2 子どもの有無別

平日は、子どもの有無に関わらず「6時間以上7時間未満」が最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」、「5時間以上6時間未満」となっている。

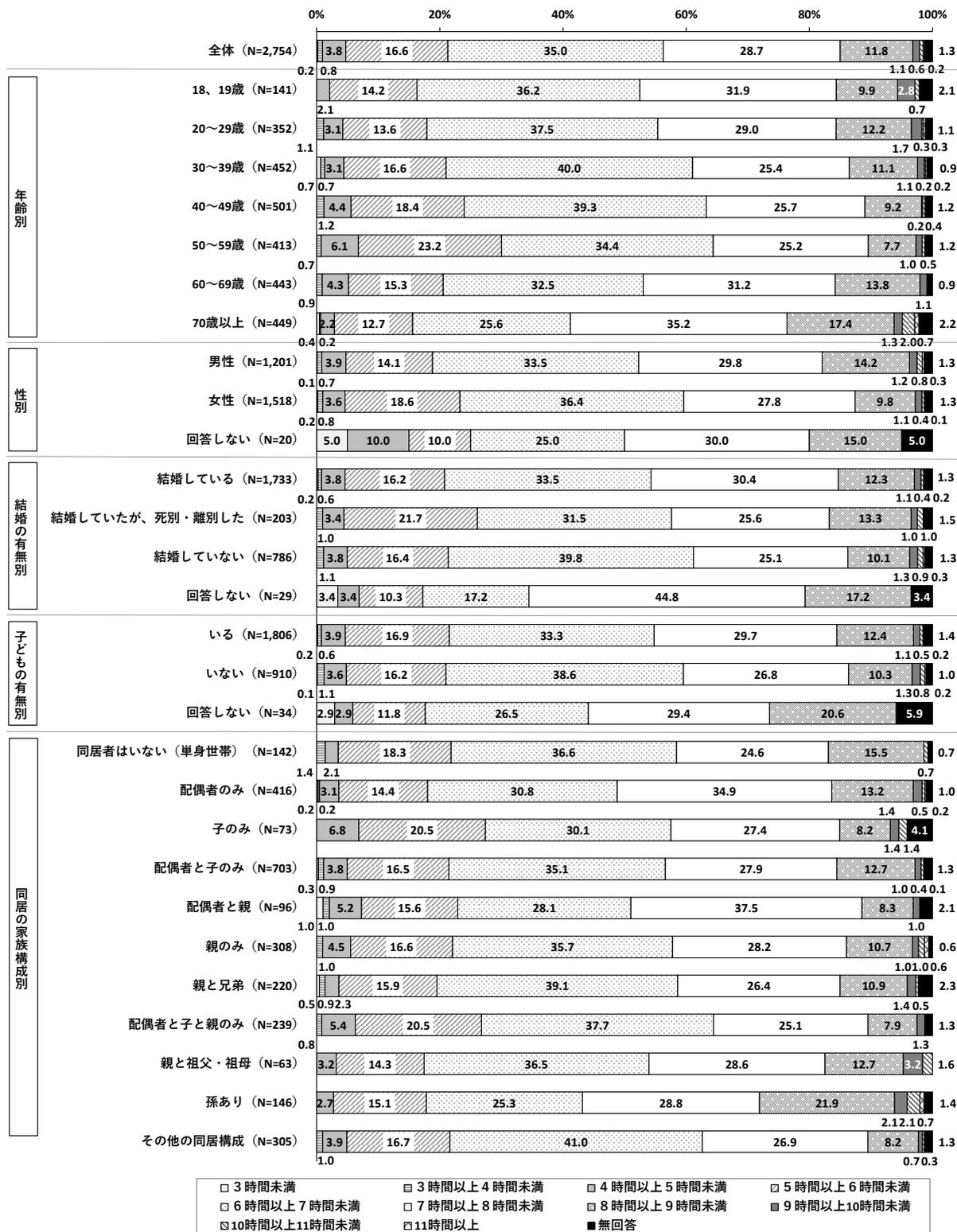
一方、休日は、子どもが「いる」で「7時間以上8時間未満」が最も高く、「いない」では「8時間以上9時間未満」が最も高いことから、子どもが「いる」の方が、睡眠時間が若干短いことがうかがえる。

(4) - 3 同居家族の構成別

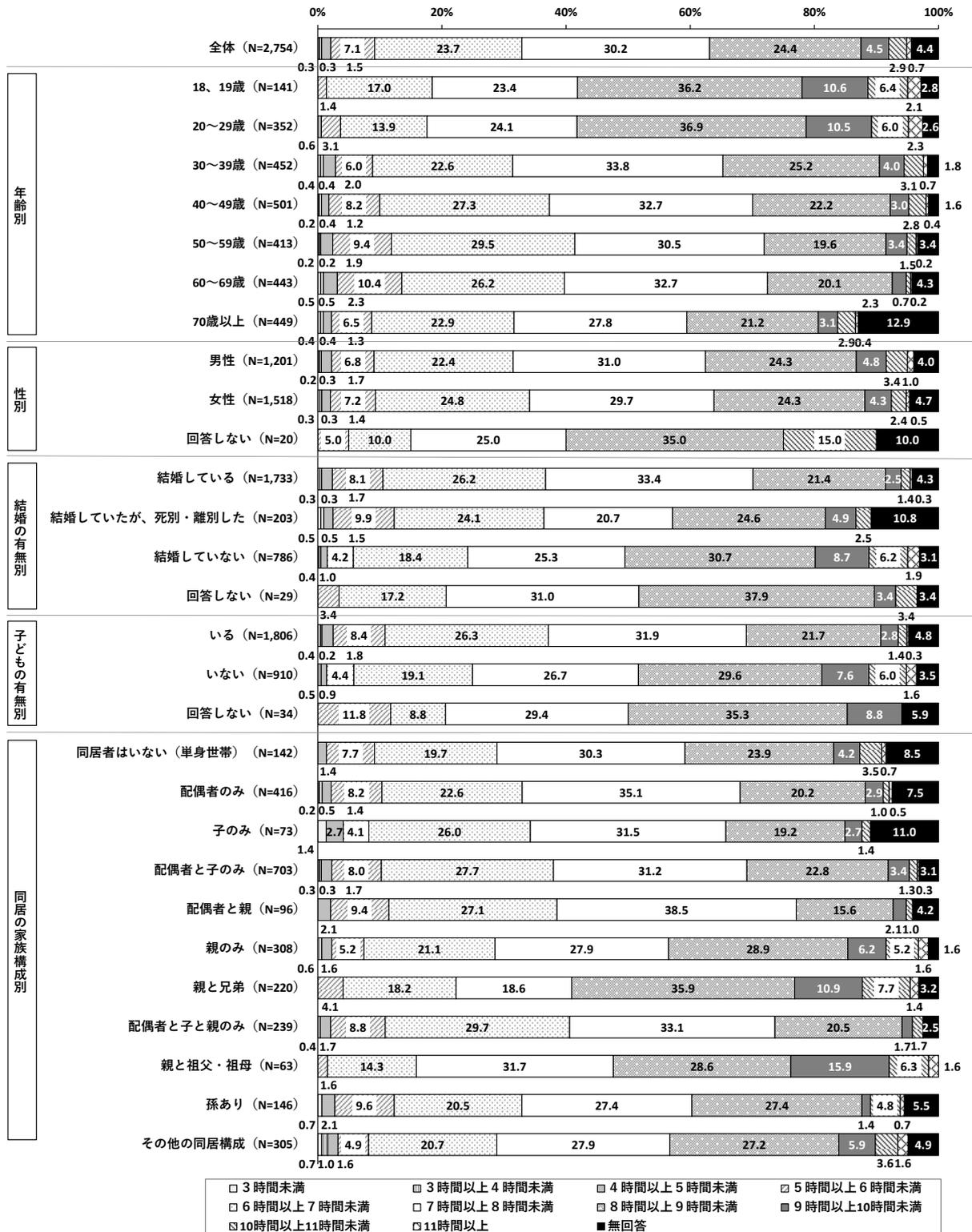
平日は、「配偶者のみ」「配偶者と親」「孫あり」で「7時間以上8時間未満」が最も高く、これら以外の家族構成では「6時間以上7時間未満」が最も高くなっている。

一方、休日は、「親のみ」「親と兄弟」「孫あり」で「8時間以上9時間未満」が最も高く（「孫あり」は、「7時間以上8時間未満」と「8時間以上9時間未満」が27.4%で同数となっている。）、これら以外の家族構成では「7時間以上8時間未満」が最も高くなっている。全般的に、平日よりも休日の方が、睡眠時間が多くとれていることがわかる。

図表 16-1 あなたの睡眠時間は平均で何時間程度でしたか。【平日】



図表 16-2 あなたの睡眠時間は平均で何時間程度でしたか。【休日】



問 17. あなたは、運動（※）を何回行いましたか。

※この設問では、体力づくり、健康づくり、趣味、部活、レクリエーションなど、自身自身で意識的に行っている運動を指します。ご自身の判断で構いません。

（１）全体

1週間あたりの運動回数は、「0回」が38.4%と最も高く、次いで「1回」が15.6%、「2回」が10.6%となっている。

1回あたりの時間数は、「30分未満」が36.6%と最も高く、次いで「60分以上90分未満」が15.5%、「30分以上60分未満」が14.9%となっている。

（２）年齢別

1週間あたりの運動回数は、どの年代でも「0回」が最も高い。「30～39歳」では「0回」が52.4%と他の年代よりも高くなっている。

1回あたりの時間数は、どの年代でも「30分未満」が最も高い。「30～39歳」では「30分未満」が48.0%と他の年代よりも高くなっている。

（３）性別

1週間あたりの運動回数は、男女ともに「0回」が30%台と最も高く、次いで「1回」が15%前後となっている。「1回」と「2回」では、「男性」の方が若干高い。

1回あたりの時間数は、男女ともに「30分未満」が最も高い。「60分以上90分未満」は「男性」の方が5.1ポイント高くなっている。

（４）－１ 結婚の有無別

1週間あたりの運動回数は、すべての属性で「0回」が最も高く、次いで「1回」となっている。

1回あたりの時間数は、すべての属性で「30分未満」が最も高く、次いで「60分以上90分未満」、「30分以上60分未満」となっている。

（４）－２ 子どもの有無別

1週間あたりの運動回数は、子どもが「いる」「いない」とともに「0回」が最も高く、次いで「1回」となっている。

1回あたりの時間数は、子どもが「いる」「いない」とともに「30分未満」が最も高い。

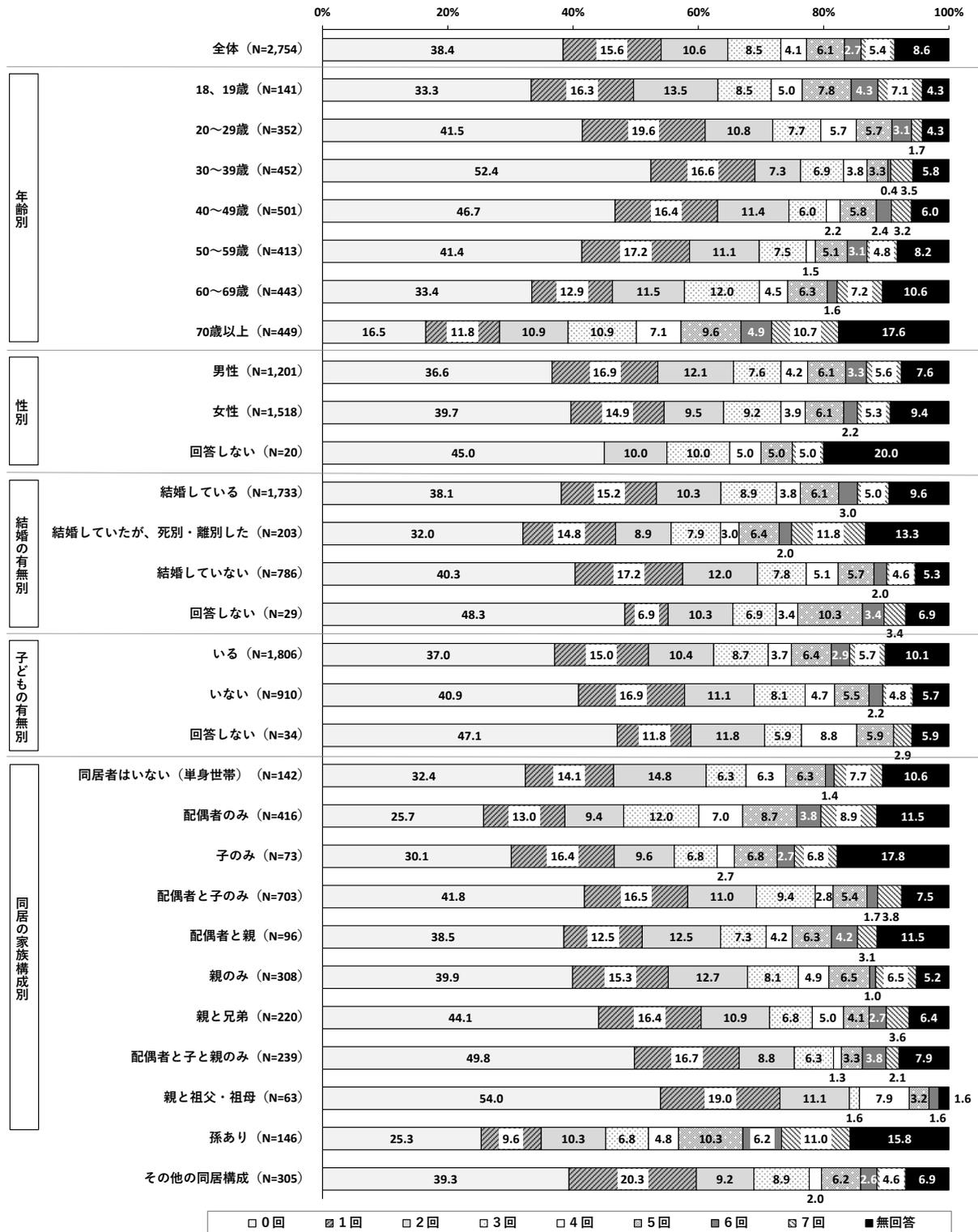
（４）－３ 同居家族の構成別

1週間あたりの運動回数は、すべての家族構成で「0回」が最も高く、「親と祖父・祖母」では54.0%となっている。

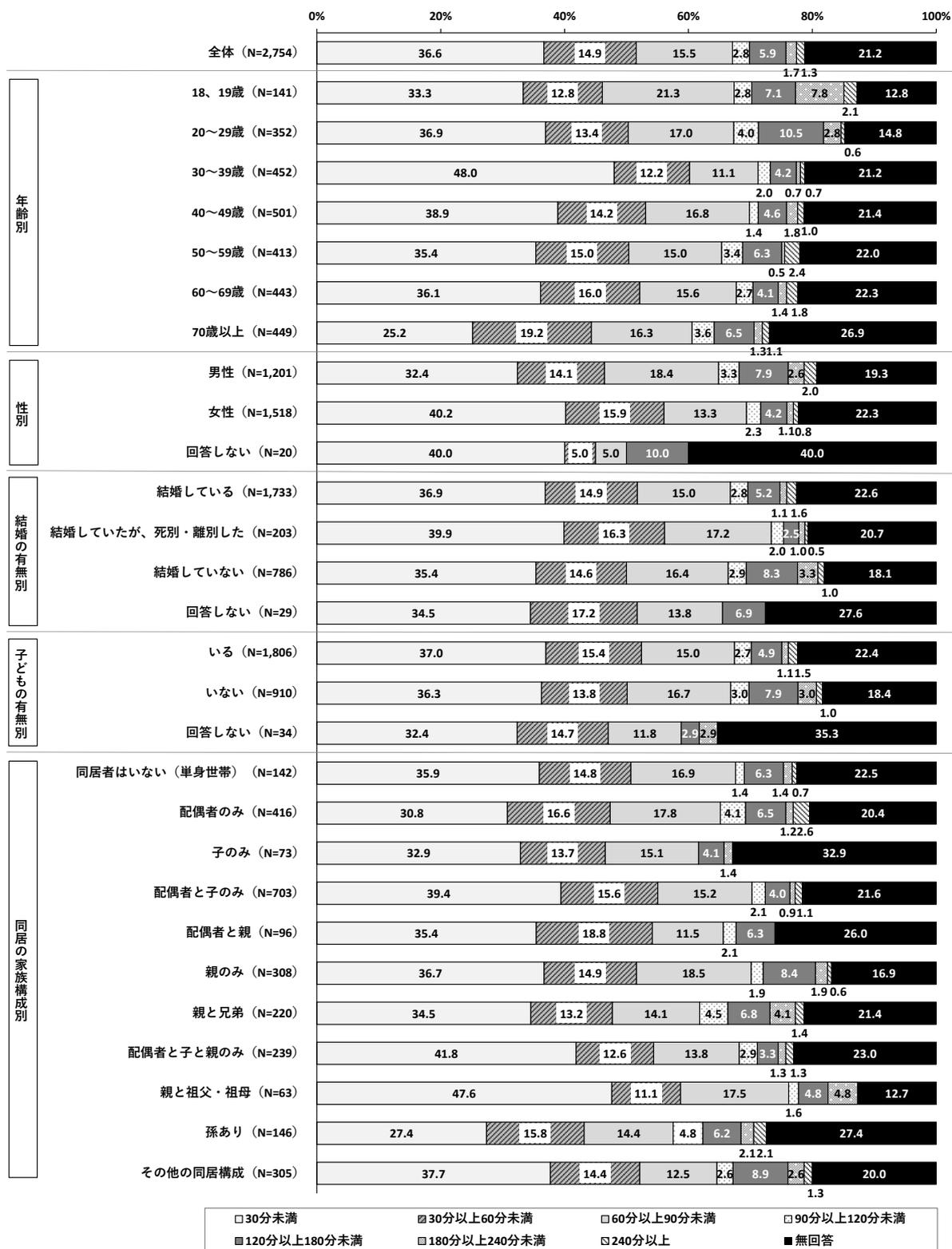
1回あたりの時間数は、すべての家族構成で「30分未満」が最も高く、「配偶者と子と親のみ」

と「親と祖父・祖母」では4割を超えている。

図表 17-1 あなたは、運動を何回行いましたか。【運動回数】



図表 17-2 あなたは、運動を何回行いましたか。【運動時間】



問 18. 食事について

① 誰かと一緒に食事をとったことは、何回ありましたか。

(1) 全体

朝食は、「7回」が40.4%と最も高く、次いで「0回」が26.2%となっている。

昼食は、「7回」が31.4%と最も高く、次いで「0回」が17.6%、「2回」が14.6%となっている。

夕食は、「7回」が60.3%と最も高く、次いで「0回」が7.5%となっていることから、夕食は誰かと一緒にとっていることが多い。

(2) 年齢別

朝食は、「20～29歳」を除くすべての年代で「7回」が最も高く、次いで「0回」となっている。「20～29歳」は「0回」が36.4%と最も高い。

昼食は、すべての年代で「7回」が最も高い。

夕食は、すべての年代で「7回」が最も高く、5割を超えている。

(3) 性別

朝食は、男女ともに「7回」が最も高く、次いで「0回」となっている。

昼食は、男女ともに「7回」が最も高く、「女性」の方が7.2ポイント高い。

夕食は、男女ともに「7回」が最も高く、「女性」では66.3%を占め、「男性」(52.8%)よりも13.5ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

朝食は、「結婚している」では「7回」が50.2%と最も高く、「結婚していたが、死別・離別した」と「結婚していない」では「0回」が最も高くなっている。

昼食は、「結婚している」と「結婚していない」では「7回」が最も高く、「結婚していたが、死別・離別した」では「0回」が28.1%と最も高くなっている。

夕食は、すべての属性で「7回」が最も高く、「結婚している」では69.9%と他の属性よりも高い割合を占めている。

(4) - 2 子どもの有無別

朝食は、子どもが「いる」では「7回」が48.2%と最も高く、「いない」では「0回」が38.4%と最も高くなっている。

昼食は、子どもの有無に関わらず「7回」が最も高くなっているが、「いる」の方が8.2ポイント高い。

夕食は、子どもの有無に関わらず「7回」が最も高くなっているが、「いる」では67.2%を占め、「いない」(47.0%)よりも20.2ポイント高い。

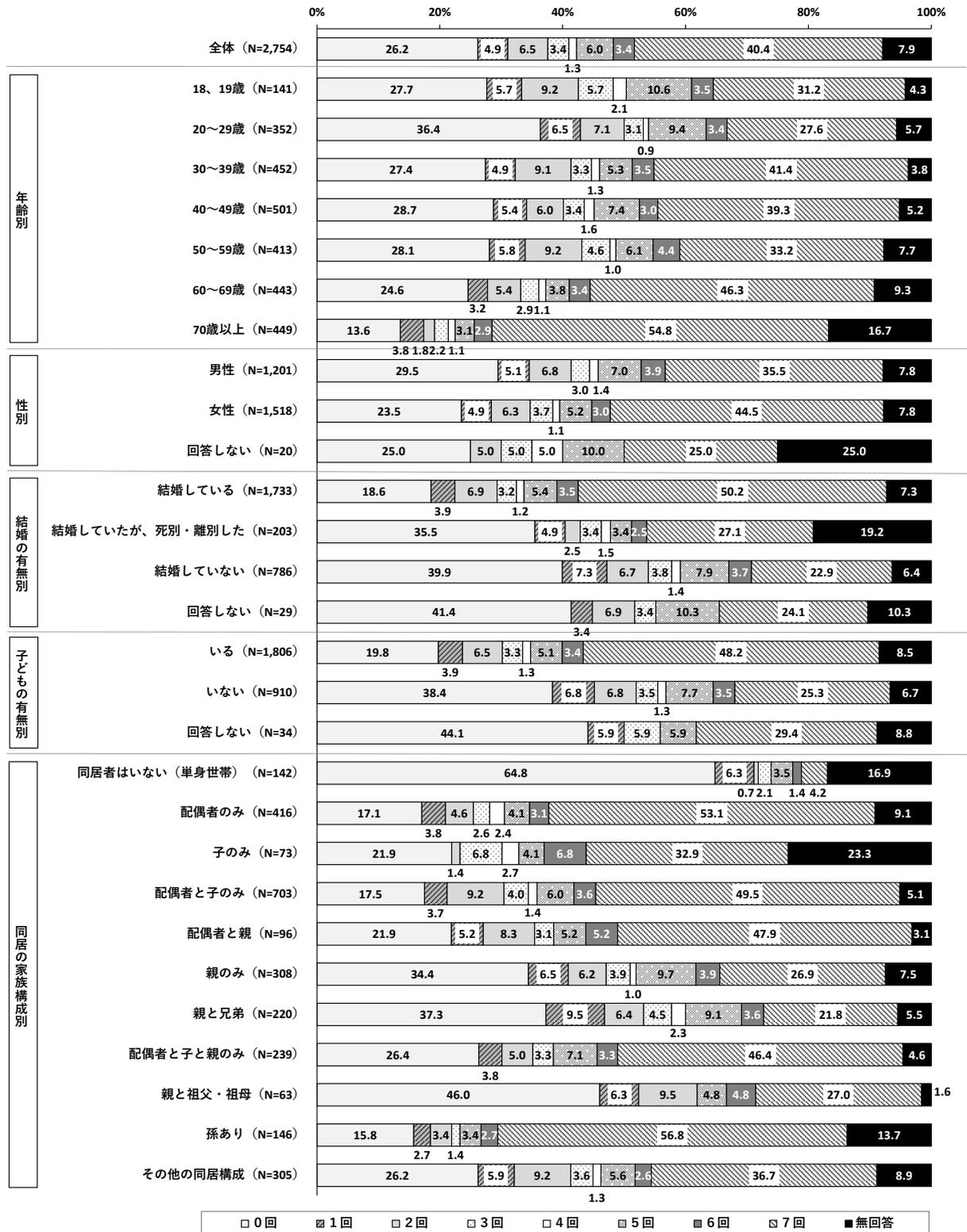
(4) - 3 同居家族の構成別

朝食は、「同居者はいない（単身世帯）」「親のみ」「親と兄弟」「親と祖父・祖母」では「0回」が最も高く、一方、これら以外の家族構成では「7回」が最も高い。

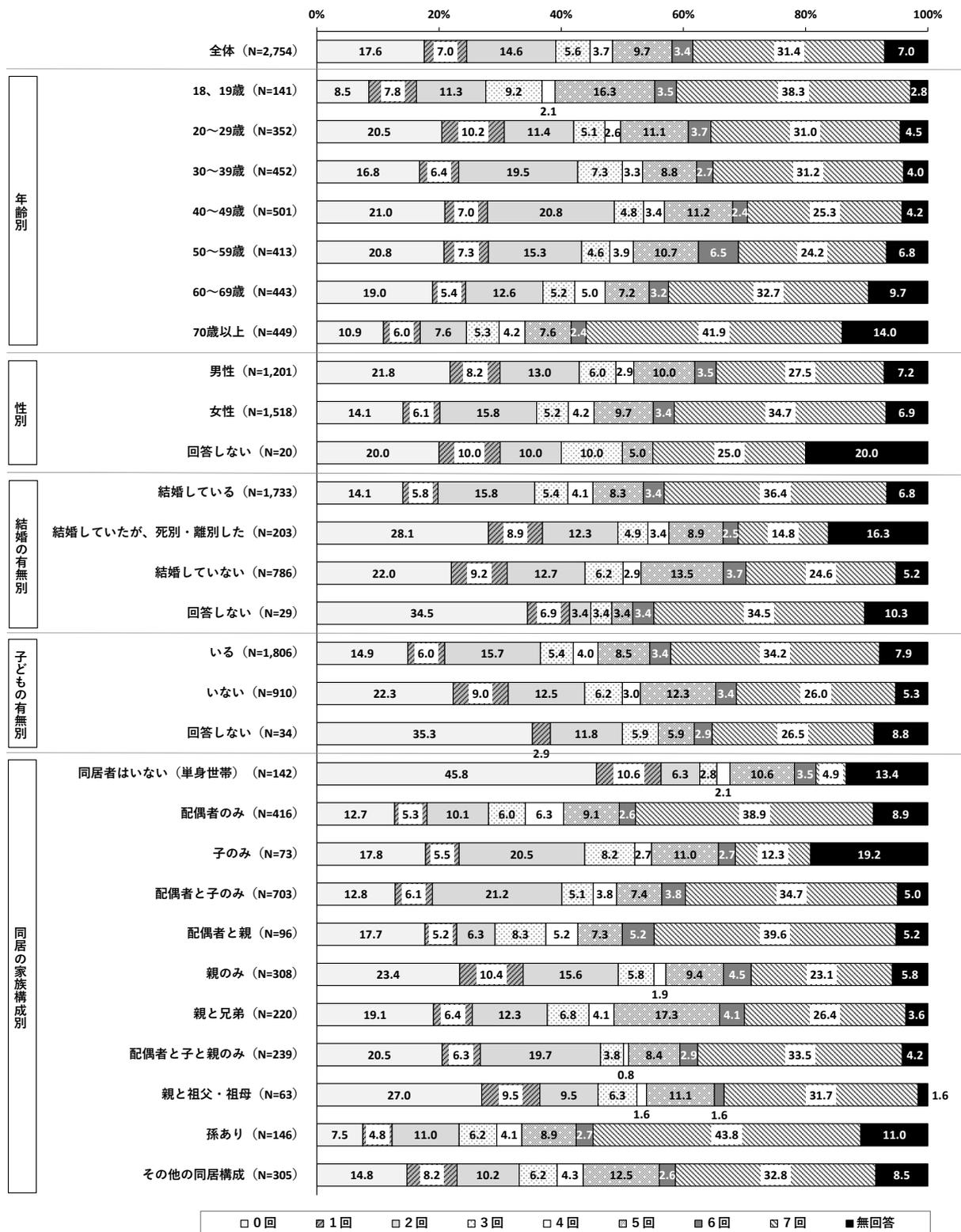
昼食は、「同居者はいない（単身世帯）」「親のみ」では「0回」、「子のみ」では「2回」、これら以外の家族構成では「7回」が最も高い。

夕食は、「同居者はいない（単身世帯）」を除くすべての家族構成で「7回」が最も高く、「配偶者のみ」「配偶者と子のみ」「配偶者と親」「孫あり」では7割を超えている。

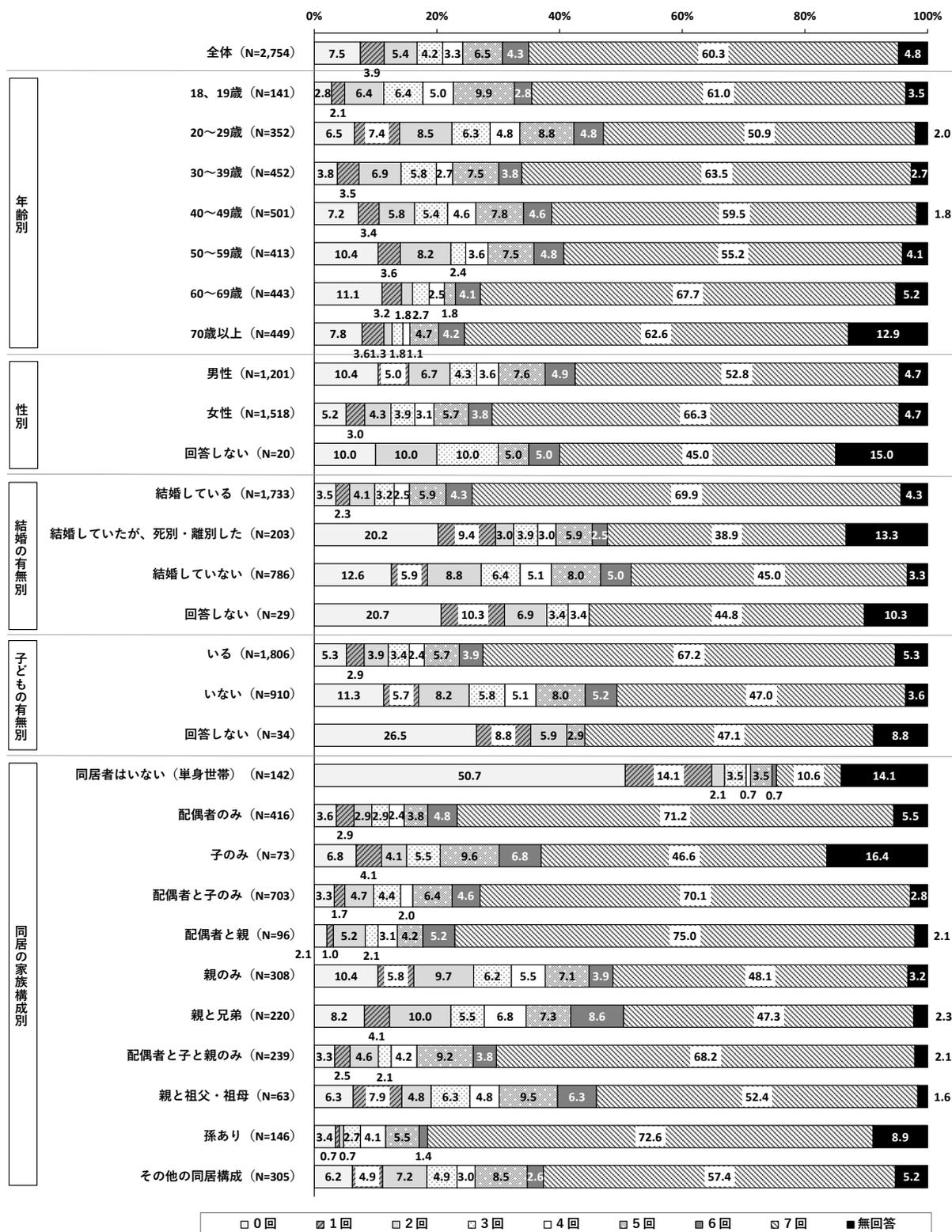
図表 18-1-1 誰かと一緒に食事をとったことは、何回ありましたか。【朝食】



図表 18-1-2 誰かと一緒に食事をとったことは、何回ありましたか。【昼食】



図表 18-1-3 誰かと一緒に食事をとったことは、何回ありましたか。【夕食】



問 18-② あなたは、家で料理を何回しましたか。

※この設問では、「料理」は、野菜や肉などの材料からご自身で作ることを指します。

(お店で買った総菜等を温め直すことは含みません。)

【料理をするか、しないか】

(1) 全体

料理を「する」が 66.2%、「しない」が 32.6%となっており、「する」の方が 33.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

「18、19 歳」と「20～29 歳」では「しない」が 5 割を超えている。一方、30 歳代以上では「する」が 70%前後を占めている。

(3) 性別

「男性」では「しない」が 54.5%、「女性」では「する」が 83.8%となっている。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では「する」が 75%前後を占めている。一方、「結婚していない」では「しない」が 51.1%を占めている。

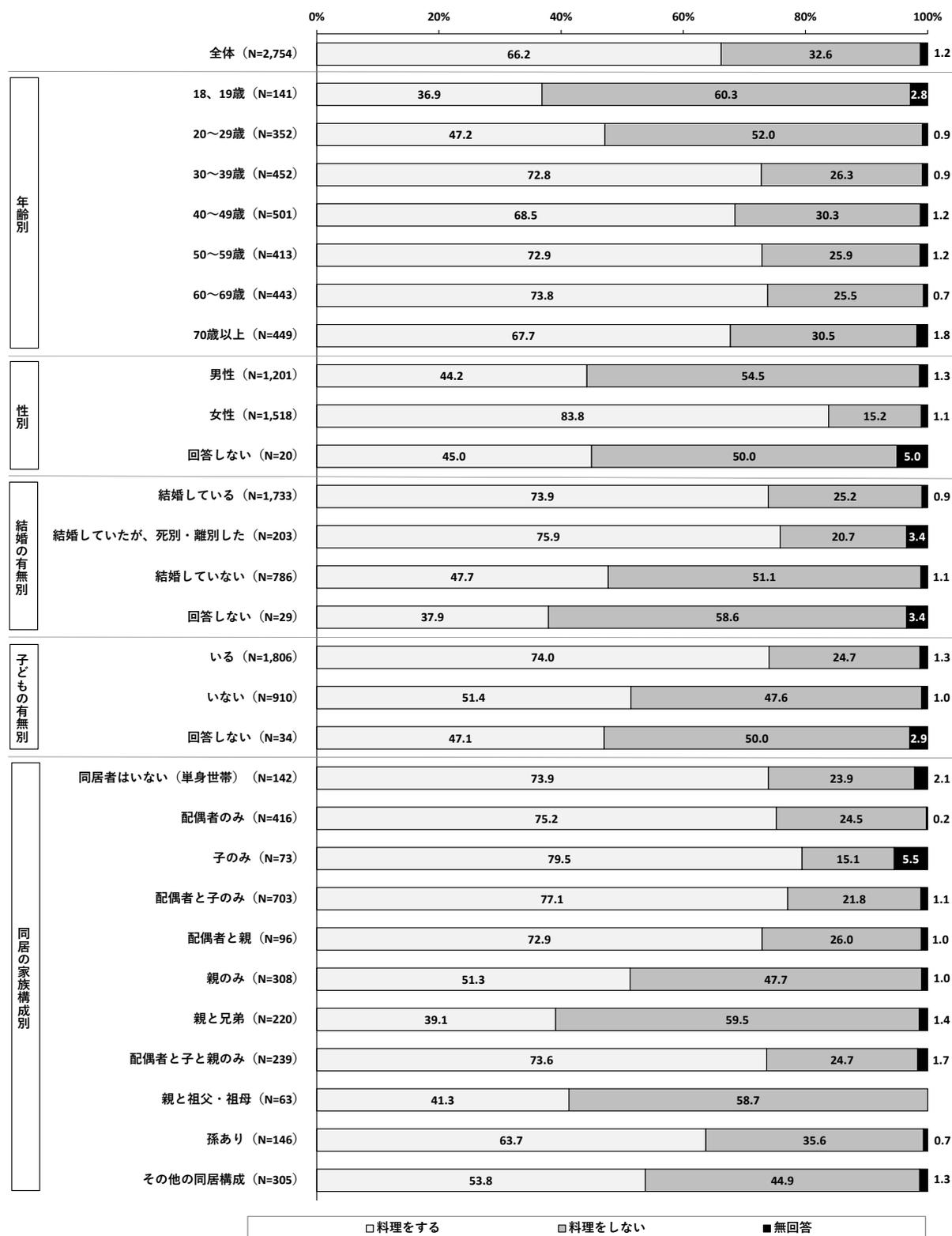
(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無に関わらず料理を「する」の方が高くなっているが、子どもが「いる」では 74.0%を占め、「いない」(51.4%) よりも 22.6 ポイント高い。

(4) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟」と「親と祖父・祖母」では、料理を「しない」が 5 割を超えており、これら以外の家族構成では「する」の方が高くなっている。

図表 18-2-1-1 あなたは、家で料理を何回しましたか。【料理をしたか、しないか】



【料理をする場合】

(1) 全体

朝食は、「7回」が42.2%と最も高く、次いで「0回」が25.3%となっている。

昼食は、「0回」が23.8%と最も高く、次いで「7回」が20.4%、「2回」が16.7%となっている。

夕食は、「7回」が43.8%と最も高く、次いで「5回」が11.0%、「0回」が9.8%となっている。

(2) 年齢別

朝食は、「18、19歳」と「20～29歳」では「0回」が5割を超えている。一方、30歳代以上では「7回」が最も高く、60歳代以上になると5割を超えている。

昼食は、50歳代以下で「0回」が最も高い。一方、60歳代以上では「7回」が最も高い。

夕食は、「18、19歳」を除くすべての年代で「7回」が最も高く、60歳代以上では5割を超えている。

(3) 性別

朝食は、「男性」では「0回」が42.6%、「女性」では「7回」が52.5%と最も高くなっている。

昼食は、「男性」では「0回」が38.6%、「女性」では「7回」が25.5%と最も高くなっている。

夕食は、「男性」では「0回」が23.7%、「女性」では「7回」が56.2%と最も高くなっている。

(4) - 1 結婚の有無別

朝食は、「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では「7回」が4割を超え最も高く、「結婚していない」では「0回」が49.1%と最も高くなっている。

昼食は、「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では「7回」が最も高く、「結婚していない」では「0回」が33.9%と最も高くなっている。

夕食は、「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では「7回」が5割を超え最も高く、「結婚していない」では「0回」が19.2%と最も高くなっている。

(4) - 2 子どもの有無別

朝食は、子どもが「いる」では「7回」が50.8%と最も高く、「いない」では「0回」が44.4%と最も高くとなっている。

昼食は、子どもが「いる」では「7回」が23.6%と最も高く、「いない」では「0回」が32.9%と最も高くとなっている。

夕食は、子どもの有無に関わらず「7回」が最も高くなっているが、「いる」では52.5%を占め、「いない」(18.8%)よりも33.7ポイントも高い。

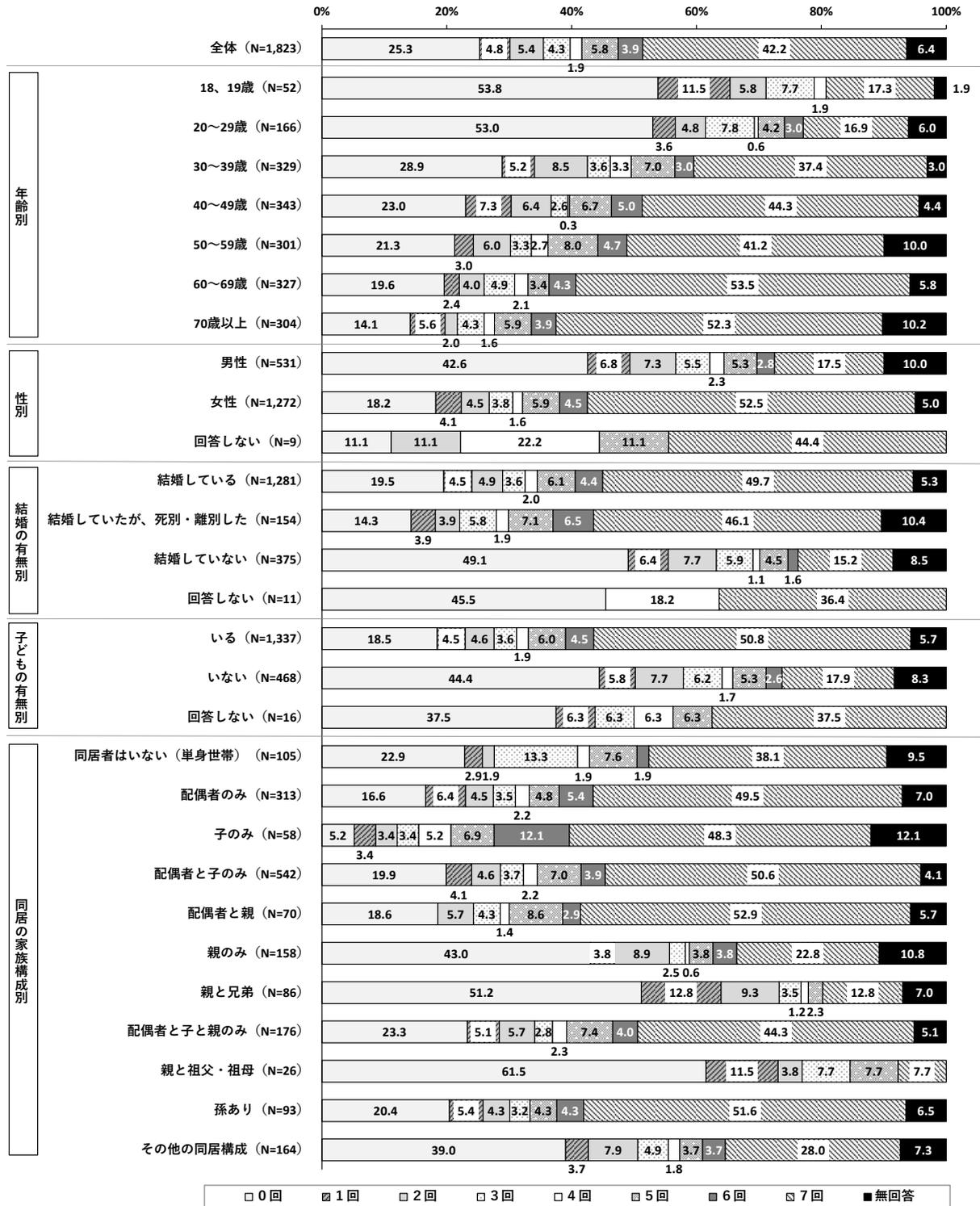
(4) - 3 同居家族の構成別

朝食は、「親のみ」「親と兄弟」「その他の同居構成」では「0回」が最も高く、「親と兄弟」では51.2%を占めている。一方、これら以外の家族構成では「7回」が最も高く、「配偶者と子のみ」「配偶者と親」「孫あり」では5割を超えている。

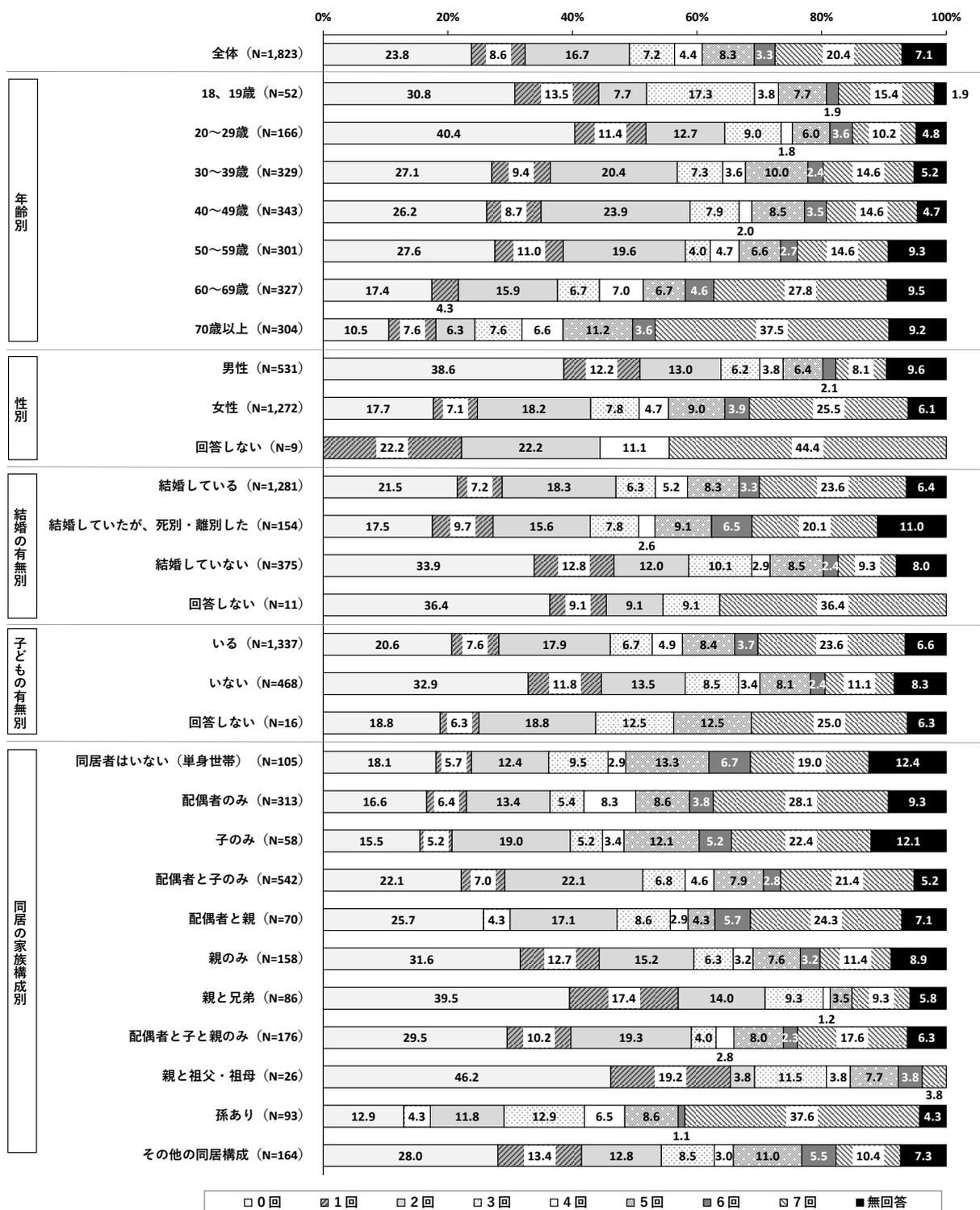
昼食は、「同居者はいない(単身世帯)」「配偶者のみ」「子のみ」「孫あり」では「7回」が最も高くなっている。

夕食は、「親のみ」「親と兄弟」では「0回」が最も高く、これら以外の家族構成では「7回」が最も高い。

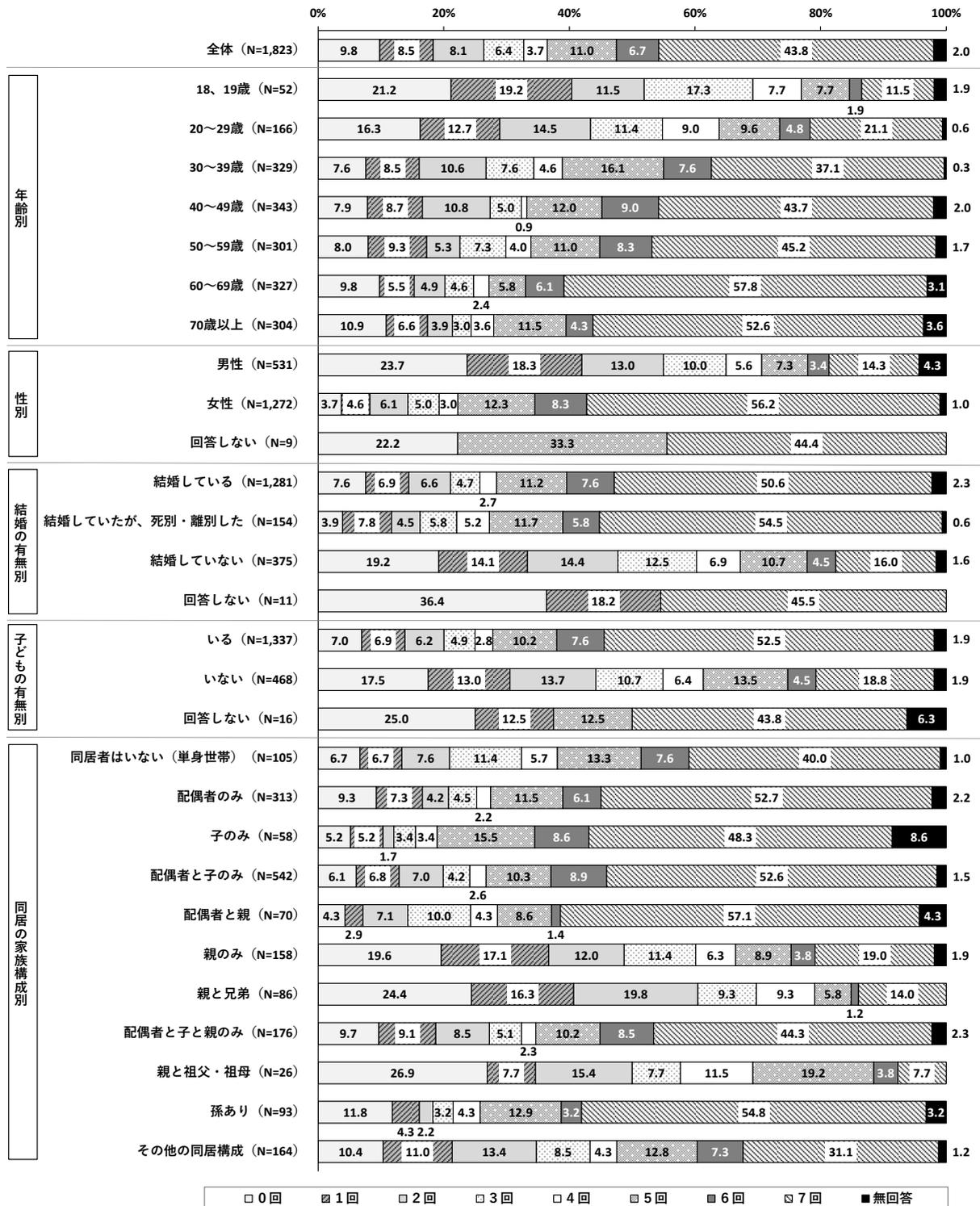
図表 18-2-2-1 あなたは、家で料理を何回しましたか。【朝食】



図表 18-2-2-2 あなたは、家で料理を何回しましたか。【昼食】



図表 18-2-2-3 あなたは、家で料理を何回しましたか。【夕食】



問 18-③ あなたは、料理をすることを楽しんでますか。

(※最近 1 週間の状況にかかわらずお答えください。)

(1) 全体

「どちらでもない」が 43.4%と最も高く、次いで「はい」が 31.9%、「いいえ」が 21.9%となっている。

(2) 年齢別

「18、19 歳」と「20～29 歳」では「はい」が最も高く、一方、30 歳代以上では「どちらでもない」が 4 割を超え最も高くなっている。

(3) 性別

男女ともに「どちらでもない」が 4 割を超え最も高くなっている。

(4) - 1 結婚の有無別

結婚の有無に関わらず、すべての属性で「どちらでもない」が最も高くなっている。

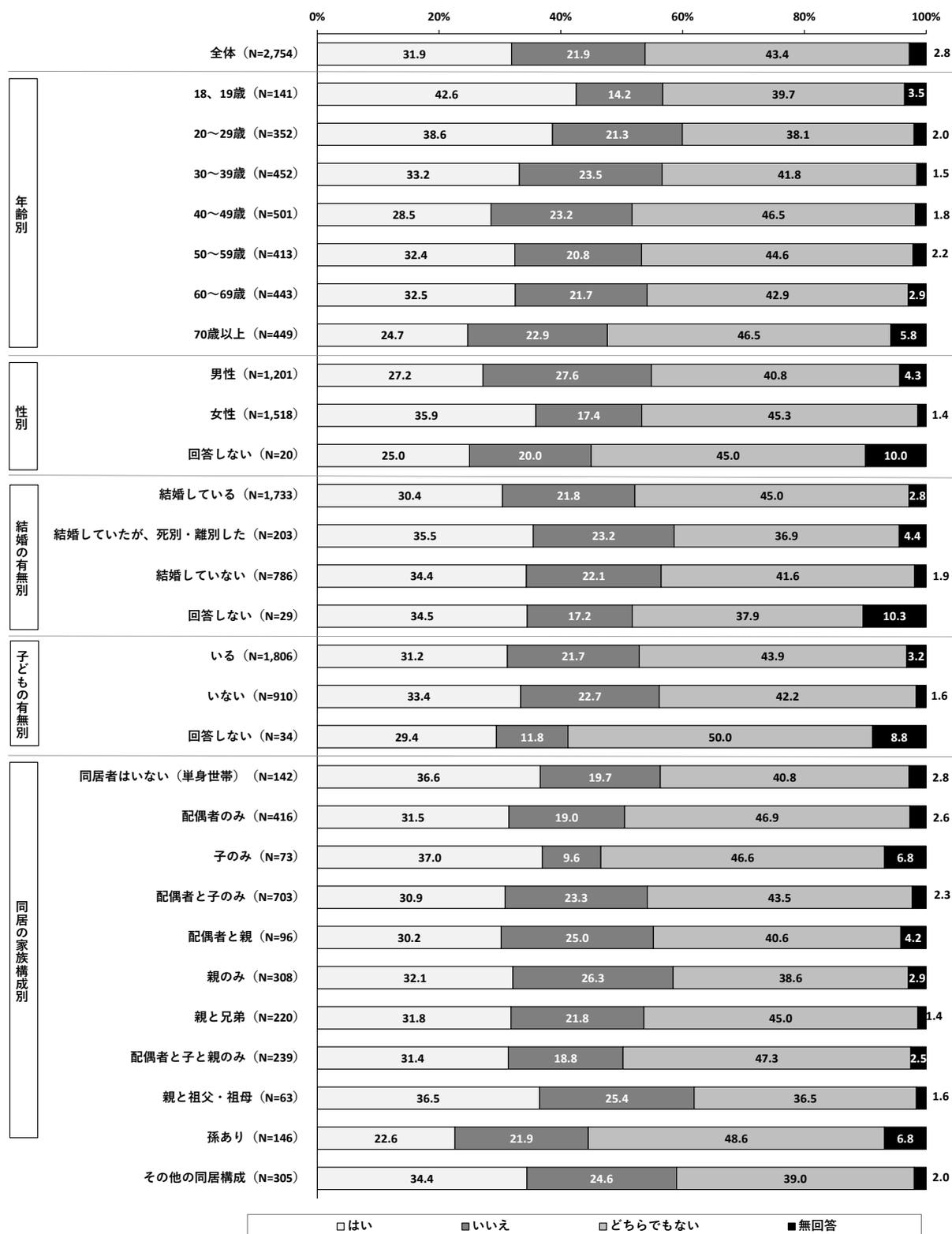
(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無に関わらず「どちらでもない」が 43%前後と最も高く、大きな差は見られない。

(4) - 3 同居家族の構成別

すべての家族構成で「どちらでもない」が最も高くなっている。

図表 18-3 あなたは、料理をすることを楽しんでますか。



IV. 調査票（設問部分）

【1 あなたご自身やご家族のことについて】

問1から問5は、回答を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについてお聞きいたします。

問1. あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（※記入日現在）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18、19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75～79歳 | 14. 80歳以上 | |

問2. あなたの性別をお答えください（※記入は任意です）。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問3. お住まい等について

(1) 現在お住まいの市町村は、どちらですか。

- | | | | | |
|---------|----------|---------|--------|--------|
| 1. 魚津市 | 2. 黒部市 | 3. 入善町 | 4. 朝日町 | |
| 5. 富山市 | 6. 滑川市 | 7. 舟橋村 | 8. 上市町 | 9. 立山町 |
| 10. 高岡市 | 11. 氷見市 | 12. 射水市 | | |
| 13. 砺波市 | 14. 小矢部市 | 15. 南砺市 | | |

(2) 現在の住居の状況は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 一戸建て（自己または家族所有） | 2. マンション等集合住宅（自己または家族所有） |
| 3. 一戸建て（借家） | 4. アパート等集合住宅（借家） |
| 5. その他（社宅、寮、下宿等） | |

(3) 現在お住まいの地域の環境は、次のどれにあたりますか。

（ご自身の判断で、最もあてはまると思うものを1つ選択してください。）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 家屋や商業施設が密集している市街地 | 2. 主に家屋が密集している住宅地 |
| 3. 工場が多く集まっている地域 | 4. 田や畑など農地が多く集まっている地域 |
| 5. 海に近い地域 | 6. 山間地域 |
| 7. その他（いずれにもあてはまらない） | |

(4) **あなたの出身地をお答えください。**

※この設問では、出身地は「生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域」を目安としますが、ご自身の判断で構いません。あてはまると思うものをお選びください。

1. 富山県内 2. 富山県外

(5) **県内・県外でのあなたの居住年数(通算)について、それぞれ1つずつ選んでください。**

①富山県内での居住年数

1. 5年未満
2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満
4. 20年以上

②富山県外での居住年数

1. なし(生まれてからずっと富山県に住んでいる)
2. 5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上

(6) **仕事や学校など、普段、主に活動している場所がある市町村等を、次の中から1つ選んでください。**

(※普段、特定の活動を行っていない場合は、「17. 該当なし」を選んでください。)

1. 魚津市 2. 黒部市 3. 入善町 4. 朝日町
5. 富山市 6. 滑川市 7. 舟橋村 8. 上市町 9. 立山町
10. 高岡市 11. 氷見市 12. 射水市
13. 砺波市 14. 小矢部市 15. 南砺市
16. 県外 17. 該当なし

問4. ご家族等について

(1) **あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(※事実婚を含みます。)**

1. 結婚している
2. 結婚していたが、死別・離別した
3. 結婚していない
4. 回答しない

(2) あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。

(※成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。)

1. いる → 人数 () 人 2. いない 3. 回答しない

(3) 同居のご家族の構成について、次の中から同居されている方が含まれている項目をすべて選んでください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 同居者はいない (単身世帯) | 2. 配偶者 (事実婚を含む) |
| 3. 子 | 4. 孫 |
| 5. 親 (配偶者の親を含む) | 6. 祖父・祖母 (配偶者の祖父・祖母を含む) |
| 7. 兄・弟・姉・妹 | 8. その他 |

(4) 同居のご家族の人数についてお答えください。

1. 本人を含む同居家族の人数 () 人
2. うち 18 歳未満の方の人数 () 人
3. うち 75 歳以上の方の人数 () 人

(5) あなたが普段行き来する、別居の親族 (※) の住居への移動時間 (移動手段は問いません。) について、次の中からあてはまるものを 1つ お答えください。

※祖父母 (配偶者の祖父母含む)、父母 (配偶者の父母含む)、子、孫のいずれかの住居のうち、最も行き来するところでお答えください。

1. 10 分未満 2. 10 分以上 30 分未満 3. 30 分以上 1 時間未満
4. 1 時間以上 5. 該当の親族がない

(6) あなたは、ペットと一緒に暮らしていますか。

1. 暮らしている 2. 暮らしていない

問 5. ご職業・年収等について

(1) あなたの主なご職業等について、次の中から 1つ 選んでください。

1. 自営業主 (自営業を手伝う家族従業者含む)
2. 会社・団体等の役員
3. 正規 (雇用期間の定めなく雇われている) 従業員・職員
4. パート・アルバイト、契約・派遣社員、家庭内での賃仕事 (内職)
5. 学生
6. 主夫または主婦
7. 無職
8. 回答しない

(2) (1) で 1～4 に○をつけられた方のみお答えください。

該当する**職業分野**について、あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 |
| 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業・郵便業 | 8. 卸売業・小売業 |
| 9. 金融業・保険業 | 10. 不動産業・物品賃貸業 |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 教育、学習支援業 |
| 15. 医療、福祉 | 16. その他のサービス業 |
| 17. 公務 | 18. その他 |

(3) **あなた自身**のおおよその年収（税・社会保険料込み）について、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円以上 300万円未満 |
| 3. 300万円以上 500万円未満 | 4. 500万円以上 700万円未満 |
| 5. 700万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7. 2,000万円以上 | 8. 回答しない |

(4) **あなたの世帯全体**のおおよその年収（税・社会保険料込み）の合計額について、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円以上 300万円未満 |
| 3. 300万円以上 500万円未満 | 4. 500万円以上 700万円未満 |
| 5. 700万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7. 2,000万円以上 | 8. わからない・回答しない |

【2 生活での実感について】

次に、問6から問15は、あなたの生活での実感や普段のお気持ちをお聞きします。

問6. 普段のあなた自身の実感について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

		1. はい	2. どちらか 言えばはい	3. どちらか 言えばいいえ	4. いいえ	5. わからない
1	心身の状態は健康であると感じている。	1	2	3	4	5
2	睡眠により身体を十分休めることができていると感じている。	1	2	3	4	5
3	日々の生活に必要な所得や資産がある。	1	2	3	4	5
4	自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。	1	2	3	4	5
5	住まいは快適で、安全・安心であると感じている。	1	2	3	4	5
6	総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。	1	2	3	4	5
7	自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。	1	2	3	4	5
8	現在置かれている立場・地位に満足を感じている。	1	2	3	4	5
9	楽しい、嬉しい、面白いなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い。	1	2	3	4	5
10	娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。	1	2	3	4	5
11	時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。	1	2	3	4	5
12	自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。	1	2	3	4	5
13	将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。	1	2	3	4	5
14	他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。	1	2	3	4	5
15	他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。（例：記念日など特別な日に催しを行う、花やプレゼントを贈る、など）	1	2	3	4	5
16	地域や社会のためになる何らかの取組みを行っている。	1	2	3	4	5
17	他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。	1	2	3	4	5
18	他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。	1	2	3	4	5
19	自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。	1	2	3	4	5
20	自分らしく、ありのままにいられている。	1	2	3	4	5
21	夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。	1	2	3	4	5
22	様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。	1	2	3	4	5

問7. **家族との関係**について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

※家族との関係のことは、すべて回答しない、または回答できない方は、こちらのチェックボックスに✓を入れて、問8にお進みください。 ⇒

		1. はい	2. どちらか 言え はい	3. どちらか 言え いいえ	4. いいえ	5. わからない
1	家族との関係は良好である。	1	2	3	4	5
2	困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。	1	2	3	4	5
3	家族の幸せのために、何らかの役に立っている。	1	2	3	4	5
4	家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。	1	2	3	4	5
5	家族と一緒に食事をすることを楽しんでいる。	1	2	3	4	5
6	家族で協力して、家事・育児を行っている。	1	2	3	4	5
7	家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。	1	2	3	4	5
8	家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）	1	2	3	4	5

問8. **友人との関係**について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

※友人との関係のことは、すべて回答しない、または回答できない方は、こちらのチェックボックスに✓を入れて、問9へお進みください。 ⇒

		1. はい	2. どちらか 言え はい	3. どちらか 言え いいえ	4. いいえ	5. わからない
1	友人との関係は良好である。	1	2	3	4	5
2	困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。	1	2	3	4	5
3	友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。	1	2	3	4	5
4	友人は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。	1	2	3	4	5
5	友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）	1	2	3	4	5

ここまでで、設問は約6割終わりました。引き続きよろしくお願いたします。

問9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

※職場・学校等に在籍・参加していない等によりすべて回答できない方は、
こちらのチェックボックスに✓を入れて、問10にお進みください。 ⇒

		1. はい	2. どちらか 言え はい	3. どちらか 言え いいえ	4. いいえ	5. わからない
1	職場・学校等での人間関係は良好である。	1	2	3	4	5
2	困った時や苦しい時に、職場・学校等の人は力になってくれると感じている。	1	2	3	4	5
3	職場・学校等で楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多くある。	1	2	3	4	5
4	職場・学校等に愛着や誇りがある。	1	2	3	4	5
5	職場・学校等の人は、あなたの意見や価値観を尊重してくれている。	1	2	3	4	5
6	職場・学校等での自らの役割を果たし、貢献できている。	1	2	3	4	5
7	職場・学校等は、あなたが成長するための学びや経験ができる場である。	1	2	3	4	5
8	職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。	1	2	3	4	5

問10. お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について、以下の設問にお答えください。それぞれの設問につき、1つ選んでください。

		1. はい	2. どちらか 言え はい	3. どちらか 言え いいえ	4. いいえ	5. わからない
1	地域での人間関係は良好である。	1	2	3	4	5
2	地域の生活環境は、安全・安心である。	1	2	3	4	5
3	困った時や苦しい時に、地域の方は助けてくれると感じている。	1	2	3	4	5
4	地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることができる場所や機会が多くある。	1	2	3	4	5
5	地域に愛着や誇りがある。	1	2	3	4	5
6	地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。	1	2	3	4	5
7	地域の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。	1	2	3	4	5

問 11. 富山県で暮らしているあなたの実感について、以下の設問にお答えください。
それぞれの設問につき、1つ選んでください。

		1. はい	2. どちらか 言えばはい	3. どちらか 言えばいいえ	4. いいえ	5. わからない
1	富山県で暮らしていて、防災・防犯面に不安はない。	1	2	3	4	5
2	富山県で暮らしていて、医療・福祉面に不安はない。	1	2	3	4	5
3	富山県で暮らしていて、交通面（車や公共交通などで移動すること）に不安はない。	1	2	3	4	5
4	富山県で暮らしていて、環境面（水、大気、動植物等の自然環境の保全など）に不安はない。	1	2	3	4	5
5	富山県には、楽しい、嬉しい、感動するなど前向き（ポジティブ）な気持ちになる場所や機会が多くある。	1	2	3	4	5
6	富山県（自然・文化・歴史など）に愛着や誇りがある。	1	2	3	4	5
7	全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。	1	2	3	4	5
8	全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。	1	2	3	4	5
9	全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。	1	2	3	4	5
10	富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。	1	2	3	4	5

ここまでで、設問は約8割終わりました。あと少し、よろしく願いいたします。

問 12. あなたが、富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じるのは、ということ（時）で
すか。箇条書きでも構いません。自由にご記入ください。

問 13. あなたにとって、最も理想的な生活を想像してください。それは、自分がどのよ
うな人生や生活を送っている状態ですか。箇条書きでも構いません。自由にご記入
ください。

問 14. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う
状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、

①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。

また、②5年前、③1年前は、それぞれどの程度の状態であったと思いますか。

そして、あなたの想像では、④5年後どうい状態になっていると思いますか。

それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

		← 最悪な 状 態	→ 最も理想 的な状態									
(過去) ↑	② 5年前	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	③ 1年前	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(現在)	① 現在	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
↓ (未来)	④ 5年後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 15. あなたが考える最も理想的な生活を実現するために、特に必要だと思うことを、
次の中から3つ選んでください。

1. 仕事が継続的にあるなど安定していること
2. 仕事にやりがいがあること
3. 仕事と生活のバランスがとれていること
4. 男女が平等で、ともに社会で活躍できる環境があること
5. 教育や学びに関する活動が充実していること
6. 自然とふれあう機会が充実していること
7. スポーツ・芸術・文化活動が充実していること
8. 観光、旅行が充実していること
9. 地域の活動（祭り、自治会、PTA 等）が充実していること
10. 社会貢献活動（ボランティア等）が充実していること
11. 家族と良好な関係にあること
12. 友人・恋人と良好な関係にあること
13. 職場で良好な人間関係にあること
14. 地域で良好な人間関係にあること
15. 居住環境が快適で、利便性が高いこと
16. 地域の治安・防犯・防災（体制）が安心できること
17. 医療・福祉の環境（体制）が安心できること
18. 多様な価値観に対する社会の寛容性があること
19. 心身の健康が良好であること
20. 家計のゆとりがあること
21. 将来への希望・期待が持てること
22. その他（下の枠内に記入してください。）

--

もう 1 ページあります。よろしくお願いたします。

【3 生活習慣等について】

最後に、あなた自身の生活習慣等についてお答えください。

(※最近1週間の状況でお答えください。)

問 16. あなたの睡眠時間は平均で何時間程度でしたか。

平日 () 時間 休日 () 時間

問 17. あなたは、運動(※)を何回行いましたか。

(※この設問では、体力づくり、健康づくり、趣味、部活、レクリエーションなど、
自分自身で意識的に行っている運動を指します。ご自身の判断で構いません。)

週 () 回 1回あたりの時間(平均) () 分

問 18. 食事について

①誰かと一緒に食事をとったことは、何回ありましたか。

ア. 朝食 週 () 回

イ. 昼食 週 () 回

ウ. 夕食 週 () 回

②あなたは、家で料理を何回しましたか。

(※この設問では、「料理」は、野菜や肉などの材料からご自身で作ることを指します。
(お店で買った総菜等を温め直すことは含みません。))

ア. 朝食 週 () 回

イ. 昼食 週 () 回

ウ. 夕食 週 () 回

エ. 料理はしない

③あなたは、料理をすることを楽しんでますか。

(※最近1週間の状況にかかわらずお答えください。)

1. はい

2. いいえ

3. どちらでもない

調査は以上で終了です。最後までご協力いただきありがとうございました。

ご回答いただいた内容については、集計・分析し、富山県のウェルビーイング向上のための貴重な資料として活用させていただきます。

ウェルビーイング県民意識調査
(生活の実感に関する調査)
結果報告書

令和5年1月発行

富 山 県

富山市新総曲輪1番7号

TEL：076-431-4111

担当 知事政策局成長戦略室ウェルビーイング推進課

TEL：076-444-8493

FAX：076-444-3473

集計・分析 株式会社ジェック経営コンサルタント

富山市湊入船町3番30号

TEL：076-444-0035
